

中國第一歷史檔案館編

# 光緒朝上諭檔

第一六冊（光緒一六年）

廣西師範大學出版社

第一六冊

《光緒朝上諭檔》編輯委員會

主任：徐藝圃 副主任：秦國經

委員（按姓氏筆畫為序）：牛平漢 李國榮 徐藝圃

秦國經 陳鏘儀 葉志如 趙雄 盧經

總主編：葉志如 陳鏘儀 趙雄 牛平漢

本冊主編：趙雄 陳鏘儀

本冊編輯：趙文良 江珊



## 凡例

一、本書所輯為中國第一歷史檔案館所藏清代光緒朝上諭檔，一年一冊，按原檔影印編輯出版。

二、本書所輯上諭檔基本維持檔案形成的月日順序，以諭旨頒發先後為序，依次編排，一般調整祇在同日檔案文件之中進行。

三、本書對原檔諭旨時間的處理原則：（一）凡原檔標明頒發諭旨時間者，以頒發時間為序編排；（二）凡未標明時間或時間有誤之諭旨，均進行必要的考證查出；（三）個別無法查考時間之諭旨，採用此前一件之時間。第（二）（三）項均在『校勘表』中註明。

四、本書對各類非諭旨性文件，不作時間考證。

五、本書對此類文件作了考證調整：原檔同日内之文件（包括奏摺、奏片、交片、咨文、名單、清單及所錄本日以前諭旨等），凡內容上有內在聯係，但按原排列順序卻被相互隔離開的，經考證調整到一起。調整後諭旨在前，所屬附件在後。同一諭旨有兩件以上附件者，按其原有先後順序排列。另，對原檔冊中存在的錯序、錯位、錯頁者，亦分別糾正和調整。凡調整件，均於『校勘表』註明。

六、本書對原檔考證調整的主要依據，是我館所藏清代當時形成的

『隨手登記檔』。

七、本書對同日内奏報的秋審朝審名單等附件，均視為單一文件，依照原有順序歸併於同日相關諭旨之後，編一個文件順序號。

八、本書對於原檔中天頭處出現的『硃』、『硃圈』及諭旨左下方的『吏部摺』『禮部片』、『摘鈔交總理衙門』、『×月×日』等字樣，以及諭旨行文中間改動添加的各種字樣，均一律保留。

九、本書對原檔上後人打印的阿拉伯頁碼號、原檔夾縫處原標的漢字頁碼號、原檔天頭處所附的紙籤簽、地角處所圈劃的符號，在編輯過程中一律刪除。

十、本書對於原檔中存在的錯字、衍字、簡化字、異體字、古體字等，均不作改動和糾正。

十一、本書將編者經過調整、校勘、考證的結果，以『校勘表』形式說明之。『校勘表』自右往左豎寫，各著錄項自上而下依次登記：順序號、頁碼號、原檔頁碼號、校勘內容。校勘內容和使用符號：（一）無時間（或時間有誤）之諭旨，標明據『隨手登記檔』查到的時間；（二）某件諭旨時間暫未查出，標用此前一件之時間，以『\*』標明；（三）凡經過調整順序的文件，一律註明『調整』字樣；（四）檔案原件殘破缺損者，均註『殘缺』；（五）墨迹霉變污染遮蓋一個字以上者，註明『污跡』字樣，並將所能辨識者的文字標出。

十二、本書所有文件統一編號，各冊序號獨立。

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
一七六	六二	九九	閏二月初八日遞, 初九日硃圈
一八五	六二	一〇一	調整
一八七	六二	一〇一	調整
一八九	六三	一〇三	調整
一九五	六四	八九	* 閏二月十一日
一九六	六四	九一	* 閏二月十一日
二一四	六七	一三七	調整
二一七	六八	一四七	調整
二二二	七一	一六一	調整
二二四	七一	一七一	調整
二二五	七一	一七三	調整
二三〇	七三	一六七	* 閏二月二十五日遞, 二六日硃圈。
二六一	七三	一六九	* 閏二月二十六日遞, 二六日硃圈。
二六六	九〇	五七	調整
二六七	九一	五九	調整
二六九	九一	六一	調整
二七〇	九一	六三	調整

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
二七二	九二	六五	調整
二七三	九二	六七	調整
二七五	九二	六九	調整
二七六	九三	七一	調整
二七八	九三	七三	調整
三〇八	一〇一	一三三	* 三月十八日
三〇九	一〇一	一三五	* 三月十八日
三一〇	一〇一	一三七	* 三月十八日
三三一	一〇六	一九	調整
三三二	一〇七	二一	調整
三三五	一〇八	九	* 四月初三日
三三七	一〇八	十三	* 四月初三日
三三九	一〇八	十七	* 四月初三日
三四三	一〇九	三三	調整
三四七	一一〇	四一	調整
三五一	一一〇	五一	調整
三五二	一一〇	五三	調整
三五三	一一一	五五	調整
三六八	一一五	九五	調整

光緒朝上諭檔 第一六冊 校勘表

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
二一	一九	八五	調整
三五	二三	一一三	調整
四〇	二四	一二三	調整
四四	二四	一三九	調整
五〇	二六	一五一	調整
五一	二七	一五三	調整
六六	三〇	一七七	調整
七〇	三一	一八五	調整
九九	三九	六三	調整
一〇一	四一	六七	調整
一〇二	四一	六九	調整
一〇三	四一	七一	調整
一〇五	四二	七三	調整
一〇六	四二	七五	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一一〇	四三	八三	調整
一一一	四四	八五	調整
一一三	四四	八一	二月十一日遞，十二日硃圈
一三六	五〇	一三一	二月二十六日
一四一	五一	一四一	二月二十七日
一四三	五一	一四五	二月二十九日
一四四	五二	一四九	調整
一四六	五二	一四五	調整
一五五	五四	一一	殘缺「硃」
一七一	五八	四五	*閏二月初八日
一七三	五八	四九	*閏二月初八日
一七四	五八	五一	*閏二月初八日
一七五	五九	五三	*閏二月初八日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
三七〇	一一六	八五	* 四月十四日
三八三	一二〇	一一七	調整
三九三	一三〇	一六一	* 四月十八日
三九五	一三〇	一六五	* 四月十八日
三九九	一三一	一七九	調整
四〇五	一三二	一八九	調整
四三三	一五一	一九	調整
四三五	一五一	一五	調整
四三六	一五一	一七	調整
四三八	一五二	九	* 五月初三日
四四一	一五二	二一	污跡〔人王〕〔懷陳〕
四四六	一五五	四一	調整
四五二	一六九	四三	調整
四五三	一六九	四五	調整
四五九	一七〇	一〇一	* 五月十二日
四六〇	一七〇	一〇三	* 五月十二日
四六一	一七〇	一〇五	* 五月十二日
四六二	一七〇	一〇七	* 五月十二日
四六三	一七〇	一〇九	* 五月十二日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
四六四	一七〇	一一一	* 五月十二日
四六五	一七一	一一三	* 五月十二日
四七二	一七四	一三三	* 五月十五日
四八三	一七七	一五九	調整
四九八	一八二	一九五	調整
五〇七	一八七	一三	六月初五日
五〇八	一八七	二一	調整
五一三	一八八	三一	調整
五一九	一九〇	四七	調整
五二七	一九三	五九	* 六月初十日
五二九	一九三	六三	* 六月初十日
五三一	一九三	六七	* 六月初十日
五四二	一九七	一〇一	調整
五四五	一九七	一〇三	調整
五四七	一九八	一〇五	調整
五五一	一九八	一一九	調整
五五二	一九九	一二一	調整
五五四	一九九	一一一	* 六月十四日
五七〇	二〇二	一五五	調整

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
五八一	二〇五	一七三	調整
五八二	二〇五	一七五	調整
五八四	二〇五	一八一	調整
五八八	二〇六	一七七	調整
五八九	二〇六	一七九	調整
五九二	二〇七	一九一	調整
五九三	二〇七	一八九	調整
五九九	二〇九	一七	調整
六〇〇	二〇九	一九	調整
六〇二	二一〇	二一	調整
六〇三	二一〇	二三	調整
六〇五	二一〇	二五	調整
六〇七	二一二	一三	調整
六〇八	二一二	一五	調整
六二〇	二二一	七九	調整
六五一	二二九	一三九	調整
六五二	二二九	一四一	調整
六五六	二三〇	一五五	調整
六五七	二三〇	一五七	調整

序 號	頁 碼	原 檔 頁 碼	校 勘 內 容
六六八	二二二	一七一	* 七月二十三日
六七一	二二二	一八七	調整
六七八	二二三	一九三	調整
六七九	二三四	一九五	調整
六八〇	二三四	一九七	調整
六八一	二三五	一九九	調整
六八二	二三六	二〇三	調整
六九七	二四一	三	* 八月初二日
七二三	二四七	六一	調整
七二六	二四八	六三	* 八月十二日
七三〇	二四八	七五	調整
七五三	二五三	一九	調整
七六七	二五六	一五七	調整
七六九	二五六	一五三	調整
七七〇	二五六	一五五	調整
七七五	二五七	一六三	調整
七七六	二五八	一六五	調整
七八五	二五九	一	* 九月初二日
七八六	二五九	一三	* 九月初二日

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
七八七	二五九	一五	* 九月初二日
八〇三	二六四	六一	調整
八〇四	二六四	六三	調整
八〇六	二六四	六五	調整
八〇八	二六五	五九	調整
八二二	二六九	九五	調整
八二八	二七〇	一〇一	* 九月十六日
八二九	二七〇	一〇三	* 九月十六日
八三一	二七〇	一〇七	* 九月十六日
八三三	二七〇	一一一	* 九月十六日
八三四	二七一	一一三	* 九月十六日
八四七	二七三	一三九	* 九月二十五日
八五四	二七五	一五九	調整
八六一	二七七	五	調整
八六六	二七九	一九	調整
八七一	二八〇	二九	調整
八八二	二八三	五三	調整
八八三	二八四	五五	調整
八八九	二八五	七九	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
八九一	二八六	六一	調整
八九二	二八七	六三	調整
八九三	二八七	六五	調整
八九四	二八八	六九	調整
九〇四	二九八	一二九	調整
九〇五	二九八	一三一	調整
九一四	三〇一	一四三	* 十月十八日
九一六	三〇一	一四七	* 十月十八日
九一七	三〇一	一四九	* 十月十八日
九一八	三〇一	一五一	* 十月十八日
九一九	三〇一	一五三	* 十月十八日
九二三	三〇二	一五七	調整
九二四	三〇三	一五九	調整
九二五	三〇三	一六一	調整
九四二	三〇六	二〇五	調整
九四四	三〇六	二〇七	調整
九五二	三〇九	一五	調整
九五三	三一〇	一七	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
九五四	三一〇	三	十一月初二日
九五五	三一〇	二三	調整
九五六	三一〇	五	*十一月初二日
九六二	三一〇	一九	調整
九六三	三一〇	二一	殘缺 調整
九六五	三一〇	三五	調整
九六七	三一〇	三九	調整
九六九	三一〇	四七	調整
九七五	三一〇	六三	調整
九七七	三一〇	五九	調整
九七八	三一〇	六一	調整
九九三	三一〇	九五	調整
九九四	三一〇	九七	調整
九九八	三一〇	一〇三	調整
一〇三三	三四三	二一九	十一月二十三日
一〇四三	三四七	二三九	調整
一〇四四	三四八	二四一	十一月二十七日
一〇四五	三四八	二六三	調整
一〇四六	三四八	二六五	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一〇四七	三四九	二六九	調整
一〇五二	三五二	二七三	調整
一〇六五	三五五	二九	調整
一〇七三	三五九	五一	調整
一〇七五	三五九	四九	調整
一〇七八	三六〇	四三	*十二月初八日
一〇七九	三六〇	四五	*十二月初八日
一〇八〇	三六〇	四七	*十二月初八日
一〇八六	三六二	七九	調整
一〇八八	三六二	六七	*十二月十一日
一〇八九	三六二	六九	*十二月十一日
一〇九〇	三六二	七一	*十二月十一日
一〇九一	三六三	七三	*十二月十一日
一一〇三	三六九	一一七	調整
一一二四	三八一	一六一	調整
一一二五	三八一	一八一	調整
一一三三	三八二	一九七	調整
一一三四	三八三	一九九	調整
一一三六	三八三	一九五	調整



序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一一三九	三八三	二二三	調整
一一四〇	三八四	二二五	調整
一一四一	三八四	二二七	調整
一一四三	三八四	二二九	調整
一一四四	三八五	二三一	調整
一一四六	三八五	二一五	調整
一一四七	三八六	二一七	調整
一一四九	三八六	二四九	調整
一一五三	三八七	二五一	調整
一一五五	三八七	二三七	調整
一一六一	三九〇	二五五	調整
一一六五	三九一	二六九	調整
一一六六	三九一	二七一	調整
一一六八	三九三	二八九	調整
一一七八	三九七	三〇一	調整
一一七九	三九七	三〇三	調整
一一八一	三九七	三〇五	調整
一一八二	三九七	三〇七	調整
一一八七	三九八	三一七	調整

序號	頁碼	原檔頁碼	校勘內容
一一九一	三九九	三二一	調整
一一九二	三九九	三二三	調整
一一九四	四〇〇	三二九	污跡〔營西〕
一二一六	四一二	三九九	調整
一二一七	四一三	四〇一	調整

# 光緒朝上諭檔 第一六冊 目錄

光緒十六年(庚寅 公元一八九〇年)

正月	
初二日	(一)
初三日	(四)
初四日	(四)
初五日	(一三)
初六日	(一八)
初七日	(一九)
初八日	(二十)
十一日	(二二)
十四日	(二二)
十八日	(二二)
十九日	(二三)
二十二日	(二三)
二十三日	(二四)
二十四日	(二四)

二月	
二十五日	(二六)
二十六日	(二八)
二十七日	(三〇)
二十八日	(三一)
二十九日	(三一)
初一日	(三二)
初二日	(三二)
初三日	(三四)
初五日	(三五)
初七日	(三五)
初八日	(三六)
初九日	(三六)
初十日	(三九)

閏二月

十一日	.....	(四三)
十二日	.....	(四五)
十三日	.....	(四六)
十四日	.....	(四七)
十五日	.....	(四七)
十六日	.....	(四八)
十七日	.....	(四八)
十八日	.....	(四八)
十九日	.....	(四九)
二十一日	.....	(四九)
二十二日	.....	(四九)
二十四日	.....	(五〇)
二十五日	.....	(五〇)
二十六日	.....	(五〇)
二十七日	.....	(五一)
二十九日	.....	(五一)
三十日	.....	(五三)
初一日	.....	(五四)
初二日	.....	(五四)
初三日	.....	(五六)

初四日	.....	(五七)
初五日	.....	(五七)
初六日	.....	(五七)
初七日	.....	(五七)
初八日	.....	(五八)
初九日	.....	(六〇)
初十日	.....	(六一)
十一日	.....	(六一)
十二日	.....	(六二)
十三日	.....	(六五)
十五日	.....	(六六)
十六日	.....	(六六)
十七日	.....	(六六)
十九日	.....	(六七)
二十日	.....	(六七)
二十一日	.....	(六七)
二十二日	.....	(六七)
二十三日	.....	(六七)
二十四日	.....	(六八)
二十五日	.....	(六九)
二十六日	.....	(七四)
二十七日	.....	(八四)
二十八日	.....	(八四)

三月

初一日	.....	(八五)
初二日	.....	(八五)
初三日	.....	(八六)
初四日	.....	(九〇)
初五日	.....	(九〇)
初六日	.....	(九三)
初七日	.....	(九三)
初八日	.....	(九四)
初九日	.....	(九五)
初十日	.....	(九六)
十一日	.....	(九六)
十二日	.....	(九六)
十三日	.....	(九七)
十四日	.....	(九九)
十五日	.....	(九九)
十七日	.....	(一〇〇)
十八日	.....	(一〇一)
二十三日	.....	(一〇一)
二十四日	.....	(一〇二)

四月

二十六日	.....	(一〇二)
二十七日	.....	(一〇四)
二十八日	.....	(一〇五)
二十九日	.....	(一〇五)
初二日	.....	(一〇六)
初三日	.....	(一〇六)
初四日	.....	(一〇八)
初五日	.....	(一〇八)
初六日	.....	(一一〇)
初七日	.....	(一一〇)
初八日	.....	(一一一)
初九日	.....	(一一三)
十一日	.....	(一一四)
十三日	.....	(一一四)
十四日	.....	(一一五)
十五日	.....	(一一七)
十六日	.....	(一二一)
十七日	.....	(一二一)
十八日	.....	(一三〇)

五月

十九日	.....	(一三〇)
二十日	.....	(一三一)
二十三日	.....	(一三二)
二十六日	.....	(一三三)
二十七日	.....	(一三五)
二十八日	.....	(一三五)
二十九日	.....	(一四〇)
初三日	.....	(一五一)
初六日	.....	(一五二)
初七日	.....	(一五三)
初九日	.....	(一五五)
初十日	.....	(一五五)
十一日	.....	(一六九)
十二日	.....	(一七〇)
十四日	.....	(一七一)
十五日	.....	(一七二)
十七日	.....	(一七四)
十八日	.....	(一七五)

六月

十九日	.....	(二七六)
二十日	.....	(二七六)
二十一日	.....	(二七七)
二十二日	.....	(二七八)
二十四日	.....	(二七九)
二十五日	.....	(二七九)
二十六日	.....	(二七九)
二十七日	.....	(二八一)
二十八日	.....	(二八一)
二十九日	.....	(二八三)
初四日	.....	(二八五)
初五日	.....	(二八六)
初六日	.....	(二八七)
初八日	.....	(二八八)
初九日	.....	(二八九)
初十日	.....	(二九二)
十一日	.....	(二九四)
十二日	.....	(二九四)

七月

十三日	.....	(二二六)	二十四日	.....	(二〇七)
十一日	.....	(二二五)	二十三日	.....	(二〇五)
初十日	.....	(二二五)	二十二日	.....	(二〇四)
初八日	.....	(二二三)	二十一日	.....	(二〇四)
初七日	.....	(二二三)	二十日	.....	(二〇二)
初六日	.....	(二二二)	十九日	.....	(二〇二)
初五日	.....	(二二一)	十七日	.....	(二〇一)
初四日	.....	(二一九)	十六日	.....	(二〇〇)
初三日	.....	(二〇九)	十五日	.....	(二〇〇)
			十四日	.....	(一九八)
			十三日	.....	(一九五)

八月

初九日	.....	(二四五)	二十九日	.....	(二三八)
初八日	.....	(二四四)	二十八日	.....	(二三七)
初七日	.....	(二四四)	二十七日	.....	(二三七)
初六日	.....	(二四三)	二十六日	.....	(二三七)
初五日	.....	(二四二)	二十五日	.....	(二三三)
初四日	.....	(二四一)	二十四日	.....	(二三二)
初三日	.....	(二四一)	二十三日	.....	(二三二)
初二日	.....	(二四一)	二十二日	.....	(二三一)
			十九日	.....	(二二九)
			十八日	.....	(二二九)
			十四日	.....	(二二七)

九月

初一日	.....	(二五九)
初二日	.....	(二五九)
初四日	.....	(二六〇)
十一日	.....	(二四六)
十二日	.....	(二四七)
十三日	.....	(二四八)
十四日	.....	(二四九)
十五日	.....	(二四九)
十六日	.....	(二五〇)
十八日	.....	(二五一)
十九日	.....	(二五一)
二十日	.....	(二五二)
二十一日	.....	(二五三)
二十二日	.....	(二五三)
二十三日	.....	(二五三)
二十五日	.....	(二五四)
二十七日	.....	(二五五)
二十八日	.....	(二五五)
二十九日	.....	(二五七)
三十日	.....	(二五八)

十月

初五日	.....	(二六〇)
初八日	.....	(二六一)
初十日	.....	(二六三)
十一日	.....	(二六三)
十二日	.....	(二六六)
十三日	.....	(二六六)
十四日	.....	(二六六)
十五日	.....	(二六六)
十六日	.....	(二六八)
十八日	.....	(二七一)
十九日	.....	(二七一)
二十一日	.....	(二七一)
二十二日	.....	(二七一)
二十三日	.....	(二七一)
二十四日	.....	(二七二)
二十五日	.....	(二七三)
二十六日	.....	(二七四)
二十七日	.....	(二七四)
二十八日	.....	(二七四)
二十九日	.....	(二七六)
初一日	.....	(二七七)

十一月

初二日	.....	(三〇九)
初三日	.....	(二七七)
初四日	.....	(二七九)
初五日	.....	(二八〇)
初六日	.....	(二八一)
初七日	.....	(二八二)
初九日	.....	(二八三)
十一日	.....	(二八四)
十四日	.....	(二八五)
十五日	.....	(二八八)
十六日	.....	(二八九)
十七日	.....	(二九九)
十八日	.....	(三〇〇)
十九日	.....	(三〇一)
二十日	.....	(三〇三)
二十一日	.....	(三〇四)
二十二日	.....	(三〇五)
二十三日	.....	(三〇五)
二十四日	.....	(三〇六)
二十七日	.....	(三〇七)
二十八日	.....	(三〇七)
二十九日	.....	(三〇八)

初三日	.....	(三一)
初四日	.....	(三二)
初五日	.....	(三四)
初七日	.....	(三一四)
初八日	.....	(三一七)
初九日	.....	(三一九)
十二日	.....	(三二〇)
十三日	.....	(三二〇)
十四日	.....	(三二一)
十五日	.....	(三二二)
十六日	.....	(三二二)
十七日	.....	(三二四)
十八日	.....	(三二四)
十九日	.....	(三三九)
二十日	.....	(三三九)
二十一日	.....	(三四〇)
二十二日	.....	(三四二)
二十三日	.....	(三四二)
二十四日	.....	(三四七)
二十五日	.....	(三四七)
二十六日	.....	(三四七)
二十七日	.....	(三四七)
二十八日	.....	(三五二)



二十九日 ..... (三五二)

十二月

初二日 ..... (三五三)

初三日 ..... (三五三)

初五日 ..... (三五三)

初六日 ..... (三五五)

初七日 ..... (三五八)

初八日 ..... (三五八)

初九日 ..... (三六一)

十一日 ..... (三六一)

十二日 ..... (三六三)

十三日 ..... (三六七)

十四日 ..... (三六九)

十五日 ..... (三七八)

十六日 ..... (三八一)

十七日 ..... (三八二)

十八日 ..... (三八三)

十九日 ..... (三八七)

二十日 ..... (三八八)

二十二日 ..... (三九〇)

二十三日 ..... (三九三)

二十四日 ..... (三九八)

二十五日 ..... (三九九)

二十六日 ..... (四〇七)

二十七日 ..... (四〇八)

二十八日 ..... (四一二)

二十九日 ..... (四一三)

三十日 ..... (四一六)

1 光緒十六年正月初二日內閣奉

上諭上年順直各屬被災地方業經分別蠲緩糧租並撥給米石賑濟小民諒可不致失所惟念今春青黃不接之時民力未免拮据加恩著將武清薊州保定文安大城安州獻縣景州吳橋東光天津青縣靜海鹽山任縣玉田開州東明長垣等十九州縣成災五六七八九分村莊應納本年春賦地丁錢糧各項旗租緩至本年秋後啟徵其歉收三四分村莊應納本年春賦地丁錢糧各項旗租著緩至本年秋後啟徵甯河霸州安肅河間任邱滄州南皮慶雲沙河南和唐山平鄉鉅鹿永平邯鄲雞澤元城大名南樂豐潤隆平等二十一州縣歉收三四分村莊應納本年春賦照常徵收其原緩至本年秋後啟徵之歉收四分村莊應納光緒十五年並節年地丁錢糧各項旗租同歉收三分村莊應納節年地丁錢糧各項旗租均著緩至本年秋後啟徵凡有應徵屯米穀豆草束窰課學租通津二幫屯租旗產錢糧海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租永濟庫租兵部馬館租鑾儀衛租

代徵租暨出借倉穀籽種口糧牛具等項隨同正項糧租分別緩徵津軍廳董董漁課納糧地畝內有坐落天津武清二縣者歸入該二縣災歉村莊辦理以紓民力該督即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷履端布聞嘉惠畿疆至意該部即遵諭行欽此

2

直隸提督葉志超  
北洋海軍提督丁汝昌  
陝西提督雷正綰  
甘肅提督周達武  
喀什噶爾提督譚上連  
長江水師提督李成謀  
江南提督譚碧理  
浙江提督馮南斌  
福建水師提督彭楚漢  
福建陸路提督孫開華  
廣東水師提督方耀  
廣東陸路提督唐仁廉

廣西提督蘇元春  
湖北提督程文炳  
湖南提督鄭紹忠  
四川提督宋慶  
雲南提督馮子材  
貴州提督羅孝達

直隸大名鎮總兵徐道奎  
天津鎮總兵羅榮光  
通永鎮總兵吳育仁  
宣化鎮總兵王可陞  
正定鎮總兵徐邦道  
北洋海軍左翼總兵林泰曾  
右翼總兵劉步蟾  
山東登州鎮總兵章高元  
兗州鎮總兵田恩來  
曹州鎮總兵王連三  
山西太原鎮總兵林成興  
大同鎮總兵黃金志

河南南陽鎮總兵崔廷桂  
河北鎮總兵劉盛休  
歸德鎮總兵牛師韓  
陝西延綏鎮總兵慶連  
陝安鎮總兵姚文廣  
漢中鎮總兵孫金彪  
甘肅甯夏鎮總兵衛汝貴  
西甯鎮總兵鄧增  
河州鎮總兵沈玉遂  
肅州鎮總兵李培榮  
涼州鎮總兵閃殿魁  
伊犁鎮總兵張俊  
阿克蘇鎮總兵董福祥  
江南狼山鎮總兵曹德慶  
蘇松鎮總兵張景春  
徐州鎮總兵陳鳳樓  
福山鎮總兵陳海鵬  
淮揚鎮總兵章合才  
長江水師瓜州鎮總兵吳家榜

湖口鎮總兵丁義方  
漢陽鎮總兵高光効  
岳州鎮總兵張捷書  
安徽壽春鎮總兵任祖文  
皖南鎮總兵史宏祖  
江西南贛鎮總兵姚廣武  
九江鎮總兵朱淮森  
浙江定海鎮總兵楊岐珍  
海門鎮總兵彭大光  
溫州鎮總兵周振邦  
處州鎮總兵竇如田  
衢州鎮總兵喻俊明  
福建汀州鎮總兵李占椿  
澎湖鎮總兵吳宏洛  
臺灣鎮總兵萬國本  
福甯鎮總兵曹志忠  
漳州鎮總兵侯名貴  
南澳鎮總兵劉永福  
建甯鎮總兵蘇得勝

廣東北海鎮總兵王孝祺  
南韶連鎮總兵方友升  
瓊州鎮總兵姜桂題  
潮州鎮總兵晏雲慶  
碣石鎮總兵鄧萬林  
高州鎮總兵左寶貴  
廣西左江鎮總兵董履高  
右江鎮總兵張春發  
柳慶鎮總兵馬盛治  
湖北宜昌鎮總兵羅縉紳  
邕陽鎮總兵龔繼昌  
湖南鎮筵鎮總兵周瑞龍  
永州鎮總兵韓晉昌  
綏靖鎮總兵吳鳳柱  
四川重慶鎮總兵田在田  
建昌鎮總兵劉士奇  
松潘鎮總兵夏毓秀  
川北鎮總兵鄧榮升  
雲南開化鎮總兵蔡標

鶴麗鎮總兵吳永安

臨元鎮總兵何秀林

騰越鎮總兵張松林

昭通鎮總兵何雄輝

普洱鎮總兵覃修綱

貴州安義鎮總兵蔣宗漢

古州鎮總兵丁槐

鎮遠鎮總兵和耀曾

威甯鎮總兵蘇元瑞

4 光緒十六年正月初三日內閣奉

上諭朕於閏二月十五日恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后祇謁

東陵禮成後於二十三日還宮所有應行事宜著各該

衙門照例敬謹豫備欽此

5 光緒十六年正月初三日軍機大臣而奉

諭旨朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后於閏二月

十五日啟鑾是日駐蹕燕郊十六日駐蹕白澗十

七日駐蹕隆福寺十九日祇謁

東陵禮成後於二十日回鑾駐蹕桃花寺二十一日駐

蹕白澗二十二日駐蹕燕郊二十三日還宮欽此

6 交嚮導處本日軍機大臣而奉

諭旨朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后於閏二月

十五日啟鑾是日駐蹕燕郊十六日駐蹕白澗十

七日駐蹕隆福寺十九日祇謁

東陵禮成後於二十日回鑾駐蹕桃花寺二十一日駐

蹕白澗二十二日駐蹕燕郊二十三日還宮欽此

相應傳知

貴處欽遵預備可也此交

正月初三日

7 光緒十六年正月初四日內閣奉

上諭上年山東被災各州縣業經分別蠲緩錢漕藉

資賑濟小民諒可不至失所惟念今春青黃不接

之時民力未免拮据加恩著將被水之濟甯州黑土店等地方本店等一百三十八村莊又下吳家灣等地方前十里營等六十六村莊歷城縣雀化一等里水屯莊等二十八村莊及併衛臧家屯等三屯莊鄒平縣李家莊等五十五村莊及小清河佔壓地畝長山縣盛篤等約前段莊等十四村莊新城縣西六等約龍灣套等十四村莊齊河縣驛渡岸本街等一百六十四村莊又併衛陳剛屯外戶等十八屯莊及沿河坍塌佔地畝濟陽縣恭約等約許家莊等四十九村莊及沙壓坍塌縣衛地畝禹城縣勸都里桂家莊等二村莊德州正東七保前徐莊等十四村莊東平東智來等保牛家樓等一百二十五村莊東阿縣白洋等村隄幫坑等三十五村莊並隄佔沙壓坍塌地畝陽信縣美化等鄉十里堡等三百五十四村莊霑化城南等里小王莊等七十六村莊蒲臺縣仁字等鄉朱泗皇莊等五十一村莊並隄佔壓水衝沙壓各地畝鄒縣安侯等社果莊等十四村莊荷澤縣甘露等社甘露集等七十村莊曹縣安仁等里安仁集

等七十三村莊鄒城縣管小莊等里及外境寄莊胡家坑等五十九村莊范縣南西等里胡家樓等二百七十村莊又龍北等里龍王莊等四十八村莊沂水縣孔家莊等六村莊登邑縣仁一里五里墩等七村莊博興縣東姑鄉梨園等社梨園莊等九十八村莊高苑縣南外東辛莊等八村莊樂安縣崇三等保石家等五十三村莊壽光縣仁義等鄉高陽村等五百村莊濰縣馬頭等社泊子莊等六十七村莊邱縣德三等里鎮東堡等四村莊金鄉縣古城等方楊家集等一百七十二村莊東昌衛坐落堂邑縣境內馬江化屯一屯莊濟甯衛坐落金鄉縣境內邱維翰一屯莊東平所王官屯等四屯莊又王貴屯等四屯莊德州衛坐落禹城縣境內左衛前所十羊屯等二屯莊官台場坐落壽光縣境內官臺莊等三十一村莊應徵光緒十六年上忙新賦漕倉河銀荒田馬場臨德等倉民佃鹽課蘆課學租地租鹽鈔窰地攤徵隄工河工等項同歷城齊河濟陽併衛錢糧又各衛場坐落濟甯禹

城德州東平東阿霑化鄒縣鄆城范縣堂邑博興  
高苑樂安壽光濰縣金鄉等處境內衛地寄莊窳  
課錢糧均緩至本年麥後啟徵其德州東昌臨清  
濟甯等四衛及東平所各屯莊永阜永利王家岡  
官臺等場窳地均隨同民田一律辦理又被水並  
沙壓成災之歷城縣崔化七等里于家莊等一百  
六十二村莊及併衛丁家屯一屯莊又崔化九等  
里大莊等十一村莊崔化四等里陳家莊等十村  
莊並坍塌隄佔沙壓按戶捕緩之崔化四等里趙  
家莊等一百三十八村莊又捕緩之併衛周官屯  
塌子屯二屯莊章邱縣正一等里大寨等七十六  
村莊又正三等里黃家莊等十七村莊正三等里  
張家莊等三十村莊正三等里幹劉莊等二十七  
村莊並沙壓隄佔坍塌各地故鄒平縣孫家鎮等  
一百十三村莊長山縣西北鄉勤謹等約東西唐  
口等十八村莊齊東縣方四等里在城等五十九  
村莊又齊一等里寄駕塚等一百七十一村莊方  
四等里經家莊等一百六十一村莊及隄佔沙壓  
坍塌之莒安鎮等一百九村莊齊河縣張村本街

等四百三十六村莊又併衛馬坊本屯等一百六  
十九屯莊濟陽縣第約等約東北關等四百二十  
村莊又知約等約寧家莊等三百七十村莊平約  
等約韓趙家莊等一百十五村莊及收併濟南衛  
屯莊地故禹城縣一都一里韓家廟等一百二十  
九村莊又一都五里孟家莊等四十村莊一都五  
里竇家莊等十四村莊並徒駭河隄壓地故臨邑  
縣清四等里馮家井等十六村莊又清二等里田  
家口等一百三十一村莊清三等里東賈官寨等  
三十三村莊清三等里里仁莊等八十二村莊宿  
五等里靳家莊等七十三村莊並隄壓地故長清  
縣相保等里陰河莊等一百十三村莊及衛擔屯  
等里耿積店等四十九村莊趙保等里西顧家道  
口等七村莊併衛苗屯里西龐莊等二村莊又趙  
保等里何家莊等三十九村莊併衛擔屯等里湯  
家莊等十四村莊及沿河坍塌隄佔壓沙壓之  
趙保等里李家潰等一百八十村莊併衛擔屯等  
里睦里莊等三十三村莊肥城縣孝山等社安道  
口等四十九村莊又孝山等社孝里鋪等六十七

村莊並坍塌隄佔沙壓地故又併衛雷屯一屯莊  
東平州東智來等保顧王莊等十六村莊並挑挖  
沮水引河淤灘沙壓地故東阿縣白洋等村楚家  
莊等一百八十一村莊平陰縣城西等里前阮二  
莊等四十八村莊又城西等里北土樓莊等十五  
村莊城西等里中土樓莊等十五村莊八里莊等  
里鄧家莊等三十村莊內沙壓地故又大義屯等  
里大義屯等七十二村莊內隄搶佔壓及坍塌地  
故惠民縣公字等約大灣莊等五百八村莊又八  
字等約河岸張家莊等一百八十一村莊並隄佔  
沙壓坍塌及佔壓地故青城縣馬札子家七十七  
村莊又崔家莊等五十四村莊畢家莊等四十二  
村莊並大隄佔空地故陽信縣歸德等鄉化家堡  
等二百十四村莊海豐縣毛王等堆毛王莊等九  
十村莊又蘇劉等堆蘇家莊等一百二十六村莊  
樂陵縣東路法字等約鄭家廟等十三村莊商河  
縣順一等鄉李美生莊等七十八村莊又聚三等  
鄉劉莊等一百四十二村莊聚一等鄉蔣莊等三  
百七十四村莊並徒駭河隄搶佔壓地故濱州東

南路十二保等保彭莊等六十七村莊又西路七  
保等保于莊等九十二村莊西路七保等保東石  
莊等二十六村莊內沙壓及被水地故東路一保  
等保早劉莊等一百四十一村莊東路十一等保  
時平莊等七村莊內增培縷隄取土掘毀地故又  
西路七保等保侯玉璽莊等八十九村莊內沙壓  
衝刷坍塌地故東路四保等保王蘭莊等二百五  
十村莊內增培隄搶佔壓地故東路三保等保鄭  
莊等一百十五村莊內沿河佔壓並河干地故利  
津縣東北等鄉小集等境崔家莊等六十一村莊  
又東鄉白家莊境白家莊等三十一村莊東鄉窩  
頭等境李家橋等六十六村莊並隄搶佔壓沙壓  
地故霑化縣六鋪等里西王莊等一百五十二村  
莊內沙壓地故又六鋪等里西關等九村莊內沙壓  
地故又火把張莊等九村莊沙壓地故並徒駭河  
南北兩岸坍塌地故之流鍾鎮等四十八村莊蒲  
台縣仁字等鄉馬家廟等一百八村莊及水衝沙  
壓取土溝塘各地故陽穀縣東西更名南舊五都  
等里雷家莊等二百八十六村莊及東七等都鐵



板橋徐家莊等四十二村莊又辛五等都張垆堆  
等十七村莊並挑挖運河佔壓地畝壽張縣王中  
等里西影堂等三百四十村莊又陽白等里子房  
墓等六十五村莊覃家等里萬家橋等二十八村  
莊鉅野縣龍垆等保奚家樓等十村莊鄆城縣管  
小村等里小吳莊等十二村莊濮州北舊城等里  
周家莊等一百四十三村及南關西等里李文早  
村等四百四十八村莊范縣民田等里郭家集等  
二十四村莊又南西等里榆林頭莊等四十三村  
朝城縣在二等里羅家樓等六村莊聊城縣北六  
上里耿家海等二十六村莊又棗窪等二十四村  
莊博興縣東姑等鄉東隅等社東關莊等九十六  
村莊又東姑等鄉辛安等社北辛安等四十三村  
莊高苑縣南三等約趙路莊等一百三村莊又南  
八等約信陶莊等六十九村莊南九等約花孫莊  
等五十七村莊西六等約南池涯莊等十二村莊  
內河佔壓地畝樂安縣崇一等保古河道等一  
百九村莊又崇一等保張家鋪等四十五村莊崇  
三等保盧家等四十五村莊濰縣馬頭等社神堂

莊等十九村莊又馬頭等社蔡家藍子莊等二十  
四村莊魚臺縣第方龔家莊等一百八十四村莊  
東昌衛坐落鄉城縣境內河西北屯等七屯莊又  
坐落范縣境內孟太屯六屯莊坐落濮州境內場  
宣屯等二十四屯莊濟甯衛坐落鉅野縣境內孫  
世臣一屯莊東平所顧王莊等四屯莊永阜場坐  
落蒲台縣等境內劉善人莊等三十二村莊及榆  
樹圪塔岔魚魚嶺等處趙積善等灘地永利場坐  
落雷化縣境內竈戶李莊等十村莊又張王莊等  
十四村莊魏家莊等九村莊王家岡場坐落樂安  
縣境內趙家嘴等二十六村莊坐落博興縣境內  
竈戶張等八村莊坐落高苑縣境內于家莊等三  
村莊坐落樂安縣境內王家岡等十五村莊坐落  
博興縣境內羊角橋等村莊應徵光緒十六年上  
忙新賦漕倉河銀荒田馬場臨德等倉民佃鹽課  
蘆課學租地租鹽鈔竈地灘徵隄工河工等項並  
歷城齊河濟陽長清肥城等處併衛錢糧齊東禹  
城東阿東平商河蒲台利津濱州惠民海豐雷化  
鉅野濮州范縣聊城高苑博興樂安濰縣魚台等

處各場衛坐落境內衛地寄莊竈課錢糧均著緩至本年秋後啟徵至德州東昌臨清濟甯四衛及東平所各屯莊永阜永利官台王家岡等場竈地均隨同坐落各州縣民田一律辦理以紓民力該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副朝廷始和布澤惠愛黎元至意該部即遵諭行欽此

王大臣年歲生日單

- 恭親王 年五十九歲十一月二十一日生日  
醇親王 年五十一歲九月二十一日生日  
禮親王 年四十八歲七月初一日生日  
睿親王 年二十七歲九月十二日生日  
鄭親王 年二十歲七月初八日生日  
豫親王 年四十五歲三月十七日生日  
肅親王 年五十一歲九月初三日生日  
莊親王 年三十八歲十二月二十六日生日  
怡親王 年六十四歲三月二十四日生日  
親王 年四十五歲二月十五日生日

- 順承郡王 年十歲五月初八日生日  
慶郡王 年五十三歲二月二十九日生日  
定郡王 年六十歲四月初八日生日  
郡王 年七十五歲十二月初三日生日

載漪 年三十五歲七月二十六日生日

載滢 年三十歲二月初一日生日

貝勒 年二十一歲十月十四日生日

貝勒 年四十一歲四月十一日生日

奉恩輔國公 年二十三歲二月二十四日生日

大學士 年六十八歲正月初五日生日

額勒和布 年六十五歲正月十二日生日

恩承 年七十一歲二月二十九日生日

張之萬 年八十歲七月初八日生日

協辦大學士 年五十七歲十月初五日生日

徐桐 年七十二歲四月初九日生日

尚書 年六十二歲三月十三日生日

翁同龢 年六十一歲四月二十七日生日

奎潤 年六十二歲三月初五日生日

李鴻藻 年七十一歲正月初一日生日

烏拉喜崇阿年六十二歲二月二十七日生日

許庚身年六十六歲六月十四日生日

嵩申年五十歲八月初七日生日

孫毓汶年五十七歲六月二十日生日

崑岡年五十五歲四月初九日生日

潘祖蔭年六十一歲十月初六日生日

松森年六十五歲十一月十五日生日

都察院左都御史熙敬年五十五歲八月初八日生日

祁世長年六十六歲六月二十九日生日

都統德福年四十七歲三月初八日生日

定安年歲生日未據查覆

札拉豐阿年五十歲十二月二十八日生日

榮祿年五十五歲二月二十二日生日

那爾蘇年三十六歲四月初二日生日

伯彥納謨祜年五十五歲正月初十日生日

署都統果勒敏年五十五歲十二月二十二日生日

總督曾國荃年六十七歲八月二十日生日

卞寶第年六十七歲十一月初九日生日

張之洞年五十三歲八月初三日生日

楊昌濬年六十四歲九月初九日生日

劉秉璋年六十五歲四月十四日生日

李瀚章年七十歲七月二十七日生日

王文韶年歲生日未據查覆

將軍裕祿年五十一歲十月十一日生日

長順年六十歲九月二十八日生日

依克唐阿年歲生日未據查覆

尚宗瑞年七十一歲五月初十日生日

豐紳年歲生日未據查覆

祥亨年歲生日未據查覆

繼格年六十四歲十月二十四日生日

鍾泰年歲生日未據查覆

希元年四十八歲七月初四日生日

歧元年六十二歲十一月二十三日生日

克蒙額年七十三歲十月初八日生日

吉和年歲生日未據查覆

色楞額年歲生日未據查覆

托克滿年歲生日未據查覆

熱河都統謙禧年六十一歲七月二十八日生日

察哈爾都統奎斌 年歲生日未據查覆  
致仕大學士寶璽 年八十四歲十二月二十八日生日

9  
醇親王年歲生日單

醇親王 年五十一歲九月二十一日生日

王大臣年歲生日單

恭親王 年五十九歲十一月二十一日生日

禮親王世鐸 年四十八歲七月初一日生日

睿親王魁斌 年二十七歲九月十二日生日

鄭親王凱泰 年二十歲七月初八日生日

豫親王本格 年四十五歲三月十七日生日

肅親王隆勳 年五十一歲九月初三日生日

莊親王載勳 年三十八歲十二月二十六日生日

怡親王載敦 年六十四歲三月二十四日生日

親王銜克勤郡王晉祺 年四十五歲二月十五日生日

順承郡王訥勒赫 年十歲五月初八日生日

慶郡王奕劻 年五十三歲二月二十九日生日

定郡王溥煦 年六十歲四月初八日生日

郡王銜貝勒奕綱 年七十五歲十二月初三日生日  
載漪 年三十五歲七月二十六日生日  
載滢 年三十歲二月初一日生日  
貝勒載澍 年二十一歲十月十四日生日  
貝勒銜貝子奕謨 年四十一歲四月十一日生日  
奉恩輔國公載澤 年二十三歲二月二十四日生日  
大學士李鴻章 年六十八歲正月初五日生日  
額勒和布 年六十五歲正月十二日生日  
恩承 年七十一歲二月二十九日生日  
張之萬 年八十歲七月初八日生日

協辦大學士福錕 年五十七歲十月初五日生日

徐桐 年七十二歲四月初九日生日

尚書麟書 年六十二歲三月十三日生日

翁同龢 年六十一歲四月二十七日生日

奎潤 年六十二歲三月初五日生日

李鴻藻 年七十一歲正月初一日生日

烏拉喜崇阿 年六十二歲二月二十七日生日

許庚身 年六十六歲六月十四日生日

嵩申 年五十五歲八月初七日生日

孫毓汶 年五十七歲六月二十日生日

崑岡 年五十五歲四月初九日生日

潘祖蔭 年六十一歲十月初六日生日

松森 年六十五歲十一月十五日生日

都察院左都御史熙敬 年五十五歲八月初八日生日

祁世長 年六十六歲六月二十九日生日

都統德福 年四十七歲二月初八日生日

定安 年歲生日未據查覆

札拉豐阿 年五十歲十二月二十八日生日

榮祿 年五十五歲二月二十二日生日

那爾蘇 年三十六歲四月初二日生日

伯彥訥謨祜 年五十五歲正月初十日生日

署都統果勒敏 年五十五歲十二月二十二日生日

總督曾國荃 年六十七歲八月二十日生日

卞寶第 年六十七歲十一月初九日生日

張之洞 年五十三歲八月初三日生日

楊昌濬 年六十四歲九月初九日生日

劉秉璋 年六十五歲四月十四日生日

李瀚章 年七十歲七月二十七日生日

王文韶 年歲生日未據查覆

將軍裕祿 年五十一歲十月十一日生日

長順 年六十歲九月二十八日生日

依克唐阿 年歲生日未據查覆

尚宗瑞 年七十一歲五月初十日生日

豐紳 年歲生日未據查覆

祥亨 年歲生日未據查覆

繼格 年六十四歲十月二十四日生日

鍾泰 年歲生日未據查覆

希元 年四十八歲七月初四日生日

岐元 年六十二歲十一月二十三日生日

克蒙額 年七十三歲十月初八日生日

吉和 年歲生日未據查覆

色楞額 年歲生日未據查覆

托克滿 年歲生日未據查覆

熱河都統謙禧 年六十一歲七月二十八日生日

察哈爾都統奎斌 年歲生日未據查覆

致仕大學士寶鋆 年八十四歲十二月二十八日生日

11 軍機大臣 字寄

成都將軍岐 四川總督劉 駐藏大臣長

幫辦大臣升 光緒十六年正月初五日奉

上諭前據升奏奏瞻對吳魯瑪番民勾結野番謀叛  
西藏並圍困官寨肆行焚掠等情當諭令劉秉璋  
等派兵鎮撫設法解散並將辦理不善之戴球青  
饒策批革職查辦茲據長庚奏報瞻番滋事情形  
與升奏前奏大略相同該番首得登工布等膽敢  
糾眾煽亂亟應查明為首各犯拏懲治著岐元  
劉秉璋會商長庚督飭派出員弁相機妥辦並著  
仍遵前旨嚴飭商上遊派委員前往解散費從設  
法撫輯其番目人等不在滋事之列者俱令各安  
職業毋得妄行附和自干罪戾此案總期妥速辦竣  
毋任蔓延勾結貽誤邊疆所有該番官舊行一切  
苛虐之政悉予裁革以蘇民困其徭賦章程應如  
何覈減之處著長庚升奏體察情形妥籌辦理原  
摺著鈔給岐元劉秉璋升奏閱看將此由五百里  
各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

12 光緒十六年正月初五日內閣奉

上諭曾國荃剛毅奏查明各屬災歉情形請分別蠲  
緩錢漕開單呈覽一摺江蘇蘇州松江常州等府  
屬上年立秋以後天氣亢旱嗣復大雨連旬河湖  
並漲田禾被淹致成災歉若將應徵錢漕照常徵  
收民力實有未逮加恩著照所請所有長洲元和  
吳縣吳江常熟昭文崑山新陽太湖婁縣金山青  
浦無錫宜興荆溪靖江丹徒丹陽太倉鎮洋等二  
十州廳縣上年被水淹沒無收災田同長洲元和  
吳縣吳江震澤常熟昭文崑山新陽婁縣金山青  
浦武進陽湖無錫金匱江陰宜興荆溪丹徒丹陽  
金壇溧陽太倉鎮洋等二十五州縣拋荒未種太  
湖華亭二廳縣荒廢古墓屋基元和吳江常熟昭  
文新陽宜興荆溪丹徒丹陽溧陽等十縣屆徵十  
二年新穀並長洲縣十一十二年及太倉州五  
年鎮洋縣五六年新穀元和吳江震澤崑山新陽  
金壇太倉等七州縣節年復荒長洲元和吳縣常  
熟崑山等五縣歷年歉薄昭文縣低平區歉田常  
熟縣十四年被旱未種各田銀米長洲元和吳縣

常熟昭文崑山等六縣通境高低各區歉熟各田  
漕米金匱陽湖二縣被淹歉收各田漕米並下忙  
條銀無錫縣被淹歉收及崑山新陽二縣蘆價田  
條銀靖江縣被淹無收蘆田課銀著全行蠲免華  
亭縣被歉稍輕之葉榭華陽等莊各保圖條銀武  
進縣原復熟及屆徵新墾田漕米並下忙條銀著  
減免四釐婁縣原復熟及屆徵新墾同荆溪縣山  
鄉高平區原熟及十四年被旱復熟田銀米青浦  
縣原復熟及屆徵新墾丹陽縣原熟及十四年被  
旱復熟並十一年新墾丹徒縣原復熟漕屯各田  
漕米無錫縣原熟同屆徵新墾田條銀金匱縣原  
復熟及屆徵新墾田下忙條銀著減免五釐江陰  
縣高平各鄉雲亭等二十二鎮原復熟及屆徵新  
墾各田銀米同華亭縣次歉之前港梵修等莊各  
保圖田條銀著減免六釐奉賢縣西鄉南北十二  
三保各圖次歉田銀米常熟縣高區原復熟田條  
銀著減免七釐婁縣三十七八等保各圖次歉田  
銀米著減免八釐華亭縣南北鄉沙積太平等莊  
各保圖奉賢縣東鄉南北十四五保各圖婁縣四

十三保各圖坐落天馬山鎮之西低區被歉較重  
田畝同金山金壇二縣並江陰縣低鄉申港等十  
八鎮原復熟及屆徵新墾並荆溪縣平區被歉各  
田銀米宜興縣原熟及十四年被旱復熟田漕米  
並下忙條銀婁縣被歉稍輕之三十五保各圖坐  
落七寶一帶折糧田丹陽縣原熟田條銀及蘆課  
銀兩著減免一成吳縣原復熟及屆徵新墾田條  
銀並洞庭西山各圖勘不成災茶桑山地銀米著  
減免一成二釐長洲元和二縣高區原復熟崑山  
縣原熟及屆徵新墾常熟縣平區原熟各田條銀  
著減免一成五釐新陽縣原復熟並川沙廳額田  
上海縣次歉之二十三四等保各圖南匯縣次歉  
之西鄉十六等保各圖及太湖廳被水次歉各田  
銀米武進縣被淹歉收田漕米並下忙條銀昭文  
縣高區原熟田條銀著減免二成上海縣十六等  
保各圖南匯縣東南北三鄉十七等保各圖被歉  
較重各田同嘉定縣熟田寶山縣額田銀米南匯  
縣蘆田課銀著減免二成五釐青浦縣四十一二  
等保各圖低區被歉稻田銀米常熟縣低區次歉

田條銀著減免三成吳江縣原復熟薄收田銀米  
昭文縣平區次歉田條銀著減免四成青浦縣三  
十一等保各圖低區被歉棉田銀米丹徒縣原復  
熟漕屯各田及長洲元和二縣中平區被水次歉  
田條銀著減免四成五釐吳縣被水次歉田條銀  
武進縣次歉灘田下忙條銀著減免五成太倉州  
原熟及屆徵新墾各田坐落十五都全圖十六都  
三四圖二十一都一二上三下三四圖二十六都  
五上六下六七八圖二十七都全圖二十八都全  
圖二十九都一二六上七下七八圖銀米著減免  
一成八釐七都全圖十一都一二三四六八圖二  
十四都五六圖二十五都三四圖二十六都上一  
下一二三上四下四圖十二都二上三下三上四  
下四圖二十九都三上四下四五圖十六都一圖  
銀米著減免二成三釐東一都全圖十三都二三  
五上六下六七八圖二十五都上一下一圖銀米  
著減免三成二釐六都全圖中六都全圖十一都  
五上七下七元五元六圖二十四都上七下七上  
八下八元五元九元十圖銀米著減免四成十二

都二圖十六都上一二圖條銀著減免五成漕米著  
減免四成五釐十三都一圖十六都下二圖條銀  
著減免五成漕米著減免五成八釐鎮洋縣原熟  
及屆徵新墾各田坐落四都一二三四圖七都全  
圖九都五六七八圖二十二都全圖二十五都二  
圖銀米著減免一成七釐東一都上三下三圖二  
都全圖三都全圖四都五六七八圖五都全圖八  
都五六七八圖九都一二三四圖十都全圖十三  
都上四下四圖二十三都全圖銀米著減免二成  
五釐西一都一二三四圖八都一二三四圖十二  
都上六圖十四都四圖十九都全圖二十都全圖  
二十一都全圖十二都五七八圖十四都一二三  
五上六下六七八圖銀米著減免三成十七都上  
一上二正二上四正四上七正七下七圖十八都  
東二西二上三正三下三上四正四下四圖十七  
都下一下二三四五六八圖十八都一圖銀米  
著減免四成西一都零圖十二都下六圖銀米著  
減免四成四釐又震澤縣境轄田地除拋荒未墾  
及節年復荒等項不計外實在坐落各鄉四五等



都各圖已墾原熟等田又二七兩都各圖被淹無收蘆蕩係全境被災應徵銀米著照例蠲免七成又太湖廳境轄田蕩除荒廢屋基及上年被淹無收成十分田地別歸銀米全蠲外實在坐落各鄉二十九都二十八都二十六都三十都三十六都各圖被水次歉田地山蕩又吳江縣境轄田地除拋荒未墾及上年被淹無收成十分田地別歸銀米全蠲外實在坐落東鄉同里蘆墟角十二等都各圖原復熟薄收田又新陽縣境轄田蕩除拋荒未墾及上年被淹無收成十分田地蕩別歸銀米全蠲外實在坐落北鄉極低之辰月列辰四區各圖勘不成災田又東北等鄉荒日等字區各圖原復熟各田又吳縣境轄田地除拋荒未墾及上年被淹無收成十分田地別歸銀米全蠲外其在坐落洞庭西山三十二三十三三十四三十五三十七三十八等都各圖被水勘不成災茶桑山地該陸項田地應徵減贖銀米著照定例成災縣分之成熟鄉莊概予停徵震澤縣成災十分之原熟等田蠲贖三成太湖廳被水次歉田地減贖八成

並吳縣洞庭山地除減應徵八成八釐及新陽縣原復熟各田除減應徵八成連同坐落北鄉辰月等區低田被水勘不成災田地及吳江縣原復熟薄收田除減應徵六成各田銀米暨宜興丹陽二縣十四年被旱復熟及丹陽縣十一年新墾各田上忙條銀荆溪縣十四年被旱復熟田畝除減應完上忙條銀溧陽縣被淹歉田漕米並下忙條銀又崑山縣原熟及屆徵新墾各田除減再緩二成條銀丹陽縣蘆田除減再緩一成課銀均著緩至本年秋成後察看徵辦至各該縣被水無收災田著一概別歸銀米全蠲免予分等蠲緩其長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭文崑山新陽太湖婁縣金山青浦陽湖無錫金匱宜興荆溪靖江丹徒丹陽溧陽太倉鎮洋等二十四廳州縣上年被淹無收災歉田地應徵本年上忙條銀並著緩至本年秋後併徵所有長洲等各州縣減成項下應徵十五年地漕鹽課正雜正耗同蘆課學租歸公官租等銀以及漕南行贈局恤等項米豆均著按分蠲減至蘇州太倉鎮海金山等四衛幫屯田錢糧各照

坐落地方民田分別蠲減又鎮江屯田坐落各州縣錢糧查照民田蠲減秦州酌徵五成秦州酌徵三成甘肅酌徵一成丹陽酌徵二成六釐此外徵贖錢糧同常熟縣上年被歉及原緩十四年數收蘆田課銀均著展緩一年至各屬舊欠項下除光緒六年起至十三年錢糧業經蠲免外所有坐落上年歉區之十四年已歷奏銷民欠各款均著緩至本年秋後酌量帶徵其上年因災蠲減錢糧如上忙已經完納者即將應減分數於下忙錢糧內扣除或上下兩忙均已全完其溢完銀兩准其流抵本年新賦以紓民力該督撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

13 光緒十六年正月初五日內閣奉

上諭長庚奏請調員差委等語記名副都統正藍旗護軍參領英裕候選同知嚴金清著伊犁將軍江蘇巡撫即飭該二員前赴西藏交長庚差遣委用

新疆候補州同錢宗彝著准其留藏差委該部知道欽此

14 據福建台灣巡撫劉銘傳咨稱准兵部火票遞

到光緒十五年十月二十日軍機處交發夾板

一副當即拆封夾板內係

大婚恩詔滿漢文各一紙並無

批摺是否封發錯誤合行咨查等因前來查該撫上

年十月二十日奏到摺片單八件均經奉有

硃批內奏報辦番社情形摺欽奉寄信

諭旨一道當經該班章京逐件點清於包封上粘貼

印花將原夾板交兵部由五百里遞發並無錯

誤茲據該撫咨稱各節其中顯有私拆更換情

弊相應請

旨飭下兵部按站詳查並令該撫將此件發回摺報

究係何處私拆更換確切查明從嚴懲辦至該

撫各摺件所奉

硃批暨寄信

諭旨一道擬請一併鈔錄知照該撫欽遵恭候

命下分別行和辦理謹

奏

光緒十六年正月初五日奉

旨依議欽此

15 辦理軍機處為咨行事准

貴撫咨稱光緒十五年十一月十七日准兵部

十月二十日火票遞到軍機處交發夾板壹副

當即拆封夾板內係

大婚恩詔滿漢文各一紙並無

批摺是否封發錯誤合行咨查等因前來查本處於

上年十月二十日發回

貴撫摺報夾板壹副內有

硃批摺片七件共三封並寄信

諭旨一道逐件檢點清楚毫無舛錯封貼印花將原

夾板交兵部由五百里發回茲准

貴撫咨稱各節其中顯有私拆更換情弊亟應

嚴切查究現經本處奏明由兵部按站詳查並由

貴撫確查辦理奉

旨依議欽此相應恭錄上年十月二十日寄信

諭旨一道並將

貴撫具奏摺片單各件是日所奉

硃批暨本處此次奏片一件一併鈔送

貴撫查照可也須至咨者

右

咨

福建臺灣巡撫劉

光緒十六年正月初五日

16 光緒十六年正月初六日內閣奉

上諭木格奏假期屆滿病仍未痊懇開差使並請停

俸一摺據親王本格著准其開去一切差使加恩

賞食半俸一俟痊愈即行銷假當差欽此

17 同治八年九月十六日內閣奉

上諭華豐奏病難速痊懇請開缺一摺肅親王華豐

前因體疾未痊賞假調理茲據奏請假期已滿病

勢增劇情詞懇摯未忍拂其所請華豐著准開一

切差使加恩毋庸停俸俾得安心調理一俟病體

痊愈再行銷假當差欽此

18 同治八年十二月初一日內閣奉

上諭定郡王溥煦奏病難速痊請開差使俸支王俸一摺溥煦著准其開去差使仍加恩賞給半俸以示體恤欽此

19 光緒二年三月初二日內閣奉

上諭溥煦奏舊疾未痊懇請停俸一摺溥煦著加恩賞給全俸安心調理欽此

20 光緒十六年正月初七日內閣奉

上諭張之洞奏總兵丁憂開缺請旨簡放一摺湖北宜昌鎮總兵羅縉紳茲任多年熟悉地方情形統帶勇船素稱得力著改為署任以重職守欽此

21 查湖北宜昌鎮總兵係陸路兼水師缺謹

奏

22 光緒十六年正月初七日奉

旨准其豁免餘依議欽此

戶部奏遵議依克唐阿等奏被災各屬請恩該免豁免前借銀兩等摺

23 應放宗人府左宗正名單

睿親王魁斌

鄭親王凱泰

莊親王載勛

怡親王載敦

克勤郡王晉祺

廣郡王奕劻

貝勒奕細

載濂

載漪

載澄

載澍

貝子奕謨 宗人府右宗人

毓楠

鎮國公載遷

溥芸

榮毓

輔國公榮頤

載卓

載帛

載澤

軍機大臣字寄

閩浙總督卞 福建臺灣巡撫劉 督辦船政

事宜光祿寺卿裴 光緒十六年正月初八日奉

上諭兵部奏驛站擅拆夾板請旨飭查究辦一摺據

稱本年正月初四日接到裴蔭森於上年十二月

十三日拜發夾板一副奏摺公文均已無存前於

光緒十四年九月十一月間揚昌濬兩次奏報摺

件均經拆毀盜去該部奏明飭查僅據浙江咨報

並無拆動情形福建省迄今一年之久並未查明

報部且他省奏報並無似此情形獨福建省驛站

屢屢擅拆實屬目無法紀請飭查參等語昨據劉

銘傳咨報兵部發回夾板僅有大婚恩詔滿漢文

各一紙並無批摺當令該部詳查並著該撫確切

查辦茲據該部所奏復有此等情事殊堪詫異驛

站遞送摺報膽敢屢次擅拆夾板盜換摺件若不

確切查明從嚴懲辦何以肅郵政而儆效尤著卞

寶第劉銘傳飭屬認真挨站嚴查究係何處私拆

更換限四箇月覆奏毋許延宕裴蔭森此次所奏

摺件並著該京卿迅速補奏兵部原摺均著鈔給

閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交兵部

25 光緒十六年正月初八日內閣奉

上諭宗人府左宗正著慶郡王奕劻調補貝勒奕綱

著補授宗人府右宗正欽此

26 光緒十六年正月初八日內閣奉

上諭邵友濂代奏劉錦棠港陳祖母病狀懇恩開缺

終養一摺覽奏情詞悱惻出於至誠朝廷良深憫

念惟新疆事務重要該撫久膺邊寄威望素孚一

時實難遽易生手劉錦棠著毋庸開缺再賞假四

箇月並加恩賞給伊祖母人後八兩以資頤養該  
撫其善求醫藥盡心調治一俟親疾就痊即行馳  
回本任用副朕眷念西陲優加倚任至意欽此

27 滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

即選知府工部郎中文明

四品銜刑部員外郎桂春

四品銜儘先即選知府吏部郎中保謙

戶部員外郎和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院即補郎中志樸

兵部候補員外郎惠兆

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王倣

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

五品銜刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班

四品銜通政使司參議堃岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部主事即補員外郎延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部即補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳蒂棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外部 記名御史馮錫仁

員外部銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李蔭鑾

28 光緒十六年正月十一日內閣奉

上諭吏部奏遵議處分一摺江西布政使方汝翼應得革任處分浙江布政使許應傑應得降一級調用處分均著加恩改為降二級留任仍著江西浙江巡撫督飭各該藩司將欠解銅本銀兩懍遵前旨依限如數解清毋再遲延干咎欽此

29 光緒十六年正月十四日內閣奉

上諭那爾蘇奏假期屆滿病仍未痊懇請開去鑲紅旗蒙古都統一摺那爾蘇著再賞假兩箇月調理毋庸開去都統差使欽此

30 光緒十六年正月十四日奉

旨著撤去帳殿一座添搭平列蒙古包二座於帳殿

之次欽此

武備院奏呈進安營式樣摺

31 光緒十六年正月十八日內閣奉

上諭定安等奏查勘

福陵東西配殿等處應修工程請擇吉興修一摺著欽天監於本年二三月內選擇吉期先行知照即著盛京將軍會同工部侍郎屆期敬謹興修欽此

32 光緒十六年正月十八日奉

旨依議欽此

會典館奏查辦公銀兩請將奏復文刑部咨摺摺

33 據總理各國事務衙門送到王文韶電信一件

照錄呈

覽謹

奏

正月十八日

34 光緒十六年正月十九日內閣奉

上諭陝西延綏鎮總兵員缺著蔣雲龍補授欽此

35 查陝西延綏鎮總兵湖北鄖陽鎮總兵均係陸

路缺謹

奏

36 光緒十六年正月十九日內閣奉

上諭湖北鄖陽鎮總兵員缺著高會補授欽此

37 軍機大臣字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 兩江總督

一等威毅伯曾 山東巡撫張 光緒十六年

正月二十二日奉

上諭內務府奏恭備要差懇飭催欠款一摺本年閏

二月朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后祇謁

東陵該衙門差務繁多需款甚急據稱庫款無儲難以

籌措兩淮應交帑利銀兩久未交納長蘆山東亦

積欠甚鉅即著曾國荃籌解銀二十萬兩李鴻章

張曜各籌解銀十萬兩均無論何款先行籌撥匪

解於二月內如數解到毋稍遲延原摺均著鈔給

閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交內務府

38 光緒十六年正月二十二日內閣奉

上諭福銀等奏要差需款請飭兩淮迅撥銀兩一摺

兩淮應解步軍統領衙門利銀歷年拖欠至五十

九萬餘兩之多本年閏二月內朕恭奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后祇謁

東陵所有隨扈官兵口分及各旗營修墊道路需款甚

鉅著兩江總督嚴飭兩淮鹽運司即於前欠利銀

內先行籌撥銀四五萬兩批解步軍統領衙門以應

要需儘該運司一時難於籌解即由該督於藩庫

內無論何款迅即籌墊限二月內如數解到仍由

該運司籌解藩庫歸款勿稍遲誤欽此



39 光緒十六年正月二十二日內閣奉

上諭本年朕二旬萬壽慶典宏開

莊順皇貴妃母家三代允宜特示推崇以光盛典  
原任巴里坤鎮總兵凝德原任通判百祿原任筆  
帖式靈壽均著加恩追贈一品封典靈壽之繼子  
筆帖式廷惠著加恩賞給騎都尉世襲罔替用昭  
隆禮欽此

黃面紅裏火片

40 莊順皇貴妃母家 賞給三代一品封典

廷惠 賞給騎都尉世襲罔替

41 光緒十六年正月二十二日內閣奉

上諭吳大澂奏母病甚重懇恩賞假回籍省親一摺  
吳大澂著賞假一箇月准其回籍省親一俟假滿  
即行回任河東河道總督著倪文蔚暫行兼署  
欽此

42 光緒十六年正月二十三日內閣奉

上諭游智開奏甄別屬吏一摺廣東候補知府王秉  
恩把持各局藉勢營私試用通判署南海縣知縣  
王存善鑽營罔利行同市儈候補通判魏恆背義  
牟利巧於飾非候補通判鄧肇南行止卑汙同僚  
不齒候補鹽經歷陳寶昉心地糊塗試用從九品  
周廷楨形同無賴均著即行革職以肅官方該部  
知道欽此

43 光緒十六年正月二十四日內閣奉

上諭直隸承德府知府員缺著啟紹補授欽此

44 查直隸承德府知府係衝繁難要缺謹

奏

45 光緒十六年正月二十四日內閣奉

上諭英廉奏循案請撥款項一摺據稱現在恭備要  
差籌備庫存款不敷請由直隸藩庫撥銀一萬二  
千兩迅即委解等語著直隸總督飭司照案撥給  
以應要需欽此

46 光緒十六年正月二十四日內閣奉

上諭溥齡等奏請飭撥款項一摺據稱現在恭辦要差永濟庫無款可籌請由直隸藩庫撥銀一萬五千兩於二月十五日以前委解等語著直隸總督飭司如數撥給以應要需欽此

47 光緒十六年正月二十四日奉

旨例貢及慶賀方物均著賞收其謝恩貢物著留抵下次正貢欽此

禮部奏例貢物著賞收其謝恩貢物著留抵下次正貢

48 本年

萬壽大慶

恩詔條款

一五嶽四瀆等祀應遣官致祭著察例舉行

一歷代帝王陵寢先師孔子闕里應遣官致祭

著察例舉行

一自王以下至八分公俱加紀錄四次

一宗室覺羅俱賞養贍銀一月

一滿漢大臣年六十以上者俱加紀錄二次

一內外滿漢文武各官俱加一級

一內外大小各官除各以現在品級已得封贈

外凡升級及改任者著照新銜封贈

一國子監貢監生及各官學教習免坐監期一月

一各省儒學以正貢作恩貢以次貢作歲貢

一滿漢孝子順孫義夫節婦該管官細加諮訪

確具事實奏交禮部覈實旌表

一八旗滿洲蒙古漢軍兵丁及內札薩克喀爾喀

等蒙古年七十八十九十以上者分別賞資

至百歲者題明旌表

一軍民年七十以上者許一丁侍養免其雜派

差役八十以上者給與絹一疋綿一斤米一

石肉十斤九十以上者倍之至百歲者題明

旌表

一直省有坍沒田地其虛糧仍相沿追納者該

地方官查明咨部奏請豁免

一從前各省偏災地方所有借給貧民籽種口

糧牛具等項查明實係力不能完者著予豁免

一各處養濟院所有鰥寡孤獨及殘疾無告之人有司留心以時養贍毋致失所

一內外官員有因公註誤降革留任者該部查明奏請開復

一旗綠各營兵丁等俱賞半箇月錢糧

一太監等俱賞一箇月錢糧

一各省軍流以下人犯俱著減等發落

一各省監禁人犯著將上年秋朝審緩決至三次各犯仍照節次查辦之例查明所犯情節

分別減等發落其緩決一二次人犯內有案情本輕可予矜原者亦著該部查明請旨定奪

49 光緒十六年正月二十五日內閣奉

上諭福建布政使著廖壽豐補授欽此

50 直隸布政使裕長 滿洲正白旗監生 光緒十五年七月補

江蘇布政使黃彭年 貴州進士 光緒十三年十一月補

江甯布政使許振禕 江西進士 光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗監生 光緒十二年八月補

山東布政使王毓藻 湖北進士 光緒十四年四月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十五年十月補

河南布政使劉瑞祺 江西進士 光緒十二年七月補

陝西布政使陶模 浙江進士 光緒十四年三月補

甘肅布政使張岳年 浙江舉人 光緒十五年十二月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補 甘肅海防副將新補

浙江布政使許應鏞 廣東進士 光緒十年十月補 降二級留任

福建布政使張夢元 直隸舉人 光緒九年九月補 廣西藩司調補福建 現在患病

福建臺灣布政使蒯德標 安徽舉人 光緒九年正月補 湖廣藩司調補臺灣 降二級留任

江西布政使方汝翼 直隸舉人 光緒十四年十月補 革職留任

湖北布政使鄧華熙 廣東舉人 光緒十五年六月補

湖南布政使何樞 河南進士原籍浙江 光緒十五年十二月補

廣東布政使游智開 湖南舉人 光緒十四年十月補

廣西布政使張聯桂 江蘇附生 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲鑲藍旗舉人 光緒十二年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生 光緒十三年十月補 貴州藩司調雲南

貴州布政使王德榜 湖南監生 光緒十五年十月補

直隸按察使周頤 安徽監生 光緒十四年三月補

江蘇按察使劉樹堂 雲南監生 光緒十五年四月補

安徽按察使嵩崑 滿洲鑲紅旗監生 光緒十二年二月補 山東曹州府調安徽

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒十二年八月補 湖北臬司調山東

山西按察使潘駿文 安徽原貢生 光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東監生 光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十月補 甘肅臬司調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鑲白旗進士 光緒十四年九月補 陝西臬司調甘肅

浙江按察使廖壽豐 江蘇進士 光緒十三年九月補 貴州臬司調浙江

福建按察使徐文達 安徽人 光緒十五年十月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十二年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補 山東臬司調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補 浙江臬司調廣東

廣西按察使秦煥 江蘇進士 光緒十五年八月補

四川按察使德壽 漢軍鑲黃旗總管生員 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使田國俊 山西進士 光緒十五年三月補

52 光緒十六年正月二十五日內閣奉

上諭李鴻章奏福建布政使張夢元病難速痊呈請開缺據情代奏一摺張夢元著准其開缺欽此

53 光緒十六年正月二十五日內閣奉

上諭吏部奏知府例應迴避開單請旨簡員對調一摺直隸大名府知府著陳啟泰調補國鈞著調補山西大同府知府欽此

54 光緒十六年正月二十五日內閣奉

上諭吏部奏知府例應迴避開單請旨簡員對調一摺湖南永順府知府著吳澍霖調補張曾敬著調補廣東肇慶府知府欽此

55 光緒十六年正月二十五日內閣奉

上諭兵部奏請飭催租銀一摺直隸各州縣應解兵部馬館地租生息銀兩積欠甚多本年閏二月朕

恭奉 慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后祇謁

殊。

東陵該部恭備要差應付車馬繁多需款孔亟著直隸  
總督飭令藩司無論何款即行設法將歷年積欠  
租銀二萬一千餘兩及本年應解租銀四千八百  
餘兩限於二月十五日以前如數解齊毋稍遲延  
嗣後務須年清年款不得再有拖欠欽此

56 交內閣軍機大臣面奉

諭旨本月二十六日進內人員均著穿蟒袍補服一

日欽此相應傳知

貴衙門希即迅速轉傳可也此交

正月二十五日

57 光緒十六年正月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇親  
王奕譞賢親首著懋建勳猷歷年以來凡遇軍國重  
務規畫精詳運籌宏遠而王德望愈隆謙光愈著矢  
誠矢敬盛美不居深宮嘉悅之餘倍殷垂眷本年皇帝  
二旬萬壽宏開慶典允宜特沛殊榮著加恩於照例  
甲數外賞添護軍十五分藍甲二十分白甲三十分

伊子頭品頂戴載濤著賞給二等鎮國將軍以示優  
異欽此

黃面紅裏大片

58 光緒十六年正月二十六日內閣奉

上諭本年朕二旬慶辰特錫恩綸延慶中外因念推  
恩之序首重懿親恭親王著於照例甲數外賞添  
護軍十五分藍甲二十分紅甲三十分慶郡王奕  
劬之子載摯著賞給頭品頂戴貝勒奕綱著免其  
值班貝勒載濂著賞銀一千兩貝勒載漪之子溥  
儀載滢之子溥偉均著賞給頭品頂戴貝勒載澍  
著賞銀一千兩載潤著賞銀五百兩貝子奕謨著  
賞穿帶膝貂褂溥倫著賞銀五百兩毓楠著挑在  
乾清門行走輔國公載澤不入八分輔國公載澗  
鎮國將軍載瀛載津著各賞銀一千兩鎮國將軍  
溥侗載濟著各賞銀五百兩用示朕篤念宗支數  
仁錫類至意欽此

黃面紅裏大片

59 光緒十六年正月二十六日內閣奉

上諭本年朕二旬慶辰宣諭錫羨閩澤軍敷內廷王大臣等夙夜在公忠勤懋著自應渥沛恩榮用彰慶典博多勒噶台親王伯彥訥謨祜著賞穿四正龍袪親王銜克勤郡王晉祺著賞穿帶膝貂袪禮親王世鐸著交宗人府從優議敘大學士額勒和布張之萬兵部尚書許庚身刑部尚書孫毓汶均著交部從優議敘科爾沁圖什業圖親王巴寶多爾濟科爾沁卓哩克圖親王濟克登旺庫爾喀拉沁親王銜都楞郡王旺都特那木濟勒均著賞穿帶膝貂袪用示朕行慶推恩優禮重臣至意欽此

黃面紅裏大片

60 光緒十六年正月二十六日內閣奉

上諭本年朕二旬慶辰恩施疊沛因念各省文武大臣有卓著勳勞久膺重寄者允宜優加獎敘大學士直隸總督李鴻章兩江總督曾國荃山東巡撫張曜著該部查明各該大君子弟具奏候旨施恩福建臺灣巡撫劉銘傳著賞加兵部尚書銜甘肅

新疆巡撫劉錦棠著賞加太子太保銜督辦東三省練兵事宜正白旗漢軍都統定安雲南提督馮子材均著交部從優議敘四川提督宋慶長江水師提督李成謀陝西提督雷正綰廣西提督蘇元春均著賞加太子少保銜用示朕慶賞酬庸優眷勳勤至意欽此

黃面紅裏大片

61 光緒十六年正月二十六日內閣奉

上諭本年朕二旬萬壽王公百官仍著穿蟒袍補服七日欽此

黃面紅裏大片

62 光緒十六年正月二十六日內閣奉

上諭本年朕二旬萬壽著毋庸舉行告祭禮所有升殿禮儀著停止欽此

黃面紅裏大片

63 光緒十六年正月二十六日內閣奉

上諭本年朕二旬萬壽各省督撫及將軍提鎮等俱

不准奏請來京祝嘏欽此

黃面紅裏大片

64 光緒十六年正月二十六日內閣奉

上諭本年秋審朝審情實各犯著停止勾決欽此

黃面紅裏大片

65 光緒十六年正月二十六日內閣奉

上諭浙江按察使著龔照瑗補授欽此

66

直隸按察使周馥 安徽監生 光緒十四年三月補

江蘇按察使劉樹堂 雲南監生 光緒十五年四月補

安徽按察使嵩崑 滿洲紅旗監生 光緒十五年三月補 山西集司副調安徽

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒十五年八月補 湖北集司副調山東

山西按察使潘駿文 安徽廬黃生 光緒十五年二月補

河南按察使賈致恩 山東廬生 光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十月補 甘肅集司副調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鑲白旗進士 光緒十四年九月補 陝西集司副調甘肅

福建按察使徐文遠 安徽人 光緒十五年十月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十一年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補 山東集司副調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補 浙江集司副調廣東

廣西按察使秦煥 江蘇進士 光緒十五年八月補

四川按察使德壽 漢軍鑲黃旗總管員 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓英 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使田國俊 山西進士 光緒十五年三月補

67 交戶部軍機大臣面奉

諭旨本日降旨賞貝勒載濂載澍輔國公載澤不入

八分輔國公載瀾鎮國將軍載瀛載津銀各一千

兩賞貝勒載潤貝子溥倫鎮國將軍溥甸載濟銀

各五百兩均由戶部給發欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

正月二十六日

68 光緒十六年正月二十七日內閣奉

上諭譚鈞培奏請免石屏州屬旱災田糧一摺雲南

石屏州地方連遭災歉上年又復被旱成災若將應徵田糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有石屏州屬被災民田三百五十六頃八十五畝零應徵秋糧本色米三百九十九石零米折銀四百二十九兩零條丁奏平公耗等銀一千六百二十九兩零又附徵臨安衛被旱屯田六十頃七十三畝零秋糧本色米三百六十二石零條丁奏平公耗等銀五百十二兩零又應徵被災官莊米折銀三十六兩零均著一律豁免以紓民力該撫卹卹刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區至意該部知道欽此

69 光緒十六年正月二十七日內閣奉  
上諭江蘇蘇松太道員缺著聶緝縈補授欽此

70 查江蘇蘇松太道係衝繁難要缺謹  
奏

71 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件  
照錄呈

覽謹

奏

正月十七日

72 光緒十六年正月二十八日奉  
旨依議欽此

刑部奏議官保保釋該管各案詳詳其詳 欽此

73 光緒十六年正月二十九日內閣奉

上諭伯彥訥謨祜之子貝勒那爾蘇病故昨日降旨賜卹因念伯彥訥謨祜之母年逾七旬驟遭此事未免傷懷伯彥訥謨祜著加恩賞假二十日俾得朝夕侍側該親王其善為解釋以慰親心用副朕眷注至意欽此



74 光緒十六年二月初一日內閣奉

上諭御史何福堃奏主事保送直隸州知州請變通辦理等語著吏部議奏欽此

75 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史何福堃奏包衣甲米支領遲延請飭明定期限以杜弊端一摺著戶部議奏欽此相應傳知貴部欽遵辦理可也此交

計粘鈔摺一件

二月初一日

76 交倉場衙門本日軍機大臣面奉

諭旨御史何福堃奏海運倉有偷放黑糧情弊等語著倉場侍郎等查明嚴禁有犯必懲所請擇修各倉廩座並著該侍郎酌量情形查明覆奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

計粘鈔片一件

二月初一日

77 軍機大臣 字寄

貴州巡撫潘 巡撫街督辦雲南礦務唐 光緒

十六年二月初二日奉

上諭戶部奏京局鼓鑄制錢近年大半採用洋鉛現在洋鉛亦形短絀專待黔鉛應用貴州產鉛處所疊據潘爵唐炯陳奏情形礦苗並非不旺現值整頓團法需鉛緊迫之時請飭切實攻採辦解等語著潘爵唐炯迅飭公司局員及地方各官趕緊籌辦並將本年究可運解京鉛若干確實陳奏其應如何會籌官商合辦推廣開採之處悉心妥議詳晰奏報務期解京鉛數逐漸加增不得意存觀望並不准委員等稍有懈弛偷漏情弊所需工本應撥若干即著覈定具奏潘爵身任地方所有開採督催等事務當不分畛域會商妥辦毋稍諉卸原摺均着鈔給閱看將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

78 光緒十六年二月初二日奉

旨左翼監督著崇禮去右翼監督著芬車去欽此

79 應放左右翼監督之侍郎名單

吏部左侍郎松桂

右侍郎敬信

硃

○戶部右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆

工部右侍郎清安

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

80 應放左右翼監督之副都統名單

文秀 崇文門副監督

祥普

硃

嵩山

克塵

容貴

英信

明安

恩光

明秀

○芬車

長春

安興阿

尚昌懋

謙光

桂祥

恩普

德隆

色普徵額

崇光

秀吉

希明阿

耆齡

托倫布

福森布

容山

思佑

愛隆

花尚阿

吉恆

81 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 河南巡撫兼署河東河道總督

倪 光緒十六年二月初三日奉

上諭吳大澂奏請撥運河另案工需銀兩一摺山東運河隄埝各工均關緊要本年漕米仍辦河運至須及時修築以利漕行著張燿飭令藩司籌撥庚寅年另案工需銀六萬兩分次撥交運河道俾資應用倪文蔚現署河督務當督飭在工員弁覈實估辦毋稍虛糜將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

82 軍機大臣 字寄

河南巡撫兼署河東河道總督倪 光緒十六

年二月初三日奉

上諭吳大澂奏工程緊要援案請添撥庚寅年防險銀兩一摺據稱黃河兩岸各廳工段過長奇險環生應辦土料輒石等項亟須早為籌備實非額款所能敷用援案請撥防險銀二十七萬兩分撥南岸三廳銀十五萬兩北岸四廳銀十二萬兩等語著倪文蔚飭令藩司照章分撥並著該署河督嚴飭道廳各員撙節動支認真辦理毋得稍涉虛糜將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

83 光緒十六年二月初三日內閣奉

上諭本日吏部帶領引見之甘肅補用道施補華著以道員發往山東遇缺儘先補用欽此

84 光緒十六年二月初三日奉

旨依議欽此

禮部奏議徐家鼎奏請停捐廣濟等語

85 光緒十六年二月初三日奉

旨依議欽此

禮部奏請防團子監錄科責出結官識認片

86 光緒十六年二月初五日內閣奉

上諭前因錫綸咨行戶部文內有職員馬瑞麟揭告  
統帶馬亮等侵吞軍餉呈詞一件當交色楞額等  
查明具奏嗣據戶部奏參錫綸擅動軍餉各情復  
諭令一併查奏茲據色楞額魏光燾查明覆奏此  
案記名副都統馬亮既經查明尚無捏造欠款侵  
吞軍餉情事且原告之馬瑞麟查無其人顯係借  
名捏控即著與無故牽涉之前署察哈爾領隊大  
臣德克津布等暨業經革職病故各員均無庸置  
議惟已故署伊犁將軍錫綸因挪用正餉經部議  
駁報即捏借商款報部款目種種不符實屬有心  
朦蔽大負委任其所報借款曾否撥給著戶部確  
切查明據實覆奏餘著照所議辦理欽此

87 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十六年二月初七日奉

上諭有人奏州縣浮收地丁錢糧請飭查禁一摺據  
稱山東萊州各屬徵收錢糧惟昌邑濰縣按銀價  
折收其掖縣平度膠州高密即墨五處浮收甚多  
請飭嚴禁等語州縣徵收錢糧自應遵照定章嚴  
實辦理著張曜隨時查察嚴飭各屬不准任意多  
取以恤民艱原摺著鈔給閱看將此諭令知之  
欽此遵

旨寄信前來

88 交刑部本日軍機大臣面奉

諭旨御史戴恩溥奏風聞刑部於命盜各案禁卒串  
供誣扳平民等語著刑部隨時查明如有此等情  
弊即行嚴禁毋任拖累欽此相應傳知  
貴部欽遵辦理可也此交計粘鈔片一件

二月初七日

89 光緒十六年二月初八日內閣奉

上諭鑾儀衛奏恭備要差請飭催欠款一摺直隸應

解鑾儀衛地租銀兩積欠甚鉅本年閏二月朕奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后祇謁

東陵該衙門恭備一切差使需款孔亟著李鴻章飭令

藩司無論何款趕緊籌提銀二萬兩務於二月二

十五日以前如數解到以濟要需其本年應徵地

租銀兩仍著照舊陸續批解欽此

90 光緒十六年二月初八日內閣奉

上諭前據御史愛興阿奏恭盛京戶部六品官松壽

等浮收勒索各情當諭令定安查奏茲據查明覆

奏此案筆帖式麟超於奉委查災輒敢向各莊頭

索取差費並令豫備公館實屬貪婪不職據報病

迷走失顯係畏罪潛逃麟超著即行斥革仍著該

將軍嚴飭緝拏務獲究辦領催馬世鳳等於莊頭

應交差銀正款已完所欠雜費無多輒復任意勒

捐賒官捏稟將莊頭段文舉等斥革情殊可惡馬

世鳳宋長秀馮天元均著將領催責革不准再行

充差六品官松壽叢造被災分數查係照章辦理

雖無浮索情事惟於馬世鳳等賒稟不察虛實輒

將該莊頭等呈堂斥革究屬粗疏松壽著交部議

處餘著照所議辦理至應徵供應

三陵祭祀蘇麥等項例由各莊頭於應交倉糧正款內

留存稗子四千餘石折交供應何以於稗折外復

有各項折交銀兩雖事非一年官非一任而名目

繁多難保無浮冒情弊著盛京戶部侍郎詳加釐

定奏明辦理以免擾累欽此

91 光緒十六年二月初九日內閣奉

上諭河東河道總督著許振禕補授欽此

92 直隸布政使裕長 滿洲正白旗監生  
光緒十五年七月補

江蘇布政使黃彭年 貴州進士  
光緒十二年十一月補

江甯布政使許振禕 江西進士  
光緒十二年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗監生  
光緒十二年八月補

山東布政使王毓藻 湖北進士  
光緒十四年四月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人  
光緒十五年十月補

硃。

河南布政使劉瑞祺 江西進士 光緒十二年七月補

陝西布政使陶樸 浙江進士 光緒十四年三月補

甘肅布政使張岳年 浙江舉人 光緒十五年十二月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補甘肅藩司調新疆

浙江布政使許應鑾 廣東進士 光緒十年十月補得工部留任

福建布政使廖壽豐 江蘇進士 光緒十六年正月補

福建臺灣布政使蒯德標 安徽舉人 光緒九年正月補湖北藩司調福建臺灣

江西布政使方汝翼 直隸舉人 光緒四年十月補 奉天舉人 光緒十五年正月補

湖北布政使鄧華熙 廣東舉人 光緒十五年六月補

湖南布政使何樞 河南進士原籍浙江 光緒十五年十二月補

廣東布政使游智開 湖南舉人 光緒十四年十月補

廣西布政使張聯桂 江蘇附生 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲鑲藍旗舉人 光緒十二年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生 光緒十五年十月補貴州藩司調雲南

貴州布政使王德榜 湖南監生 光緒十五年十月補

直隸按察使周馥 安徽監生 光緒十四年三月補

江蘇按察使劉樹堂 雲南監生 光緒十五年四月補

安徽按察使嵩崑 滿洲鑲紅旗監生 光緒十一年二月補山西臬司調安徽

山東按察使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒十二年八月補湖北臬司調山東

山西按察使潘駿文 安徽廣德生 光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東廩生 光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十月補甘肅臬司調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鑲白旗進士 光緒十四年九月補陝西臬司調甘肅

福建按察使徐文達 安徽人 光緒十五年十月補

江西按察使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十一年十月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補山東臬司調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補浙江臬司調廣東

廣西按察使秦煥 江蘇進士 光緒十五年八月補

四川按察使德壽 滿洲鑲黃旗監生 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使田國俊 山西進士 光緒十五年三月補

滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院即補郎中志樸

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎魁麟

內閣候補侍讀崇林

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王倣

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

五品銜刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班

四品銜通政使司叅議整坤

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部主事即補員外郎廷祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部即補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳希崇

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李蔭譽

95 光緒十六年二月初九日內閣奉

上諭禮部尚書奎潤練達勤慎學問優長由翰林游

陟卿貳疊掌文銜旋經補授尚書宣力有年克稱

厥職前因患病賞假調理茲聞溘逝軫惜殊深加恩賞給陀羅經被派貝勒載澍帶領侍衛十員即日前往奠醊照尚書例賜卹並著賞銀五百兩由廣儲司給發經理喪事內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子筆帖式寶銘著俟服闋後以員外郎補用以示篤念蓋臣至意欽此

96 光緒十四年十一月十一日內閣奉

上諭理藩院尚書紹祺練達勤慎學問優長由翰林游陟卿貳外任都統旋授尚書宣力有年克稱厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩賞給陀羅經被派奉恩輔國公載澤帶領侍衛十員即日前往奠醊照尚書例賜卹並著賞銀五百兩由廣儲司給發經理喪事內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子候選員外郎世培著俟服闋後以員外郎即選用示篤念蓋臣至意欽此

97 光緒十五年九月十一日內閣奉

上諭吏部尚書錫珍持躬端謹學問優長由翰林游

陟卿貳疊掌文衡補授刑部尚書調任吏部尚書派充總理各國事務大臣克勤厥職前因患病疊次賞假該尚書年力正強方冀調理就瘥長資倚畀茲聞溘逝軫惜殊深加恩賞給陀羅經被派奉恩輔國公載澤帶領侍衛十員即日前往奠醊照尚書例賜卹並著賞銀五百兩由廣儲司給發經理喪事內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子仲榮著以員外郎用以示篤念蓋臣至意欽此

98 光緒十六年二月初十日內閣奉

上諭許庚身著充會典館副總裁欽此

99 應

派會典館副總裁名單

協辦大學士戶部尚書福錕

禮部尚書李鴻藻

硃

○兵部尚書許庚身

刑部尚書孫毓汶



工部尚書崑岡

理藩院尚書松森

都察院左都御史熙敬

祁世長

吏部左侍郎松淮

許應駿

右侍郎敬信

孫家鼐

戶部左侍郎續昌

現在請假

孫詒經

右侍郎崇禮

現兼署工部右侍郎

曾紀澤

禮部左侍郎文興

徐郟

右侍郎景善

廖壽恆

兵部左侍郎師曾

現在請假

徐用儀

現兼署刑部右侍郎

右侍郎巴克坦布

白桓

刑部左侍郎桂全

薛允升

右侍郎貴恆

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎清安

徐樹銘

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

內閣學士豐烈

文治

霍穆歡

愛廉

鳳鳴

陳學棻

李端棻

都察院左副都御史奕年

奕杖

徐致祥

沈源深

宗人府府丞錢應溥  
詹事府詹事志銳

100 光緒十六年二月初十日內閣奉

上諭崑岡著調補禮部尚書工部尚書著照敬補授  
欽此

101 應調滿洲尚書名單

協辦大學士戶部尚書福銳

吏部尚書麟書

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書嵩申

硃

○工部尚書崑岡  
理藩院尚書松森

102 鑲藍旗蒙古都統前工部尚書榮祿

103 應升滿洲尚書名單

硃

○都察院左都御史照敬

吏部左侍郎松淮

右侍郎敬信

戶部左侍郎續昌 現在請假

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎貴恆

工部左侍郎烏拉布 現出學差

右侍郎清安

理藩院左侍郎恩棠

右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

盛京戶部侍郎綿宜

禮部侍郎懷塔布

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦 現在署考

工部侍郎阿克丹 光緒署刑部侍郎

104 光緒十六年二月初十日內閣奉

上諭江甯布政使著瑞璋補授江西按察使著福裕補授欽此

105 直隸布政使裕長 滿洲正白旗監生 光緒十五年七月補

江蘇布政使黃彭年 常州府人 光緒三年二月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗監生 光緒十五年八月補

山東布政使王毓藻 湖北監生 光緒十四年四月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十五年十月補

河南布政使劉瑞祺 江西監生 光緒十五年七月補

陝西布政使陶模 浙江進士 光緒十四年二月補

甘肅布政使張岳年 浙江人 光緒十五年二月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補 光緒十五年三月補

浙江布政使許應鏞 廣東進士 光緒十年十月補

福建布政使廖壽豐 江蘇進士 光緒六年正月補

福建臺灣布政使崩德標 安徽人 光緒九年正月補 光緒十五年六月補

江西布政使方汝翼 廣東人 光緒十四年正月補

湖北布政使鄧華熙 廣東人 光緒十五年六月補

湖南布政使何樞 河南人 光緒十五年正月補

廣東布政使游智開 湖南人 光緒十四年正月補

廣西布政使張聯桂 江蘇人 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲正白旗監生 光緒三年二月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生 光緒十二年正月補 光緒十五年正月補

貴州布政使王德榜 湖南監生 光緒十五年十月補

106 直隸按察使周馥 安徽監生 光緒十四年正月補

江蘇按察使劉樹堂 湖南監生 光緒十四年正月補

安徽按察使嵩崑 滿洲正白旗監生 光緒十二年八月補 光緒十五年正月補

山東按察使福潤 安徽人 光緒十五年正月補

山西按察使潘駿文 安徽人 光緒十五年正月補

河南按察使賈致恩 山東人 光緒十五年正月補

陝西按察使唐樹楠 湖南人 光緒十四年正月補 光緒十五年正月補

甘肅按察使裕祥 滿洲正白旗監生 光緒十四年正月補 光緒十五年正月補

浙江按察使龔照瑗 安徽監生 光緒十五年正月補

硃

福建按察使徐文遠

安徽人 光緒十五年十月補

○江西按察使瑞璋

湖南人 光緒十一年十月補

湖北按察使成允

浙江人 光緒十二年三月補山東嘉州知府湖北

湖南按察使沈晉祥

浙江人 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春

湖南人 光緒十四年三月補浙江嘉州知府廣東

廣西按察使秦煥

江蘇人 光緒十五年八月補

四川按察使德壽

漢軍領貴州候補軍 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓英

廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使田國俊

山西人 光緒十五年三月補

107 光緒十六年二月初十日內閣奉

上諭依克唐阿等奏官軍殲除賊巢繪圖呈覽請將

出力員弁獎勵一摺黑龍江呼蘭巴彦蘇蘇綏化  
三城地方遼闊向為盜賊淵藪上年十二月間經  
依克唐阿等派令翼長吉爾洪額整隊探山焚燬  
賊巢二十餘處擒斬積匪一百數十名辦理尚為  
迅速仍著該將軍等督飭員弁各就分紮地方嚴  
密巡緝勿留餘孽在事出力之翼長二等侍衛吉  
爾洪額著賞還頭品頂戴以副都統補用其餘出  
力員弁准其擇尤酌保毋許冒濫該部知道欽此

108 光緒十六年二月初十日內閣奉

上諭張曜奏革員虧欠銀兩延不完解據實嚴叅等  
語山東已革知縣王振錄前署歷城縣任內虧短  
正雜各款捐款等銀及收存稅契銀兩為數甚鉅  
節次嚴追並不依限完繳輒敢私回易州原籍迨  
經提解又稱出外措資實屬任意延玩著李鴻章  
即將該革員王振錄拏問監追並將原籍家產查  
鈔估變解交山東備抵以重庫款該部知道欽此

109 光緒十六年二月十一日內閣奉

上諭兩淮鹽運使員缺著江人鏡補授欽此

110 俸深道員名單

湖南岳常澧道崔穆之 山東進士

直隸熱河道恩良 領紅旗滿洲於生

浙江杭嘉湖道豐紳泰 正藍旗蒙古總領人

湖北漢黃德道江人鏡 安徽舉人

江西吉南贛甯道文惠 領白旗滿洲總領人

直隸口北道吉順 正藍旗滿洲省人

硃

山東濟東秦武臨道王作孚 貴州進士  
 甘肅鎮迪道恩綸 正紅旗滿洲文舉人  
 安徽安廬滁和道丁峻 江西人  
 雲南迤西道陳席珍 四川監生

111 俵深知府名單

江西瑞州府知府達春布 鑲黃旗滿洲官學生  
 山東沂州府知府錫恩 正白旗滿洲人  
 雲南普洱府知府周範 貴州進士  
 安徽廬州府知府黃雲 湖南監生  
 陝西西安府知府文啟 鑲白旗滿洲官學生  
 江蘇江甯府知府李廷簫 湖北進士  
 江蘇常州府知府桐澤 鑲藍旗滿洲監生  
 四川雅州府知府崔志道 陝西進士  
 陝西漢中府知府奇臣 鑲紅旗滿洲官學生  
 江西九江府知府曹秉濬 廣東進士

112 光緒十六年二月十一日內閣奉  
 上諭定安等奏查勘

昭陵應修各工請擇吉興修一摺著欽天監於本年二  
 三月內選擇吉期先行知照即著盛京將軍會同  
 工部侍郎屆期敬謹興修欽此

113 應升滿洲左都御史名單

吏部左侍郎松淮  
 右侍郎敬信  
 戶部左侍郎續昌 現在請假  
 右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎  
 禮部左侍郎文興  
 右侍郎景善  
 兵部左侍郎師曾 現在請假  
 右侍郎巴克坦布  
 刑部左侍郎桂全  
 右侍郎貴恆  
 工部左侍郎烏拉布 現出學差  
 右侍郎清安  
 理藩院左侍郎恩崇  
 右侍郎慶福

硃

○

倉場侍郎興廉

盛京戶部侍郎綿宜

禮部侍郎懷塔布

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

<sup>114</sup> 光緒十六年二月十二日內閣奉

上諭都察院左都御史著貴恆補授欽此

<sup>115</sup> 光緒十六年二月十二日內閣奉

上諭本年輪應查閱山東河南江蘇安徽江西五省營伍之期山東即派張曜河南即派倪文蔚江蘇即派曾國荃安徽即派沈秉成江西即派德馨逐一查閱認真簡校如有訓練不精軍實不齊者即將廢弛之將弁據實叅奏毋得視為具文欽此

<sup>116</sup> 光緒十六年二月十二日內閣奉

上諭長順奏欽奉恩詔查明已革職官開單呈覽請

旨定奪一摺上年特降恩詔革職官員內有事係冤枉才力堪用者准由在京各衙門及各省督撫等查明請旨係屬曠典殊恩非尋常查辦廢員可比降詔以來節經中外大臣遵查具奏經朕詳覈案由其情有可原者分別起用及交部帶領引見原犯情節較重者奏到時均經批駁於愛惜人才之中仍寓慎重名器之意各該大臣自應體朕此意覈實詳查豈容稍有冒濫乃該將軍此次單開竟至二十二員之多詳閱所犯情節被叅均非寬抑甚至有任意妄為廢弛旗務營務各重情長順輒據各城開報及本員呈請即為具奏請一併賞還原職已屬不合至防禦慶祿雲騎尉常順鳳山均係革職留任之員並未離任更何所謂起用是該將軍於恩詔本意全未體會實屬冒昧至另片奏請將前任齊齊哈爾副都統春壽賞還原銜休致吉林鑲黃旗中公佐領春福以原品留營效力各等語查閱原案春壽係勒辦擒匪諱敗為勝特叅革職之員案情甚重年力亦衰春福係因騎射生疎於光緒元年勒令休致並無列項勞績該將

軍竟為奏乞恩施似此任意冒濫若各省紛紛效尤尚復成何事體所請著不准行長順並著傳旨申飭該部知道單併發欽此

117 軍機大臣 字寄

貴州巡撫潘 光緒十六年二月十三日奉

上諭都察院奏貴州舉人丁守廉等呈懇究辦冒籍一摺據稱貴州乙酉科舉人杜樹榮等二名係冒籍中式戊子科又冒中鄭玉麟等四名己丑科又冒中胡嗣榮等五名其中有自外省混入者有隨任赴黔捏填三代冒考者茲將冒籍姓名開單呈請查究等語冒籍考試例禁甚嚴所呈如果屬實自應分別究辦著潘蔚按照單開姓名確切查明據實具奏都察院摺及原呈單各一件均著鈔給閱看將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

同摺呈單鈔交禮部

118 光緒十六年二月十三日內閣奉

上諭怡親王載敦奏病難速痊懇開去差使並請停俸一摺載敦著賞假一箇月毋庸開去差使欽此

119

候補滿洲侍郎名單  
桂祥

120

應調滿洲侍郎名單  
吏部左侍郎松淮

右侍郎敬信

戶部左侍郎續昌 現在請假

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾 現在請假

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

工部左侍郎烏拉布 現出學差

右侍郎清安

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

盛京戶部侍郎綿宜

硃

○

禮部侍郎懷塔布

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦 現在穿孝

工部侍郎阿克丹 現兼署刑部侍郎

硃

121

應升滿洲侍郎名單

○內閣學士豐烈

文治

裕德 現出學差

霍穆歡

愛廉

鳳鳴

都察院左副都御史奕年

奕秋

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂

詹事府詹事志銳

122 光緒十六年二月十四日內閣奉

上諭刑部右侍郎著清安調補豐烈著補授工部右侍郎兼管錢法堂事務欽此

123 光緒十六年二月十五日內閣奉

上諭張曜奏估計山東黃河工用銀兩繪圖繕單呈覽各摺片覽奏均悉山東黃河應辦各工關繫緊要前經諭令張曜覈實估計需用銀兩奏明候撥茲據奏稱勘估增培隄埝添建石壩水門挑溝購船並護城大堤各工共需銀二百八十八萬五千餘兩除上年已撥之款尚有二十三萬三千餘兩請飭部撥銀二百六十四萬七千餘兩現已定期興工等語即著戶部查照所請數目迅速籌撥並先於部庫撥銀若干萬兩解赴山東以應急需其餘銀兩該部籌定的款分次陸續解往應用朝廷不惜巨帑為民捍患該撫身膺重寄務將應辦各工督飭在工人員實心實力認真經理總期工歸實用不准絲毫虛糜至次年各隄埝應否幫寬加高之處著俟本年霜清後察看情形再行奏明辦理該部知道單片各一件圖三件併發欽此



124 光緒十六年二月十六日內閣奉

上諭本日道旁叩關之民婦馬楊氏及伊子馬愷均著交刑部嚴行審訊欽此

125 光緒十六年二月十七日內閣奉

上諭崧駿奏新授福建藩司廖壽豐聲明祖籍應否迴避請旨遵行等語廖壽豐著調補河南布政使福建布政使著劉瑞祺調補欽此

直隸布政使裕長 滿洲正白旗監生 光緒十五年七月補

江蘇布政使黃彭年 常州進士 光緒三年七月補

江甯布政使瑞璋 滿洲正白旗人 光緒十六年二月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗監生 光緒三年八月補

山東布政使王毓藻 湖北進士 光緒十四年四月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十五年十月補

硃 ○ 河南布政使劉瑞祺 江西進士 光緒七年七月補

陝西布政使陶模 浙江進士 光緒十四年三月補

甘肅布政使張岳年 浙江舉人 光緒五年十二月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補

浙江布政使許應鏞 廣東進士 光緒十年十月補

福建布政使廖壽豐 江蘇進士 光緒十六年正月補

福建臺灣布政使蒯德標 安徽舉人 光緒九年正月補

江西布政使方汝翼 直隸舉人 光緒十四年十月補

湖北布政使鄧華熙 廣東舉人 光緒十五年六月補

湖南布政使何樞 河南進士 光緒十五年十二月補

廣東布政使游智開 湖南舉人 光緒十四年十月補

廣西布政使張聯桂 江蘇附生 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲正白旗監生 光緒二年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生 光緒十三年十月補

貴州布政使王德榜 湖南監生 光緒十五年十月補

127 光緒十六年二月十八日內閣奉

上諭前因錫綸在署伊犁將軍任內補發欠餉程借商款報部款目種種不符當諭令戶部將所報借款曾否撥給查明覆奏茲據奏稱錫綸所報借款前後自相矛盾是以始終並未撥給等語錫綸補發吉林黑龍江馬隊欠項挪用伊犁正餉輒敢捏稱借款希冀彌縫所報之數又復前後不符雖無

侵吞情弊實屬有心朦混已故署伊犁將軍錫綸前得卹典著即撤銷該衙門知道欽此

128 光緒十六年二月十九日內閣奉

上諭卞寶第奏署任知縣詐贓需索請旨革職審辦等語福建署長汀縣知縣候補通判李鳳翎需索牙行及稅契銀兩該管知府李耀奎據實稟揭經卞寶第飭派知府恆齡查辦所有被控需索各案確鑿可據其經手週付之家丁復敢抗延不交實屬異常刁健李鳳翎著即行革職審訊勒令將家丁許二吳二交出究明各案贓證從嚴懲辦以儆官邪該部知道欽此

129 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒十六年二月二十一日奉

上諭御史戴恩溥奏請飭嚴緝盜匪一摺據稱畿南一帶常有匪徒肆劫行旅事主呈報到官輒行延

擱甚至駁斥不理以致劫案日多滄州尤為盜藪請飭認真緝捕等語上年特降諭旨令各省整頓捕務若如該御史所奏近畿地方竟有土匪持械行劫各該州縣並不實力緝拏殊堪痛恨著李鴻章嚴飭各屬一體認真控捕以靖盜風儆該地方官仍前玩泄即著嚴行參辦至所稱南苑牆外通衢時有匪棍潛蹤乘間攫取衣物等情著步軍統領衙門順天府五城御史嚴飭該管員弁隨時緝拏懲辦毋任滋擾原摺均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

130 軍機大臣 字寄

福建臺灣巡撫劉 光緒十六年二月二十二

日奉

上諭劉銘傳奏勦辦臺北內山番社情形一摺上年

九月間宜蘭兇番戕害官弁經劉銘傳派總兵吳宏洛等督隊進勦於十二月間疊毀白阿歪等社各番恐怖將為首兇番有敏阿歪等捆送求撫訊

明正法所有加九岸叛番據稱此次勦辦暫知敏  
逆該撫仍當妥為鎮撫毋稍大意其南澳各兇社  
現經該撫親往督勦即著嚴飭各將領詳審地勢  
番情大加懲創以儆兇頑仍將勦辦情形隨時奏  
聞另片奏帶兵官侵冒餉銀故違軍令並營務處  
委員慙忠為奸等語遊擊鄭有勤守備張安珍均  
著革職即行正法江蘇補用知縣徐石麒著革職  
永不敘用已革縣丞凌雲侯擊獲到案訊明懲辦  
該部知道將此由四百里諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

摘鈔交吏部

131 光緒十六年二月二十二日內閣奉

上諭御史周天霖奏請疏通主事保送直隸州選班

一摺著吏部議奏欽此

132 光緒十六年二月二十四日內閣奉

上諭浙江金華府知府員缺著畢崇補授欽此

133 查浙江金華府知府係衝繁難要缺謹  
奏

134 光緒十六年二月二十四日奉

旨著刑部會同宗人府將玉生一犯嚴訊確供按律  
定擬與得山等六犯一併具奏請旨欽此

刑部奏審明重犯請正法程

135 交宗人府本日軍機大臣面奉

諭旨閏二月十六日清明致祭

慕陵暨

莊順皇貴妃園寢均著改派載瀾行禮載漪著毋庸  
前往欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

二月二十五日

136 軍機大臣面奉

諭旨此次派出隨扈之副都統除曾經賞穿黃馬褂  
各員外餘均著各按所管旗分穿用職任馬褂毋  
稍參差欽此

137 交值年旗本日軍機大臣面奉

諭旨此次派出隨扈之副都統除曾經賞穿黃馬褂各員外餘均著各按所管旗分穿用職任馬褂毋稍參差欽此相應傳知

貴旗轉傳各旗一體欽遵可也此交

二月二十六日

138 交 總理各國事務衙門  
總理海軍事務衙門 本日軍機大臣面奉

諭旨詹事府詹事志銳奏出使隨員請於總理海軍兩衙門選員派委並請隨帶同文館學生充當繙譯各摺片著該衙門議奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計粘抄摺片各一件

二月二十六日

139 交 總理各國事務衙門  
總理海軍事務衙門 本日軍機大臣面奉

諭旨詹事府詹事志銳奏出使隨員請於總理海軍兩衙門選員派委摺著該衙門議奏欽此相應傳知貴衙門欽遵辦理可也此交 計粘抄摺片

二月二十六日

140 光緒十六年二月二十七日内閣奉

上諭祥麟著補授內閣學士兼禮部侍郎銜欽此

141 軍機大臣面奉

諭旨嗣後各衙門呈遞摺件遇有隨扈字樣均著毋庸繕寫欽此

142 交內閣轉傳各部院值年旗本日軍機大臣面奉

諭旨嗣後各衙門呈遞摺件遇有隨扈字樣均著毋庸繕寫欽此相應傳知

貴衙門希即轉傳一體欽遵可也此交

二月二十七日

143 軍機大臣面奉

諭旨總理各國事務衙門奏擬與疆臣商議要件請旨遵行一摺朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨著總理各國事務衙門王大臣會同李鴻章妥議具奏醇親王奕譞著一併與議摺一件單二件併發欽此

鈔送醇邸

144 交總理各國事務衙門本日軍機大臣面奉

諭旨總理各國事務衙門奏擬與疆臣商議要件請旨遵行一摺朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨著總理各國事務衙門王大臣會同李鴻章妥議具奏醇親王奕譞著一併與議摺一件單二件併發欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文計原摺一件單二件

二月二十九日

145 光緒十六年二月二十九日內閣奉

上諭朕於閏二月十五日啟鑾後著派肅親王隆勳大學士恩承協辦大學士尚書福錕徐相尚書崑岡留京辦事肅親王隆勳恩承徐相崑岡四人分日輪班在內值宿不值宿者於申刻散值福錕每日進內辦事後毋庸值宿午刻先行散值欽此

146 請

派留京王大臣名單

禮親王世鐸 隨尾

睿親王魁斌 隨尾

鄭親王凱泰 清明祭差

肅親王隆勳 隨尾

莊親王載勳

親王銜克勤郡王晉祺 隨尾

慶郡王奕劻 隨尾 進酒杯差

大學士額勒和布 隨尾

恩承

張之萬 隨尾

協辦大學士戶部尚書步軍統領福錕

協辦大學士吏部尚書徐桐

吏部尚書麟書 隨尾 前引

戶部尚書翁同龢 隨尾

禮部尚書崑岡

李鴻藻 隨尾

兵部尚書烏拉喜崇阿 隨尾 前引

許庚身 隨尾

刑部尚書嵩申 前引

孫毓汶 隨尾

工部尚書 照敬 前引

潘祖蔭 隨尾

理藩院尚書 松森 隨尾

都察院左都御史 貴恆 前引

祁世長 隨尾

147 交宗人府本日軍機大臣面奉

諭旨御史托佛歡奏鎮國公溥廉將僕婦程楊氏之子認為己子紊亂宗支等語著宗人府嚴行確查據實具奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計黏鈔片一件

二月二十九日

148 交步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨御史托佛歡奏鎮國公溥廉不守本分開設賭局烟館請飭查辦一摺著步軍統領衙門查明有無其事據實覆奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計黏鈔摺一件

二月二十九日

149 光緒十六年二月三十日內閣奉

上諭李瀚章等奏請蠲免鎮平縣錢糧銀米一摺廣東鎮平縣地方上年夏間雨水過多被災甚重若將應徵錢糧銀米照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有鎮平縣應徵光緒十五年分地丁銀二千九百六十八兩零耗羨銀四百九十七兩零民米七百四十五石零屯米二百一石零均著全行蠲免以紓民力該督等即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區至意該部知道欽此

150 光緒十六年閏二月初一日奉  
旨著派員賜奠欽此

內務府奏 端明園倫公李國毅可否賜奠請 旨 卅

151 光緒十六年閏二月初一日奉  
旨著派員賜奠欽此

內務府奏 端明園倫公李國毅可否賜奠請 旨 卅

152 光緒十六年閏二月初二日奉

旨著派恩燾愛隆文興於閏二月初十日恭詣

東陵查看紅椿欽此

153 光緒十六年閏二月初二日內閣奉

上諭馬丕瑤奏特參州縣各官等語廣西陸川縣知  
縣劉詒曾才力淺弱不能勝任著開缺留省另補  
署天河縣事永福縣知縣黃運春性情迂執不達  
政體署河池州事柳城縣知縣張景星怠於政事  
不洽輿情惟該二員文理尚優均著開缺以教職  
選用餘著照所議辦理該部知道欽此

154 臣等伏查此次

皇上恭謁

東陵應照成案請

旨派員查看紅椿謹開列

御前侍衛

乾清門侍衛並隨扈侍即名單進

呈伏候

欽派侍衛二員侍即一員俟

發下繕

旨後臣等即傳知奉

派各員於閏二月初十日請

安前往敬謹查看俟

聖駕駐驛隆福寺時履

命俱不必具摺謹

奏

155 侍衛名單

御前侍衛

桂祥

芬車  
 福森布  
 希朗阿  
 希隆阿  
 恩全  
 明安  
 托倫布  
 佛佑  
 恩燾  
 色楞額  
 賡音布  
 乾清門侍衛  
 謙光  
 德隆  
 長春  
 克虛  
 愛隆  
 德洪額  
 裕理

善者  
 奕功  
 訥欽泰  
 瑞啟  
 富林布  
 現在出差  
 徵壽  
 全福  
 伊薩布  
 現在請假  
 良泰  
 成安  
 伊立布  
 聯興  
 文啟  
 崇蘭  
 霍倫泰  
 文璞  
 榮和  
 毓麟  
 依勒洪阿



常貴

倭立布

富陞

忠清阿

色清類

金山

隨扈侍郎名單

松柱

續昌

崇禮 現在藩後

文興

景善

巴克坦布

清安

豐烈

慶福

157 軍機大臣而奉

諭旨朕於閏二月二十日親臨端慧皇太子園寢賜奠欽此

閏二月初三日

158 交內務府本日軍機大臣而奉

諭旨朕於閏二月二十日親臨端慧皇太子園寢賜奠欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

閏二月初三日

159 光緒十六年閏二月初三日奉

旨工部候補主事英絲著以本部員外郎用

吏部引 見排單

160 光緒十六年閏二月初三日奉

旨著仍遵前旨將佟鑑之孫揀選擬正

錄紅旗漢軍奏經軍部府佟澤冲等職道欽的揀單摺

161 光緒十六年閏二月初四日內閣奉

上諭曾昌奏左翼關稅期滿正額無虧盈餘未能足額一摺著戶部覈議具奏欽此

162 光緒十六年閏二月初四日內閣奉

上諭符珍奏右翼關稅期滿正額無虧盈餘未能足額一摺著戶部覈議具奏欽此

163 光緒十六年閏二月初五日内閣奉

上諭曾國荃奏臚陳故員戰功事蹟請宣付史館立傳等語已故總兵喻吉三前於咸豐同治年間在曾國藩軍營隨剿湖南江蘇等省疊克名城卓著功績著准其宣付國史館立傳並附祀曾國藩湖南江甯等處專祠以彰勞勩該衙門知道欽此

164 光緒十六年閏二月初六日内閣奉

上諭朕此次恭奉慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后祇謁東陵所有經行道路著派出之管道大臣及直隸總督

督飭各該員弁兵丁嚴行稽查如有隨扈員役以

及大監人等車馬踐踏並沿途藉差騷擾勒索等事即著該管大臣暨該督等查拏參奏至辦道各員如有草率偷減修整不平藉口車馬踐踏希圖卸責情弊亦著該督嚴查參辦欽此

165 軍機大臣 字寄

廣西巡撫馬 光緒十六年閏二月初七日奉

上諭都察院奏廣西已革文生陳春松以被盜斃命沈寬莫雪等詞赴該衙門呈訴據稱該革生被盜匪陳亞李十等糾黨搶掠拒傷伊父斃命復因呈控確拏挾恨疊劫兼有營縣官役勒索騷擾等情所控如果屬實亟應嚴行究辦著馬玉璠親提人證卷宗秉公嚴訊確情按律定擬具奏原告陳春松著解往備質原摺均著抄給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

抄交都察院

166 光緒十六年閏二月初七日内閣奉

上諭四川提督米慶著加恩在紫禁城內騎馬欽此

167 光緒十六年閏二月初八日内閣奉

上諭山西巡撫豫山由部屬歷任府道游推封圻克勤厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

168 光緒十四年九月初六日内閣奉

上諭陝西巡撫葉伯英由道員游推封圻簡任以來克勤厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

169 光緒十五年八月初四日内閣奉

上諭廣西巡撫高崇基由知縣游升府道擢任封圻克勤厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

170 交兵部本日引

見直隸秦甯鎮左營把總一缺擬陪之外委候補奉旨著記名欽此相應傳知  
貴部欽遵辦理可也此交  
閏二月初八日

171 已革提督周蘭亭

旨著開復原官

172 已革提督周蘭亭

旨著以總兵用

173 六品廕生李國彥

旨著以通判用

174 六品廕生龔宗海

旨著以通判用

直隸布政使裕長 滿洲正白旗廕生 光緒十五年六月補

江蘇布政使黃彭年 貴州進士 光緒十二年十一月補

江甯布政使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十六年六月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗廕生 光緒十二年八月補

山東布政使王毓藻 湖北進士 光緒十四年四月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十五年十月補

河南布政使廖壽豐 江蘇進士 光緒十年正月補 補福建常日補

陝西布政使陶模 浙江進士 光緒十四年三月補

甘肅布政使張岳年 浙江舉人 光緒十五年十一月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年正月補 甘肅常日補 湖南江

浙江布政使許應鏞 廣東進士 光緒十年十月補

福建布政使劉瑞祺 江西進士 光緒十二年七月補 河南常日補 福建

福建臺灣布政使蒯德標 安徽舉人 光緒九年正月補 湖北常日補 湖北常日補

江西布政使方汝翼 直隸舉人 光緒十四年十月補

湖北布政使鄧華熙 廣東舉人 光緒十五年六月補

湖南布政使何樞 河南進士 原補浙江 光緒十五年十二月補

廣東布政使游智開 湖南舉人 光緒十四年十月補

廣西布政使張聯桂 江蘇附生 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲鑲藍旗舉人 光緒十二年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生 光緒十三年十月補 貴州常日補 湖南常日補

貴州布政使王德榜 湖南監生 光緒十五年十月補

滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾春額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院郎補郎中志傑

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎魁麟

內閣候補侍讀崇林

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧瑛

吏部員外郎即補郎中 記名御史王儼

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

五品銜刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班

四品銜通政使司叅議整岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部主事即補員外郎延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部即補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳希棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李蔭鑿

178 光緒十六年閏二月初九日內閣奉

上諭山西巡撫著劉瑞祺補授福建布政使著劉樹

堂補授欽此

179

直隸按察使周馥 安徽臨生 光緒十四年三月補

江蘇按察使劉樹堂 雲南臨生 光緒十五年四月補

安徽按察使嵩崑 滿洲紅旗生 光緒十二年二月補 山西集司副漢安徽

山東按察使福潤 蒙古正紅旗生 光緒十二年八月補 湖北集司副漢山東

山西按察使潘駿文 安徽廬首生 光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東檢生 光緒十二年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十一月補 甘肅集司副漢陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鑲黃旗生 光緒十四年九月補 陝西集司副漢甘肅

浙江按察使龔照璣 安徽監生 光緒十四年正月補

福建按察使徐文達 安徽人 光緒十五年十月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗監生 光緒十六年正月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十六年補山西臬司嗣調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年正月補浙江臬司嗣調廣東

廣西按察使秦煥 江蘇進士 光緒十五年八月補

四川按察使德壽 漢軍鑲黃旗監生 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使田國俊 山西進士 光緒十五年三月補

180 光緒十六年閏二月初十日内閣奉

上諭劉瑞祺現簡放山西巡撫著即赴新任未到任

以前著潘駿文暫行護理欽此

181 光緒十六年閏二月初十日内閣奉

上諭江蘇按察使著張國正補授欽此

182 直隸按察使周馥 安徽監生 光緒十四年三月補

安徽按察使嵩崑 滿洲鑲紅旗監生 光緒十年二月補山西臬司嗣調安徽

山東按察使福潤 蒙古正紅旗監生 光緒十二年八月補湖北臬司嗣調山東

山西按察使潘駿文 安徽監生 光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東監生 光緒十五年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十月補甘肅臬司嗣調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鑲白旗監生 光緒十四年九月補陝西臬司嗣補甘肅

浙江按察使龔照璣 安徽監生 光緒十六年正月補

福建按察使徐文達 安徽人 光緒十五年十月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗監生 光緒十六年正月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十六年補山西臬司嗣調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年正月補浙江臬司嗣調廣東

廣西按察使秦煥 江蘇進士 光緒十五年八月補

四川按察使德壽 漢軍鑲黃旗監生 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使田國俊 山西進士 光緒十五年三月補

183 光緒十六年閏二月十一日內閣奉

上諭前因朕本年萬壽慶典諭令吏部將李鴻章等子弟查明具奏候旨施恩茲據該部開單覆奏大學士直隸總督李鴻章之子李經邁兩江總督曾國荃之孫曾廣漢山東巡撫張曜之子張端理均著加恩以主事用欽此

184 光緒十六年閏二月十一日內閣奉

上諭朕啟鑒後右翼總兵著改信暫行署理欽此

185 應署右翼總兵人員名單

吏部右侍郎敬信

兵部左侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

理藩院左侍郎恩崇

副都統祥普

嵩山

恩光

明秀

安興阿

恩普

色普徵額

崇光

耆齡

容山

恩佑

花尚阿

吉恆

186 光緒十六年閏二月十一日內閣奉

上諭福建督糧道員缺著陳鳴志補授欽此

187 查福建督糧道係衝繁難要缺謹

奏

188 光緒十六年閏二月十一日內閣奉

上諭福建汀州鎮總兵員缺著宋得勝補授欽此

189 查福建汀州鎮總兵係陸路缺謹

奏

190 光緒十六年閏二月十一日內閣奉

上諭怡親王載敦奏病難就痊仍懇開去差使並請  
停俸一摺載敦著准其開去差使加恩賞食半俸  
欽此

191 光緒十六年閏二月十一日內閣奉

上諭潘肅奏請飭催集司赴任等語貴州按察使田  
國俊於上年三月簡放後諭令來京陛見嗣據曾  
國荃等奏准給假兩月省親該集司於七月間在  
江蘇交卸回籍迄今尚未到京著山西巡撫查明  
該集司現在何處飭令迅速起程來京陛見毋再  
遷延干咎欽此

192 光緒十六年閏二月十一日內閣奉

上諭倪文蔚奏開缺撫臣在籍病故循例將遺摺代  
遞一摺原任山西巡撫銜榮光才長守潔以翰林

從戎轉戰安徽等省歷著勞動嗣由監司洊擢封  
圻克勤厥職前因患病開缺調理茲聞溘逝軫惜  
殊深銜榮光著加恩照巡撫例賜卹任內一切處  
分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏並著將  
生平事實宣付國史館以彰政蹟欽此

193 光緒八年八月初九日內閣奉

上諭卞寶第奏在籍大員病故代遞遺摺並將事實  
開單呈覽一摺原任江蘇巡撫黎培敬前在貴州  
藩司巡撫任內籌兵籌餉克復城池平定苗匪著  
有勞動歷任四川集司漕運總督亦均克稱厥職  
前因患病開缺調理茲聞溘逝軫惜殊深黎培敬  
著加恩照巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復  
應得卹典該衙門察例具奏並著將該故員生平  
事實宣付國史館以彰政蹟單併發欽此

194 光緒十年七月二十四日內閣奉

上諭前任山西巡撫鮑源深由翰林洊躋卿貳在上  
書房行走有年簡任山西巡撫克勤厥職前因患



病准其開缺回籍茲聞渣逝軫惜殊深加恩著照  
巡撫例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典  
該衙門察例具奏欽此

硃。旨著開復原官

195 前熱河平泉州知州湯華聚

196 前山東濟陽縣知縣陳代卿

硃。旨著開復原官

197 據禮部知照各省中式舉人於本月十五日在  
貢院覆試應請

欽命四書題一道詩題一道封固於十四日清晨  
發下交禮部堂官祇領謹

奏

198 光緒八年壬午科

順天鄉試中式舉人覆試四書題詩題  
君子懷德

賦得窗中雲嶺寬 得中字五言八韻

各省鄉試中式舉人覆試四書題詩題

天下國家可均也

賦得稼穡滿東菑 得東字五言八韻

順天等省鄉試中式舉人補行覆試四書題詩題

惟仁者為能以大事小

賦得月傍九霄多 得多字五言八韻

光緒十一年乙酉科

順天鄉試中式舉人覆試四書題詩題

王天下有三重焉其寡過矣乎

賦得校理秘文 得文字五言八韻

各省鄉試中式舉人覆試四書題詩題

是以君子有絮矩之道也

賦得方暉竟入戶 得暉字五言八韻

順天等省鄉試中式舉人補行覆試四書題詩題

故有物必有則

賦得晨色奏景風 得晨字五言八韻

光緒十四年戊子科

順天鄉試中式舉人覆試四書題詩題

禹疏九河淪濟澤而注諸海決汝漢排淮泗而

注之江

賦得名濟雁塔人 刊名字五言八韻

各省鄉試中式舉人覆試四書題詩題

君子哉若人魯無君子者斯馬取斯

賦得揮毫落紙如雲煙 得仙字五言八韻

順天等省鄉試中式舉人補行覆試四書題詩題

夫明堂者王者之堂也

賦得圓花玳瑁斑 得班字五言八韻

光緒十五年己丑

恩科順天鄉試中式舉人覆試四書題詩題

守約而施博者善道也

賦得猶魚得水 得魚字五言八韻

199 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨敬信現派署右翼總兵此次各省舉人覆試該

侍郎毋庸入闈欽此相應傳知

貴部迅即轉傳可也此交

閏二月十二日

200 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 光緒十六年閏二

月十三日奉

上諭前據剛毅奏江蘇寶山縣境內蘊藻河年久失  
修該河迤西大壩壅遏水脈現在興工挑浚等情  
茲據給事中金壽松奏稱蘊藻河屢開即塞自立  
壩以來嘉定附近諸河幸免淤塞若將隄閘拆去  
利少害多請飭通籌全局倘業已開工仍宜將隄  
閘移建黑橋口或另勘善地設閘並於吳淞等處  
下游一律細勘陸續擇要修治等語修濬河道原  
期保衛農田必須熟權利害為一勞永逸之計未  
可專顧一隅致滋流弊著曾國荃體察情形妥籌  
具奏原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

201 軍機大臣 字寄

倉場衙門 步軍統領衙門 順天府 五城

御史 光緒十六年閏二月十三日奉

上諭給事中金壽松奏祿米等倉有匪徒馬春山等

偷放黑糧盜竊倉米並有正白旗烏什哈佐領下人全才等把持勾結通同舞弊請飭查拏等語著步軍統領衙門順天府五城御史按照原奏所指各犯逐名查拏務獲究辦至所稱該犯等歷年盜米不下二十餘萬石前經給事中洪良品糾舉僅報查出虧短八九千石未能澈究等語著倉場衙門再行認真確查據實覆奏毋稍含混原片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

202 光緒十六年閏二月十五日內閣奉

上諭朕此次恭謁

東陵所有蹕路經過之大興通州三河薊州遵化五州縣地方應徵本年錢糧著加恩蠲免十分之三欽此

203 光緒十六年閏二月十五日內閣奉

上諭本日道旁叩關之文童蕭月清民婦李王氏均著交行在刑部嚴行審訊欽此

鈔交刑部

204 光緒十六年閏二月十五日奉旨照例賞給欽此

內務府奏稱等語著可也 旨給禮部欽此

205 光緒十六年閏二月十六日內閣奉

上諭本日道旁叩關之武童李俊嶺童生鄭道海民人田廣備宋啟源范亭會旗人書敏武監生姚廣田之抱告郭鳳明民人楊鳴泰張元太民婦教王氏均著交行在刑部嚴行審訊欽此

206 光緒十六年閏二月十七日內閣奉

上諭連日恭請

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后輪暨御營請輪之鑿儀衛校尉著加恩每名賞給一兩重銀鏤一箇由廣儲司給發欽此

207 光緒十六年閏二月十七日內閣奉

上諭本日道旁叩關之民人龐福瑞李奉先周士柱均著交行在刑部嚴行審訊欽此

208 交侍衛處本日軍機大臣面奉

諭旨連日豫備

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后車輛並御  
營車輛及豫備關防營內廷主位公主車輛之各  
項官員兵丁等著每名各賞給一兩重銀鏢一  
箇由廣儲司給發欽此相應傳知

貴處衙門欽遵辦理可也此交

閏二月十七日

209 光緒十六年閏二月十九日奉

旨端嫺固倫公主園寢著派載濂多羅貝勒永琪園  
寢著派溥芸原任公爵佟國綱佟國維各墳墓著  
派溥博原任大學士公長齡墳墓著派鍾秀分往  
賜奠欽此

內務府咨文

210 光緒十六年閏二月二十日內閣奉

上諭本日道旁叩關之民人馮士全民婦馬在氏之  
抱告馬世有均著交行在刑部嚴行審訊欽此

鈔交刑部

211 光緒十六年閏二月二十一日內閣奉

上諭本日道旁叩關之民人劉忠盛曲永祥徐萬保  
即趙萬明均著交行在刑部嚴行審訊欽此

鈔交刑部

212 光緒十六年閏二月二十二日內閣奉

上諭本日道旁叩關之文生張大元民人馬振明葛  
文遠馬全仁商民義茂興等之抱告徐洪僧人祖  
量民人寶玉秀民婦劉周氏楊羨氏李張氏均著  
交行在刑部嚴行審訊欽此

213 光緒十六年閏二月二十三日內閣奉

上諭連日恭請

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后轎暨御營  
請輪之鑿儀衛校尉著再加恩每名賞給一兩重  
銀鏢一箇由廣儲司給發欽此

214 交侍衛處本日軍機大臣面奉

諭旨連日豫備

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后車輛並御  
營車輛及豫備關防營內廷主位公主車輛之各  
項官員兵丁等著每名名再各賞給一兩重銀鏤  
一箇由廣儲司給發欽此相應傳知  
貴處衙門欽遵辦理可也此交

閏二月二十三日

215 光緒十六年閏二月二十三日內閣奉

上諭本日道旁叩關之已革孝廉方正劉家彥文童  
杜殿楨民人高雲方即杜廷顯白占義黃文旺貴  
獻成宋玉寶曾華請祝官海昇之妻溫都氏民婦  
孫李氏沈孟氏丁丹氏之抱告丁正林僧人文喜  
均著交刑部嚴行審訊欽此

216 光緒十六年閏二月二十四日內閣奉

上諭昨日道旁叩關之文童張守彝州同銜陳文熙  
之妻陳王氏民婦王林氏均著交刑部嚴行審訊  
欽此

217 文童張守彝山東長山縣人呈控張希武等強

伐塋樹並傷斃伊弟

州同銜陳文熙之妻王氏直隸冀州人代夫陳  
文熙並總兵高振海呈獻疏通運河修治黃  
河策

民婦王林氏四川西昌縣人呈控羅狗兒等霸  
佔產業將伊子賣與探夷現在不知下落

218 據禮部知照順天及各省中式舉人於本月二

十五日在

保和殿補行覆試應請

欽命四書題一道詩題一道於二十五日清晨

發下交監試王大臣傳示謹

奏

219 光緒八年壬午科順天鄉試中式舉人覆試四

書題詩題

君子懷德

賦得窗中雲嶺寬  
得中字五言八韻

各省鄉試中式舉人覆試四書題詩題

天下國家可均也

賦得稼穡滿東菑 得東字五言八韻

順天等省鄉試中式舉人補行覆試四書題詩題

惟仁者為能以大事小

賦得月傍九霄多 得多字五言八韻

光緒十一年乙酉科順天鄉試中式舉人覆試

四書題詩題

王天下有三重焉其寡過矣乎

賦得校理秘文 得文字五言八韻

各省鄉試中式舉人覆試四書題詩題

是以君子有絜矩之道也

賦得方擘竟入戶 得擘字五言八韻

順天等省鄉試中式舉人補行覆試四書題詩題

故有物必有則

賦得晨色奏景風 得晨字五言八韻

光緒十四年戊子科順天鄉試中式舉人覆試

四書題詩題

禹疏九河滄濟澤而注諸海決汝漢排淮泗而

注之江

賦得名齊雁塔人 得名字五言八韻

各省鄉試中式舉人覆試四書題詩題

君子哉若人魯與君子者斯焉取斯

賦得揮毫落紙如雲煙 得仙字五言八韻

順天等省鄉試中式舉人補行覆試四書題詩題

夫明堂者王者之堂也

賦得園花玳瑁斑 得班字五言八韻

光緒十五年己丑

恩科順天鄉試中式舉人覆試四書題詩題

守約而施博者善道也

賦得猶魚得水 得魚字五言八韻

各省鄉試中式舉人覆試四書題詩題

薦其時食

賦得淑氣依邊柳色青 得青字五言八韻

220 軍機大臣 密寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李

欽差大臣督辦東三省練兵事宜署

盛京將軍定

盛京將軍裕 吉林將軍長 黑龍江將軍依

光緒十六年閏二月二十五日奉

上諭前疊經諭令李鴻章將水陸各軍認真操練並特派大臣督辦東三省練兵事宜原以邊防海防均關緊要水師與陸軍相輔而行必須實力整飭方足以固疆圉而壯軍威現在北洋輪船水師業已創辦有成一切操演章程悉臻詳備奉天吉林黑龍江官兵數年以來經該將軍更番抽練營規兵制亦已一律整齊但立法固期盡善辦理尤貴認真平時若不精益求精臨事何以收禦侮折衝之效所有北洋水陸各軍著李鴻章督飭各該統領將操防事宜大加整頓務使一船得一船之用一兵得一兵之用方可有備無患至東三省兵丁素稱驍健果能愈練愈精自可悉成勁旅著定安裕祿長順依克唐阿各飭該總統等悉心訓練不可稍形懈弛總之辦事以覈實為主練兵尤以勤苦為先各該大臣膺此重寄務當各竭心力振刷精神將挑選將弁籌備火器各事宜加意講求期

收實效不得因目前無事稍涉偷安致負委任並著將如何遵辦情形據實覆奏將此各密諭知之

欽此道

旨寄信前來

鈔送醇邸

221 光緒十六年閏二月二十五日內閣奉

上諭各省在籍官紳理宜敦品勵行為鄉里矜式乃近來紳士往往不安本分動輒干預本地方公事甚至藉端扶制官長以遂其假公濟私之計於風俗人心大有關係必應認真查禁以挽流風若各省督撫通飭所屬將前項弊端嚴行禁止倘有刁劣紳矜不知自愛仍有干預情事即著從嚴叅辦至在京官員遇有本籍事件實係有關利弊者原准據實陳奏惟往往有逞臆立言迨經飭查或窒碍難行或全無影響殊非朝廷實事求是之意官員妄行條奏例有處分至本省事件耳目甚近尤應覈實何得以無據之詞率行吶瀆嗣後京官如有條陳本省事件失實者應如何嚴定處分之處

著吏部妥議具奏總之地方吏治全在疆臣整躬率屬實心經理果能破除情面事事秉公屬吏及紳衿等自無從把持舞弊言者亦何從置喙經此次訓諭之後各直省督撫務當振刷精神於察吏安民諸要務悉心整飭俾政治日臻上理不准仍蹈粉飾因循積習致干重咎將此通諭知之欽此

222 各省紳士動輒干預本地方公事明降諭旨嚴飭禁止並嚴定京官條陳本省事件失臂處分兼飭督撫整躬率屬

223 光緒十六年閏二月二十五日內閣奉

上諭戶部右侍郎曾紀澤才猷練達任事勤能由廢生部屬承襲一等侯同治年間奉

特旨以四五品京堂用朕御極後疊加遷擢洵涉卿貳簡任出使大臣聯絡邦交熟悉一切情形辦理悉臻妥協嗣在總理各國事務衙門行走並幫辦海軍事務均能盡心職守日前偶感微疴賞假調理方謂即可就痊長資侍畀忽聞溘逝軫惜殊深加

恩賞給太子少保銜照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子蔭生曾履鑾著俟服闋後由該部帶領引見兵部主事曾廣銓著以員外郎補用以示篤念蓋臣至意欽此

224 同治十三年十二月二十一日內閣奉

上諭工部左侍郎明善由內務府司員洵升卿貳補授總管內務府大臣辦事熟練克勤厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩賞給陀羅經被晉贈太子少保銜照尚書例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

225 光緒五年八月十四日內閣奉

上諭吏部左侍郎成林由司員洵升卿貳在總理各國事務衙門行走補授總管內務府大臣左翼總兵練達勤能克盡厥職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著賞給太子少保銜照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子主



事懷清著加恩賞給員外郎俟及歲時分部學習行走欽此

226 光緒十六年閏二月二十五日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官陝西石泉縣典史張兆桂著即革職等因交陝西巡撫提同刑禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例究辦有獄官石泉縣知縣陳熊雖據報先期公出仍著交部照例議處並勒限緝拿逃犯陶承禾即陶老五務獲嚴究俟限滿有無弋獲再行覆辦該部知道欽此

227 交總理各國事務衙門本日軍機大臣而奉

諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨本月初十四等日醇親王奕譞奏摺二件並奕劻等會奏摺二件均著照所議辦理欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

閏二月二十五日

228 查此次補行覆試舉人應請簡派閱卷大臣除另有差使及應行迴避各員俱不開列外謹繕名單進

呈恭請

硃筆圈出於二十六日清晨

發下傳集各員聽候宣

旨再查上屆補行覆試閱卷欽奉

派出十二人謹

奏

229 張之萬

福錕

徐桐

麟書

翁同龢

崑岡

許庚身

嵩申

孫毓汶

○ 潘祖蔭

○ 松森

○ 祁世長

○ 孫家鼐

○ 徐邨

○ 景善

○ 廖壽恆

○ 薛允升

○ 汪鳴鑾

○ 徐樹銘

○ 恩榮

230

應調漢侍郎名單

吏部左侍郎許應駁

右侍郎孫家鼐

戶部左侍郎孫詒詒

現在請假

禮部左侍郎徐邨

右侍郎廖壽恆

兵部左侍郎徐用儀

現兼署刑部右侍郎

○ 右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

右侍郎周德潤

現出學差

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎徐樹銘

倉場侍郎游百川

231

應升漢侍郎名單

內閣學士錢桂森

現出學差

洪鈞

現在出使

李端棻

陳學棻

都察院左副都御史徐致祥

沈源深

宗人府府丞錢應溥

通政使司通政使黃體芳

大理寺卿馮爾昌

詹事府詹事龍湛霖

現出學差

232 光緒十六年閏二月二十六日內閣奉

上諭徐用儀著調補戶部右侍郎兼管錢法堂事務仍兼署刑部右侍郎兵部左侍郎著洪鈞補授未到任以前著廖壽恆兼署欽此

233 光緒十六年閏二月二十六日內閣奉

上諭譚鈞培奏請免新平縣屬旱災田糧一摺雲南新平縣地方上年天氣亢旱田畝被災若將應徵田糧照常徵收民力實有未逮如恩著照所請所有新平縣屬東安永平正沅等里被災民田四十七項三十四畝零應徵秋糧及條改米二百三十九石零條編奏平公耗糧羨及官莊米折等銀一百七十一兩零漫干壩太和鄉新化鄉被災民田十六項五十五畝零應徵秋糧及條改米四十四石零條編奏平公耗糧羨及官莊米折等銀三十二兩零南甯里羅里鄉被災民田二十項六十二畝零應徵秋糧及條改米一百五十三石零條編奏平公耗糧羨及官莊米折等銀一百十兩零揚武壩被災民田五項九十六畝零應徵秋糧及條

改米四十石零條編奏平公耗糧羨及官莊米折等銀二十八兩零磨沙壩谷麻鄉斗門鄉被災民田十三項五十八畝零應徵秋糧及條改米六十八石零條編奏平公耗糧羨及官莊米折等銀四十九兩零均著全數豁免以紓民力該撫卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區至意該部知道欽此

234 光緒十六年閏二月二十六日內閣奉

上諭貴州按察使田國俊前已有旨催令迅速來京陛見茲據潘駿文奏該臬司現在患病未能起程請賞假兩月等語田國俊著賞假一箇月假滿後卽行來京陛見毋再遲延欽此

235 光緒十六年閏二月二十六日奉

旨這所奏疏防監犯越獄之管獄官浙江錢塘縣典史方奎元著卽革職鞫問交崧駿提同刑禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例究辦有獄官錢塘縣知縣東允泰雖據報公出究未能先事豫防著

摘去頂戴仍勒限緝拿逃犯徐佬六務獲嚴究俟  
限滿有無弋獲再行覈辦該部知道欽此

236 光緒十六年閏二月二十六日內閣奉

上諭殺虎口監督恆壽奏差滿回京齋交盈餘銀兩  
一摺所得盈餘等項銀一萬六千七十兩零均交  
廣儲司恆壽著毋庸賞給該衙門知道欽此

237 光緒十六年閏二月二十六日奉

旨知道了欽此

倉場衙門奏查明積米等倉尚無偷故業糧捐

238

奏蒙

臣等謹將該部所請各員名單開列於後  
徐嗣曾同錄一於原高書請以除作其等差原書能請旨立跪

發下履試卷三百二十四本<sub>臣</sub>等公同詳閱分別等  
第名次擬一等四十名二等一百二十名三等  
一百六十四名於卷面粘籤恭呈

御覽伏候

欽定候

發下再行拆閱彌封另繕名單進

呈謹  
奏

239

<sub>臣</sub>等查對另頁詩句人名並將中式各原卷磨  
對筆蹟均屬相符謹

奏

240

一等四十名

沈衡

潘本榮

汪兆鏞

李兆祥

金兆著

許應奎

王孝銘

楊金第

蕭煒基

朱鍾濬

延祺  
張洪湘  
劉學誠  
湯嗣銜  
張元濟  
何之鎔  
慶春  
劉汝驥  
丁孝虎  
吳廷錫  
鄭宗邨  
李登賢  
陳彝範  
車書  
王琴堂  
袁大啟  
德彬  
劉致清  
鄭廷柱

張文煥  
董鴻熙  
汪應鏞  
梁承洛  
吳家珍  
梁炳章  
衛榮奎  
王廷棟  
祝嘉聚  
劉茂槐  
景卿  
二等一百二十名  
周頌聲  
顏貽澤  
吳錫恩  
王廷槐  
賴芳  
徐樹昌  
龍祝齡

胡湛然 何國澄 宋慎儀 董荃 江逢辰 章觀光 韓章銘 常壽泉 李義田 鄭經宇 黃士俊 區天驥 陳鉅前 高奎照 區家偉 何聲煥 李兆蘭 張鳳翰 史履晉

紀德蔭 朱興沂 張葆良 周拱藻 高拱元 楊錫慶 閻鳳閣 胡汝霖 楊開槐 喬木 朱耀采 李光坤 劉漢雲 顏廷佐 李寶樟 程芹香 李安 康天錫 吳世欽

潘增綬  
朱秉筠  
謝銘新  
張祖甄  
陳棟堂  
陸仁基  
謝琪  
范裕章  
安文瀾  
張國楨  
陸應勳  
齊耀珊  
孟繼唐  
殷維城  
柯德樹  
龔心銘  
張志嘉  
賈聯昌  
朱慶年

濮賢恆  
梁爾燦  
孟云樸  
黎朝書  
畢培基  
崔斯濬  
朱楷之  
王甲榮  
杜春元  
李華芬  
羅海  
宋天策  
李綺青  
任桂芬  
慶仁  
張書紳  
盧煜  
王企祥  
承祐

才守謀  
陳朝楨  
唐炳麟  
陶邵學  
張光鼎  
陳服章  
丁九府  
連甲  
周式度  
楊杏林  
張懷信  
譚寶晉  
梁士詒  
宗翰藩  
譚燮堯  
李鴻春  
于仲瀛  
張煜  
朱壽年

皮業緒  
張景耀  
董受祺  
姚日焜  
梁聯芳  
翁祖蔭  
江呈輝  
劉法先  
凌和鈞  
王三讓  
董夢弼  
郁弼辰  
錢昌瑜  
劉鍾瓊  
顧志文  
胡之冕  
張淑腫  
孫廷燦  
三等一百六十四名



尹化成  
崔延一  
梁治安  
丁寶相  
張明遠  
鄒澤源  
王熙齡  
鄭輔東  
吳應奎  
黃綸書  
籍忠宣  
王者佐  
郝繼貞  
俞秉炎  
陳其勳  
唐家泰  
許焜  
彭文翰  
張自省

黃增榮  
袁澍  
魏遐齡  
馬廷弼  
鄭篤祺  
蔣葆珊  
劉錫珍  
松年  
杜國勳  
陳紀  
齊恩毓  
馬湘  
張堅  
區卓良  
中福  
萬程  
徐復誠  
奎明  
張九經

王景源  
路由義  
胡秉忠  
李發聲  
鄧淦  
鄭化宸  
邢夢椿  
陳鳳藻  
張好生  
于鳳鳴  
袁鳳書  
紀堪謹  
程懋  
趙蘭田  
劉春燾  
王龍  
王商藻  
何振清  
邵建中

吳璋  
唐哲城  
惟康  
張守源  
岳鍾秀  
虞慶槐  
梁楷  
胡北銜  
莊杰  
玉璞  
陳象紱  
文俊  
張青鑑  
薛治  
王思沆  
弭宗爽  
佛勒混泰  
姜良材  
王珍璐

趙湘 恆孚 鍾毓 王六德 倪星垣 廖燕翔 高祉元 張輅 林秀山 李金鍊 鄭汝澄 于桂森 李鍾靈 張敬熙 楊毓麟 徐棠 章倬漢 周覲光 陶家莊

于鳳閣 何沂 萬英 鍾毓 林介侯 黃崇憲 張增祜 何瓊樓 彭耀宗 黃菊人 柏森 盧鴻泰 莫登蟾 李振聲 俞鈞 王舟瑤 朱蔚然 謝錫勳 余師銘

鍾葆珩 劉玉輝 周贊元 藍志仁 鄭崧生 李榮紳 宗德煌 羅慶榮 王儒鴻 慶昌麒 李銘勳 廉傑 鄒慎言 崔殿圖 趙葆元 王慶兆 何澄 阮燮臣 劉廷珍

杜含光 鷺翔 王枋 陳鳳翰 張燾 霍翰章 劉汶澄 謝晉勳 潘玉璜 牛韞璋 朱振鏞 黃家駟 高攀桂 連桂 李夢花 段德澍 魯毓芹 趙炳曦 招涵

鍾萼

金殿光

崔廷贊

韓師韓

高玉森

尹佐湯

辛恆枯

蕭逢源

楊月村

倪宏謀

羅鳳密

邴向南

241 光緒十六年閏二月二十七日內閣奉

上諭此次覆試各直省舉人列入一等之吳士鑑等一百二十名列入二等之黃澍茶等四百八十名列入三等之吳命新等七百三十六名均著准其一體會試列入四等之李錫增陳錫鸞徐芬張觀丹陳宗虞翁清洋李翰英鄒宗魯夏鷗李樹森柯

錫麒楊宣義李琴聲胡宗虞均著罰停會試一科喬聯昌著罰停會試二科傅履祥著罰停會試三科欽此

242 光緒十六年閏二月二十七日內閣奉

上諭此次補行覆試順天及各直省鄉試舉人列入一等之沈銜等四十名列入二等之周頌聲等一百二十名列入三等之尹化成等一百六十四名俱著准其一體會試欽此

243 光緒十六年閏二月二十八日奉

旨知道了欽此

初百五半統領衙門查明錄內各清康無開文請勾等情揭

244 光緒十六年三月初一日內閣奉

上諭京師入春後雨澤稀少朕此次自

東陵回京沿途察看麥苗情形雖尚蔥鬱惟時值布種

早秋農田亟盼渥澤允宜虔申祈禱朕於本月初

四日親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載灃

昭顯廟著派貝勒載漪

宣仁廟著派貝勒載溎

凝和廟著派貝子奕謨同於是日分詣拈香欽此

245 光緒十六年三月初一日內閣奉

上諭李瀚章奏擊獲著名海盜請將出力人員獎勵

一摺廣東濱海等處盜匪設立堂名肆行劫掠久

為閭閻巨患其中匪首曾鱸魚全一名多年稔惡

糾結黨與在廣東一帶洋面出沒靡常時至內地

搶劫並殺傷事主拒斃官兵犯案不計次數現經

李瀚章會商提督方曜督飭署副將何長清等奮

力擒捕將該犯擒擊正法奪獲賊船五隻賊械多

件並緝獲各堂匪首八名匪黨多名分別懲辦在

事出力員弁不無微勞足錄署香山協副將何長

清署香山縣知縣李徵庸游擊丁志德盧滿江副

將黃金福均著交部從優議敘把總何長虹著以

千總補用並加都司銜署把總武舉麥國昌把總

何長祺均著以千總即補並加守備銜千總陳到

把總梁榮均著加守備銜以示鼓勵餘著照所議

辦理該部知道欽此

246 軍機大臣 字寄

成都將軍軍岐 四川總督劉 駐藏大臣長

幫辦大臣升 光緒十六年三月初二日奉

上諭瞻對番民滋事一案前經長庚升泰先後奏報

疊經諭令該大臣等設法解散妥為查辦茲據長

庚奏遵旨派員前往開導並瞻對控告番官及商

上所陳各情覽奏均悉此次瞻對因藏官苛斂暴

虐輒敢糾眾驅逐藉端滋事現經長庚等派兵彈

壓杜其勾結刻下商上業已遵諭息兵該大臣所

陳目前辦法以弭患息爭除苛安民為主自係先

務之急即著飭令派往贍對員弁剴切開導曉以利害俾該番知感知畏克就範圍至該番所呈願隸內地版圖一節贍對地方同治年間已給與達賴喇嘛管理該商上果能滌除苛政妥為撫馭則番境自臻靜謐朝廷一視同仁祇期又安邊圉並無利其土地之心惟贍境密邇川疆嗣後總須妥籌定局以期永遠相安且俟委員前往辦理如何再由長庚等隨時體察情形會同岐元劉秉璋詳議具奏候旨遵行原摺片均著鈔給岐元劉秉璋閱看將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

247 光緒十六年三月初二日內閣奉

上諭光祿寺卿裴蔭森著來京供職所有船政事務著派閩浙總督卞寶第兼管欽此

248 光緒十六年三月初二日內閣奉

上諭此次覆試各省駐防繙譯鄉試舉人考列二等之金坤等四名三等之音德訥等十名均著准其一體會試欽此

249 軍機大臣 字寄

工部尚書兼管順天府府尹潘 順天府府尹

陳 光緒十六年三月初三日奉

上諭有人奏通州知州張兆豐因田畝控案將傅姓嚴押斃命並重徵糧稅勒索銀兩又縱令家丁收受斗局陋規等語所奏如果屬實自應嚴行叅辦著潘祖蔭陳彝按照所叅各節嚴密確查據實具奏毋稍徇隱原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

250 光緒十六年三月初三日內閣奉

上諭御史文郁奏旗佃租案審辦多歧請飭部仍照舊例提京訊結一摺著戶部議奏欽此

251 光緒十六年三月初三日奉

旨尚其桂准其揀選擬正欽此

欽此

252 據禮部知照向例文會試題目宗室會試題目

應由禮部堂官於三月初八日詣

宮門前一同祇領交知貢舉轉送內簾等因本年

庚寅

恩科會試應請

欽命頭場四書題三道詩題一道宗室會試

欽命四書題一道詩題一道均於初八日

發下文禮部堂官祇領送至貢院交知貢舉轉送內

簾謹將上三屆鄉會試及宗室鄉會試題目繕

單恭呈

御覽再禮部文內聲稱啟題匣之鑰匙三月初六日主

考官詣軍機處祇領入場臨期啟用等語恭候

發下由臣等給領謹

奏

253 會試題目

論語

中庸

孟子

254 會試題目

大學

論語

孟子

255 光緒十一年乙酉科宗室鄉試四書題詩題

序事所以辨賢也

賦得印沙鷗迹自成行得沙字五言八韻

光緒十一年乙酉科順天鄉試四書題詩題

寔能容之以能保我子孫黎民尚亦有利哉

子華使於齊冉子為其母請粟子曰與之釜請

益曰與之庾冉子與之粟五秉子曰赤之適

齊也乘肥馬衣輕裘吾聞之也君子周急不

繼富原思為之宰與之粟九百辭子曰毋以

與爾鄰里鄉黨乎

孔子嘗為委吏矣曰會計當而已矣嘗為乘田

矣曰牛羊茁壯長而已矣

賦得盡放冰輪萬丈光得光字五言八韻

光緒十四年戊子科宗室鄉試



欽命四書題詩題

聽訟吾猶人也必也使無訟乎

賦得風來太液聞鳴鶴 得鳴字五言八韻

光緒十四年戊子科順天鄉試

欽命四書題詩題

是以大學始教必使學者即凡天下之物莫不

因其已知之理而益窮之以求至乎其極

齊一變至於魯魯一變至於道

始條理者智之事也終條理者聖之事也

賦得楊柳讀書堂 得書字五言八韻

256 光緒十五年己丑

恩科宗室鄉試

欽命四書題詩題

君子惠而不費

賦得風高月影圓 得字五言八韻

光緒十五年己丑

恩科順天鄉試

欽命四書題詩題

有若對曰盍徹乎

言前定則不跲事前定則不困行前定則不疚

道前定則不窮

人皆有所不為違之於其所為義也

賦得自彊不息 得乾字五言八韻

257

光緒九年癸未科宗室會試四書題詩題

東里子產潤色之

賦得新樹葉成陰 得陰字五言八韻

光緒九年癸未科會試四書題詩題

知其說者之於天下也其如示諸斯乎

文理密察足以有別也

其事則齊桓晉文其文則史

賦得花開鳥鳴晨 得晨字五言八韻

光緒十二年丙戌科宗室會試四書題詩題

行不由徑非公事未嘗至於偃之室也

賦得松色入門遠 得松字五言八韻

光緒十二年丙戌科會試四書題詩題

子張門行子曰言忠信行篤敬雖蠻貊之邦行

矣言不忠信行不篤敬雖州里行乎哉立則見其參於前也在與則見其倚於衡也夫然後行子張書諸紳

中庸不可能也

取諸人以為善是與人為善者也故君子莫大乎與人為善

賦得報雨早霞生 得生字五言八韻

光緒十五年己丑科宗室會試

欽命四書題詩題

知者樂水仁者樂山

賦得燕得新泥拂戶忙 得泥字五言八韻

258 光緒十五年己丑科會試

欽命四書題詩題

子曰行夏之時乘殷之輅服周之冕樂則韶舞取人以身修身以道

曰子不通功易事以羨補不足則農有餘粟女

有餘布子如通之則梓匠輪輿皆得食於子

賦得馬飲春泉踏淺沙 得泉字五言八韻

259

奏為繕修漢字檔冊恭摺奏

臣 世鐸等跪

聞事竊查軍機處錄存漢字檔案每屆五年奏請辦

理一次將檔冊另錄一分收存備查嗣於咸豐

四年因檔案繁多奏請三年辦理一次奉

旨允准歷經遵辦在案茲自光緒十三年正月起至

十五年十二月止欽奉

上諭及寄信會議各漢字檔冊又屆三年應修之期

應請照例遴派內閣中書在於方略館分冊繕

寫責令認真覈對並揀派漢章京二員總司校

勘及方略館供事在彼承值一切紙張筆墨等

件均照向例行文各處咨取如果辦理妥速再

行查照例案奏請獎勵至供事人等向於告成

時隨案聲請議敘如能奮勉出力俟修整檔冊

完竣時應請查照成案給予獎敘所有繕修漢

字檔冊緣由理合恭摺奏

聞伏乞

皇上聖鑒謹

奏

光緒十六年三月初三日奉  
旨知道了欽此

臣 世 鐸

臣 額勒和布 假

臣 張之萬

臣 許庚身

臣 孫毓汶

260 光緒十六年三月初四日內閣奉

上諭戶部奏遵議續昌所交左翼監督盈餘銀兩一摺

摺所交盈餘銀三千二百三十一兩零著交廣儲

司餘依議欽此

261 光緒十六年三月初四日內閣奉

上諭戶部奏遵議符珍所交右翼監督盈餘銀兩一摺

所交盈餘銀一千一百四十五兩零著交廣儲司

符珍短收額內盈餘銀兩應得處分著加恩寬免

餘依議欽此

262 會試正副考官單內告假人員名單

刑部尚書嵩申

263

詹事府詹事志銳 現在告假

國子監祭酒薩廉 現在告假

戶部員外郎袁昶 現在告假

264 光緒十六年三月初五日奉

旨依議欽此

禮部奏頒發朝鮮 詔書按察交年班貢使歸回摺

黃面紅裏片

265 光緒十六年三月初六日內閣奉

上諭孫毓汶現在入關刑部尚書著孫家鼎署理欽此

266 應兼署刑部漢尚書名單

協辦大學士吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書李鴻藻

兵部尚書許庚身  
工部尚書潘祖蔭  
都察院左都御史祁世長

267 應署刑部漢尚書名單

吏部右侍郎孫家鼎

戶部左侍郎孫貽經

右侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎徐郁

右侍郎廖壽恆 現兼署兵部左侍郎

兵部右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎徐樹銘

268 光緒十六年三月初六內閣奉

上諭貴恆現在入關都察院左都御史著松桂署理  
欽此

269

應兼署滿左都御史名單

協辦大學士戶部尚書福錕

吏部尚書麟書 現在請假

禮部尚書崑岡

兵部尚書烏拉喜崇阿 現在請假

刑部尚書嵩申 現在請假

工部尚書熙敬差

理藩院尚書松森

270

應署滿左都御史名單

吏部左侍郎松淮

戶部左侍郎續昌

右侍郎崇禮

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

工部右侍郎豐烈  
理藩院左侍郎恩榮

右侍郎慶福

271 光緒十六年三月初六日內閣奉

上諭許應駿現在入闈吏部左侍郎著孫貽經兼署  
欽此

272 應兼署吏部左侍郎名單

吏部右侍郎孫家鼐

戶部左侍郎孫貽經

右侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎徐郿

右侍郎廖壽恆 現兼署兵部左侍郎

兵部右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎徐樹銘

275

應兼署吏部滿洲右侍郎名單

吏部左侍郎松淮

戶部左侍郎續昌

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾 現在請假

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

273 應署吏部漢左侍郎名單

內閣學士李端棻

陳學棻

宗人府府丞錢應溥

通政使司通政使黃體芳

大理寺卿馮爾昌

274 光緒十六年三月初六日內閣奉

上諭敬信現在入闈吏部右侍郎著續昌兼署欽此

右侍郎清安 現在請假

工部右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩棠

右侍郎慶福

276 應署吏部滿洲右侍郎名單

內閣學士文治

霍穆歡

愛廉

鳳鳴

都察院左副都御史奕年 現在請假

奕杖

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂

詹事府詹事志銳

277 光緒十六年三月初六日內閣奉

上諭徐致祥現在入闈都察院左副都御史著錢應

溥署理沈源深現在入闈都察院左副都御史著

馮爾昌署理欽此

278 應署漢左副都御史名單

宗人府府丞錢應溥

通政使司通政使黃體芳

大理寺卿馮爾昌

太常寺卿壽昌

順天府府尹陳彝

太僕寺卿張蔭桓

279 光緒十六年三月初六日內閣奉

上諭潘祖蔭陳彝奏甄別屬員一摺順天署武清縣

知縣宛平縣知縣陳壽椿馭下不嚴昌平州知州

石賚臣辦事未能穩慎均着開缺察看候補通判

張益禧年力久衰著勒令休致以肅官方餘著照

所議辦理該部知道欽此

280 光緒十六年三月初七日內閣奉

上諭潘駿文奏故員虧短交代各款請查抄備抵等

語山西已故革職知縣崔曉然前在署五寨縣知

縣任內虧短雜款銀兩及存倉豆石疊經勒限追

繳迄未據該家屬完解實屬玩延著山西巡撫將該故員寓所資財先行查抄一面提集經手丁胥人等嚴訊懲辦並著李鴻章將該故員原籍家產一併嚴密查抄備抵以重庫款該部知道欽此

281 光緒十六年三月初七日內閣奉

上諭都察院奏河南已革教諭王恂之以知縣挾嫌捏詳填入大計寃抑難伸等詞赴該衙門呈訴所控是否屬實著倪文蔚秉公查訊據實具奏原告王恂之該部照例解往備質欽此

282 光緒十六年三月初七日內閣奉

上諭都察院奏直隸河間縣民人劉雲龍狄化雲等以派差苦累浮收地丁等詞赴該衙門呈訴控關官吏擾民虛實均應澈底根究著李鴻章提集人證秉公研訊據實具奏原告民人劉雲龍等該部照例解往備質欽此

283 軍機大臣 字寄

四川總督劉 光緒十六年三月初八日奉  
上諭刑部奏審明叩閩人犯請飭四川總督親提澈究並將抱告徐洪及原呈等解交訊辦一摺已依議行矣各省設局抽釐本屬朝廷不得已之舉豈容官吏侵漁徒資中飽所控夔開釐局改章加抽私加平耗徵多報少並巧立外用划子名目自書巡以至局員層層侵蝕各節如果屬實必應從嚴懲辦著劉秉璋親提人證卷宗嚴切訊究務得確情據實具奏不得稍有諱飾並將該省釐局積弊澈底清查儻有前項情事一律嚴參懲辦以免擾累將此諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

284 滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松  
四品銜刑部員外郎桂春  
戶部員外郎和爾賡額  
四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院郎補郎中志樸

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎魁麟

內閣候補侍讀崇林

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王倣

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

五品銜刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班

四品銜通政使司參議整岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部主事即補員外郎延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部郎補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞署都察院左副都御史錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳芾棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李陰鑾

285 光緒十六年三月初九日內閣奉

上諭前因京師入春後雨澤稀少朕親詣

大高殿拈香並派員勒載濂等分詣

時應宮等處拈香數日以來雖經得有微雨尚未



渥沛甘霖允宜再申祈禱朕於本月十二日親詣  
大高殿並

宣仁廟拈香

時應宮著仍派員勒載瀛

昭顯廟著仍派員勒載漪

凝和廟著派員勒載溎同於是日分詣拈香欽此

286 光緒十六年三月初十日奉

旨仍著賞給敕印餘依議欽此

軍機大臣面奉

287 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨軍機章京兵部郎中即選知府沈恩嘉現在纂

輯平定回匪方略著吏部暫停銓選欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交

三月十日

288 交理藩院本日軍機大臣面奉

諭旨安德等奏參圖什業圖汗部落盟長規避供給

一摺著該衙門議奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計結抄摺一件

三月十日

289 光緒十六年三月十一日奉

旨依議欽此

吏部奏本年會試可否加倍批收膠錄請

290 軍機大臣 字寄

直隸兩江閩浙湖廣四川江蘇安徽江西湖北

湖南山東山西各督撫 光緒十六年三月十

二日奉

上諭戶部奏請續撥京餉等語近年部庫放款浩繁

疊經戶部續請添撥京餉此次該部體察各省情

形擬撥山東地丁銀五萬兩山西地丁銀五萬兩

湖南地丁銀五萬兩江西地丁銀四萬兩福建稅

釐銀十萬兩兩淮鹽課鹽釐銀八萬兩長蘆柴工  
加價銀五萬兩江蘇釐金銀十二萬兩安徽釐金  
銀五萬兩湖北鹽釐銀五萬兩四川津貼銀五萬  
兩鹽釐銀十萬兩江海關洋稅銀八萬兩九江關  
常稅銀十萬兩贛關常稅銀一萬兩蕪湖關常稅  
銀一萬兩洋稅銀一萬兩共銀一百萬兩著該督  
撫各將所撥餉銀連本年原撥未解京餉均於五  
月前解到一半十二月初間如數解齊各該督撫  
等務當顧全大局依限提前完解儻藉詞誣卸率  
請劃抵截留貽誤要需即著該部指名奏參將此  
由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

291 光緒十六年三月十二日內閣奉

上諭李瀚章奏特舉賢員請旨獎勉一摺廣東署廣  
州府知府李璉德慶州知州楊文駿署香山縣知  
縣李徵庸署海陽縣知縣沈麟書據該督奏才猷  
政績均足備循良之選即著傳旨嘉獎仍飭令該

員等益矢慎勤勉為循吏用副朝廷造就人才至  
意欽此

292 光緒十六年三月十二日內閣奉

上諭李瀚章奏甄別屬吏等語廣東東莞縣知縣王  
煦才具庸懦兼有嗜好著勒令休致潮陽縣知縣  
陳瑄拘牽寡斷不洽輿情著開缺留省另補合浦  
縣知縣林兆禧識見淺陋聽斷無才惟文理尚優  
著以教職歸部選用餘著照所議辦理該部知道  
欽此

293 光緒十六年三月十二日奉

旨依議欽此

戶部奏京函銀滿分別酌量開

294 軍機大臣 字寄

兩廣總督李 傳諭署理廣東巡撫布政使游  
智開 光緒十六年三月十三日奉  
上諭廣東惠潮嘉道德泰著李瀚章游智開悉心察

看如竟不能勝任即行據實奏參毋稍遷就將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

295 軍機大臣 字寄

河南巡撫倪 光緒十六年三月十三日奉

上諭河南衛輝府知府陳希謙著倪文蔚悉心察看如竟不能勝任即行據實奏參毋稍遷就將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

296 光緒十六年三月十三日内閣奉

上諭甘肅鎮迪道恩綸著開缺送部引見欽此

297 光緒十六年三月十三日内閣奉

上諭山東布政使著福潤補授曹秉哲著補授山東按察使欽此

298

直隸布政使裕長

滿洲正白旗監生 光緒十五年七月補

江蘇布政使黃彭年

貴州進士 光緒十二年七月補

江甯布政使瑞璋

滿洲正紅旗人 光緒十七年三月補

安徽布政使阿克達春

滿洲正白旗監生 光緒十二年八月補

山東布政使王毓藻

湖北進士 光緒十四年四月補

山西布政使奎俊

滿洲正白旗人 光緒十五年十月補

河南布政使廖壽豐

江蘇進士 光緒六年正月補

陝西布政使陶模

浙江進士 光緒十四年三月補

甘肅布政使張岳年

浙江舉人 光緒十五年十二月補

甘肅新疆布政使魏光燾

湖南人 光緒九年三月補 甘肅藩司嗣調

浙江布政使許應鏗

廣東進士 光緒十年十月補

福建布政使劉樹棠

雲南監生 光緒十六年閏二月補

福建臺灣布政使蒯德標

安徽舉人 光緒九年正月補 湖北藩司嗣調

江西布政使方汝翼

廣東舉人 光緒十四年十月補

湖北布政使鄧華熙

廣東舉人 光緒十五年六月補

湖南布政使何樞

河南進士 光緒十五年十二月補

廣東布政使游智開

湖南舉人 光緒十四年十月補

廣西布政使張聯桂

江蘇附生 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃

滿洲正白旗監生 光緒十二年九月補

雲南布政使史念祖

江蘇監生 光緒三年十月補貴州藩司調雲南 光緒十五年十月補

貴州布政使王德榜

湖南監生 光緒十五年十月補

直隸按察使周馥

安徽監生 光緒十四年三月補

江蘇按察使張國正

漢中鎮監生 光緒十六年三月補

安徽按察使高崑

湖南鎮監生 光緒十年二月補山西藩司調安徽 光緒十二年八月補湖南藩司

山東按察使福潤

蒙古正紅旗附生 光緒二年八月補湖南藩司調山東

山西按察使潘駿文

安徽監生 光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩

山東監生 光緒十二年二月補

陝西按察使唐樹楠

湖南舉人 光緒十四年十月補甘肅藩司調陝西

甘肅按察使裕祥

湖南鎮監生 光緒十四年九月補陝西藩司調甘肅

浙江按察使龔照璠

安徽監生 光緒十六年正月補

福建按察使徐文達

安徽人 光緒十五年十月補

江西按察使福裕

蒙古正紅旗監生 光緒十年二月補

湖北按察使成允

正紅旗監生 光緒十二年二月補山東藩司調湖北

湖南按察使沈晉祥

浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春

湖南人 光緒十四年三月補浙江藩司調廣東

廣西按察使秦煥

江蘇監生 光緒十五年八月補

四川按察使德壽

漢軍鎮監生 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶

廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使田國俊

山西進士 光緒十五年三月補

300 光緒十六年三月十四日內閣奉

上諭河南河北道員缺著明保補授欽此

301 查河南河北道係繁難要缺謹

奏

302 軍機大臣 字寄

成都將軍岐 四川總督劉 駐藏大臣長

幫辦大臣升 西甯辦事大臣薩 光緒十六

年三月十五日奉

上諭薩凌阿奏玉樹番族屢被川藏番匪欺凌懇留

委員查辦一摺據稱主事錫拉網阿等前往玉樹

番族會盟查辦詞訟事件該番各族千戶等訴稱

近年屢被川番搶劫藏番需索並川番強派支應

等情該主事等查傳該土司等對質乃抗不到案

玉樹番族苦留該委員等將欺凌前案查辦了結

該大臣已令該委員等先行回甯請另派大員查辦等語玉樹番族疊被川藏番匪搶掠勒索亟應嚴行查辦著岐元劉秉璋長庚升泰遴選妥員確切查明分別懲治以弭後患原摺著鈔給岐元劉秉璋長庚升泰閱看將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

303 軍機大臣 字寄

廣州將軍繼 兩廣總督李 光緒十六年三月十七日奉

上諭前據游智開奏參廣東候補知府王秉恩等貪劣各款請一併革職當經降旨照所請行茲據張之洞奏該署撫空言參劾多員既非據司道詳稟又未會總督銜名查王秉恩王存善魏恆等委辦諸務卓著成效絕無罔利營私之迹請旨飭查以昭覈實等語著繼格李瀚章秉公確查據實具奏毋稍徇徇游智開張之洞各摺均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

304 光緒十六年三月十七日內閣奉

上諭前因京師入春以來雨澤稀少朕疊次親詣

大高殿暨

宣仁廟拈香並派貝勒載濂等分詣

時應宮等處拈香近日雖連得微雨尚未渥沛甘

霖現已節屆立夏允宜再申祈禱朕於本月二十

一日親詣

大高殿並

時應宮拈香

宣仁廟著派貝勒載濂

昭顯廟著仍派貝勒載漪

凝和廟著仍派貝勒載瀅同於是日分詣拈香欽此

305 光緒十六年三月十七日內閣奉

上諭劉銘傳奏勦平南澳番社請將在事將領分別

賞罰一摺臺灣南澳各番負隅抗拒經劉銘傳派

兵往勦先後攻破番社現在該番窮蹙乞撫即著

劉銘傳督飭各員將開山招墾各事宜妥籌辦理

毋稍草率所有出力之記名提督總兵吳宏洛著

交部從優議敘總兵寶如田著以提督記名簡放  
遊擊趙有才鄭運泰均著以參將儘先補用並賞  
加副將銜千總柯壬貴陳德馨均著以守備補用  
並賞戴花翎陣亡之副將傅德柯著照總兵例從  
優議卹參將李晴峯劉秀顏守備熊文標均著交  
部從優議卹提督李定明狡滑虛詐臨事逗留不  
進著即行革職並褫去黃馬褂撤銷勇號副將龍  
斌駁習氣游滑不堪任使著即行革職該部知道  
欽此

306 光緒十六年三月十七日內閣奉

上諭馬丕瑤奏特參廢弛營務之提督請旨懲辦一  
摺記名提督唐本有管帶廣西防營駐紮全州界  
首地方侵蝕曠餼懸缺不補迨該撫委員接替臨  
時輒以疲弱充數軍械多不整齊並有盤剝營私  
擅役勇丁各情唐本有著即行革職以肅軍政該  
部知道欽此

307 光緒十六年三月十八日奉  
旨著以副護軍參領補用欽此

正白旗滿洲奏請補都司李祥補缺開列四部奏摺

308 六品廕生陳啟瑞

旨著以通判用

309 六品廕生春壽

旨著發回原處以驍騎校用

310 開復前鋒校佛爾格春

旨著仍以前鋒校補用

311 光緒十六年三月二十三日內閣奉

上諭前因京師入春以來雨澤稀少朕疊次親詣  
大高殿暨

宣仁廟等處拈香並派員勒載灑等分詣  
時應宮等處拈香虔申祈禱仰荷

吳慈春佑渥沛甘霖郊原普潤寅感實深本月二十六

日朕親詣

大高殿拈香

時應宮著派員勒載瀛

昭顯廟著派員勒載濤

宣仁廟著派員勒載澄

凝和廟著派員子奕謨同於是日分詣拈香敬謹

報謝仍冀頻邀

鴻臚渥澤優霑以慰農望欽此

312 據禮部知照宗室中式貢士於本月二十六日在

保和殿覆試應請

欽命四書題一道詩題一道於二十六日清晨

發下交監試王大臣傳示謹

奏

313 光緒九年宗室會試覆試四書題詩題

夫仁亦在乎熟之而已矣

賦得人聲曉動千門闕 得門字五言八韻

光緒十二年宗室會試覆試四書題詩題

未有上好仁而下不好義者也

賦得桃花夾岸護溪莊 得莊字五言八韻

光緒十五年宗室會試覆試

欽命四書題詩題

其祿以是為差

賦得樹杪玉堂懸 得山字五言八韻

314 光緒十六年三月二十四日內閣奉

上諭李鴻章奏已故大員勤勞卓著請將事蹟宣付

史館立傳一摺原任戶部右侍郎曾紀澤奉使各

國克勤厥職嗣在總理衙門行走辦理中外交涉

事宜諸臻妥協幫辦海軍事務一切規制贊畫頗

多著將生平事蹟宣付國史館立傳並加恩予諡

用示篤念蓋臣有加無已至意欽此

315 光緒十六年三月二十六日內閣奉

上諭前據給事中張元普奏請飭興修浙江南湖水

利並參嘉興縣知縣王晉玉壓攔賑務等情當經

諭令崧駿查奏茲據查明覆陳此案王晉玉被參上年水災時該員張樂飲博每遇鄉民報災一概批駁希圖開徵並浮收錢糧各節均查無其事惟該員在任年久諸務因循一切聽信幕友書差致招物議且精力就衰難期振作王晉玉著即勒令休致其餘杭縣屬之南湖關繫浙西水利崧駿現已飭屬勘估即著該撫督飭員紳將濬河培隄各事宜妥籌辦理以衛農田該部知道欽此

316 光緒十六年三月二十六日內閣奉

上諭岐元劉秉璋奏查辦瞻對番務破寨擒渠邊境  
敕定一摺瞻對番日撒拉雍珠與巴宗喇嘛勾結  
野番糾眾滋事經岐元等飭派署阜和協副將徐  
聯魁等密帶兵勇馳往查辦殲斃首犯撒拉雍珠  
解散脅從復督隊圍攻官寨生擒巴宗喇嘛陣斬  
匪黨數名當將官寨收復辦理尚為妥速即著岐  
元劉秉璋會商長庚升泰將巴宗喇嘛從嚴審辦  
並覈定輕減賦役章程妥籌善後以靖邊疆所有  
尤為出力之記名提督署阜和協副將徐聯魁著

遇有四川副將缺出不論班次先儘借補其餘出力各員弁著准其擇尤保獎毋許冒濫該部知道欽此

317 光緒十六年三月二十六日奉  
旨翟先樹著准其加倍捐復欽此

吏部奏已年所擬翟先樹情節可原可否准其加倍捐復摺

318 交吏部本日軍機大臣面奉

諭旨順天府奏降調大興縣知縣李均豫被參原案  
委無實蹟可否送部引見等語李均豫著交吏部  
帶領引見欽此相應傳知  
貴部欽遵辦理可也此交計粘鈔摺一件

三月廿日

319 交吏部本日引

見吉林金珠鄂佛羅驛總站官一缺擬陪之無品級  
筆帖式常廉奉



旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

三月二十六日

320 交吏部本日引

見吉林三姓倉官一缺擬陪之無品級筆帖式勝全奉旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

三月二十六日

321 查宗室貢士覆試應請

簡派閱卷大臣謹繕名單進

呈伏候

欽派二人於二十七日清晨

發下傳集各員聽候宣

旨謹

奏

俸

322 張之萬

徐桐

麟書

翁同龢

崑岡

李鴻藻

許庚身

嵩申

潘祖蔭

松森

孫家鼐

孫貽經

徐郁

汪鳴鑾

徐樹銘

323 光緒十六年三月二十七日奉

旨著就近致祭欽此

禮部奏查已故曾國公孫等可免祀後祭照

324 光緒十三年三月二十七日奉

旨現在光祿寺堂官足敷執事明桂毋庸捧進福酒  
欽此

光祿寺奉崇滯期服屆滿足敷執事用

325 光緒十六年三月二十八日內閣奉

上諭劉秉璋奏甄別屬吏據實叅劾等語四川蘇州  
直隸州知州劉南操守平常打箭爐同知蔡懋康  
才具疲庸巴州知州徐致鈞難期振作均著開缺  
以州同選用南部縣知縣許月華性近輕浮樂山  
縣知縣瞿朝宗才欠明決太平縣知縣傅維弼頗  
有嗜好東鄉縣知縣曹鐘彝輿情未洽榮經縣知  
縣羅芬體質太弱高縣知縣王維祺辦事固執昭  
化縣知縣李寅生公事疏忽均著開缺另補大挑  
知縣歐陽體才具迂庸著以教職歸部銓選候補  
知縣張佑任性妄為顏鍾運辦事乖張張龍甲性  
貪膽大均著即行革職以肅官常餘著照所議辦  
理該部知道欽此

326 光緒十六年三月二十九日內閣奉

上諭庶吉士散館著於四月十八日在保和殿考試  
欽此

327 光緒十六年三月二十九日內閣奉

上諭奉天驛巡道員缺著奎訓調補欽此

328 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信三件

照錄呈

覽謹

奏

三月二十九日

329 光緒十六年四月初二日內閣奉

上諭張煦代奏劉錦棠懇陳祖母病篤懇恩暫行開缺侍養並請收回加銜成命各摺片覽奏情詞迫切具見悃忱惟新疆為西陲要地劉錦棠辦理一切深合機宜朝廷正資倚任著再賞假四箇月毋庸開缺仍俟伊祖母病體稍愈即行回任以重職守前以行慶宣綸賞加該撫太子太保銜酬庸懋賞出自特恩毋庸辭欽此

330 光緒十六年四月初三日內閣奉

上諭前兵部尚書彭玉麟忠清亮直卓著勤勤以諸生從戎轉戰東南各省所向有功會同原任大學士曾國藩創立長江水師籌畫精詳規模悉備歷受先朝知遇由知府洊擢封圻內陟卿貳迨粵匪蕩平蒙穆宗毅皇帝眷念勳勞賞給一等輕車都尉世職並加太子少保銜朕御極後擢任兵部尚書嗣因病疊次陳請開缺降旨允准仍派巡閱長江水師十餘年來力疾從公不辭勞怨復因病勢增劇請開差使當經寬予假期並准其回籍養病頒賞人役方

冀調理就痊長資倚畀茲聞溘逝悼惜殊深彭玉麟著追贈太子太保銜照尚書例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏加恩予諡並於立功省分建立專祠其生平戰功事蹟宣付國史館立傳伊孫候選員外郎彭見紳著以郎中選用彭見綬彭見紱均著由吏部帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

331 光緒五年十一月十四日內閣奉

上諭兩江總督沈葆楨秉性沈毅練達老成歷受先朝恩遇由翰林外任知府洊擢封圻前在江西巡撫任內籌辦軍務悉協機宜嗣因殲除粵匪餘孽賞給一等輕車都尉世職朕御極後擢任兩江總督於地方利弊認真整頓任事實心不避勞怨前因舊疾增劇願請開缺當經賞假兩月方冀調理就痊長資倚任茲聞溘逝悼惜殊深加恩追贈太子太保銜入祀賢良祠照總督例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏靈柩回籍時沿途地方官妥為照料伊子附貢生沈璋慶著

賞給舉人准其一體會試附生沈瑩慶沈瑜慶均著以主事用沈璘慶沈璿慶沈瑤慶沈琬慶均著俟服闋後由吏部帶領引見用示眷念蓋臣至意欽此

332 同治六年十二月十八日內閣奉

上諭協辦大學士四川總督駱秉章忠誠亮直清正勤明由翰林海擢卿階以廉介持躬仰蒙宣宗成皇帝特達之知先後

命赴山東河南等省查辦事件旋簡授臬司擢任封疆在湖南十年練兵訓士甄拔人材東南巨寇賴以殄滅復荷

文宗顯皇帝知遇特加頭品頂戴以示寵眷嗣

命督辦四川軍務朕御極以後即擢授四川總督統軍入蜀賞罰嚴明所向克捷滇粵各逆悉數殲除並越境攻克甘肅貴州各州縣因石逆被擒川境肅清論功行賞晉加太子太保銜旋以江甯克復東南掃蕩念其昔年在湖南任內識拔將帥克振軍

威忠蓋成享勛勞夙著復賞戴雙眼花翎賞加一等輕車都尉世職本年夏間簡任綸扉老成碩望方冀克享遐齡長資倚昇昨因舊恙復發賞假調理遽聞溢逝披覽遺章良深震悼駱秉章著追贈太子太傅即照大學士例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏並加恩予謚入祀京師賢良祠並於四川湖南兩省建立專祠其生平政蹟事實著即宣付史館伊子駱天保著賞給郎中服闋後分部行走駱天詒著賞給舉人服闋後准其一體會試伊孫駱懋湘駱懋勤駱懋仁駱懋勳均著交部帶領引見伊姪孫候選縣丞駱肇銓著以知縣分發省分即補其靈柩回籍並著沿途地方官妥為照料用副篤念蓋臣至意欽此

333 光緒十六年四月初三日內閣奉

上諭張家口監督宜烈奏差滿回京齋交盈餘銀兩並請減成賠繳虧短盈餘銀兩一摺所得盈餘銀一千九百八十四兩零著交廣儲司其所請減成賠繳之處著戶部議具奏欽此

硃。

334 前黑龍江堂主事春山  
旨著仍以黑龍江堂主事用

335 前黑龍江堂主事春山  
旨著以黑龍江筆帖式用

336 前河南臨漳縣知縣徐本立  
旨著仍以知縣用

硃。

337 前河南臨漳縣知縣徐本立  
旨著以縣丞用

338 前陝西平利縣知縣劉杰  
旨著仍以知縣用

硃。

339 前陝西平利縣知縣劉杰  
旨著以縣丞用

340 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史周天霖奏稜米倉虧短甚鉅請飭停收新米先儘該倉舊米發放以放代盤等語著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計黏鈔摺一件

四月初四日

341 交理藩院本日軍機大臣面奉

諭旨御史周天霖奏匪徒覆匠李即那素圖曾在蒙古地方滋事現在哲里木盟達爾罕王府中滕充護衛把持舞弊請飭查拏懲辦等語著理藩院查明辦理欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計黏鈔片一件

四月初四日

342 光緒十六年四月初五日內閣奉

上諭貴州按察使著黃槐森補授欽此

直隸按察使周凱 安徽監生 光緒十四年三月補

江蘇按察使張國正 漢軍鑲藍旗監生 光緒十四年閏月補

安徽按察使高崑 滿洲鑲紅旗監生 光緒十四年三月補陝西臬司嗣調安徽

山東按察使曹秉哲 廣東監生 光緒十六年三月補

山西按察使潘駁文 安徽廣濟生 光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東監生 光緒十二年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十月補甘肅臬司嗣調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲廂白旗進士 光緒十四年九月補陝西臬司嗣調甘肅

浙江按察使龔照瑗 安徽監生 光緒十六年正月補

福建按察使徐文達 安徽人 光緒十五年十月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗監生 光緒十六年二月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補山東臬司嗣調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補浙江臬司嗣調廣東

廣西按察使秦煥 江蘇進士 光緒十五年八月補

四川按察使德壽 漢軍鑲黃旗監生 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓英 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使田國俊 山西進士 光緒十五年三月補 現請終養

344 光緒十六年四月初五日内閣奉

上諭劉瑞祺奏臬司親老多病呈請終養據情代奏一摺貴州按察使田國俊著准其開缺終養欽此

345 辦理軍機處為咨覆事准

貴撫咨稱前奏鍾祥縣知縣黃世崇與利川縣

知縣徐嘉禾互相調補原摺未經發回咨請查

覆等因前來查各省指差遞到摺件

硃批發下後向由本處該班章京逐件點交內奏事

處由該處封交摺差費回本年閏二月十二日

湖廣總督張 會同

貴撫具奏摺三封共摺片五件內知縣黃世崇

等對調摺奉

硃批吏部議奏欽此當經本處章京將摺片五件逐

細點查並無舛錯一併交由內奏事處發回該撫

貴撫咨稱前因相應咨覆

貴撫查照可也須至咨者

右 咨

前湖北巡撫奎

光緒十六年四月

初五

日

346 光緒十六年四月初六日內閣奉

上諭雲南迪東道員缺著李肇錫補授欽此

347 查雲南迪東道係衝繁難要缺謹

奏

348 光緒十六年四月初六日奉

旨准其散館欽此

翰林院承直士瑞澗等百日李鴻恩等體  
敬館請 旨册

349 光緒十六年四月初七日內閣奉

上諭廣東巡撫著李瀚章兼署欽此

350 光緒十六年四月初七日內閣奉

上諭蒯德標著調補廣東布政使福建臺灣布政使

著于蔭霖補授欽此

351 候補布政使名單

前雲南布政使于蔭霖 吉林進士

直隸布政使裕長 滿洲正白旗監生  
光緒十五年七月補

江蘇布政使黃彭年 貴州進士  
光緒十三年十一月補

江甯布政使瑞璋 滿洲正紅旗人  
光緒十六年三月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗監生  
光緒十二年八月補

山東布政使福潤 蒙古正紅旗附生  
光緒十六年三月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人  
光緒十五年七月補

河南布政使廖壽豐 江蘇進士  
光緒十六年正月補福建藩司嗣補河南

陝西布政使陶模 浙江進士  
光緒十四年正月補

甘肅布政使張岳年 浙江舉人  
光緒十五年十二月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人  
光緒九年三月補甘肅藩司嗣補新疆

浙江布政使許應鏞 廣東進士  
光緒十年七月補

福建布政使劉樹堂 雲南監生  
光緒十六年閏二月補

福建臺灣布政使蒯德標 安徽舉人  
光緒九年正月補湖北藩司嗣補臺灣

江西布政使方汝翼 直隸舉人  
光緒十四年十月補

湖北布政使鄧華熙 廣東舉人  
光緒十五年六月補

湖南布政使何樞 河南進士原籍浙江  
光緒十五年十二月補

硃。

硃。

廣東布政使游智開 湖南舉人  
光緒十四年十月補

廣西布政使張聯桂 江蘇附生  
光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲鎮黃旗舉人  
光緒十二年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生  
光緒十二年十月補貴州藩司副調雲南

貴州布政使王德榜 湖南監生  
光緒十五年十月補

直隸按察使周穎 安徽監生  
光緒十四年三月補

江蘇按察使張國正 漢軍佐領監生  
光緒十六年閏六月補

安徽按察使嵩崑 滿洲鎮紅旗監生  
光緒十一年二月補山西臬司副調安徽

山東按察使曹秉哲 廣東進士  
光緒十六年三月補

山西按察使潘煥文 安徽原貢生  
光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東廩生  
光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人  
光緒十四年十月補甘肅臬司副調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鎮白旗進士  
光緒十四年九月補山西臬司副調甘肅

浙江按察使龔照瑗 安徽監生  
光緒十六年正月補

福建按察使徐文遠 安徽人  
光緒十五年十月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗監生  
光緒十六年二月補

湖北按察使成允 正紅旗監生  
光緒十二年二月補山東臬司副調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生  
光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人  
光緒十四年三月補浙藩司副調廣東

廣西按察使秦煥 江蘇進士  
光緒十五年八月補

四川按察使德壽 漢軍鎮黃旗監生員  
光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶 廣西人  
光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森 廣東進士  
光緒十六年四月補

354 光緒十六年四月初七日内閣奉

上諭游智開奏因病懇請開缺一摺署廣東巡撫布政使游智開著准其開缺欽此

355 光緒十六年四月初七日奉

旨著准照李瀚章所請辦理欽此 戶部奏遵議廣東錢幣應否暫准兌換案內摺

356 光緒十六年四月初八日内閣奉

上諭前據御史文郁奏參通州知州張兆豐看押斃命重徵勒索等情當經諭令潘祖蔭等查奏茲據查明覆奏此案張兆豐被參玩視人命重徵糧稅各節均查無其事惟勒令斗行商人王永清月捐



米石津貼押犯口糧雖係因公起見究屬不合張  
兆豐著即 聞缺仍交部議處欽此

357 光緒十年五月十九日內閣奉

上諭奎斌奏遵旨察看通員據實覆奏一摺山西冀  
甯道左萬沾染嗜好處事優柔未能振作有為著  
即行革職該部知道欽此

358 滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院郎中志傑

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎魁麟

內閣候補侍讀崇林

漢頭班

在任候補應升四品堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧縉

吏部員外郎即補郎中 記名御史王儼

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

五品銜刑部額外主事吳魯

戶部額外主事陳熾

滿二班

四品銜通政使司叅議堃岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部主事即補員外郎延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部郎中補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部郎中補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞署都察院左副都御史錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳芾棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王碩蔚

刑部候補主事李蔭鑾

359 光緒十六年四月初九日內閣奉

上諭京師入夏以來得有雨澤農田漸資沾潤現在

節逾小滿仍盼渥沛甘霖允宜虔申祈禱朕於本

月十二日親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載澄

昭顯廟著派貝勒載澍

宣仁廟著派貝子奕謨

凝和廟著派輔國公載澤同於是日分詣拈香欽此

360 據吏部知照本月十一日考試漢廕生應請

欽命論題一道策題一道於十一日清晨

發下文

派出之閱卷大臣祇領謹將上三屆考試漢廕生題

日繕單恭呈

御覽謹

奏

361 光緒十五年四月初五日考試漢廕生

欽命論題策題

無曲防無過雜論

和衆豐財策

光緒十五年九月初四日考試漢廕生

欽命論題策題

天爵人爵論

財成天地之道輔相天地之宜策

光緒十五年十二月初七日考試漢廕生

欽命論題策題

進德修業論

咸則三壤策

362 軍機大臣 字寄

各直省將軍督撫 光緒十六年四月十一日奉

上諭總理海軍事務衙門奏疆臣條奏要件請飭慎密一摺各省封疆大吏陳奏重要事件未經明降諭旨交內閣發鈔者外間如有傳播應根究洩漏之人治以應得之罪定制綦嚴光緒十年四月曾經降旨嚴飭各大臣督撫等於幾密之事不准稍有宣露乃張之洞劉銘傳黃彭年議覆鐵路事宜三摺竟至刊登申報一字不謬深堪詫異在朝廷順時立政為所當為本未於交涉外洋之局別存成見而展轉鈔傳訛言紛起西國新報謂我意存猜忌俄人遂有促興東悉畢爾鐵路之舉似此懷疑挾忌誠恐別生枝節總由該督撫等漫不經心一任幕友鈔胥宣洩傳播殊非慎密之道嗣後各省將軍督撫凡遇關繫重要摺件務當倍加謹密稿存內署擇令親信之人繕寫不准照尋常公事行司發房經此次申誡之後儻再不知慎重致洩消息騰播各口新聞紙即著總理海軍事務衙門總理各國事務衙門指名奏參嚴行根究決不寬

貸將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交海軍衙門

363 光緒十六年四月十一日內閣奉

上諭孫開華現准來京陛見福建陸路提督著卞寶第兼署欽此

364 光緒十六年四月十一日奉

旨毋庸輟朝欽此

禮部奏佳貴妃薨逝應否輟朝請 旨摺

365 光緒十六年四月十一日奉

旨暫緩修理欽此

工部奏崇文宣武兩門石路可否予修請 旨摺

366 光緒十六年四月十三日內閣奉

上諭長順奏吉林省城火災自請議處並神靈顯應請頒扁額各摺片據稱本年三月二十五日吉林

省城牛馬行不戒於火延燒官民房屋二千五百  
餘間經長順率屬詣

城隍廟虔禱仰賴

神靈默佑火勢頓熄轉危為安實深寅感發去御  
書扁額一方交長順祇領敬謹懸挂以答

神麻省城猝被火災長順疏於防範實難辭咎著  
交部議處被灾各戶業經該將軍飭屬妥為撫恤  
即著認真經理毋任失所餘著照所議辦理另片  
奏將軍住宅擬另行擇地重修等語著該部議奏  
欽此

367 光緒十六年四月十四日內閣奉

上諭福建按察使著許鈴身補授欽此

368 直隸按察使周馥

安徽監生  
光緒十四年三月補

江蘇按察使張國正

漢軍鑲藍旗監生  
光緒十六年閏二月補

安徽按察使高崑

滿洲鑲紅旗監生  
光緒十一年二月補山西臬司副調安徽

山東按察使曹秉哲

廣東進士  
光緒十六年三月補

山西按察使潘駿文

安徽廬州生  
光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩

山東廬生  
光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠

湖南舉人  
光緒十四年十月補甘肅臬司副調陝西

甘肅按察使裕祥

滿洲鑲白旗進士  
光緒十四年九月補陝西臬司副調甘肅

浙江按察使龔照瑗

安徽監生  
光緒十六年正月補

江西按察使福裕

蒙古正紅旗廬生  
光緒十六年二月補

湖北按察使成允

正紅旗監生  
光緒十二年二月補山東臬司副調湖北

湖南按察使沈晉祥

浙江監生  
光緒十五年四月補

廣東按察使王之春

湖南人  
光緒十四年三月補浙江臬司副調廣東

廣西按察使秦煥

江蘇進士  
光緒十五年八月補

四川按察使德壽

漢軍鑲黃旗監生  
光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓實

廣西人  
光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森

廣東進士  
光緒十六年四月補

369 光緒十六年四月十四日內閣奉

上諭曾國荃奏臬司著有政績請宣付史館立傳一  
摺已故福建按察使徐文達前隨曾國藩李鴻章  
軍營卓著勤能嗣在江南疊任監試並護理漕運  
總督均能盡心職事其在淮揚海道任內講求水  
利尤著成效著將生平事蹟宣付國史館立傳以  
彰勞勩該衙門知道欽此

370 降調福建試用同知丁惠深

旨著以通判用

371 降調福建試用同知丁惠深

旨著以同知用

372 據禮部知照會試中式貢士於本月十六日在

保和殿覆試應請

欽命四書題一道詩題一道於十六日清晨

發下交監試王大臣傳示謹

奏

373 光緒九年癸未科會試覆試四書題詩題

如智者亦行其所無事則智亦大矣

賦得月點波心一顆珠 科珠字五言八韻

光緒十二年丙戌科會試覆試四書題詩題

此之謂自謙故君子必慎其獨也

賦得流水無聲入稻田 得聲字五言八韻

光緒十五年己丑科會試覆試四書題詩題

登太山而小天下故觀於海者難為水  
賦得風傳刻漏星河曙 得河字五言八韻

374

光緒九年癸未科會試四書題詩題

知其說者之於天下也其如示諸斯乎

文理密察足以有別也

其事則齊桓晉文其文則史

賦得花開鳥鳴晨 得晨字五言八韻

光緒十二年丙戌科會試四書題詩題

子張問行子曰言忠信行篤敬雖蠻貊之邦行

矣言不忠信行不篤敬雖州里行乎哉立則

見其參於前也在與則見其倚於衡也夫然

後行子張書諸紳

中庸不可能也

取諸人以為善是與人為善者也故君子莫大

乎與人為善

賦得報雨早霞生 得生字五言八韻

光緒十五年己丑科會試四書題詩題

子曰行夏之時乘殷之輅服周之冕樂則韶舞

取人以身修身以道

曰子不通功易事以羨補不足則農有餘粟女  
有餘布子如通之則梓匠輪輿皆得食於子  
賦得馬飲春泉踏淺沙得泉字五言八韻

375 軍機大臣 字寄

盛京吉林黑龍江各將軍 各直省督撫 熱河  
都統 奉天府府尹 光緒十六年四月十五  
日奉

上諭總理各國事務衙門戶部奏整頓土藥稅釐請  
飭詳查妥辦一摺內地栽種土藥為中國出產大  
宗前據該衙門會奏請飭各省體察情形酌量加  
稅當依議行議以洋藥充斥久為中國漏卮近年  
以來民間栽種日多獲利甚重駁駁有不可復過  
之勢果能設法稽徵認真辦理既可裨益餉需且  
亦收回利權之一助並可以徵為禁隱寓崇本抑  
末之意乃各省先後覆奏多以窒礙為詞數年之  
久迄無切實辦法近聞吉林黑龍江呼蘭熱河及  
四川雲南江南淮徐等處土藥出產日繁各該省

局卡徵收稅項官吏隱匿入己為數甚鉅弊端百  
出盡飽私囊以致徵多報少於國課毫無裨補含  
混欺飾實堪痛恨若不及時整頓於洋藥併徵辦  
法大有關係稅數必將日絀何以昭覈實而裕餉  
源著盛京吉林黑龍江將軍各直省督撫熱河都統  
奉天府府尹詳察各該省地方情形或於出產之  
處就地徵收或於販運過境嚴查走漏或即就現  
在私收之項和盤托出悉數歸公均由該將軍督  
撫等秉公嚴查詳細籌議其從前匿報之員各有  
應得朝廷姑從寬典不追既往著一併免其忝處  
經此次嚴諭之後各疆臣務當破除情面實力稽  
覈即將各該處出產行銷及私徵各實數詳查詳覆  
按季專款開報不得於百貨釐金內籠統聲敘以  
免牽混此事期在必行著勒限三箇月各將原定新  
定各辦法迅速覆奏不准空言塞責仍前含混致  
干重咎該衙門前飭總稅務司赫德查開各處出  
產銷路暨價值釐稅數目即著咨行該將軍督撫  
等以備參考將此各諭令知之欽此道

旨寄信前來

鈔交戶部  
總署

376 軍機大臣 字寄

江蘇巡撫剛 光緒十六年四月十五日奉

上諭本日據總理各國事務衙門戶部奏內地土藥  
出產日盛亟應整頓稅務以裕餉源一摺已寄諭  
各省督撫等詳查妥辦矣惟聞江蘇徐州土藥賦  
行礪山所產尤多歲入之數幾逾百萬祇因地方  
官吏通同作弊隱匿私徵分成肥己為數甚鉅遂  
致公家應得之款年來徒飽私囊種種弊端深堪  
痛恨即着剛毅速派廉幹司道大員前往密查將  
該處土藥每歲出產若干徵稅若干各實數詳晰  
開報一面嚴定章程如何涓滴歸公一洗從前積  
弊悉心妥籌奏明辦理朝廷政崇寬大既往之咎  
姑免追究該撫平日辦事尚屬認真即着破除情  
面飭將按年實收確數和盤托出不得稍有贖徇  
儻查辦之員含混了事不實不盡必當重治其罪  
決不寬貸將此諭令知之欽此

旨寄信前來

377 光緒十六年四月十五日內閣奉

上諭長庚奏訊明贖番首犯請旨正法並飭拿逸犯一  
摺贖對叛番巴宗喇嘛首先造意煽亂勾結野番  
奪寨遂官情罪重大現經長庚等審訊明確即着  
正法梟示以昭炯戒逸犯色烏機著長庚岐元等  
會同薩凌阿分飭接任番官並接壤各番部一體  
緝拏務獲訊辦至撒拉阿噶一犯於起事時雖屬  
知情惟自委員到贖該犯即遵諭歸誠隨同開導  
番民復槍斃撒拉雍珠著加恩免罪此次查辦番  
務破案擒渠邊境戡定辦理尚為妥速所有在事  
出力各員弁着長庚等會同岐元劉秉璋擇尤保  
獎毋許冒濫並着將番地輕減賦役章程及善後  
事宜妥籌辦理以靖邊圉另片奏請飭嚴督邊番  
得登工布等語着岐元劉秉璋楊昌濬薩凌阿通  
飭果洛克附近番部嚴密懲辦毋留遺孽餘著照  
所議辦理該部知道欽此

378 光緒十六年四月十五日奉

旨依議欽此

戶部奏浙江銅本可百兩如  
所請擬至下年開辦片

379 光緒十六年四月十六日內閣奉

上諭前因京師入夏以來得雨未透朕親詣

大高殿拈香並派貝勒載澄等分詣

時應宮等處拈香數日以來尚未溼沛甘霖允宜再

中祈禱朕於本月十九日親詣

大高殿並

時應宮拈香

昭顯廟著仍派貝勒載澍

宣仁廟著仍派貝子奕謨

凝和廟著仍派輔國公載澤同於是日分詣拈香欽此

380 光緒十六年四月十六日內閣奉

上諭前據長順奏將軍住宅被火延燒請另行擇地

重修等語當以該將軍指內聲敘所住官房向勅

公款修理降旨令該部議奏惟念此次吉林省城

猝遭火災官民房屋延燒至二千數百間之多據

奏被災貧民沿街露處長順身任地方藉此情形

宜如何責己省愆勤修職業將窮民如何撫恤元

氣如何培復悉心籌解以期補救災後乃輒稱住

宅近市湫隘萬塵以致被火延及是該將軍僅以

住宅為念已屬不知公私緩急復據聲稱形家言

此地不利擬另相善地或於宅後及左右兩旁多

購餘地方先建累尤不成話該處猝遇奇災長順

不知因災貶居反欲藉此改拓增建實屬荒謬且

據奏稱衙署銀庫監獄均各無恙更何得以所居

官宅至懇興修所有該將軍奏請擇地展拓及動

用公款之處均毋庸議該將軍受國厚恩身膺重

寄嗣後務當實心辦事刻刻以地方民生為重儻

不知後改仍前玩泄定當嚴懲不貸懍之欽此

381 光緒十六年四月十六日內閣奉

上諭程文炳已准來京陛見湖北提督著張之洞兼

署欽此

382 查覆試貢士應請

簡派閱卷大臣除另有差使及應行迴避各員俱不

開列外謹繕名單進

呈伏候



欽點於十七日清晨

發下傳集各員聽候宣

旨再查上屆會試覆試閱卷欽奉

派出十二人謹

奏

硃

383 福銀

○徐桐

○麟書

○翁同龢

烏拉喜崇阿

○許庚身

○嵩申

○潘祖蔭

松森

○祁世長

孫家鼎

○孫詒經

○徐郁

景善

○廖壽恆

○薛允升

○汪鳴鑾

徐樹銘

恩崇

384 據總理各國事務衙門送到張之洞電信一件

照錄呈

覽謹

奏

四月十六日

385 查此次庶吉士散館奉

旨於本月十八日在保和殿考試應請

欽命賦題一道詩題一道於十八日清晨

發下交監試王大臣傳示謹

奏

386

光緒九年庶吉士散館賦題詩題

六事廉為本賦 以先聖之責廉也如此為韻

賦得清風玉樹鳴 得鳴字五言八韻

光緒十二年庶吉士散館賦題詩題

王者之道如龍首賦 以題為韻

賦得珠宮含飴 得韋字五言八韻

光緒十五年庶吉士散館賦題詩題

凌煙閣圖功臣賦 以名策勳分莛於賢為韻

賦得渠柳條長水面齊 得齊字五言八韻

387

辦理軍機處為咨行事光緒十六年四月十五日

貴大臣具奏訊明瞻審首犯巴宗喇嘛請正法

梟示並嚴拏得登工布各摺片欽奉

諭旨一道除原摺片已由五百里發回外相應恭錄

諭旨知照

貴大臣欽遵可也須至咨者

右 咨

駐藏大臣長

四月十六日

388

奏蒙

發下貢士覆試卷三百十二本 臣等公同詳閱分別

等第名次擬一等七十二名二等一百一十名三

等一百二十六名四等四名於卷面黏籤恭呈

御覽伏候

欽定候

發下後再行拆閱彌封另繕名單進

呈謹

奏

389 再臣等查對另頁詩句人名並將中式各原卷

磨對筆蹟均屬相符謹

奏

390 一等七十二名

文廷式

劉錫光

汪鳳梁

徐桐等奏為恭摺奏為高宗純皇帝聖訓卷一百一十卷恭摺

吳蔭培  
王貽典  
李孝先  
閻志廉  
姚文倬  
候維鵬  
劉樹屏  
崔廣沅  
李驥年  
啟綏  
余堃  
江雲龍  
李經畬  
陸仰賢  
王履咸  
張志嘉  
王乃徵  
徐繼儒  
蔡曾源

楊捷三  
朱益藩  
楊承德  
陳禧年  
焦錫齡  
陸承宗  
王清穆  
徐桂馨  
歐仁衡  
夏曾佑  
李翰登  
孟慶榮  
王慶平  
黃履初  
劉元弼  
華俊聲  
胡安銓  
許晉祁  
洪嘉與

田庚  
米毓瑞  
吳慶祥  
王塾  
張檢  
秦家穆  
楊金鎧  
黃紹第  
于受慶  
徐兆璋  
王敦成  
陳啟緒  
王修植  
鄭文欽  
吳魯  
李晉魁  
李寅齡  
伍文培  
朱大誥

楊觀圭  
趙惟熙  
張文煥  
李晉熙  
張守炎  
許南英  
楊家驥  
聶寶琛  
謝佩賢  
翁燾  
史履晉  
王保爽  
二等一百十名  
潘其祝  
陳瀚年  
谷如壩  
王景禧  
丁學恭  
梁聯芳

宋子聯  
吳煦  
柯德樹  
吳懷清  
朱景軾  
黃增榮  
何聲灝  
王龍詔  
錢昌瑜  
陳乃績  
任于正  
王耀文  
王全綱  
方燕年  
吳錫寓  
陳國華  
彭文明  
張觀德  
韋履潔

陳康瑞  
華世銘  
周家琪  
葉南金  
羅維垣  
黃澍芬  
李銘熙  
何士循  
何錫祺  
夏之森  
劉增泰  
何國澄  
高振聲  
梁芝榮  
黃增源  
胡成立  
張文煥  
郭集芬  
任文燦

王以懋  
蘇繩武  
錢珍  
朱祥暉  
劉崇照  
凌和鈞  
鄭錫光  
霍勤燁  
徐鴻泰  
夏寅官  
黃德潤  
王公輔  
延祺  
劉秉權  
管象頤  
楊廷椿  
汪清麒  
王沛葉  
劉勳

朱賢廷  
鄭叔忱  
何天輔  
孫筍經  
張學華  
葛汝葆  
俞官圻  
區天驥  
吳錡  
張瑞芳  
錢鴻策  
韓福慶  
張壯采  
羅廷煦  
孫石城  
楊庚辰  
呂道象  
孫百斛  
曾培

黃家傑  
劉瞻漢  
李舒馨  
葉文銓  
李長郁  
楊斐  
葆平  
宋瞻辰  
潘寶琳  
王海涵  
鄭恭  
王廷鏡  
尹世彰  
璫璐  
劉延坦  
陳寶璿  
馮如衡  
羅傳瑞  
吳學曾

汪宗翰  
齊耀珊  
談廷瑞  
嚴庚辛  
陸輔清  
趙淵  
黃漢清  
吳尚態  
王安瀾  
三等一百二十六名  
張文翰  
趙承翰  
松年  
黃毓麟  
張鳳岡  
李毓芬  
邱聿徵  
黃斗元  
范迪襄

孫光遠  
周翔鳳  
王肇敏  
黃國琛  
鄭襄  
方寔  
李安  
李燮陽  
陳敬修  
吉同鈞  
王嘉謨  
鄒炳文  
張延鴻  
陳靖  
孫錦江  
施魯濱  
植堯蘭  
程秉鈞  
倪惟誠

樊景曾  
葛祥熊  
慶春  
何敬釗  
張堅  
蘇守慶  
沈搏青  
張鍵  
陳寶璐  
黃國琦  
汪文綬  
范仲堦  
王玉珂  
秦化西  
謝福慶  
徐春煦  
蘇岱  
龍慶言  
李立元



張立仁  
陳雲霖  
俞明震  
郭同  
劉選青  
梁維新  
王作疇  
顏肇鼎  
孫炳陽  
曾廣運  
楊學敏  
陳懋鼎  
董思寬  
曾繼光  
石振奎  
蕭大猷  
李兆蘭  
林毓菁  
花鈺

李綺青  
李光耀  
王貴省  
江仁傲  
舒信孚  
黃嘉禮  
侯紹宣  
孫紹陽  
方克猷  
胡永琛  
王鶴松  
晁鴻年  
陳鍾澔  
鄭毓蘭  
陳守歧  
范宗瑩  
白象賢  
張恭彝  
恩豐

熊兆姜  
邱士林  
張蔚增  
鍾德瑞  
黃福元  
榮禧  
熊濟文  
黃天懷  
焦國理  
關榕祚  
牛環  
羅銘  
劉兆暄  
錢昌祚  
王遂善  
裕祿  
蘇元楨  
冉文瑞  
劉寅浚

柳堂  
施沛霖  
羅棟材  
喻焯  
程芹香  
耿濟瀛  
蕭綬琪  
姚鍾璜  
張明允  
劉奮照  
潘葆良  
王寶光  
張庭武  
朱芬  
韓鏡蓉  
于文鑑  
萬有嚴  
張祖祺  
湯霖

范堯

張致賓

陳作儀

四等四名

招翰昭

盧秉鈞

張瑞芬

李華芬

391 光緒十六年四月十八日內閣奉

上諭此次新貢士覆試列入一等之文廷式等七十

二名二等之潘其祝等一百十名三等之張文翰

等一百二十六名俱著准其一體殿試列入四等

之招翰昭盧秉鈞張瑞芬李華芬均著罰停殿試

一科欽此

392 光緒十六年四月十八日奉

旨新進士著於本月二十八日在保和殿朝考欽此

393 附生沈琬慶

旨著以主事用

394 附生沈琬慶

旨著以光祿寺署正用

395 前補用總兵降補都司馬鴻圖

旨著以副將用

396 前補用總兵降補都司馬鴻圖

旨著開復原官

397 光緒十六年四月十九日內閣奉

上諭廣西按察使著湯聘珍補授欽此

398 光緒十六年四月十九日內閣奉

上諭松椿奏臬司在籍患病懇開缺據情代奏一  
摺廣西按察使秦煥著准其開缺欽此

直隸按察使周馥 安徽監生

光緒十四年三月補

江蘇按察使張國正 漢軍鎮遠鎮監生

光緒十六年閏二月補

安徽按察使嵩崑 滿洲鎮江鎮監生

光緒十一年二月補 山西臬司嗣調安徽

山東按察使曹秉哲 廣東進士

光緒十六年三月補

山西按察使潘駿文 安徽原貢生

光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東廩生

光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人

光緒十四年十月補 甘肅臬司嗣調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鎮江鎮進士

光緒十四年九月補 陝西臬司嗣調甘肅

浙江按察使龔照璣 安徽監生

光緒十六年正月補

福建按察使許鈴身 浙江廩生

光緒十六年四月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗廩生

光緒十六年二月補

湖北按察使成允 正紅旗監生

光緒十二年三月補 山東臬司嗣調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生

光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人

光緒十四年三月補 浙江臬司嗣調廣東

廣西按察使秦煥 江蘇進士

光緒十五年八月補 因病奏請開缺

四川按察使德壽 漢軍鎮遠鎮監生

光緒十五年二月補

雲南按察使岑毓英 廣西人

光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森 廣東進士

光緒十六年四月補

400 光緒十六年四月十九日奉

旨依議欽此

會典館奏訂定西國章程摺

401 光緒十六年四月十九日奉

旨依議欽此

會典館奏請開知縣黃德修充協修官片

402 光緒十六年四月十九日奉

旨依議欽此

會典館奏請欽定年限開停止片

403 光緒十六年四月二十日內閣奉

上諭喀什噶爾提督著董福祥補授黃萬朋著補授阿克蘇鎮總兵欽此

404 光緒十六年四月二十日內閣奉

上諭雲南鹽法道員缺著普津補授欽此

405 查雲南鹽法道係衝繁疲要缺謹

奏

406 光緒十六年四月二十日奉

旨京旗取中二名駐防取中三名欽此

禮部奏請定京旗駐防官旗中額摺

407 交翰林院本日軍機大臣面奉

諭旨此次散館庶吉士著於本月二十八日帶領引

見欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

四月二十日

408 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信二件

照錄呈

覽謹

奏

四月二十日

409 光緒十六年四月二十三日內閣奉

上諭馬丕瑤奏考察屬員分別舉劾一摺廣西署梧

州府平樂府知府志彭柳州府知府玉祥候補知

府石承霖夏敬頤曾毓瑞龍州同知任玉森臨桂

縣知縣顧國誥署平樂縣知縣吳徵釐署博白縣

靈川縣知縣席夔象州知州郭步瀛等十員據馬

丕瑤奏才猷政績均堪備循良之選即著傳旨嘉

獎仍飭令該員等益加奮勉毋得始終異轍凌雲

縣知縣李守和居心近利聽斷草率署興業縣補

用知縣羅惇德貪鄙糊塗難膺民社均著即行革

職以肅吏治餘著照所議辦理該部知道欽此

410 光緒十六年四月二十三日内閣奉

上諭馬丕瑤奏時參武職各員等語廣西署全州營

參將記名總兵唐玉才假公濟私遇有程缺概以

私人充補並有擅役兵丁情事補用都司全州營

守備魏橋貴人甚平庸不知振作於營務全不經

心唐玉才魏橋貴均著即行革職以肅營伍餘著

照所議辦理該部知道欽此

411 軍機大臣 字寄

閩浙總督兼管船政事務卡 光緒十六年四月二十六日奉

上諭卡寶第奏船廠距省較遠難於兼顧一摺福建船政關緊要聞近年來弊費叢生虛糜甚巨至應實力整頓卡寶第向來辦事尚能不避嫌怨船廠離省六十里並不甚遠雖不能在彼久駐儘可隨時前往督率經理至逐日稽查課程等事著於道府中遴派廉幹之員常川駐局認真查覈仍責成該督綜理一切事宜毋得稍有推諉將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

412 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十六年四月二十六日奉  
上諭都察院奏山東紳士揀選知縣傅政源等以鹽歸官辦流弊滋深等詞赴該衙門呈訴據稱沂水縣鹽課向歸商辦自改為官辦以來為害民間日甚一日該縣所用行鹽之人視為利藪與民為讎

設鹽巡三四百名種種橫行不法鄉閭莫敢究詰

擬請將鹽課改歸地糧徵納費與諸城安邱等縣現行之例相符等語鹽務關緊國課必應商民相安方能持久豈容蠹役肆行騷擾貽害閭閻所陳鹽巡裁害各節著張曜確切查明嚴行禁革至課歸地丁辦法是否可行並著體察情形覆奏原摺呈均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

413 光緒十六年四月二十六日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤稀少朕疊次親詣

大高殿並詣

時應宮拈香分派貝勒載澄等恭詣

時應宮等處拈香近日雖經得有微雨仍未渥沛

醞膏現在節逾芒種農田待澤尤殷實深焦盼允

宜再申虔禱以迓甘霖朕於本月二十八日親詣

大高殿並

時應宮拈香

昭顯廟著仍派貝勒載澍

宣仁廟著仍派貝子奕謨

凝和廟著仍派輔國公載澤同於是日分詣拈香

欽此

414 光緒十六年四月二十六日內閣奉

上諭卞寶第奏船廠文案捏開保獎請旨懲辦等語

知縣王崧辰在福建船廠總辦文案本年閏二月

間保獎出洋學生該員竟敢乘裴蔭森患病之際

自開保獎並未呈由卞寶第等會眾徑行繕摺發

遞實屬膽大妄為且據該督奏稱該員代辦船廠

提調聲名最劣自應嚴行懲辦所請撤銷保案並

交部議處之處不足蔽辜王崧辰著即行革職永

不敘用裴蔭森失於覺察並著交部議處至前保

出洋學生案內如尚有似此冒濫之員即著卞寶

第確查一併奏明撤銷欽此

415 查新進士

朝考奉

旨於本月二十八日在保和殿考試應請

欽命論題一道疏題一道詩題一道於二十八日清晨

發下交監試王大臣傳示謹

奏

416 光緒九年癸未科新進士

朝考論題疏題詩題

觀乎人文以化成天下論

天道至教聖人至德疏

賦得叔孫通起朝儀得儀字五言八韻

光緒十二年丙戌科新進士

朝考論題疏題詩題

君子以類族辨物論

德懋懋官功懋懋賞疏

賦得五明開製得銘字五言八韻

光緒十五年己丑科新進士

朝考論題疏題詩題

戒俗吏矯飾論

勞農勸民疏

賦得柳邊人歇待船歸得歸字五言八韻

417 軍機大臣 字寄

河東河道總督許 山東巡撫張 光緒十六

年四月二十七日奉

上諭前據張曜奏請將山東曹州府所屬濮州等處及上游河防撥歸河道總督兼管各節經工部議覆請交該河督妥籌具奏當依議行茲據許振禕奏稱河臣駐紮地方相距較遠恐致呼應不靈且河南防汛緊要勢難兼顧等語所奏尚係實在情形河工關係綦要必須地方大吏就近督辦庶可隨時搶護迅赴事機所有濮州等處上游河防應仍由山東巡撫管理以免紛更即著張曜督飭所屬將各該處修守事宜認真籌辦毋稍疏虞許振禕原摺著鈔給張曜閱看將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

鈔交工部

418 光緒十六年四月二十七日內閣奉

上諭崧駿奏甄別庸劣不職各員請分別懲處一摺浙江海甯州知州張溥東辦事含糊未能覈實著

聞缺留省察看海鹽縣知縣顧德恒年力就衰難期振作著勒令休致德清縣知縣童叶庚才本平庸巧於趨避著以府經歷縣丞降補味縣知縣寶光儀性情拘執不諳政體惟文理尚優著以教職歸部銓選以肅官方餘著照所議辦理該部知道欽此

419 交辦 本日軍機大臣面奉

諭旨新進士著於五月初七日起至初十日止分作

四日帶領引見欽此相應傳知

貴衙門一體欽遵可也此交

四月二十七日

420 光緒十六年四月二十八日內閣奉

上諭此次散館之修撰張廷勳編修鄒福保李成鐸劉世安業經授職二甲庶吉士張孝謙費念慈景芳昶劉啟瑞周樹模程成林余誠格高煦詰王萬芳劉若曾葉昌熾熊方燧豫泰陳嘉言李傳言曾廣鈞瑞洵陳昌紳許葉芬段友蘭連捷徐德沅曹



樹藩杜本崇吳家瑞槐時鉅王同愈丁惟禔憚毓  
鼎崇壽馬步元劉元亮王繼香張鴻翊傅世焯鍾  
廣余朝紳張澂高枏饒士騰朱延薰盧叢林照瑛  
薛寶辰熙元陸鍾琦江標徐仁鑄王祖同宋滋蘭  
俱著授為編修三甲庶吉士勞聲光溫仲和錢駿  
祥梁鑿藻王圻薩嘉樂陳曾佑劉秉鈞孫廷翰寶  
豐希廉俱著授為檢討歐陽熙程豐厚葉新第李  
子榮戚揚劉奉璋丁秉乾趙秉璋劉彭年陳祥燕  
武玉潤陳鍾信陳長禮愛仁林孝恂梁肇榮俱著  
以部屬用陳志喆王念祖孫鼎烈李子茂宮耀月  
黃炳辰陳鳴秋鄧維琪張維彬俱著以知縣即用  
繙譯庶吉士恩祥文海嵩恩俱著授為編修欽此

421 光緒十六年四月二十八日內閣奉  
上諭李鴻藻為甲著教習庶吉士欽此

422 第一排

宗室二員  
○庶吉士宗室寶豐

正藍旗人  
光緒十五年甲進士  
年四十一歲

○庶吉士宗室希廉

正紅旗人  
光緒十五年甲進士  
年三十四歲

第二排

滿洲四員

○庶吉士瑞洵

正黃旗滿洲人  
光緒十五年甲進士  
年三十四歲

○庶吉士崇壽

正黃旗滿洲人  
光緒十五年甲進士  
年二十八歲

○五品銜庶吉士熙瑛

正白旗滿洲人  
光緒十五年甲進士  
年三十四歲

蒙古二員

○庶吉士豫泰

正黃旗蒙古人  
光緒十五年甲進士  
年二十三歲

○庶吉士愛仁

正黃旗蒙古人  
光緒十五年甲進士  
年三十一歲

漢軍三員

○侍講銜編修劉世安

鑲黃旗漢軍人  
光緒十五年甲進士  
年二十九歲

○庶吉士連捷

鑲黃旗漢軍人  
光緒十二年甲進士  
年三十四歲

○庶吉士鍾廣

鑲黃旗漢軍人  
光緒十五年甲進士  
年二十六歲

第三排

直隸六員

○庶吉士劉若曾

直隸人  
光緒十五年甲進士  
年二十六歲

○庶吉士許葉芬

直隸人  
光緒十五年甲進士  
年二十五歲

○庶吉士憚毓鼎

直隸人  
光緒十五年甲進士  
年二十六歲

光緒十五年甲進士  
年二十五歲  
光緒十五年甲進士  
年二十五歲  
光緒十五年甲進士  
年二十五歲

五品銜庶吉士陸鍾琦

○庶吉士徐仁鑄

庶吉士劉彭年

第四排

江蘇九員

○庶吉士費念慈

○庶吉士劉啟瑞

○庶吉士葉昌熾

○五品銜庶吉士李傅元

○庶吉士王同愈

○庶吉士江標

庶吉士劉春璋

庶吉士孫鼎烈

○編修鄒福保

第五排

安徽六員

○庶吉士余誠格

○庶吉士徐德沅

○庶吉士朱廷薰

順天人  
光緒十五年甲進士  
散館一等三名

順天人  
光緒十五年甲進士  
散館一等四名

直隸人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等三名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江蘇人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

安徽人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

安徽人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

安徽人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

庶吉士程豐厚

庶吉士葉新第

庶吉士王念祖

第六排

江西六員

○庶吉士方熊燧

○編修李斌鐸

○庶吉士段友蘭

○庶吉士饒士騰

○庶吉士歐陽照

庶吉士陳志詰

第七排

浙江七員

○庶吉士陳昌紳

○庶吉士錢駿祥

○庶吉士王繼香

○庶吉士余朝紳

○庶吉士孫廷翰

庶吉士戚揚

安徽人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

安徽人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

安徽人  
光緒九年甲進士  
散館一等一名

江西人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江西人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江西人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江西人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江西人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江西人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

江西人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

浙江人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

浙江人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

浙江人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

浙江人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

浙江人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

浙江人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

浙江人  
光緒十五年甲進士  
散館一等一名

第八排 庶吉士陳祥燕

浙江人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

福建五員

○庶吉士薩嘉樂

福建人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士宋蘇蘭

內  
福建人 光緒十五年甲申進士 散館二等一名

○庶吉士林孝恂

福建人 光緒十五年甲申進士 散館二等一名

○庶吉士梁肇榮

福建人 光緒十五年甲申進士 散館二等一名

○庶吉士陳鳴秋

福建人 光緒十五年甲申進士 散館三等一名

第九排

湖北五員

○庶吉士周樹模

湖北人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士王萬芳

湖北人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士魏時鉅

湖北人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士陳曾佑

湖北人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士張鴻翊

湖北人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

第十排

湖南七員

○庶吉士陳嘉言

湖南人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士曾廣鈞

湖南人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士杜本崇

湖南人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士吳嘉瑞

湖南人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士李子榮

湖南人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士陳長楹

湖南人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士李子茂

湖南人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

第十一排

河南三員

○庶吉士張孝謙

河南人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士王祖同

河南人 光緒十五年甲申進士 散館二等一名

○庶吉士武玉潤

河南人 光緒十五年甲申進士 散館二等一名

山東六員

○庶吉士高熙喆

山東人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士丁惟視

山東人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士王瑋

山東人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士馬步元

山東人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士劉元亮

山東人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

○庶吉士趙秉璋

山東人 光緒十五年甲申進士 散館一等一名

第十二排

山西二員

○ 庶吉士劉秉鈞

庶吉士官耀月

陝西一員

○ 庶吉士薛寶辰

甘肅二員

○ 庶吉士張激

庶吉士丁秉乾

四川三員

○ 庶吉士傅世燁

○ 庶吉士高枏

庶吉士陳鍾信

第十三排

廣東三員

○ 庶吉士勞肇光

○ 庶吉士溫仲和

○ 庶吉士梁鑒藻

廣西三員

○ 庶吉士曹樹藩

○ 修撰張建勳

山西人  
光緒十五年甲申進士  
年二十六歲  
散館一等一名  
庶吉士官耀月  
光緒十五年甲申進士  
年三十六歲  
散館一等一名

陝西人  
光緒十五年甲申進士  
年三十八歲  
散館一等一名

甘肅人  
光緒十五年甲申進士  
年三十一歲  
散館一等一名

甘肅人  
光緒十五年甲申進士  
年三十三歲  
散館一等一名

四川人  
光緒十五年甲申進士  
年二十七歲  
散館一等一名

四川人  
光緒十五年甲申進士  
年三十三歲  
散館二等一名

四川人  
光緒十五年甲申進士  
年二十七歲  
散館二等一名

廣東人  
光緒十五年甲申進士  
年四十一歲  
散館一等一名

廣東人  
光緒十五年甲申進士  
年四十一歲  
散館一等一名

廣東人  
光緒十五年甲申進士  
年四十一歲  
散館一等一名

廣西人  
光緒十五年甲申進士  
年二十五歲  
散館一等一名

廣西人  
光緒十五年甲申進士  
年二十四歲  
散館一等一名

庶吉士黃炳辰

第十四排

雲南二員

○ 庶吉士盧叢林

庶吉士張維彬

貴州三員

○ 庶吉士景方昶

○ 庶吉士程棫林

庶吉士鄧維琪

第十五排

繙譯三員

○ 庶吉士恩祥

○ 庶吉士文海

○ 庶吉士嵩恩

廣西人  
光緒十五年甲申進士  
年三十歲  
散館一等一名

雲南人  
光緒十五年甲申進士  
年三十一歲  
散館一等一名

雲南人  
光緒十五年甲申進士  
年三十一歲  
散館一等一名

貴州人  
光緒十五年甲申進士  
年二十四歲  
散館一等一名

貴州人  
光緒十五年甲申進士  
年二十九歲  
散館一等一名

貴州人  
光緒十五年甲申進士  
年二十七歲  
散館一等一名

正黃旗滿洲人  
光緒十五年甲申進士  
年三十二歲  
散館一等一名

鑲黃旗滿洲人  
光緒十五年甲申進士  
年三十一歲  
散館一等一名

鑲黃旗滿洲人  
光緒十五年甲申進士  
年三十二歲  
散館一等一名

423 查此次新進士

朝考據翰林院開送閱卷大臣銜名理合進

呈伏候

欽此於二十九日清晨

發下傳集各員聽候宣  
旨再查上屆閱卷欽奉  
派出十二人謹

奏

424 協辦大學士宗室福銀

協辦大學士翰林院掌院學士徐桐

吏部尚書翰林院掌院學士宗室麟書

戶部尚書翁同龢

禮部尚書宗室崑岡

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書嵩申

許庚身

工部尚書潘祖蔭

理藩院尚書宗室松森

都察院左都御史貴恆

祁世長

吏部右侍郎孫家鼐

戶部左侍郎孫詒經

禮部左侍郎徐郁

右侍郎景善

廖壽恆

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎徐樹鉅

理藩院左侍郎恩崇

內閣學士宗室霍穆敷

鳳鳴

陳學棻

李文田

都察院左副都御史沈源深

徐致祥

425 光緒十六年四月二十九日內閣奉

上諭綿宜奏釐定官莊應交各款章程並運通米豆  
仍應本折兼收各摺片此案官莊各項折交銀兩  
前因名目繁多恐有浮冒情弊諭令綿宜詳加釐  
定茲據查明覆奏所有該處官莊應交各款折價

銀兩錢文著照該侍郎所議減定數目分別呈交  
此外不得再立名目稍涉浮多並照所請於該衙  
門郎中員外郎內暫行遴派一員監辦官莊事宜  
以昭覈實該莊頭等如有將官地私押盜典情事  
即著查明嚴行懲辦其運通米豆一項仍照向章  
本折兼收毋任拖欠餘均照所議辦理該部知道  
欽此

426 光緒十六年四月二十九日奉

旨此案著交李鴻章督同臬司親提人證卷宗秉公  
研訊確情按律定擬具奏抱告民人石邦振該部  
照例解往備質欽此

427 光緒十六年四月二十九日奉

旨依議欽此

御前大臣奏補國公藏厚因兩請開去吏後指

428

奏蒙

臣徐爾同謹言國語原身弟似察官惟世長孫語吧風身弟似察官

發下試卷共三百二十三本臣等公同校閱除一甲三

名外謹擬一等八十名二等一百二十名三等  
一百十九名不列等一名黏貼黃籤進

呈恭候

欽定後折閱彌封開列名單呈

覽謹

奏

429 臣等查對另頁詩句人名均屬相符謹開列名

單恭呈

御覽謹

奏

430 一等八十名

王乃微

程秉釗

李孝先

陳光宇

楊家驥

夏寅官 鄭叔忱 姚文倬 趙惟熙 王修植 王海涵 汪鳳梁 葉文銓 劉成傑 夏曾佑 王沛葉 俞明震 許晉邦 吳懷清 王慶平 夏之森 宋子聯 洪嘉與 石振登

何聲澗 鄭錫光 于受慶 董康 邱幸徵 孟慶榮 米毓瑞 朱祥暉 黃履初 徐繼瑞 楊承禧 王塾 劉崇照 陳寶璐 孫筭經 吳煦 黃國琛 朱益藩 王全綱

楊捷三  
范仲堦  
朱景軾  
江雲龍  
張學華  
李晉熙  
李驥年  
王景禧  
韋復潔  
啟綏  
蔡曾源  
方霆  
黃家傑  
崔廣沅  
霍勤輝  
黃謝榮  
胡安銓  
何錫祺  
余壁

載昌  
宋瞻辰  
田庚  
鄭恭  
潘寶琳  
劉樹屏  
高潤生  
王以勉  
陳啟緒  
黃曾源  
李經奮  
晁鴻年  
吳慶祥  
顏肇鼎  
王敦成  
閻志康  
華俊聲  
王安瀾  
二等一百二十名



徐北瑋  
陳懋鼎  
孫石城  
羅維垣  
李立元  
楊金鎰  
王保奭  
何天輔  
鄭文欽  
張文煥  
倪惟誠  
王貽典  
趙承翰  
歐仁銜  
王公輔  
劉寅浚  
孫洞  
呂道象  
王作時

直隸

沈搏青  
黃增榮  
方克猷  
羅傳瑞  
彭文明  
凌和鈞  
潘其祝  
張守炎  
徐鴻泰  
陳乃績  
關榕祚  
梁葆仁  
李琦青  
謝佩賢  
胡詠琛  
錢珍  
吳錡  
王履成  
羅廷煦

吉同鈞  
張煥章  
韓福慶  
張瑞芳  
王嘉謨  
陸仰賢  
管象頤  
張志嘉  
張蔚增  
谷如壙  
嚴庚辛  
胡成立  
錢鴻策  
梁聯芳  
楊庚辰  
柳堂  
李香魁  
俞官圻  
黃嘉禮

陳康瑞  
區天驥  
陳寶璿  
陸成宗  
王清穆  
陸輔清  
江仁微  
張儉  
王遂善  
姚楷  
張文煥山西  
李銘熙  
施魯濱  
許南英  
黃毓麟  
孫百斛  
黃紹第  
錢昌祚  
張堅

方燕年  
吳錫膏  
趙以煥  
錢昌瑜  
李廷謨  
楊廷椿  
黃斗元  
吳尚康  
樊景曾  
吳丙湘  
陳國華  
王肇敏  
張文翰  
陳作儀  
陳靖  
周翔鳳  
梁芝榮  
徐桂馨  
劉兆暄

李安  
鄭襄  
范宗瑩  
梁維新  
鍾德瑞  
任文燦  
汪宗翰  
曾培  
范迪襄  
劉錫光  
曾繼光  
黃國琦  
慶春  
劉奮熙  
孫紹陽  
蘇守慶  
談廷瑞  
丁學恭  
秦瑞珍

張延鴻  
李毓芬  
朱大誥  
聶寶琛  
吳學曾  
焦錫齡  
三等一百十九名  
郭某芬  
陳瀚年  
何國澄  
段大貞  
蔡鎮  
劉秉權  
華世銘  
馮如衡  
趙淵  
陳禧年  
李燮陽  
周毓棠

文槩  
張壯彩  
周家琪  
韓鏡蓉  
謝福慶  
葆平  
陳鍾澍  
劉元弼  
張祖祺  
張鳳岡  
黃漢清  
蘇元樞  
王貴省  
張健  
李舒馨  
李瀚荃  
葛汝蓀  
柯德樹  
林毓菁

楊學敏  
陳守晟  
廖平  
汪清麒  
齊耀珊  
秦家穆  
蕭綬祺  
王玉珂  
李長郁  
安蔭甲  
葛祥熊  
植克蘭  
劉延坦  
蔡寶仁  
喻炳  
陳雲霖  
張致賓  
顏慶忠  
榮光

高振聲  
璩璐  
王鶴松  
張觀德  
李光耀  
董恩寬  
溫繁忻  
尹世彩  
荀春培  
王廷銳  
黃德潤  
范克  
施沛霖  
郭同  
葉南金  
程芹香  
翁燾  
劉瞻漢  
舒信孚

龍慶言  
朱贊廷  
劉增泰  
徐春煦  
劉勳  
李兆蘭  
熊濟文  
熊兆姜  
于文鑑  
孫光遠  
羅棟材  
楊觀圭  
陳敬修  
李寅齡  
湯霖  
延祺  
白象賢  
張恭彝  
鄒炳文

何士備  
任于正  
王龍韶  
花銘  
羅鎔  
楊炳旂  
蘇繩武  
鄭毓蘭  
張廷武  
黃福元  
孔繁樸  
朱芬  
蘇岱  
裕程  
榮禧  
陳慶彬  
松年  
何敬到  
侯昭宣

耿濟瀛  
史履晉  
王耀文  
焦國理  
曾廣運  
張立仁  
孫炳陽  
萬有嚴  
蕭大猷  
黃天懷  
冉文瑞  
王寶光  
四等一名  
侯維鵬

431 光緒十六年五月初三日內閣奉  
上諭本日引見之前湖南零陵縣知縣趙宜琛著交  
軍機處存記欽此

432 光緒十六年五月初三日內閣奉

上諭昨日道旁叩閣之護軍祥保著交刑部嚴行審  
訊欽此

鈔交刑部

433 祥保供現年三十五歲係鑲黃旗滿洲二甲刺  
定昌佐領下人現充護軍因光緒六年四月借  
用護軍章京隆昌錢三百四十餘千每月歸本  
利錢二十千由隆昌於伊應領銀米內扣還外  
餘仍交伊領用算至上月本利均已歸清隆昌  
仍將伊應領銀米扣抵伊我向隆昌理論不但  
不發復聲言欲將伊護軍革退是以情急叩  
閣所供是實

434 光緒十六年五月初三日內閣奉

上諭伊犁將軍色楞額老成勳慎前在軍營帶兵勦  
賊著有戰功歷任副都統駐藏大臣洵升將軍宣  
力有年克稱厥職茲聞溘逝軫惜殊深著加恩照  
將軍例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典  
該衙門察例具奏靈柩回旗時沿途地方官妥為  
照料該將軍子孫幾人著魏光燾查明具奏候旨  
施恩欽此

435 光緒二年十月二十四日內閣奉

上諭荊州將軍巴揚阿練達勤能歷在軍營帶兵勦  
賊著有戰功由參領洵升將軍宣力有年克稱厥  
職茲聞溘逝軫惜殊深著加恩照將軍例賜卹任  
內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具  
奏伊子鄂英著賞給主事用示篤念耆臣至意欽此

436 光緒十五年四月初二日內閣奉

上諭烏里雅蘇台將軍杜嘎爾老成謹慎前在軍營  
帶兵勦賊轉戰江皖陝甘等省歷著戰功自簡任



將軍後整頓營伍克稱厥職前因患病賞假調理  
茲聞遠逝軫惜殊深加恩著照將軍例賜卹任內  
一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏  
賞銀一千兩治喪由黑龍江將軍衙門給發伊子  
呼倫貝爾副總管烏爾圖那遜著俟百日孝滿後  
由該旗帶領引見次子札木色林札布著俟及歲  
時由該旗帶領引見用示眷念蓋臣至意欽此

437 光緒十六年五月初三日奉

旨依議欽此

吏部奏酌量軍中鄂跑來等獎敘得

438 前廣西左江道恩立

硃○旨著以簡缺知府選用

439 前廣西左江道恩立  
旨著以道員選用

440 前廣西左江道恩立  
旨著以知府選用

441 光緒十六年五月初六日內閣奉

上諭前據御史德蔭奏參吉林伯都訥廳紳董于岱  
霖等侵吞公款並委員查辦不實各節當經諭令  
長順確查茲據查明覆奏此案紳士王熙鑿等因  
災支領公款辦理平糶現據查明尚無弊端于岱  
霖亦未與聞其事惟同知衣佩璋奉委辦理平糶  
輒敢私受供給開支款項貢生蕭德馨等經手貨  
捐並不遵照奏定章程辦理改由文會局徵收並  
有任意攤捐侵吞公款情事增生楊光翹等於書  
院私立于凌雲祠堂雖查無以學田作為祭費確  
據惟於入祠之日擅動釐捐錢文該紳等經手學  
田並有欺隱情弊貢生蕭德馨家人王文珊中書  
銜谷蘭芳增生楊光翹附生子芳慎陳文俊貢生  
張朝翰附貢生楊振聲候選同知衣佩璋均著即  
行斥革編修于鍾霖身列清班乃不知自愛與民  
爭利倚勢作威以上各案均係該員暗中主持尤

屬貪鄙著一併革職以示懲儆所立文會祠堂飭令即行撤去嗣後不准立此會名以端士習該處劣紳往往藉地方公事把持舞弊亟應嚴加整頓力挽頹風此外有無似此劣蹟昭著紳衿著長順再行確查叅辦另片奏于鍾霖家開設鋪號甚多漏稅漁利該鋪所出憑帖商民持帖取錢多方刁難恃勢虐民請勒限將帖收回等語著照所請勒限半年將此帖概行收回儘逾限不收即行從重懲辦餘著照所議辦理該部知道欽此

442 光緒十六年五月初七日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤稀少朕疊次親詣

大高殿並詣

時應宮拈香分派貝勒載澄等恭詣

時應宮等處拈香同申虔禱現在節逾夏至仍未

渥沛甘霖朕心倍深寅盼著遴選光明殿道衆在

大高殿祈禱遴選僧衆在覺生寺誦經均於本月十一

日開壇是日朕親詣

大高殿拈香著派崇光在彼常川住宿並派睿親王魁

斌鎮國公溥芸成端克文分為兩班輪班住宿上香行禮覺生寺派肅親王隆勳拈香派文壁常川住宿並派貝勒奕綱鎮國公榮毓德壽立瑞分為兩班輪班住宿上香行禮

時應宮著派貝勒載瀛

昭顯廟著派貝勒載潯

宣仁廟著派貝子奕謨

凝和廟著派輔國公載澤拈香並派貝勒載澍詣

黑龍潭拈香所有派出之王大臣等俱著先期齊

宿分往行禮欽此

443 查軍機章京刑部額外主事吳魯現在蒙

恩授職修撰所遺章京一缺應以額外行走之戶部

主事王頌蔚充補並添傳

記名在前之工部候補員外郎繼昌在額外行走謹

奏

光緒十六年五月初七日奉

旨知道了欽此

滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾慶額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院即補郎中志樸

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎魁麟

內閣候補侍讀崇林

理藩院題署主事豐陞額

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈思嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧瓚

吏部員外郎即補郎中 記名御史王敏

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

戶部額外主事陳熾

四品銜工部候補員外郎繼昌

滿二班

四品銜通政使司參議豐岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部員外郎即補郎中延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部即補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部主事徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳希棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李蔭鑾

445 光緒十六年五月初九日內閣奉  
上諭湖南岳州府知府員缺著鍾英補授欽此

446 查湖南岳州府知府係銜繁疲難最要缺謹  
奏

447 光緒十六年五月初九日內閣奉

上諭曾國荃奏已故提督戰功卓著懇懇賜卹並將  
事蹟宣付史館立傳一摺已故福建陸路提督一  
等男爵蕭孚泗於咸豐三年隨同曾國藩轉戰江  
西湖北等省所向克捷六年以後隸曾國荃部下  
疊克名城勳績卓著洊擢至福建陸路提督同治  
三年克復江甯省城首先奪門而入擄獲李秀成  
等巨逆厥功尤偉蕭孚泗著照提督軍營立功後  
病故例議卹於江南立功地方建立專祠生平戰  
績宣付國史館立傳並著加恩予諡以彰忠蓋該  
衙門知道欽此

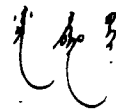
448 光緒十六年五月初九日奉  
旨李光翰著賞給博奇巴圖魯名號欽此

449 擬

賞知府李光翰清字勇號

硃

○



固克平

450 光緒十六年五月初十日內閣奉

上諭新科一甲進士三名吳魯文廷式吳蔭培業經  
授職外黃紹第李立元徐繼儒孟慶榮何聲灝程  
秉釗朱益藩謝佩賢王沛芬任文燦劉崇照石振  
鑿余堃王敬成李經畬許晉祁江雲龍載昌潘寶  
琳吳懷清陳光宙朱祥暉王修植王安瀾王以懋  
楊家驥朱景軾汪鳳梁王慶平楊承禧蔡曾源徐  
兆璋劉成傑夏之森黃家傑黃澍茶王公輔洪嘉  
與管象頤王乃徵王金綱鄭錫光華俊聲夏寅官

史部奏議慶宗載著賞給博奇巴圖魯名號片

于受慶趙惟熙啟綏吳煦霍勤輝李驥年李孝先  
夏曾佑王景禧楊捷三宋瞻宸章履潔孫百斛王  
海涵胡安銓田庚李晉熙鄭叔忱范仲森黃曾源  
陳啟緒陳寶璐陸承宗米毓瑞何錫禔劉樹屏張  
學華吳慶祥姚文偉黃履初方靈葉文銓邱聿微  
晁鴻年俞明震閻志廉宋子聯孫筍經王塾高潤  
生鄭文欽崔廣沅俱著改為翰林院庶吉士蕭大  
猷孫紹陽江仁徽吳錫窩李安楊庚辰王清穆焦  
錫齡陳乃績李晉魁錢昌祚楊廷椿關榕祚朱贊  
廷張煥章劉寅浚王履咸李寅齡聶寶琛柯德樹  
李廷諤彭文明方克猷劉元弼錢鴻策吳錡沈搏  
青方燕年錢昌瑜王保爽葆平華世銘區天驥何  
天輔陸仰賢文渠陳瀚年范迪衷吳尚廉黃斗元  
徐鴻泰榮光李毓芬吉同鈞黃毓麟劉瞻漢楊觀  
圭胡成立羅維垣汪宗翰秦家穆梁芝榮郭集芬  
陳康瑞倪維誠羅傳瑞王肇敏楊金鎮浚和鈞陳  
國華嚴庚辛李銘熙朱大誥鄭恭張檢董康張守  
炎張瑞芳張文煥王貽典張文煥張志嘉陸輔清  
歐仁衡許南英丁學恭談廷瑞徐桂馨呂道象史

履晉鏤珍曾培谷如壩顏肇鼎黃國琛慶春吳學  
曾俱著分部學習段大貞陳懋鼎守慶梁聯芳  
植堯蘭齊耀珊周翔鳳李雙陽任子正韓福慶何  
國澄熊濟文樊景曾王鶴松劉秉權俱著以內閣  
中書用趙以煥廖平陳鍾澔陳作儀馮如衡楊炳  
折李長郁周家琪范宗瑩何士循何敬釗謝福慶  
黃嘉禮璣張壯彩李瀚黎孫石城陳禧年葛祥  
熊王作綉黃德潤胡詠琛陳敬修翁燾羅廷煦張  
敘賓張廷鴻羅棟材周毓棠鄭襄蕭綬琪黃漢清  
張堅劉奮熙葛汝葆李綺青劉增泰舒信孚程芹  
香張庭武王龍詔李光耀王廷銳李兆蘭喻灼姚  
楷陳雲霖林毓著俞官圻蘇繩武張恭彝曾繼光  
廷祺王嘉謨柳堂鄒炳文蘇元樞董思寬高振聲  
梁維新陳守晟鍾德瑞陳燭李舒馨張觀德王遂  
善黃國琦秦瑞珍徐春煦蘇岱安蔭甲顏慶忠孫  
洞蔡鎮松年湯霖汪清麒尹世彩劉兆暄王貴省  
王玉珂朱芬葉南金趙承翰張文翰花銘劉勳黃  
增榮孫光遠侯紹宣鄭毓蘭熊兆姜白象賢羅銘  
劉廷坦陳慶彬郭同梁葆仁楊學敏施沛霖趙淵

溫繁所耿濟流黃福元范克榮褚張鳳岡龍慶言  
 裕徑俱著交吏部掣籤分發各省以知縣即用戶  
 部候補郎中陳寶璠著以郎中即用刑部候補主  
 事蔡寶仁工部候補主事張蔚增均著以主事即  
 用內閣候補中書劉錫光仍以中書候補分發河  
 南道員吳丙湘著仍分發原省以道員補用分發  
 廣西知府張祖祺著仍分發原省以知府補用同  
 知用遇缺儘先選用知縣施魯濱著以原班用餘  
 著歸班銓選欽此

第一排

一甲進士三名

吳魯 福建人 年四十五歲 一甲一名進士 覆試一等五名

文廷式 江西人 年三十五歲 一甲二名進士 覆試一等一名

吳蔭培 江蘇人 年二十六歲 一甲三名進士 覆試一等四名

第二排

宗室進士三名

宗室載昌 鎮江人 年十四歲 二甲二十名進士 覆試一等一名

宗室文傑 鎮江人 年十四歲 二甲九十七名進士 覆試二等一名

第三排

宗室榮光 正藍旗人 年十五歲 三甲一百零六名進士 覆試二等五十二名

滿洲進士六名

啟綏 滿洲人 年十五歲 二甲十六名進士 覆試一等十三名

葆平 滿洲人 年十五歲 二甲九十九名進士 覆試二等八十九名

璣璐 滿洲人 年十五歲 三甲十四名進士 覆試二等五十二名

松年 滿洲人 年十五歲 重百零六名進士 覆試三等五名

慶春 滿洲人 年十五歲 重百零六名進士 覆試三等五名

裕徑 滿洲人 年十四歲 重百零六名進士 覆試三等五名

第四排

蒙古進士一名

鏗珍 蒙古人 年十五歲 三甲一百零六名進士 覆試二等四十七名

第五排

漢軍進士五名

黃曾元 漢軍人 年十五歲 三甲一百零六名進士 覆試二等四十二名

廷祺 漢軍人 年十五歲 三甲九十二名進士 覆試二等五十五名

鄭文欽 漢軍人 年十六歲 三甲十八名進士 覆試一等五名

施沛霖 漢軍人 年十五歲 三甲六十四名進士 覆試三等三十三名

榮禧 漢軍人 年十九歲 三甲一百零六名進士 覆試三等一百零三名

第六排

直隸進士六名

孟慶榮

直隸人  
年五歲

二甲五名進士

朝考一等三十九名

楊庚辰

直隸人  
年十三歲

三甲二名進士

朝考二等五十三名

張煥章

直隸人  
年三歲

三甲五十四名進士

朝考一等四十七名

華俊聲

直隸人  
年四歲

三甲六十二名進士

朝考一等二十八名

華寶琛

順天人  
年九歲

三甲七名進士

朝考一等一百零四名

華世銘

直隸人  
年十三歲

三甲九十二名進士

朝考三等二十七名

第七排

直隸進士六名

楊炳旂

直隸人  
年十三歲

三甲十九名進士

朝考三等九十四名

何錫祺

直隸人  
年五歲

三甲二名進士

朝考一等六十二名

蘇守慶

直隸人  
年五歲

三甲四名進士

朝考二等一百零二名

朱大誥

直隸人  
年五歲

三甲三十一名進士

朝考一等六十七名

張檢

直隸人  
年五歲

三甲四十名進士

朝考二等六十五名

張瑞芳

順天人  
年十二歲

三甲四十四名進士

朝考二等四十二名

第八排

直隸進士六名

張敘賓

直隸人  
年四歲

三甲四十六名進士

朝考三等四十八名

孫光遠 奉天人 年五十二歲 重官五名進士。朝考三等七十九名

第十一排

江蘇進士七名

李安 江蘇人 年五十二歲 二甲十八名進士 朝考二等九十六名

王清穆 江蘇人 年五十九歲 二甲十一名進士 朝考二等六十二名

陳光宇 江蘇人 年五十二歲 二甲十一名進士 朝考一等四十二名

汪鳳梁 江蘇人 年五十二歲 三甲三十九名進士 朝考一等三十二名

王慶平 江蘇人 年五十二歲 三甲四十二名進士 朝考一等二十二名

徐兆璋 江蘇人 年五十二歲 三甲四十六名進士 朝考二等九十二名

王全綱 江蘇人 年五十二歲 三甲五十九名進士 朝考一等四十二名

第十二排

江蘇進士七名

夏寅官 江蘇人 年五十二歲 三甲六十三名進士 朝考二等五十四名

于受慶 江蘇人 年五十二歲 三甲六十四名進士 朝考一等五十七名

錢鴻策 江蘇人 年五十二歲 三甲七十九名進士 朝考二等五十二名

王保爽 江蘇人 年五十二歲 三甲八十九名進士 朝考二等七名

陳作儀 江蘇人 年五十二歲 三甲一百七名進士 朝考二等九十二名

馮如衡 江蘇人 年五十二歲 三甲一百七名進士 朝考三等八名

劉瞻漢 江蘇人 年五十二歲 三甲一百一十二名進士 朝考三等六十八名

第十三排

江蘇進士七名

劉樹屏 江蘇人 年五十二歲 三甲七名進士 朝考一等十八名

謝福慶 江蘇人 年五十二歲 三甲十二名進士 朝考三等四十二名

吳慶祥 江蘇人 年五十二歲 三甲十六名進士 朝考一等四十二名

葉文銓 江蘇人 年五十二歲 三甲三十一名進士 朝考一等三十二名

董康 江蘇人 年五十二歲 三甲四十二名進士 朝考一等二十八名

王貽典 江蘇人 年五十二歲 三甲四十九名進士 朝考二等五十二名

吳丙湘 江蘇人 年五十二歲 三甲五十二名進士 朝考三等九十二名

第十四排

江蘇進士六名

張堅 江蘇人 年五十二歲 三甲六十五名進士 朝考二等三十二名

丁學恭 江蘇人 年五十二歲 三甲六十九名進士 朝考二等五十二名

宋子聯 江蘇人 年五十二歲 三甲八十八名進士 朝考二等七十二名

汪清祺 江蘇人 年五十二歲 三甲九十九名進士 朝考三等五十二名

溫繁炳 江蘇人 年五十二歲 三甲一百零六名進士 朝考三等五十二名

黃福元 江蘇人 年五十二歲 三甲一百零九名進士 朝考三等九十二名

第十五排

安徽進士七名



何聲瀨 安徽人 年二十六歲 二甲六名進士 朝考一等十三名 履試三等二十五名

程秉釗 安徽人 年四十一歲 二甲八名進士 朝考一等七名 履試三等二十七名

李經畬 安徽人 年三十一歲 二甲二十名進士 朝考一等十六名 履試一等十七名

江雲龍 安徽人 年三十一歲 二甲二十五名進士 朝考一等十七名 履試一等十七名

方燕年 安徽人 年十八歲 二甲八十四名進士 朝考二等二十七名 履試二等二十七名

黃斗元 安徽人 年三十一歲 二甲一百三名進士 朝考二等八十三名 履試二等八十三名

田庚 安徽人 年三十一歲 二甲百十三名進士 朝考二等六十五名 履試二等六十五名

第十六排

安徽進士七名

孫石城 安徽人 年四十二歲 三甲十四名進士 朝考二等三十八名 履試二等三十八名

鄭恭 安徽人 年三十一歲 三甲十五名進士 朝考一等六十六名 履試一等六十六名

方霆 安徽人 年三十一歲 三甲二十七名進士 朝考一等五十五名 履試一等五十五名

黃漢清 安徽人 年三十一歲 三甲五十五名進士 朝考二等二十二名 履試二等二十二名

姚楷 安徽人 年三十一歲 三甲八十二名進士 朝考二等六十七名 履試二等六十七名

葉南金 安徽人 年三十一歲 三甲百十三名進士 朝考三等六十五名 履試三等六十五名

郭岡 安徽人 年四十一歲 三甲百五十七名進士 朝考三等六十四名 履試三等六十四名

第一排

江西進士七名

朱益藩 江西人 年三十一歲 二甲九名進士 朝考一等四十二名 履試一等四十二名

謝佩賢 江西人 年三十一歲 二甲十名進士 朝考二等三十三名 履試二等三十三名

黃家傑 江西人 年三十一歲 二甲五十名進士 朝考一等五十九名 履試一等五十九名

黃澍榮 江西人 年三十一歲 二甲五十一名進士 朝考一等五十九名 履試一等五十九名

洪嘉興 江西人 年三十一歲 二甲五十五名進士 朝考一等五十九名 履試一等五十九名

趙惟熙 江西人 年三十一歲 二甲六十五名進士 朝考一等九名 履試一等九名

吳錡 江西人 年三十一歲 二甲八十九名進士 朝考二等三十六名 履試二等三十六名

第二排

江西進士七名

沈搏青 江西人 年三十一歲 三甲十三名進士 朝考二等二十五名 履試二等二十五名

周翔鳳 江西人 年三十一歲 三甲十四名進士 朝考二等九十二名 履試二等九十二名

舒信孚 江西人 年三十一歲 三甲七十一名進士 朝考三等六十九名 履試三等六十九名

徐桂馨 江西人 年三十一歲 三甲八十一名進士 朝考二等九十四名 履試二等九十四名

鄒炳文 江西人 年三十一歲 三甲九十六名進士 朝考三等六十八名 履試三等六十八名

呂道象 江西人 年三十一歲 三甲百三名進士 朝考二等八十八名 履試二等八十八名

張祖祺 江西人 年三十一歲 三甲百九名進士 朝考三等五十九名 履試三等五十九名

第三排

江西進士七名

萬有嚴 江西人 年三十一歲 三甲百十七名進士 朝考三等一百十五名 履試三等一百十五名

樊景曾 江西人 年三十一歲 三甲百十七名進士 朝考二等八十五名 履試二等八十五名

蔡鎮 江西人 年三十五歲 重百五十五名進士 朝考三等五名 履試二等九名

劉兆暄 江西人 年二十九歲 重百三十三名進士 朝考二等九名 履試三等九名

顏肇鼎 江西人 年三十五歲 重百六十六名進士 朝考一等七十六名 履試三等五名

龍慶言 江西人 年三十二歲 重百四十四名進士 朝考三等七十七名 履試三等四十四名

蔡寶仁 江西人 年三十三歲 重百七十七名進士 朝考三等四十五名 履試三等四十五名

第四排

浙江進士六名

黃紹第 浙江人 年三十三歲 二甲二名進士 朝考二等九十九名 履試三等七十四名

江仁徽 浙江人 年三十五歲 二甲十二名進士 朝考二等六十四名 履試三等七十四名

劉崇照 浙江人 年三十五歲 二甲十五名進士 朝考一等二十七名 履試二等四十九名

王修植 浙江人 年三十二歲 二甲三十四名進士 朝考一等十名 履試一等十名

楊家驥 浙江人 年三十二歲 二甲二十七名進士 朝考一等五名 履試一等五名

夏之森 浙江人 年三十五歲 二甲四十八名進士 朝考一等十一名 履試二等二十二名

第五排

浙江進士六名

王履咸 浙江人 年三十二歲 二甲五十七名進士 朝考二等二十七名 履試二等二十七名

方克猷 浙江人 年三十九歲 二甲七十七名進士 朝考二等二十二名 履試三等十五名

夏曾佑 浙江人 年三十二歲 二甲八十七名進士 朝考一等十五名 履試一等十五名

陸仰賢 浙江人 年三十二歲 二甲九十五名進士 朝考二等四十四名 履試一等十七名

陳康瑞 浙江人 年三十九歲 三甲十三名進士 朝考二等五十八名 履試二等五十八名

凌和鈞 浙江人 年三十五歲 三甲十名進士 朝考一等二十五名 履試一等二十五名

第六排

浙江進士五名

何敬釗 浙江人 年三十二歲 三甲十一名進士 朝考三等五十六名 履試三等五十六名

姚文倬 浙江人 年三十二歲 三甲十三名進士 朝考一等八名 履試一等八名

葛祥熊 浙江人 年三十五歲 三甲十八名進士 朝考三等三十二名 履試三等三十二名

翁燾 浙江人 年三十二歲 三甲十八名進士 朝考一等六十七名 履試一等六十七名

歐仁衡 浙江人 年三十二歲 三甲六十七名進士 朝考一等十四名 履試一等十四名

第七排

浙江進士五名

俞官圻 浙江人 年三十二歲 三甲八十五名進士 朝考二等五十七名 履試二等五十七名

高振聲 浙江人 年三十五歲 三甲一百名進士 朝考三等五十七名 履試三等五十七名

孫洞 浙江人 年三十二歲 三甲三十三名進士 朝考二等十七名 履試三等十七名

梁葆仁 浙江人 年三十二歲 三甲五十五名進士 朝考二等十七名 履試二等十七名

潘其祝 浙江人 年三十二歲 三甲五十五名進士 朝考二等十六名 履試二等十六名

第八排

福建進士六名

劉成傑 福建人 年三十二歲 三甲七十七名進士 朝考一等十四名 履試一等十四名

鄭錫光

福建人  
年三十五歲

二甲六十名進士

朝考一等二十六名  
覆試二等九名

柯德樹

福建人  
年三十一歲

二甲七十二名進士

朝考二等三十名  
覆試二等九名

宋瞻宸

福建人  
年三十五歲

二甲九十六名進士

朝考一等六十四名  
覆試二等九名

陳瀚年

福建人  
年三十五歲

二甲九十九名進士

朝考三等二名  
覆試二等二名

李毓芬

福建人  
年三十五歲

二甲一百八名進士

朝考二等二十六名  
覆試二等六名

第九排

福建進士六名

鄭叔忱

福建人  
年三十五歲

二甲一百七名進士

朝考一等六名  
覆試二等六名

陳懋鼎

福建人  
年三十九歲

二甲百二十七名進士

朝考二等二名  
覆試三等十九名

陳寶璐

福建人  
年三十五歲

二甲百一十名進士

朝考一等二十八名  
覆試二等十八名

周家琪

福建人  
年三十五歲

三甲三名進士

朝考三等十五名  
覆試二等六名

陳禧年

福建人  
年三十五歲

三甲二十六名進士

朝考三等十名  
覆試二等十名

胡詠琛

福建人  
年三十九歲

三甲二十五名進士

朝考二等三十四名  
覆試三等六名

第十排

福建進士六名

邱聿徵

福建人  
年三十五歲

三甲四十一名進士

朝考一等二十九名  
覆試二等七名

鄭襄

福建人  
年三十五歲

三甲五十五名進士

朝考二等九十七名  
覆試三等十七名

陳寶璿

福建人  
年三十五歲

三甲五十六名進士

朝考二等六十八名  
覆試三等九十八名

許南英

福建人  
年三十五歲

三甲六十一名進士

朝考二等七十一名  
覆試一等六十六名

陳雲霖

福建人  
年三十五歲

三甲八十三名進士

朝考三等四十七名  
覆試三等十九名

林毓菁

福建人  
年三十五歲

三甲八十四名進士

朝考三等三十一名  
覆試三等十九名

第十一排

福建進士五名

張恭彝

福建人  
年三十五歲

三甲八十八名進士

朝考三等六十五名  
覆試三等十四名

梁維新

福建人  
年三十五歲

三甲一百一十名進士

朝考二等九十九名  
覆試三等五十五名

顏慶忠

福建人  
年三十五歲

三甲百一十名進士

朝考三等十九名  
覆試三等五十五名

施魯濱

福建人  
年三十五歲

三甲百九十九名進士

朝考二等七十八名  
覆試三等五十五名

黃國琛

福建人  
年三十五歲

三甲百六十六名進士

朝考一等四十一名  
覆試三等五十五名

第十二排

山東進士六名

徐繼鴻

山東人  
年三十五歲

二甲四名進士

朝考一等二十四名  
覆試二等二名

蔡曾源

山東人  
年三十五歲

二甲四十四名進士

朝考一等五十四名  
覆試二等二名

管象頤

山東人  
年三十五歲

二甲五十五名進士

朝考二等四十五名  
覆試二等五名

李寅齡

山東人  
年三十五歲

二甲六十二名進士

朝考三等八十八名  
覆試一等五十八名

王景禧

山東人  
年三十五歲

三甲八十八名進士

朝考一等五十五名  
覆試二等五名

王肇敏

山東人  
年三十五歲

三甲第一名進士

朝考三等八十八名  
覆試三等十二名

第十三排

山東進士六名

張壯彩 山東人 年三十七歲 三甲十七名進士。朝考三等十七名 覆試二等十七名

王作綉 山東人 年三十五歲 三甲十九名進士。朝考三等十九名 覆試二等十九名

陳敬修 山東人 年四十二歲 三甲二十六名進士。朝考三等二十六名 覆試二等二十六名

張守炎 山東人 年四十二歲 三甲二十三名進士。朝考二等二十七名 覆試一等二十七名

王塾 山東人 年三十九歲 三甲十九名進士。朝考一等三十六名 覆試一等三十六名

蘇元極 山東人 年三十二歲 三甲九十七名進士。朝考三等一百零四名 覆試一等一百零四名

第十四排

山東進士五名

王遂善 山東人 年三十三歲 三甲十三名進士。朝考二等六十六名 覆試三等六十六名

王貴省 山東人 年四十二歲 三甲十三名進士。朝考三等二十五名 覆試三等二十五名

王玉珂 山東人 年四十八歲 三甲十三名進士。朝考三等二十九名 覆試三等二十九名

崔廣沅 山東人 年三十五歲 三甲十五名進士。朝考一等五十七名 覆試一等五十七名

張文翰 山東人 年三十六歲 三甲四十三名進士。朝考二等八十九名 覆試三等八十九名

第十五排

山東進士五名

劉廷垣 山東人 年四十二歲 三甲十五名進士。朝考三等四十四名 覆試二等九十七名

陳慶彬 山東人 年三十五歲 三甲十七名進士。朝考三等一百零四名 覆試二等一百零四名

于文鑑 山東人 年四十二歲 三甲十九名進士。朝考三等一百零八名 覆試一等一百零八名

韓鏡蓉 山東人 年四十二歲 三甲八十八名進士。朝考三等一百零六名 覆試三等一百零六名

孔繁樸 山東人 年三十七歲 三甲八名進士。朝考三等三十九名 覆試二等三十九名

第一排

山西進士六名

李晉魁 山西人 年三十三歲 三甲十三名進士。朝考二等五十五名 覆試一等五十五名

李廷讓 山西人 年四十二歲 三甲十三名進士。朝考二等八十一名 覆試二等八十一名

米毓瑞 山西人 年三十八歲 三甲十三名進士。朝考一等三十三名 覆試一等三十三名

張文煥 山西人 年三十五歲 三甲四十七名進士。朝考二等六十八名 覆試二等六十八名

劉奮熙 山西人 年三十二歲 三甲六十八名進士。朝考二等一百零九名 覆試一等一百零九名

孫晉經 山西人 年三十五歲 三甲八十七名進士。朝考一等三十九名 覆試二等六十六名

第二排

山西進士五名

張觀德 山西人 年三十八歲 三甲八名進士。朝考三等五十四名 覆試二等五十四名

白象賢 山西人 年三十八歲 三甲八名進士。朝考三等八十六名 覆試二等八十六名

谷如壙 山西人 年三十二歲 三甲十五名進士。朝考二等四十八名 覆試二等四十八名

趙淵 山西人 年三十八歲 三甲十五名進士。朝考二等九名 覆試二等九名

劉秉權 山西人 年三十二歲 三甲十五名進士。朝考三等六十六名 覆試二等五十八名

第三排

河南進士六名

孫紹陽 河南人 年三十二歲 三甲七名進士。朝考二等一百零七名 覆試三等一百零七名

王沛茶

河南人  
年三十二歲

二甲十一名進士

朝考一等十六名  
覆試二等五名

焦錫齡

河南人  
年三十八歲

三甲十七名進士

朝考二等二十七名  
覆試二等二十名

王安瀾

河南人  
年三十一歲

三甲二十五名進士

朝考一等八十八名  
覆試二等一百名

錢昌祚

河南人  
年三十五歲

三甲四十名進士

朝考二等九十九名  
覆試一等七十五名

楊捷三

河南人  
年三十五歲

三甲九十四名進士

朝考一等四十四名  
覆試二等四十四名

第四排

河南進士五名

徐鴻泰

河南人  
年三十一歲

二甲一百零五名進士

朝考二等二十八名  
覆試二等四十八名

范仲立

河南人  
年三十一歲

三甲一百零五名進士

朝考一等四十五名  
覆試二等三十八名

何士循

河南人  
年三十九歲

三甲九名進士

朝考三等八十九名  
覆試二等三十三名

張廷鴻

河南人  
年古古歲

三甲四十八名進士

朝考一等一百十五名  
覆試二等一百十五名

張庭武

河南人  
年二十七歲

三甲七十三名進士

朝考三等九十七名  
覆試一等一百零五名

第五排

河南進士五名

柳堂

河南人  
年四十八歲

三甲九十五名進士

朝考二等五十四名  
覆試三等一百零五名

熊兆姜

河南人  
年三十一歲

三甲百零五名進士

朝考三等七十七名  
覆試三等七十七名

耿濟瀛

河南人  
年三十一歲

三甲百零五名進士

朝考三等一百零八名  
覆試三等一百零八名

張鳳岡

河南人  
年四十一歲

三甲百零五名進士

朝考三等二十二名  
覆試一等五十九名

吳學曾

河南人  
年三十三歲

三甲百零七名進士

朝考一等一百零九名  
覆試二等一百零九名

第六排

陝西進士五名

吳錫膏

陝西人  
年古古歲

二甲十三名進士

朝考二等五名  
覆試二等七名

吳懷清

陝西人  
年三十一歲

三甲三十名進士

朝考一等十九名  
覆試一等十九名

段大貞

陝西人  
年三十一歲

三甲七十一名進士

朝考三等四名  
覆試三等四名

霍勤輝

陝西人  
年二十一歲

三甲七十五名進士

朝考一等五十八名  
覆試二等五十八名

吉同鈞

陝西人  
年三十五歲

三甲百零七名進士

朝考二等七十九名  
覆試二等七十九名

第七排

陝西進士五名

嚴庚辛

陝西人  
年三十一歲

三甲二十二名進士

朝考二等四十九名  
覆試二等四十九名

晁鴻年

陝西人  
年三十一歲

三甲五十九名進士

朝考一等七十四名  
覆試二等七十四名

劉增泰

陝西人  
年三十一歲

三甲七十七名進士

朝考三等七十二名  
覆試二等七十二名

王廷銳

陝西人  
年三十一歲

三甲七十七名進士

朝考三等六十九名  
覆試四等六十九名

蘇繩武

陝西人  
年三十一歲

三甲八十六名進士

朝考三等九十五名  
覆試二等九十五名

第八排

陝西進士五名

李舒馨

陝西人  
年三十一歲

三甲一百零五名進士

朝考三等二十七名  
覆試三等二十七名

徐春煦

陝西人  
年古古歲

三甲百零六名進士

朝考二等三十三名  
覆試三等三十三名

趙承翰

陝西人  
年三十一歲

三甲百零八名進士

朝考二等三十三名  
覆試三等三十三名

第九排

張立仁 陝西人 年三十一歲 重九名進士 朝考三等四十六名  
鄭毓蘭 陝西人 年三十一歲 重九名進士 朝考三等九十六名

甘肅進士五名

王海涵 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等十一名  
黃毓麟 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考二等四十四名  
周毓棠 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考三等七十三名  
葛汝祿 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考二等四十四名  
譚廷瑞 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考二等九十九名

第十排

甘肅進士四名

任子正 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考二等九十九名  
安蔭甲 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考三等四十二名  
尹世彩 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考三等九十九名  
焦國理 甘肅人 年三十一歲 重九名進士 朝考三等一百一十名

第十一排

湖北進士七名

石振鑿 湖北人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等二十四名  
朱祥暉 湖北人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等二十二名

第十二排

湖北進士六名

楊承禧 湖北人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等二十五名  
劉寅浚 湖北人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等十六名  
劉元弼 湖北人 年三十一歲 重九名進士 朝考三等二十名  
范迪衷 湖北人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等九十四名  
汪宗翰 湖北人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等一百一十名

郭集芬

陳國華

羅廷煦

王嘉謨

韓福慶

湯霖

第十三排

湖南進士五名

蕭大猷 湖南人 年三十一歲 重九名進士 朝考三等一百一十名  
陳乃績 湖南人 年三十一歲 重九名進士 朝考二等九十九名  
王以懋 湖南人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等七十七名  
彭文明 湖南人 年三十一歲 重九名進士 朝考一等二十四名

楊觀圭。湖南人。年五九歲。三甲一百二十名進士。朝考三等八十一名。

第十四排

湖南進士四名

羅維垣。湖南人。年五七歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

李長郁。湖南人。年五五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

陸承宗。湖南人。年五三歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

黃履初。湖南人。年五二歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

第十五排

湖南進士四名

蕭綬琪。湖南人。年四五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

王龍詔。湖南人。年四三歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

陳守晟。湖南人。年四一歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

王耀文。湖南人。年三九歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

第一排

四川進士五名

余望。四川人。年三八歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

王公輔。四川人。年三五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

王乃微。四川人。年三九歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

康平。四川人。年三二歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

胡安鈞。四川人。年四十五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

第二排

四川進士五名

秦家穆。四川人。年五七歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

李銘熙。四川人。年五五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

喻炯。四川人。年五三歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

曾繼光。四川人。年五一歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

陳煇。四川人。年四九歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

第三排

四川進士四名

曾培。四川人。年三六歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

曾廣運。四川人。年三五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

范堯。四川人。年三三歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

苟春培。四川人。年三二歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

第四排

廣東進士六名

任文燦。廣東人。年三五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

潘寶琳。廣東人。年三五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

張蔚增。廣東人。年三五歲。三甲一百一十名進士。朝考三等八十二名。

第五排

廣東進士六名

錢昌瑜。廣東人。年天歲。三甲十五名進士。覆試二等五名。朝考二等八十八名。

區天驥。廣東人。年五歲。三甲九十二名進士。覆試二等五十九名。朝考二等五十九名。

何天輔。廣東人。年天歲。三甲九十三名進士。覆試二等六十六名。朝考二等八十八名。

吳尚廉。廣東人。年五歲。三甲一百零五名進士。覆試二等八十四名。朝考二等八十四名。

李晉熙。廣東人。年五歲。三甲一百十五名進士。覆試二等四十九名。朝考二等四十九名。

梁芝榮。廣東人。年五歲。三甲百二十六名進士。覆試二等九十九名。朝考二等九十九名。

羅傳瑞。廣東人。年天歲。三甲百零五名進士。覆試二等三十三名。朝考二等三十三名。

張學華。廣東人。年一歲。三甲八十八名進士。覆試二等四十八名。朝考一等四十八名。

黃嘉禮。廣東人。年天歲。三甲十三名進士。朝考二等五十七名。

第六排

廣東進士五名

梁聯芳。廣東人。年四歲。三甲十五名進士。覆試二等六名。朝考二等五十二名。

李瀚登。廣東人。年五歲。三甲十八名進士。覆試二等二十八名。朝考三等二十八名。

李綺青。廣東人。年五歲。三甲六十八名進士。覆試三等五十九名。朝考二等三十九名。

何國澄。廣東人。年五歲。三甲百二名進士。覆試二等三十三名。朝考二等三十三名。

黃增榮。廣東人。年四歲。三甲百四十四名進士。朝考二等二十二名。

第七排

廣西進士七名

王敬成。廣西人。年三歲。三甲十九名進士。覆試一等五十七名。朝考一等五十七名。

許晉祁。廣西人。年天歲。三甲四十四名進士。覆試一等四十八名。朝考一等四十八名。

關榕祚。廣西人。年三歲。三甲四十五名進士。覆試二等九十五名。朝考二等九十五名。

李驥年。廣西人。年五歲。三甲八十八名進士。覆試一等五十九名。朝考一等五十九名。

李孝先。廣西人。年一歲。三甲八十八名進士。覆試一等六十六名。朝考一等六十六名。

植克蘭。廣西人。年五歲。三甲二十名進士。朝考三等四十三名。

羅棟材。廣西人。年四歲。三甲五十五名進士。朝考三等八十八名。

第八排

廣西進士六名

陸輔清。廣西人。年十九歲。三甲五十七名進士。朝考一等六十三名。

鍾德瑞。廣西人。年五歲。三甲五十五名進士。朝考一等一百名。

黃國琦。廣西人。年三歲。三甲四十九名進士。朝考二等七十八名。

蘇依。廣西人。年一歲。三甲四十九名進士。朝考三等一百一十一名。

侯紹宣。廣西人。年三歲。三甲四十四名進士。朝考三等一百七十七名。

黃天懷。廣西人。年五歲。三甲百零七名進士。朝考三等一百七十七名。

第九排

雲南進士五名

朱景斌。雲南人。年五歲。三甲二十八名進士。朝考一等四十六名。



吳煦 雲南人 年三十一歲 三甲四名進士 朝考一等四十二名

章履潔 雲南人 年三十一歲 三甲九名進士 朝考一等五十二名

倪惟誠 雲南人 年三十一歲 三甲三四名進士 朝考一等十一名

楊金鏗 雲南人 年三十一歲 三甲五名進士 朝考一等六名

第十排

雲南進士四名

范宗瑩 雲南人 年三十一歲 三甲六名進士 朝考二等九十八名

黃德潤 雲南人 年三十一歲 三甲七名進士 朝考二等六十二名

李雙陽 雲南人 年三十一歲 三甲九名進士 朝考三等十一名

朱芬 雲南人 年三十一歲 三甲三十四名進士 朝考三等一百名

第十一排

雲南進士四名

劉勳 雲南人 年三十一歲 三甲五十五名進士 朝考三等六十二名

王寶光 雲南人 年三十一歲 三甲六名進士 朝考三等一百六名

楊學敏 雲南人 年三十一歲 三甲五名進士 朝考三等三十二名

張鍵 雲南人 年三十一歲 三甲五十五名進士 朝考三等六十六名

第十二排

貴州進士六名

李立元 貴州人 年三十一歲 二甲三名進士 朝考二等五十五名

趙以煥 貴州人 年三十一歲 三甲五名進士 朝考二等五十五名

楊廷椿 貴州人 年三十一歲 三甲四十五名進士 朝考二等八十二名

孫炳陽 貴州人 年三十一歲 三甲六十八名進士 朝考三等百六名

陳鍾濬 貴州人 年三十一歲 三甲四十四名進士 朝考三等九十九名

第十三排

貴州進士六名

陳啟緒 貴州人 年三十一歲 三甲五十五名進士 朝考一等七十一名

熊濟文 貴州人 年三十一歲 三甲五十五名進士 朝考三等七十六名

王鶴松 貴州人 年三十一歲 三甲四十四名進士 朝考三等九十九名

花銘 貴州人 年三十一歲 三甲五十五名進士 朝考三等九十九名

羅鎔 貴州人 年三十一歲 三甲五十五名進士 朝考三等九十九名

冉文瑞 貴州人 年三十一歲 三甲五十五名進士 朝考三等九十九名

硃園第一層者除一甲三名外改為庶吉士 園第

二層者分部學習 園第三層者以內閣中書

用 園第四層者以知縣即用未 園各員除

陳寶瑨蔡寶仁張蔚增劉錫光吳丙湘張祖祺

施魯濱各以原官用餘均歸班銓選

452 光緒十六年五月初七初八初九初十日引

見新進士除一甲三名及京外官以本班用七人外  
硃筆團用庶吉士八十六人部屬八十七人中書十  
五人即用知縣一百九人歸班十五人

453 臣等查歷科進士單內有候補六部郎中員外  
郎主事等官奉

旨以原官用者俱經奏明於

諭旨內分別繕寫此次單內以原官用之戶部候補  
郎中陳寶璠刑部候補主事蔡寶仁工部候補  
主事張蔚增內閣候補中書劉錫光四員臣等  
擬寫

諭旨將陳寶璠以郎中即用蔡寶仁張蔚增均以主  
事即用劉錫光仍以中書候補其分發河南道  
員吳丙湘分發廣西知府張祖祺同知用遇缺  
儘先選用知縣施魯濱擬寫

諭旨將吳丙湘仍發原省以道員補用張祖祺仍發  
原省以知府用施魯濱以原班用理合陳明謹  
奏

454 軍機大臣 字寄

湖南巡撫張 光緒十六年五月十一日奉

上諭前因劉錦棠疊請開缺終養兩次賞假諭令俟  
伊祖母病體稍愈即行回任茲據楊昌濬奏稱閩  
外行省新立善後百端待舉塔爾巴哈台尚未定  
局事極繁重該撫久駐新疆文武各員指臂相聯  
延盼之心同形焦切請飭伊弟河南候補道劉鼎  
回籍侍養俾該撫得以安心就道等語本日已有  
旨諭令倪文蔚轉飭劉鼎迅回湖南矣著張煦傳  
諭劉錦棠不必拘定假滿即行馳回本任朝廷以  
該撫孝思純篤加體恤該撫務當仰體朕懷移  
孝作忠以副眷念西陲至意將此由四百里諭令  
知之欽此遵

旨寄信前來

455 軍機大臣 字寄

河南巡撫倪 光緒十六年五月十一日奉

上諭楊昌濬奏請飭河南候補道劉鼎回湘侍奉祖  
母俾劉錦棠得以回任供職等語新疆地方緊要

亟需該撫回任以資鎮撫本日已有旨令劉錦棠  
不俟假滿即回新疆著倪文蔚飭令道員劉鼎趕  
緊回湘庶劉錦棠祖母侍養有人該撫自可安心  
赴任以重職守將此由四百里諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

456 光緒十六年五月十二日內閣奉  
上諭本日引見之前山西按察使陳湜著開復原官  
銜翎發往江南交曾國荃差遣委用欽此

457 光緒十六年五月十二日奉  
旨著自本月十七日至二十四日分為八日在畫舫  
齋閱看侍衛升等箭枝欽此

領侍衛內大臣奏此次侍衛升等可否分作八日引見等摺

458 前山按察使陳湜  
旨著開復原官銜翎

459 降調河南固始縣知縣周應麟  
硃○旨著開復原官

460 前順天大興縣知縣降補府經歷縣丞李均豫  
硃○旨著開復原官

461 六品廕生陳國樑  
硃○旨著以通判用

462 六品廕生鄭萬成  
硃○旨著以通判用

463 六品廕生色普珍  
硃○旨著以通判用

464 已革副管博多羅  
硃○旨著以驍騎校用

465 已革六品官靜山  
味。旨著以筆帖式用

466 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六年五月十四日奉

上諭有人奏直隸署完縣知縣金厚生履任以來於地方公事概置不理信任幕友金姓門丁曹姓加派差費於民人完納錢糧勒增折錢價值並有索取鹽當陋規情事請飭嚴查究辦等語著李鴻章確切查明據實具奏原片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

467 軍機大臣 字寄

江蘇巡撫剛 光緒十六年五月十四日奉

上諭有人奏江蘇青浦縣知縣錢志澄於吳文亮誥斃李鴻振一案業經鄰縣驗明詳報旋因方蘇倪姓闖說開脫案延不結請飭提訊等語著剛照提

集人證卷宗秉公嚴訊確情據實具奏原片著鈔給與閱看將此諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

468 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十六年五月十四日奉

上諭有人奏山東利津縣知縣朱慶元縱容胞弟朱六包攬詞訟遇賄偏袒收已蠲之錢糧索無事之役費並有冒充世職情事請飭查訊等語著張曜按照所參各節確切查明據實具奏毋稍徇隱原片著摘鈔給與閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

469 光緒十六年五月十四日內閣奉

上諭給事中殷李堯奏廢生分部人員請變通補缺班次並修撰編修檢討等官請酌定俸滿年限截取知府各摺片著吏部議奏欽此

470 查本年恭逢

恩詔致祭

五嶽四瀆

歷代帝王陵寢

先師孔子闕里經禮部開單具奏仍由臣等於各本

省副都統總兵內擬派員奏就近致祭臣等謹

將應祭各處現在應派人員擬開清單恭呈

御覽伏候

欽定發下臣等行知禮部令將應備祭文香帛等項

照例備辦由驛發交各該員祇領敬謹致祭禮

畢由該副都統總兵等自行咨覆禮部彙齊具

奏謹

奏

光緒十六年五月十五日奉

硃批依議欽此

471 擬派告祭各處人員名單

北海

擬派山海關副都統謙德致祭

長白山

松花江

擬派署吉林副都統吉林將軍長順致祭

北鎮醫巫閭山

遼太祖陵

擬派錦州副都統崇善致祭

西嶽華山

西鎮吳山

黃帝軒轅氏陵

周文王陵

周武王陵

周成王陵

周康王陵

漢高祖陵

漢文帝陵

漢宣帝陵

後魏孝文帝陵

唐高祖陵

唐太宗陵

唐憲宗陵

唐宣宗陵

擬派西安左翼副都統長春致祭

江濱

擬派成都副都統雅爾堅致祭

東嶽泰山

東鎮沂山

東海

少昊金天氏陵

帝堯陶唐氏陵

先師孔子闕里

擬派青州副都統德克吉訥致祭

明太祖陵

擬派江甯副都統承綬致祭

南鎮會稽山

夏禹王陵

擬派杭州副都統恭壽致祭

中嶽嵩山

濟濱

淮濱

大昊伏羲氏陵

顓頊高陽氏陵

帝嚳高辛氏陵

商高宗陵

商中宗陵

漢光武帝陵

周世宗陵

宋太祖陵

宋太宗陵

宋真宗陵

宋仁宗陵

擬派署河南歸德鎮總兵董明禮致祭

南嶽衡山

炎帝神農氏陵

帝舜有虞氏陵

擬派荊州右翼副都統德祿致祭

南海

擬派廣州漢軍副都統伊克坦致祭

金太祖陵

金世宗陵

元太祖陵

元世祖陵

明宣宗陵

明孝宗陵

擬派順天密雲副都統國俊致祭

北嶽恆山

中鎮霍山

西海

河瀆

女媧氏陵

商湯王陵

擬派山西大同鎮總兵黃金志致祭

472 江蘇分缺先用通判張履泰

殊。旨著交部議敘

473 光緒十六年五月十七日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤稀少朕疊次親詣

大高殿並親詣

時應宮拈香派員勒載澄等節次分詣

時應宮等處拈香復於本月十一日設壇祈禱連

日以來雖經得有雨澤尚未優渥農田待澤仍殷

朕心實深焦盼允宜再申虔禱朕於本月十九日

親詣

大高殿並

時應宮拈香仍派肅親王隆勳詣覺生寺拈香

昭顯廟著仍派員勒載漪

宣仁廟著仍派貝子奕謨

凝和廟著仍派輔國公載澤並著仍派員勒載澍詣

黑龍潭拈香所有

大高殿覺生寺常川住宿輪班住宿上香行禮仍著原

派之王大臣等敬謹將事欽此

474 光緒十六年五月十七日內閣奉

上諭熱河都統謀禧由侍衛襲封輔國將軍同治年

開在直隸山東等省勦匪出力嗣赴陝甘軍營帶兵勦賊克復甯夏等處卓著戰功洵擢察哈爾都統熱河都統宣力有年克勤厥職茲聞溘逝悼惜殊深加恩照都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀一千兩由熱河道庫給發靈柩回旗時沿途地方官妥為照料准其入城治喪伊孫文瀛著賞給員外郎文灝著賞給主事用示眷念蓋臣至意欽此

475 光緒十四年三月初八日內閣奉

上諭甯夏將軍維慶由侍衛承襲侯爵歷任副都統駐藏大臣洵升將軍宣力有年恪勤盡職茲聞溘逝悼惜殊深著加恩照將軍例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏賞銀二千兩由甘肅藩庫給發靈柩回旗時沿途地方官妥為照料准其入城治喪該將軍子孫幾人著該旗查明具奏候旨施恩欽此

476 光緒十五年七月十三日內閣奉

上諭杭州將軍恭銓由部屬升補道員疊經簡擢歷任都統將軍宣力邊陲供職勤慎本年由黑龍江將軍調補杭州將軍未及到任遽聞溘逝軫惜殊深著加恩照將軍例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏並准其入城治喪伊子刑部主事瑞澂著以本部員外郎補用以示優眷欽此

477 光緒十六年五月十八日內閣奉

上諭熱河都統著德福補授未到任以前著恩良暫行護理欽此

478 光緒十六年五月十八日內閣奉

上諭曾國荃剛毅奏接辦春賑完竣一摺江蘇蘇州等府屬本年辦理春賑暨浚河築圩以工代賑各事疊經曾國荃剛毅派員分辦並經紳董等籌集巨款竭力勸助現已一律辦竣地方悉臻安謐在事尤為出力之候補道錢寶傳李慶雲沈玉麒吳



江縣知縣陳炳泰辦理加賑之候補道桂嵩慶義賑紳士候選訓導嚴作霖直隸候補同知直隸州謝家福在籍紳士國子監祭酒吳仁傑奉天府府丞朱以增詹事府中允費廷釐翰林院編修吳大衡分部主事吳大根內閣中書潘祖謙實心任事樂善急公均能勞瘁不辭災民得需實惠洵堪嘉尚以上各員著傳旨嘉獎其餘出力各官紳著准其擇尤請獎毋許冒濫餘著照所議辦理欽此

479 光緒十六年五月十八日奉

旨這所參疏防監犯越獄之管獄官江蘇鹽城縣典史楊培滋著即革職拿問交剛毅提同刑禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按例究辦有獄官署鹽城縣事蕭縣知縣王敬修著革職留任勒限緝拿逸犯楊如汰張三務獲嚴究俟限滿有無弋獲再行分別覈辦該部知道欽此

480 光緒十六年五月十九日內閣奉

上諭前因京師入夏以來雨澤稀少朕疊次親詣

大高殿

時應宮拈香分派貝勒載澄等恭詣

時應宮等處拈香並開壇祈禱仰荷

昊慈眷佑連日渥沛甘霖郊原霑潤寅感實深謹擇於

本月二十一日朕親詣

大高殿拈香著派貝勒載瀛恭詣

時應宮貝勒載漪恭詣

昭顯廟貝子奕謨恭詣

宣仁廟輔國公載澤恭詣

凝和廟拈香肅親王隆勳恭詣覺生寺拈香貝勒

載澍恭詣

黑龍潭拈香均著先期齋宿敬謹報謝

大高殿覺生寺即行撤壇仍冀頻霑甘澍歲獲有秋以迓

天庥而慰民望欽此

481 軍機大臣 字寄

黑龍江將軍依 光緒十六年五月二十日奉

上諭奕劻奏鄂倫春牲丁請弛入操之令一摺據稱

黑龍江鄂倫春牲丁自編旗充差後紛紛逃避該

牲丁等技藝最嫻施放火槍動能命中致遠儻散而不歸為人所誘殊屬可慮宜弛入操之令加意撫綏未必非實邊之助等語著依唐阿斟酌情形設法妥為撫恤其應如何處置盡善之處酌定章程奏明辦理原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

482 光緒十六年五月二十一日內閣奉

上諭左翼總兵著敬信補授欽此

483 應放左翼總兵名單

吏部左侍郎松淮

○ 右侍郎敬信

戶部左侍郎續昌 現在請假

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

工部左侍郎烏拉布 現在出差

右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩棠

右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

副都統倭恆額 現在出差

祥善

嵩山 現在請假

克勤

鈕楞額 現在出差

希隆阿

恩全

英信

明安

恩光 現在請假

明秀

芬車  
 長春  
 佛佑  
 安興阿  
 尚昌懋  
 謙光 現在請假  
 溥儀 現在出差  
 豐陞阿 現在出差  
 桂祥 現在請假  
 恩普  
 德隆  
 色善徵額  
 崇光  
 秀吉  
 希郎阿  
 耆齡  
 托倫布  
 福森布  
 容山

恩佑  
 愛隆  
 花尚阿  
 吉恆

484 據總理各國事務衙門送到劉瑞芬電信一件  
 照錄呈

覽謹 奏

五月二十一日

485 遵擬電知劉瑞芬一道繕稿呈  
 覽俟

發下後交該衙門辦理謹 奏

486 光緒十六年五月二十二日奉  
 旨著一併准銷欽此

工部奏郵三摺料一項與例價懸殊應否准銷請 旨摺

487 據吏部知照五月二十七日在貢院考試國子

監學正學錄應請

欽命四書題一道策題一道於二十五日

發交

派出之閱卷大臣領赴貢院考試謹

奏

488 光緒三年考試國子監學正學錄四書題策題

雖愚必明雖柔必強

庶績咸熙策

489 光緒十六年五月二十四日奉

旨著管理宗學王貝子妥議具奏

王貝子奏宗學正學錄應整頓請旨飭議摺

490 光緒十六年五月二十五日內閣奉

上諭巡視南城給事中桂年等奏遵保拏獲盜犯出

力之司坊紳董暨吏目張慶祿請仍照原保給獎

各摺片著該部議奏單片併發欽此

491 據都察院咨送于蔭霖呈遞原信四件清摺一

件恭呈

御覽謹

奏

492 軍機大臣 字寄

直隸兩江江蘇河南山東各督撫 傳諭淮安

關監督 光緒十六年五月二十六日奉

上諭裕祿等奏請飭催本年餉並歷年欠餉開單

呈覽一摺據稱奉天本年餉前經戶部議撥山

東地丁銀十一萬兩兩淮鹽釐銀八萬兩鹽課銀

三萬兩江蘇釐金銀二萬兩臨清關常稅銀二萬

兩僅據兩淮解到銀二萬兩山東解到銀二萬兩

其餘均未報解至各省歷年欠餉為數甚鉅請飭

值解等語奉天支放各款需餉甚殷亟應迅速撥

解以資應用著各該督撫監督等即將應解奉天

本年餉於六月內批解一半十月內埽數解清

並將欠解歷年專餉分年搭解以濟要需原單均

著鈔給閱看將此由四百里諭知直隸兩江江蘇

河南山東各督撫並傳諭淮安關監督知之欽此遵  
旨寄信前來

鈔交戶部

493 光緒十六年五月二十六日內閣奉

上諭著派責恆汪鳴鑾馳驛前往吉林查辦事件隨  
帶司員著一併馳驛欽此

494 大學士額勒和布

恩承

張之萬

協辦大學士戶部尚書福錕

協辦大學士吏部尚書徐桐開差

吏部尚書麟書現在請假

戶部尚書翁同龢開差

禮部尚書崑岡

李鴻藻現在請假

兵部尚書烏拉喜崇阿

許庚身

刑部尚書嵩申現在請假

孫毓汶

工部尚書熙敬

潘祖蔭

理藩院尚書松森

都察院左都御史責恆

祁世長現在請假

吏部左侍郎松莊

許應駁

右侍郎敬信

孫家鼎

戶部左侍郎續昌現在請假

孫貽經

右侍郎崇禮兼署工部左侍郎

徐用儀兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎文興

徐郟

右侍郎景善開差

廖壽恆兼署兵部左侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

白桓

刑部左侍郎桂全

薛允升 現在請假

右侍郎清安

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎豐烈

徐樹銘 現在請假

理藩院左侍郎恩崇 現在請假

右侍郎慶福

內閣學士祥麟

鳳鳴

文治

霍穆歡

愛廉

陳學棻

李文田

李瑞棻

都察院左副都御史奕年

奕杖

徐致祥

沈源深

495 光緒十六年五月二十七日內閣奉

上諭鹿傳霖奏糾參劣員等語陝西丁憂朝邑縣知縣黃鶚沾染嗜好公事廢弛候補直隸州州判李冕賢任性妄為行同市儈均著即行革職並著該撫咨行湖南巡撫查明黃鶚如有匿喪捏報情弊再行從嚴參辦以肅官方該部知道欽此

496 光緒十六年五月二十七日奉

旨依議欽此

大業書畫詩鈔與修 大藏殿要工摺

497 光緒十六年五月二十八日內閣奉

上諭著改派麟書同汪鳴鑾馳驛前往吉林查辦事  
件責恆毋庸前往欽此

大學士額勒和布

恩承

張之萬

協辦大學士戶部尚書福錕

協辦大學士吏部尚書徐桐開差

珠。吏部尚書麟書現在請假

戶部尚書翁同龢開差

禮部尚書崑岡

李鴻藻現在請假

兵部尚書烏拉喜榮阿

許庚身

刑部尚書嵩申現在請假

孫毓汶

工部尚書熙敬

潘祖蔭

理藩院尚書松森

都察院左都御史祁世長現在請假

吏部左侍郎松澂

許應駁

右侍郎敬信

孫家鼎

戶部左侍郎續昌現在請假

孫詒經

右侍郎崇禮兼署工部左侍郎

徐用儀兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎文興

徐鄰

右侍郎景善開差

廖壽恆兼署兵部左侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

白桓

刑部左侍郎桂全

薛允升現在請假

右侍郎清安

工部右侍郎豐烈

徐樹銘現在請假

理藩院左侍郎恩崇現在請假

右侍郎慶福

內閣學士祥麟

鳳鳴

文治

霍穆敷

愛廉

陳學棻

李文田

李端棻

都察院左副都御史奕年

奕林

徐致祥

沈源深

499 同治元年六月十三日內閣奉

上諭本日據大學士等奏會議何桂清罪名一摺其

戶部侍郎董恂以堂司迴避都察院左副都御史

志和等以師生迴避均未列銜國家設立科條凡

官吏於訴訟人有關受業師及舊為上司者例應

迴避至臣下於奉旨派審案件亦有具摺呈請迴

避者其准否均須候旨此案何桂清係一品大員

朝廷慎重刑章特降旨令大學士六部九卿翰詹

科道再行會議原欲參之眾議用示大公豈尋常

聽訟之例可比各該員等自應準情科罪各據所

見奏聞如有迴避亦可於奉旨後具摺陳奏候旨

遵行何得並不奏明臨時藉詞迴避置身事外以

私情廢公論為諉卸取巧地步所有此次會議未

經列銜之董恂志和孫如僅潘祖蔭董元章衍秀

孫揖劉毓楠梅啟照朱潮呂序程任兆堅等均著

交部議處以為藉詞取巧者戒欽此

500 軍機大臣 字寄

吉林副都統前科布多參贊大臣沙 署塔爾

巴哈台參贊大臣伊犂副都統額 光緒十六

年五月二十九日奉

上諭前據沙克都林札布奏請將哈巴河一帶地方

仍由科布多收回安插蒙哈當經諭令沙克都林

札布額爾慶額妥議具奏茲據額爾慶額查明覆



奏據稱哈巴河一帶自塔爾巴哈台借地以來派兵駐守尚稱安靜科布多境內並無急待安插之蒙哈若將該處借地給還徒滋勞擾轉非綏靖藩部之道等語此案前經劉錦棠色楞額錫綸具奏均稱哈巴河一帶為邊防要地應仍隸塔爾巴哈台管轄方為合宜額爾慶額所奏與劉錦棠等疊次籌議意見相符所有哈巴河一帶地方著仍由塔爾巴哈台按照現在辦法妥為經理毋庸另議更張朝廷軫念邊防折衷定議該大臣等務當力顧大局將各該管地方應行安撫防守事宜認真辦理不得稍存意見將此各諭旨之欽此遵旨寄信前來

501 光緒十六年五月二十九日奉  
旨依議欽此

502 光緒十六年六月初四日內閣奉

上諭京師自上月二十九日以後大雨滂沱連宵徹旦河流驟漲誠恐近畿一帶禾稼受傷朕心實深焦慮著直隸總督順天府府尹查明各屬地方有無被災之處迅即馳奏近日京城內外倒塌房屋甚多有無傷斃人口並著步軍統領衙門順天府確切查明即行奏聞以慰廑系欽此

503 乾象典

一百一十九圖

職方典

一百二十二圖

山川典

一百三十一圖

皇極典

三圖

家範典 無

氏族典 無

人事典

十三圖

閭媛典 無

官制典

十一圖

學行典

四十五圖

交誼典

一圖

字學典 三十八圖

神異典 四十五圖

禮儀典 二千二百二十圖

選舉典 無

經籍典 四十八圖

銓衡典 無

考工典 五百二十三圖

戎政典 六百八十圖

藝術典 二百三十六圖

食貨典 三百零五圖

樂律典 四百四十三圖

邊裔典 一百零一圖

禽虫典 一百零三圖

博物典 七百圖

宮闈典 九圖

厯法典 七百二十圖

坤輿典 五圖

以上共六千六百二十一圖

自來墨機器二架 每日共擺書底二十四盤  
雙人機器一架 每日擺書底八盤

共計現存機器三架每日可擺書底三十二盤按  
印六十篇約算每日可出書一千九百二十篇

紫銅大字模現有六千八百八十箇  
紫銅小字模現有六千六百二十箇

現有字樣二本遇有無模之字隨時添刻木字搭用  
大號鉛字並鉛條現約計重五千一百斤有餘

小號鉛字並鉛條現約計重一千五百斤有餘

按現有鉛字鉛條斤重數目一月可排書九百六十  
十盤遇有字類不同用項較多隨時改鑄每日應  
用工人三十四名若再添購雙人機器五架自來  
墨機器一架再將前借與槍破廠雙人機器一架  
取回連前共計十架每日可出書底九十二盤一  
月計二千七百六十盤每日須用工人八十名所  
有鉛字生鉛銅邊傢具等件定議開辦再將現有  
傢具數目購買傢具數目開呈  
再原書三十二典計五千本一萬卷篇頁未知確

數大約總在五十萬篇以內每部約用粉連紙七  
十簞之數合併陳明

505 光緒十六年六月初五日內閣奉

上諭京師自上月下旬以來大雨不止民居禾稼受  
傷昨日雖經開霽今復陰雲密布雨勢滂沱朕心  
庶民瘼寢饋難安允宜虔申祈禱冀逆時暘謹擇  
於本月初七日朕親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載瀛

昭顯廟著派貝勒載漪

宣仁廟著派貝子奕謨

凝和廟著派輔國公載澤同於是日分詣拈香欽此

506 臣等查咸豐十年

萬壽大慶成案有

飭查現任內外文武一二品大員老親年歲

諭旨由軍機大臣交內閣轉傳各部院衙門及值年旗

查報吏兵二部咨送軍機處開單具奏請

旨謹將咸豐十年  
諭旨一道恭錄呈

覽謹

奏

黃面紅裏大片

507 軍機大臣面奉

諭旨著查明現任内外文武一二品大員有老親年  
屆八十以上者將實在年歲開單呈覽欽此

黃面紅裏大片

508 交内閣軍機大臣面奉

諭旨著查明現任内外文武一二品大員有老親年  
屆八十以上者將實在年歲開單呈覽欽此應即  
特傳各部院衙門及值年旗一體欽遵迅速查  
報吏兵二部務於本月二十日以前由部咨送  
本處彙齊開單具奏其外省文武一二品大員  
應由吏兵二部速即查明一併咨送本處此文

六月初六日

509 光緒十六年六月初六日内閣奉

上諭禮部奏前任總兵暨耆民等呈請隨班祝嘏援  
案請旨一摺本年朕二旬萬壽所有前任山西太  
原鎮總兵何鳴高等暨耆民情殷叩祝者俱准其  
附於百官之末另班行禮欽此

黃面紅裏

510 光緒十六年六月初六日順天府奏敬陳近畿

情形摺奉

旨良鄉等處河道隄工橋梁衙署被水情形覽奏均  
悉惟各屬民田被災若何尚未具報即著迅速查  
明覆奏欽此

511 光緒十六年六月初六日奉

旨良鄉等處河道隄工橋梁衙署被水情形覽奏均  
悉惟各屬民田被災若何尚未具報即著迅速查  
明覆奏欽此

順天府奏敬陳近畿大雨情形摺

512 光緒十六年六月初八日內閣奉

上諭廣東瓊州府知府員缺著福善補授欽此

513 查廣東瓊州府知府係繁疲難要缺謹

奏

514 光緒十六年六月初八日內閣奉

上諭步軍統領衙門奏遵查京城內外因雨後倒塌房屋傷斃人口大概情形一摺所有現經查報之左右翼及中營等處傷斃之十六名口著該衙門酌給賞卹此外如有續行查出者即照此次賞卹一律奏明辦理該部知道欽此

515 滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院即補郎中志樸

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎即補郎中魁麟

內閣候補侍讀崇林

理藩院題署主事豐陞額

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王倣

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

戶部即補主事陳熾

四品銜工部候補員外郎繼昌

滿二班

四品銜通政使司參議堃岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部員外郎即補郎中延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部即補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部員外郎徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳芾棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李陰鑿

516

軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 吉林將軍

長 光緒十六年六月初九日奉

上諭戶部等衙門奏遵議三姓開礦請飭遵員履勘

妥議章程一摺開辦礦務總以擇定地方委用得

人為要三姓試開金礦事屬創始長順建議興辦

宜如何妥慎圖維以期有利無弊乃該將軍並未

將礦苗何處最旺及道里遠近詳細勘明亦未酌

定章程揀派妥員經理僅以把頭為管領任其招

人開採此等游手之徒易聚難散誠恐漫無約束

未收開礦之益轉致滋生事端於邊境大有關繫

著李鴻章會同長順遴委幹練之員前往三姓切

實履勘繪圖貼說並妥議商民開辦章程詳晰覆

奏請旨遵行該將軍身任地方務當審慎從事勿

得仍前草率貽誤干咎原摺均著鈔給閱看將此各

諭令知之欽此遵

旨寄信前來

海軍衙門

鈔交戶部

總理衙門

517 光緒十六年六月初九日內閣奉

上諭裕祿等奏查勘

永陵

福陵應修各工請擇吉興修一摺著欽天監於本年六月內選擇吉期先行知照即著盛京將軍會同工部侍郎屆期敬謹興修欽此

518 光緒十六年六月初九日內閣奉

上諭麟書奏病勢增劇再懇賞假吉林查辦事件應否另行派員請旨一摺麟書著再賞假二十日吉林查辦事件著改派敬信同汪鳴鑾馳驛前往欽此

519 大學士額勒和布

恩承

張之萬

協辦大學士戶部尚書福錕

協辦大學士吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書崑岡

李鴻藻 現在請假

兵部尚書烏拉喜崇阿 現在請假

許庚身

刑部尚書嵩申 現在請假

孫毓汶

工部尚書照敬 現在請假

潘祖蔭 現在請假

理藩院尚書松森

都察院左都御史祁世長 現在請假

吏部左侍郎松桂

許應駁

右侍郎敬信

孫家鼐

戶部左侍郎續昌 現在請假

孫貽經

右侍郎崇禮 兼署工部左侍郎 現在請假

徐用儀 兼署刑部右侍郎 現在請假

禮部左侍郎文興

徐郟

右侍郎景善

廖壽恆 兼署兵部左侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

白桓

刑部左侍郎桂全

薛允升 現在請假

右侍郎清安

工部右侍郎豐烈

徐樹銘

理藩院左侍郎恩崇 現在請假

右侍郎慶福

內閣學士祥麟

鳳鳴

文治

霍穆敷

愛廉

陳學業

李文田

李端棻

都察院左副都御史奕年

奕林

徐致祥

沈源深

520 咸豐十年五月

硃筆

六月初二日早膳彭蘊章晚膳穆蔭

初三日早膳匡源 晚膳杜翰

初四日早膳文祥 晚膳沈兆霖 潘祖蔭 楊泗孫

內廷行走

521 以下各月均係膳行 貝勒載澄 早膳

載澍 晚膳

六月二十日 貝子奕謨 早膳

六月二十日 輔國公載澤 早膳

御前大臣

博多勒噶台親王伯彥訥謨祜 晚膳

克勤郡王晉祺 晚膳

慶郡王奕劻 早膳

軍機大臣



七月初五日

禮親王世鐸 晚膳

大學士額勒和布 早膳

張之萬 晚膳

七月初五日

尚書許庚身 早膳

孫毓汶 晚膳

總管內務府大臣

七月初四日

協辦大學士尚書福銀 早膳

尚書嵩申 晚膳

七月初五日

侍郎師曾 早膳

巴克坦布 晚膳

七月初六日

副都統崇光 早膳

六月初三日

貝勒載瀛 晚膳

六月初五日

載漪 早膳

輔國公載瀾 晚膳

六月初三日

鎮國將軍載瀛 早膳

載津 晚膳

七月初五日

南書房翰林

尚書潘祖蔭 晚膳

侍郎徐郵

內閣學士李文田

翰林院侍讀陸潤庠

國子監司業吳樹梅

軍機大臣 字寄

工部尚書兼管順天府府尹潘 順天府府尹陳

光緒十六年六月初十日奉

上諭近日陰雨連旬京畿一帶河流咸漲聞右安門永定門外數十村莊皆被淹沒傷斃人口牲畜無數房山縣山水漲發沖入渾河東安武清良鄉涿州等處水深數尺路斷行人小民蕩折離居深堪憫惻至應趕緊撫恤以極災黎著潘祖蔭陳夔的撥銀兩並僱募民船派委委員迅速駛往被災各村莊查酌情形妥為救濟毋令失所用副朝廷軫念民艱至意將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

525 光緒十六年六月初十日內閣奉

上諭前因京師自上月下旬以來大雨不止民居禾稼受傷朕親詣

大高殿拈香並派貝勒載瀛等分詣

時應宮等處拈香雖經開霽兩日乃自前日至今

連宵徹旦雨勢未已朕心焦灼實深允宜再申虔

禱朕於本月十一日親詣

大高殿並

宣仁廟拈香

時應宮著仍派貝勒載瀛

昭顯廟著仍派貝勒載漪

凝和廟著仍派輔國公載澤同於是日分詣拈香

冀逆時賜而慰民望欽此

526 光緒十六年六月初十日奉

旨著照副將銜參將從優議卹欽此

兵部奏副將銜參將曾保元應如何給卹請 旨片

527 前浙江按察使陳寶箴

殊○旨著開復降調處分

528 前浙江按察使陳寶箴

旨著以道員用

529 前戶部候補主事周頌

殊○旨著以主事用

530 前戶部候補主事周頌

旨著以知縣用

531 已革升用總兵儘先副將袁鳴威

殊○旨著以副將用

532 已革升用總兵儘先副將袁鳴威

旨著以參將用

533 光緒十六年六月十一日內閣奉

上諭吉和等奏副都統病難速痊懇請開缺一摺乍  
浦副都統明魁著准其開缺欽此

534 光緒十六年六月十一日奉

旨依議欽此

吏部奏卓異官廣東鎮平縣知縣鄒之麟未  
完錢糧可否來京引見請旨摺

535 文禮部  
順天府本日軍機大臣面奉

諭旨順天府奏大學士張之萬遵其故父母遺命捐  
銀一千兩以助畿輔賑需等語一品封職張玉冊  
一品命婦張孟氏著准其建坊給予樂善好施字  
樣禮部知道欽此相應傳知  
貴衙門欽遵辦理可也此交

六月十二日

536 六月十五日早膳

晚膳

十六日早膳

晚膳

十七日早膳

晚膳

十八日早膳

晚膳

十九日早膳

晚膳

二十日早膳

晚膳

二十一日早膳

晚膳

二十二日早膳

晚膳

二十三日早膳

晚膳

二十四日早膳

硃

537

晚膳

二十五日早膳

晚膳

光祿寺卿志顏

鴻臚寺卿李端遇

太僕寺少卿胡聘之

通政使司參議堃岫

胡隆洵

光祿寺少卿景澧

徐承煜

本日 見內帶上帶下次日

隨奏片遞上

硃圈條下塔

旨後隨事繳進

軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六

年六月十三日奉

上諭御史何福堃奏京師雨後商賈不前糧價騰貴請飭直隸總督招商運米來京糶賣並請免捐稅等語著李鴻章就近於天津地方出示招商販運米糧來京俾糧價得以稍平貧民藉資餬口如有應繳捐稅著暫行一律寬免將此諭令知之欽此

旨寄信前來

539 軍機大臣 字寄

工部尚書兼管順天府府尹潘 順天府府尹 陳 光緒十六年六月十三日奉

上諭御史何福堃奏彰義門右安門外水深丈許室廬淹沒請飭查明戶口人數酌給錢文俾搭窩棚以免露宿等語該處民居猝遭水患閭閻困苦情形深堪憫惻著潘祖蔭陳彝遵派妥員確查被災戶口應如何酌給錢文搭蓋窩棚之處迅即妥籌辦理俾資棲止將此各諭令知之欽此

旨寄信前來

軍機大臣 字寄

河東河道總督許 河南巡撫倪 光緒十六

年六月十三日奉

上諭給事中張廷燦奏河南河工積弊亟宜革除並陳管見一摺據稱河南兩岸七廳每歲發帑六十餘萬由藩司撥至道庫由道庫發給各廳層層折扣求十萬到工亦不可得嗣後請由廳員徑向藩庫領款每年酌提一成為辦公之需二成存儲藩庫為購石築壩之用其七成盡歸工上廣購料堞土方以備搶險培堤並嚴定偷減處分等語河工積習甚深亟應認真整頓著許振禕倪文蔚破除積習將一切剋扣偷減等弊嚴行查革至所稱迎溜築壩分別提款備用之處均著詳加酌度妥議具奏另片奏沁河水勢湍悍懷慶府之天師廟適當其衝請於金鄉地方建閘宣洩使由丹河分入衛水沁工款項向由道庫支發折扣甚多請徑交兩縣督飭公正紳士分段舉辦等語並著體察情形一併妥籌具奏總之河工以覈實為主少一分浮費即多一分實用該督等務當悉心籌議力求

經久之方不得稍有隱飾以仰副朝廷慎重河防

至意原摺片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽

此遵

旨寄信前來

541 光緒十六年六月十三日內閣奉

上諭前因京師雨水過多民居禾稼受傷疊經諭令順天府府尹等查明各屬被水情形迅速具奏茲據潘祖蔭等奏稱近畿一帶東西南三隅被灾最鉅現據宛平固安良鄉房山通州順義等州縣暨南路廳同知查報所屬地方或田廬漂沒或全村被淹傷斃人口甚多業經分派委員廣延紳士設法賑濟並擬添設粥廠請撥銀米等語小民猝遭水患蕩析離居覽奏殊深憫惻著照所請先在六門外添設粥廠並於孫河定福莊采育鎮黃村龐各莊蘆溝橋處一律添設加恩賞給京倉米一萬五千石即行分領煮散以資急賑著派志顏李端遇胡聘之胡隆洵景澧徐承煜分往孫河等六處稽查彈壓妥為監放其各鎮開廠所需經費銀

二千兩著戶部照數撥給朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨幾輔  
水災甚重深宮軫念彌殷著發去宮中節省內帑銀  
五萬兩作為賑撫之需即著潘祖蔭等遵派委員分  
投散放以拯災黎欽此該府尹等務當仰體  
聖懷認真辦理俾

慈恩遍及窮簷毋任吏胥剋滋弊其密雲懷柔及未  
經呈報之各州縣並著迅即查勘覆奏另片奏東  
安武清等處已派員携銀前往辦賑右安永定門  
外借用通惠河運米船隻並紮筏濟渡等語即著  
督飭各員切實經理勿令災民失所餘著照所議  
行該部知道欽此

542 此次京師城外添設粥廠六處查照成案擬請  
簡派京堂六員分駐稽查彈壓謹開列名單呈  
覽俟

硃圈發下後遵即繕入  
諭旨進  
呈謹

奏

名單十二日 見面帶上帶下本日復隨奏片遞上奉  
硃筆圈出志顏李瑞遇胡聘之胡隆洵景澧徐承煜繕  
旨後隨事繳進

543 光緒十六年六月十三日內閣奉

上諭近來京師雨水過多八旗兵丁生計維艱著加  
恩賞給一月錢糧以示體恤欽此

544 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨本年朕二旬萬壽所有派出聽戲之各侍郎均  
著准其呈遞如意欽此相應傳知

貴衙門轉傳各衙門一體欽遵辦理可也此文

六月十三日

545 咸豐十年五月二十九日軍機大臣面奉

諭旨本年朕三旬萬壽所有同樂園聽戲之各侍郎  
均著准其呈遞如意欽此

546 交內閣本日軍機大臣面奉

諭旨本年朕二旬萬壽遵照道光二年欽奉

諭旨所有上書房師傅南書房翰林不論品級均著准

其呈遞如意欽此相應傳知

貴衙門希即轉傳遵照可也此文

六月十三日

547 咸豐十年五月二十六日軍機大臣面奉

諭旨本年朕三旬萬壽遵照道光二年欽奉

諭旨所有上書房師傅南書房翰林不論品級均著准

其呈遞如意欽此

548 交戶部軍機大臣面奉

諭旨本日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨幾輔

水災甚重深宮軫念彌殷著發去宮中節省內帑銀

五萬兩作為賑撫之需即著戶部先行籌款墊撥迅

速發交潘祖蔭等應用欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此文

六月十三日

549 交步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨御史周天霖奏附城地面挖取黃土請飭查禁

等語著步軍統領衙門隨時認真稽查嚴行禁止

所有城內地方一體嚴禁挖取黃土欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此文計黏鈔片一件

六月十三日

550 光緒十六年六月十四日內閣奉

上諭嵩申奏假滿病仍未痊續懇賞假並請派署差

使一摺嵩申著賞假一箇月刑部尚書著松桂署

理欽此

551 應署滿洲尚書名單

吏部左侍郎松桂

右侍郎敬信 現派吉林查辦事件

戶部左侍郎續昌 現在請假

右侍郎崇禮 現在請假

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾 現在請假

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

工部左侍郎烏拉布 現出學差

右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

應兼署滿洲尚書名單

協辦大學士戶部尚書福銀

吏部尚書麟書 現在請假

禮部尚書崑岡

兵部尚書烏拉喜崇阿 現在請假

工部尚書熙敬 現在請假

理藩院尚書松森

都察院左都御史貴恆

553 光緒十六年六月十四日內閣奉

上諭李鴻章奏永定河堤工漫口分別參辦並自請  
議處一摺本年五月下旬以來大雨連綿永定河  
水勢盛漲險工疊出六月初五日北上汛二號被  
水漫溢刷寬口門七八十丈該管各員疏於防範  
實屬咎無可辭永定河道萬培因石景山同知竇  
延馨均著革職留任武清縣縣丞張映辰著革職  
留工効力李鴻章著交部議處該督務當督飭在  
工員弁將北上汛漫口迅籌堵築不得再有疏虞  
其下游南三九號並北二上汛五號先經漫水各  
工並著一體詳細勘辦所有被淹村莊即著該督  
迅速查明妥籌撫恤毋令失所該部知道欽此

554 六品廕生姚紀銜

硃 旨著以通判用

555 光緒十六年六月十四日奉

旨著暫緩查驗欽此

太僕寺奏張家口外雨災牧羣均不可派員前往查驗摺



556 咸豐十年二月十六日內閣奉

上諭本年朕三旬慶辰覃敷闡澤中外均雷因念文武大臣有年逾七旬精神強固供職克勤者洵為熙朝人瑞允宜特沛恩施以昭優眷大學士桂良吏部尚書許乃普工部尚書張祥河均著加恩賞給太子太保銜鑲紅旗漢軍都統劉鈺之子驍騎校榮昌著加恩以印務章京即補先換頂戴西安將軍托明阿之子候補參將敬文仍留直隸以副將用以示朕尚齒引年優禮耆臣至意欽此

557 郡王銜貝勒奕綱 年七十五歲

貝子綿勳 年七十五歲

殊 大學士恩承 年七十五歲

張之萬 年八十歲

協辦大學士吏部尚書徐桐 年七十二歲

禮部尚書李鴻藻 年七十一歲

兩廣總督李瀚章 年七十歲

西安將軍尚宗瑞 年七十二歲

綏遠城將軍克蒙額 年七十三歲

致仕大學士寶鋆 年八十四歲

558 光緒十六年六月十五日內閣奉

上諭王文韶等奏土司擅襲橫行積年稔惡派兵勦辦首逆就殲地方安靖一摺雲南永北廳屬北勝州土司章天錫兩世私襲橫行罔忌擾害地方種種不法節經該督撫派兵擒拏輒敢聚黨抗拒實屬逆蹟昭彰本年正月間經王文韶等派兵攻勦擒獲匪黨多名並將首逆章天錫拏獲正法地方一律肅清勦辦尚為得手在事出力各員准其擇尤酌保毋許冒濫餘著照所議辦理至所請將北勝州土州同屬境改土歸流一節即著該督撫妥議章程奏明辦理該部知道欽此

559 光緒十六年六月十六日內閣奉

上諭潘祖蔭等奏胡蔭洵因病出缺請改派京堂監放粥廠一摺所有監放粥廠差使著改派李鴻達前往欽此

560 內閣侍讀學士溥顧

李鴻達

通政使司參議堃岫

殊

561 光緒十六年六月十六日奉

旨依議欽此

外火器營奏營房坍塌後整勘估摺

562 光緒十六年六月十六日奉

旨依議欽此

外火器營奏疏通旱河片

563 光緒十六年六月十七日內閣奉

上諭張曜奏黃水盛漲高家套民埝塌請將在事文武各員分別參辦並自請議處一摺山東齊河縣高家套埝工正在興修未及竣事猝於五月二十一二等日晝夜大雨風狂浪急致埝身刷塌三十餘丈在事員弁未能立時搶護實屬咎無可辭都司張鳳儀候補知縣劉師向傳善寶均著即行革職道員張上達事前疏於防範著交部議處張曜著一併交部議處該撫務當督飭印委各員將漫口迅即堵築毋得再有疏虞具上下游整陷各工並著分飭各該員弁趕緊搶修務臻穩固該部知道欽此

564 光緒十六年六月十七日內閣奉

上諭御史何福堃奏告祭官員沿途婪索請旨申禁一摺國家遇有慶典派員分往各處告祭該員等自應恪恭將事豈容騷擾地方若如該御史所奏近來河南陝西等省致祭官員竟敢需索供應以致擾累民間實屬不成事體嗣後派往各處告祭人員務當潔清自矢毋得藉差勒索儻有前項情弊定行嚴懲不貸欽此

565 光緒十六年六月十七日內閣奉

上諭御史何福堃奏廕生分部人員補缺班次請飭部覈議等語著吏部歸入殷李堯前摺一併議奏欽此

566 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

六月十七日

567 光緒十六年六月十九日內閣奉

上諭前因天津等處被水成災業准李鴻章所請撥銀六萬兩先就被水極重之區辦理急撫惟念此次雨水過多災區甚廣饑民嗷嗷待哺為日方長尚恐不敷散放加恩著將奉天運京粟米一萬二千七百餘石並於本年江北海運漕米內截留三萬六千石撥給備賑其隨漕輕齎等項銀兩並著查照成案覈解直隸作為津貼運米之需李鴻章務當遵委委員分別被災輕重覈實散放不准吏胥稍有弊混用副朝廷軫念災區有加無已至意該部知道欽此

568 光緒十六年六月十九日內閣奉

上諭御史周天霖奏京城積水難消請開溝渠以資宣洩一摺著步軍統領衙門管理溝渠河道大臣會同工部妥議具奏欽此

569 光緒十六年六月二十日內閣奉

上諭本年朕二旬慶辰章敷闡澤中外均霑因念文

武大臣有年逾七旬精神彊固供職克勤者洵為  
熙朝人瑞允宜特沛恩施以昭優眷大學士恩承  
張之萬均著加恩賞給御書扁額一方西安將軍  
尚宗瑞綏遠城將軍克蒙額均著加恩交部從優  
議敘以示朕尚齒引年優禮者臣至意欽此

570

大學士恩承

張之萬

子張瑞蔭廕生刑部員外郎  
孫張元驥現年七歲

西安將軍尚宗瑞

子尚昌蔭現年二歲

綏遠城將軍克蒙額

571

軍機大臣 字寄

兩廣總督兼署廣東巡撫李 光緒十六年六

月二十日奉

上諭有人奏廣東番禺縣武舉何占元身家不清其  
父何林即何延輝向充廝役何占元勝考中式已  
丑科武舉伊兄何家俊朦朧捐監生兄弟肆惡魚肉  
鄉閭復敢於忌辰演戲散帖做錢請飭查辦等語  
著李瀚章按照所參各節確切查明據實具奏原

片著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

572 軍機大臣 字寄

河東河道總督許 傳諭暫護河南巡撫布政  
使廖壽豐 光緒十六年六月二十日奉

上諭許振禕奏伏汛雨水過多黃河盛漲南岸之上  
南中河下南三廳險工疊出亟需購料籌防請飭  
撥銀兩等語該三廳現在防護險工需款孔急著  
河南巡撫飭令藩司於節省防險項下提銀四萬  
兩專解南岸三廳俾應要需許振禕務當嚴飭在  
工員弁覈實支放即將各工力籌保守務臻穩固  
將此由四百里諭知許振禕並傳諭廖壽豐知之  
欽此遵

旨寄信前來

573 光緒十六年六月二十日內閣奉

上諭福建臺灣布政使著沈應奎補授欽此

574 光緒十六年六月二十日內閣奉  
上諭福建臺灣布政使于蔭霖奏病難速痊懇請開  
缺一摺于蔭霖著准其開缺欽此

575

- 直隸布政使裕長 滿洲正白旗監生 光緒十五年七月補
- 江蘇布政使黃彭年 貴州進士 光緒十三年十一月補
- 江甯布政使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十六年二月補
- 安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗生員 光緒十二年八月補
- 山東布政使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒十六年三月補
- 山西布政使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十五年十月補
- 河南布政使廖壽豐 江蘇進士 光緒十六年正月補福建藩司副調河南
- 陝西布政使陶模 浙江進士 光緒十四年三月補
- 甘肅布政使張岳年 浙江舉人 光緒十五年十二月補
- 甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補甘肅藩司副調新疆
- 浙江布政使許應鏞 廣東進士 光緒十年十月補
- 福建布政使劉樹堂 雲南監生 光緒十六年閏二月補
- 福建臺灣布政使于蔭霖 吉林進士 光緒十六年四月補
- 江西布政使方汝翼 直隸舉人 光緒十四年十月補
- 湖北布政使鄧華熙 廣東舉人 光緒十五年六月補

湖南布政使何樞 河南進士原籍浙江 光緒十五年十二月補

廣東布政使劉德標 安徽舉人 光緒九年正月補湖北藩司嗣調福建臺灣文湖廣東

廣西布政使張聯桂 江蘇附生 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲鎮監職舉人 光緒十二年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生 光緒十二年十月補貴州藩司嗣調雲南

貴州布政使王德揚 湖南監生 光緒十五年十月補

直隸按察使周馥 安徽監生 光緒十四年三月補

江蘇按察使張國正 漢軍鎮監旗履生 光緒十六年閏二月補

安徽按察使嵩崑 滿洲鎮紅旗監生 光緒十年二月補山西臬司嗣調安徽

山東按察使曹秉哲 廣東進士 光緒十六年三月補

山西按察使潘駿文 安徽原貢生 光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東履生 光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十月補甘肅臬司嗣調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鎮白旗進士 光緒十四年九月補陝西臬司嗣調甘肅

浙江按察使龔照璠 安徽監生 光緒十六年正月補

福建按察使許鈐身 浙江履生 光緒十六年四月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗履生 光緒十六年二月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年二月補山東臬司嗣調湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補浙江臬司嗣調廣東

廣西按察使湯聘珍 湖南監生 光緒十六年四月補

四川按察使德壽 漢軍鎮監旗履生員 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森 廣東進士 光緒十六年四月補

577 光緒十六年六月二十一日內閣奉

上諭浙江衢州府知府員缺著保順補授欽此

578 查浙江衢州府知府係銜繁難要缺謹

奏

六月二十一日

579 光緒十六年六月二十二日內閣奉

上諭本日帶領引見錯誤之正黃旗蒙古副都統恩

崇希隆阿均著交部議處欽此

580 光緒十六年六月二十二日內閣奉

上諭河南巡撫倪文蔚由部屬歷任道府洊擢封圻  
宣力有年克勤厥職前因患病賞假調理茲聞溘  
逝軫念殊深加恩著照巡撫例賜卹任內一切處  
分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

581 光緒十一年十月二十三日內閣奉

上諭湖北巡撫彭祖賢由部屬洊擢京卿外任封圻  
宣力有年克勤厥職前因患病賞假調理茲聞溘  
逝軫念殊深加恩著照巡撫例賜卹任內一切處  
分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

582 光緒十六年閏二月初八日內閣奉

上諭山西巡撫豫山由部屬歷任府道洊擢封圻克  
勤厥職茲聞溘逝軫念殊深加恩著照巡撫例賜  
卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察  
例具奏欽此

583 交內務府本日本軍機大臣面奉

諭旨管理中正殿大臣奏喇嘛法衣殘破不齊請飭  
派織造織辦一摺著派江南織造文珮辦理欽此  
相應傳知

貴衙門欽遵可也此文

中正殿原摺單鈔交內務府  
六月二十二日

硃

584 江南織造文珮

蘇州織造毓秀  
杭州織造文達

585 光緒十六年六月二十二日奉

旨此項銀兩著廣儲司迅速發給欽此

中正殿奏單辦理法宜應需銀兩請 飭內務府撥發

586 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六  
年六月二十三日奉

上諭前據李鴻章奏永定河北上汛漫口當經諭令

督飭員弁迅籌堵築現在被淹各處饑民遍野大溜所經逼近京師若不迅速堵合嗣後情形何堪設想著該督嚴飭在工各員趕緊集料興工剋期蒞事毋得藉詞遷延致干重咎並將現在如何籌辦之處即行覆奏將此由四百里諭令知之欽此遵旨寄信前來

587 光緒十六年六月二十三日內閣奉上諭河南巡撫著裕寬補授欽此

殊 ○前任廣東巡撫裕寬

589 直隸布政使裕長 滿洲正白旗監生 光緒十五年七月補

江蘇布政使黃彭年 貴州進士 光緒十三年十一月補

江甯布政使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十六年二月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗生員 光緒十三年八月補

山東布政使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒十六年三月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十五年十月補

河南布政使廖壽豐 江蘇進士 光緒十六年正月補福建藩司嗣調河南

陝西布政使陶模 浙江進士 光緒十四年三月補

甘肅布政使張岳年 浙江舉人 光緒十五年三月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補甘肅藩司嗣調高州

浙江布政使許應鏞 廣東進士 光緒十年十月補

福建布政使劉樹堂 雲南監生 光緒十六年二月補

福建臺灣布政使沈應奎 浙江人 光緒十六年六月補

江西布政使方汝翼 直隸舉人 光緒十四年十月補

湖北布政使鄧華熙 廣東舉人 光緒十五年六月補

湖南布政使何樞 河南進士原籍浙江 光緒五年六月補 光緒十五年六月補 光緒十五年六月補

廣東布政使謝德標 安徽舉人 光緒九年正月補湖北藩司嗣調福建臺灣布政使

廣西布政使張聯桂 江蘇附生 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲鑲藍旗舉人 光緒十二年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生 光緒三年十月補貴州藩司嗣調雲南

貴州布政使王德榜 湖南監生 光緒十五年十月補

590 光緒十六年六月二十三日奉

旨依議欽此

內務府奏款項支絀請借撥部款以濟急需摺

591 光緒十六年六月二十四日內閣奉

上諭本年朕二旬慶辰業經覃敷闡澤並加恩內外  
臣工因念在京大員老親有年逾八十者承恩祿  
養愛日舒長洵屬昇平人瑞允宜特沛恩施禮部  
尚書崑岡之母棟鄂氏著賞給御書扁額一面福  
壽字各一方紫檀三鑲玉如意一柄大卷江紬袍  
褂料二疋大卷八絲緞袍褂料二疋內閣學士兼  
禮部侍郎銜祥麟之父春陞著賞給御書扁額一  
面紫檀三鑲玉如意一柄小卷江紬袍褂料二件  
小卷八絲緞袍褂料二件內閣學士兼禮部侍郎  
銜鳳鳴之父瑞成著賞給御書扁額一面紫檀三  
鑲玉如意一柄小卷江紬袍褂料二件小卷八絲  
緞袍褂料二件前江甯副都統連慶之祖母佟佳  
氏著賞給御書扁額一面紫檀三鑲玉如意一柄  
小卷江紬袍褂料二件小卷八絲緞袍褂料二件  
用示朕錫類推恩至意欽此

592

禮部尚書崑岡之母棟鄂氏 現年八十一歲  
內閣學士兼禮部侍郎銜祥麟之父春陞 現年八十二歲

內閣學士兼禮部侍郎銜鳳鳴之父瑞成 現年八十二歲

前江甯副都統連慶之祖母佟佳氏 現年八十二歲

593 咸豐十年二月十四日內閣奉

上諭本年朕三旬慶辰業經覃敷闡澤並將王大臣  
分別加恩因念在京大員老親有年逾八十者祿  
養承恩康強逢吉洵為盛世嘉祥允宜特加恩賚  
理藩院尚書春佑涼州副都統春英之母馬佳氏  
賞給御書扁額一面福壽字各一方紫檀三鑲玉  
如意一柄大卷江紬袍褂料二疋大卷八絲緞袍  
褂料二疋副都統安興阿克興阿之母那拉氏著  
賞給御書扁額一面紫檀三鑲玉如意一柄小卷  
江紬袍褂料二件小卷八絲緞袍褂料二件戶部  
左侍郎梁瀚之祖母韓氏著賞給御書扁額一面  
紫檀三鑲玉如意一柄小卷江紬袍褂料二件小  
卷八絲緞袍褂料二件用示朕錫福推恩至意欽此

594 光緒十六年六月二十四日奉

旨杭州織造仍著文達接管欽此



交順天府本日軍機大臣面奉

諭旨翰林院侍講學士朱琛奏畿輔水災甚重請各

按村莊多設粥廠等語著潘祖蔭陳彝酌覈辦理

欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

六月二十四日

光緒十六年六月二十四日奉

旨依議欽此

肅親王隆勳等奏遵議整頓宗學摺

597 光緒十六年七月初三日內閣奉

上諭奎瑛等奏應修工程請派大臣查勘各摺片

西陵殿座及橋梁道路應修各工著派崇禮敬謹查勘

奏明辦理單併發欽此

598 光緒十六年七月初三日內閣奉

上諭敬信現在出差吏部右侍郎著續昌兼署欽此

599 應兼署吏部滿洲右侍郎名單

吏部左侍郎松澍 現署刑部尚書

戶部左侍郎續昌 兼管戶部三庫

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

工部右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

600 應署吏部滿洲右侍郎名單

內閣學士祥麟

鳳鳴

文治

霍穆歡

愛廉

都察院左副都御史奕年

奕林

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂

詹事府詹事志銳

601 光緒十六年七月初三日內閣奉

上諭汪鳴鑾現在出差工部左侍郎著孫家鼐兼署

欽此

應署工部漢左侍郎名單

吏部左侍郎許應駁

右侍郎孫家鼐

戶部左侍郎孫詒經 兼管戶部三庫

右侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎徐郁

右侍郎廖壽恆 現兼署兵部左侍郎

兵部右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

工部右侍郎徐樹銘

應署工部漢左侍郎名單

內閣學士李端棻

陳學棻

李文田

都察院左副都御史沈源深

徐致祥

宗人府府丞錢應溥

通政使司通政使黃體芳

大理寺卿馮爾昌

604 光緒十六年七月初三日內閣奉

上諭敬信現在出差左翼總兵著崇禮署理欽此

應署左翼總兵名單

吏部左侍郎松澣 現署刑部尚書

戶部左侍郎續昌 兼管戶部三庫

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

工部右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩棠

右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

副都統倭恆額 現在出差

祥善

嵩山  
 克勤  
 鈕桴額 現在出差  
 希隆阿  
 恩全  
 英信  
 明安  
 恩光  
 明秀  
 芬車  
 長春  
 佛佑  
 安興阿  
 尚昌懋  
 謙光  
 溥儀 現在出差  
 豐陞阿 現在出差  
 桂祥  
 恩普

德隆  
 色普微額  
 崇光  
 秀吉  
 希朗阿  
 耆齡  
 托倫布  
 福森布  
 容山  
 恩佑  
 愛隆  
 奕功  
 花尚阿  
 吉恆

606 光緒十六年七月初三日內閣奉  
 上諭麟書奏假期屆滿病仍未痊懇請續假並派署  
 差使一摺麟書著賞假一月吏部尚書著福銀兼  
 署麟書所管戶部三庫事務並著福銀署理欽此

殊

607

應兼署吏部滿洲尚書名單

協辦大學士戶部尚書福銀

禮部尚書崑岡 現管戶部三庫

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書嵩中 現在請假

工部尚書熙敬

理藩院尚書松森

都察院左都御史黃恆

608

應署吏部滿洲尚書名單

吏部左侍郎松柱 現署刑部尚書

戶部左侍郎續昌 兼管戶部三庫

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

工部右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩棠

右侍郎慶福

609 光緒十六年七月初三日奉

旨著仍照原保給獎餘依議欽此

吏部奏印議出力各員應否另覈請獎摺

610 禮部咨送彙革文職祝

敬人員名單

前禮部右侍郎寶廷因典試福建任意妄為被

議革職光緒十年祝

敬奉

旨照原官降二等賞給職銜

前總管內務府大臣茂林因誤換官地為塋被

參革職光緒十年祝

敬奉

旨照原官降二等賞給職銜

前戶科給事中何崇光因奏請嚴禁私築園壩

經張之洞查覆奏參部議革職

前吏部郎中鈕麟因議開缺御史屠仁守處分辦理未協革職

前戶部郎中福城於稽查八旗兵餉案內經戶

部堂官奏參革職永不敘用

前宗人府副理事官德雋因呈同本府筆帖式未能在值各情語言歧異奏參革職光緒十年祝

嘏奉

旨降二等賞給職銜

前禮部員外郎恩緒經禮部堂官以牟利營私

聲名狼藉奏參革職光緒十年祝

嘏奉

旨照原官降二等賞給職銜

前兵部主事董泗於虧短米石案內經倉場衙

門奏參革職

前都察院候補經歷鄭德寬因充當崇文門委

員不知遠嫌經鴻臚寺少卿廷茂奏參革職

前都察院候補經歷劉景澤因命案牽涉被議

革職發往軍台嗣經呈繳台費釋回

嘏奉

旨賞還原銜

前北城兵馬司正指揮韓士俊經翰林院侍讀

何金壽以貪鄙妄為奏參革職光緒十年祝

前西城兵馬司正指揮張吉貞因兵丁自縊經

都察院奏參部議照諱匿命案例革職

前揀發南城兵馬司副指揮朱承斌經本城御

史以差使懶惰奏參革職

前東城兵馬司副指揮宋侍曾因承緝盜案未

獲經巡城御史奏參革職

前內閣中書林煜南因假冒洋商指官詐財經

李瀚章奏參發往黑龍江當差恭逢

恩詔寬免釋回

前吏部筆帖式龍世清與已革侍衛慶良通同

訛索被參革職發往軍台嗣經釋回

前南城兵馬司吏目隋殿甲於查拏佟餉處書

吏案內經刑部審明奏參革職

前江蘇候補道丁兆基帶勇緝捕私鹽因吳江

棧局巡船被劫逾限未獲經黃彭年奏參革職

報奉

○ 前河南開歸陳許道潘仕釗經鴻臚寺卿節承  
修奏參嗣經彭玉麟查覆以該員在籍時架訟  
把持奏請革職

○ 前四川東道丁士彬經劉東璋以聲名狼藉  
奏參革職

○ 前署河南開歸陳許道啟績經御史邵積誠以  
前在戶部聲名惡劣奏參革職光緒十年祝

旨照原官降二等賞給職銜

○ 前湖南試用道蕭允文經卞寶第以劣跡昭著

奏參革職

○ 前捐納道員龍方升於工賑案內被參嗣經劉

坤一訊無阻挽工賑情事以另案翻控奏參革職

○ 前福建試用道傅廣經給事中樓譽普奏參該

員曾充粵海關庫書把持關務經張樹聲等查

覆該員雖無把持情事究屬不知檢束奏參革職

○ 前甘肅補用道侯楨因派往山東催餉任意招

搖經金順奏參革職

○ 前山西遇缺儘先知府董夢蘭因洋商售槍案

內牽涉經神機營奏參革職

○ 前河南候補知府劉光煜因辦理稅釐請託舞  
弊奏參革職

○ 前江西候補知府榮綬經內閣學士陳寶琛以  
久擅利權聲名甚劣奏參革職

○ 前補用道知府用浙江杭州府東防同知孫意  
經衛榮光以居心奸險辦事虛浮奏參革職

○ 前補用知府浙江杭州府西防同知孫晉梓經  
衛榮光以辦公不力利欲薰心奏參革職

○ 前知府用四川察木多糧廳同知熊錫恩因劃  
撥台餉以致官商拖欠奏參革職

○ 前河南候補同知王麟紱因條陳本省政事經  
鹿傳霖以不安本分奏參革職光緒十年祝

報奉

旨照原官降二等賞給職銜

○ 前雲南雲龍州知州署大姚縣知縣張禮堂經

譚鈞培以諱匿命案奏參革職

○ 前順天府管糧通判周之辰於代理南路廳同知  
任內決罰不如法致斃人命經刑部審明定擬

奏請革職

前廣西潯州府通判韓鎮岳經劉長佑以貪鄙性成工於欺詐奏參革職

前直隸州知州用山西候補通判黃學濂經張之洞以倚勢罔利奏參革職

前廣西候補通判陶用中因用釐卡銀兩經慶裕奏參革職

前廣東候補通判蔡壽嵩因串買朽壞輪船經彭玉麟奏參革職

前兩淮試用鹽運判方克猷經兩江總督以性情乖張操守難信奏參革職

前道員用候補知府山東壽光縣知縣蔣慶麓因署蒲臺縣任內辦理地方事宜諸多乖謬奏參革職

前候選知府江西臨川縣知縣汪以誠經給事中劉恩溥奏參嗣經曾國荃查覆以民人被戲班毆傷未能立時提訊奏請革職

前升用同知浙江歸安縣知縣李昱經劉東璋以習氣太深兼有嗜好奏參革職

前同知直隸州用山東候補知縣張廷榮經任

道銘以性情粗鄙辦事模糊奏參革職

前補用直隸州知州江蘇泰興縣知縣張興詩經吳元炳以玩視盜案有心取巧奏參革職

前補用同知署浙江安吉縣知縣鄧化龍因欠解丁漕銀兩經劉東璋奏參革職監追嗣經崧

駿以該員係因公抑移奏准接免

前同知用山東候補知縣張熙鴻經陳士杰以性情驕詐怙過不悛奏參革職

前候選同知雲南保山縣知縣鮑廣因保山縣失守經岑毓英奏參革職發往軍臺効力贖罪嗣繳清臺費釋回光緒十年祝

敬奉

旨照原官降二等賞給職銜

前江蘇補用直隸州知州候補知縣方溶益於

署奉賢縣任內經沈葆楨以聽斷糊塗奏參革職

前浙江慈谿縣知縣趙煦經衛榮光以巧於鑽

營周知大體奏參革職

前安徽太和縣知縣景瑞經沈葆楨以操守平



常奏參革職

○ 前山東黃縣知縣吳業豐經任道鎔以聲明平

常操守難信奏參革職

○ 前山西神池縣知縣汪澍經剛毅以縱露索詐

聲名狼藉奏參革職

○ 前山西陽城縣知縣賀松蔭因大計列入不謹

部議革職

○ 前山東范縣知縣白桂森經張曜以迴護捕役

擾害地方奏參革職

○ 前甘肅秦安縣知縣教思猷經楊昌濬以該員

於地方公事不思振作奏參革職

○ 前直隸臨城縣知縣曹作舟經李鴻章以糊塗

任性奏參革職

○ 前直隸高陽縣知縣楊文濤經李鴻章以舉止

輕浮行同無賴奏參革職

○ 前雲南祿豐縣知縣伍懋郁因失察差役教供

証良為盜奏參革職

○ 前湖北穀城縣知縣方敏因嗜好過深兼有控

案奏參革職

○ 前河南汝陽縣知縣蔣式鈺因捕務廢弛奏參

革職

○ 前廣西富川縣知縣吳紀雲大計案內以聲名

平常奏參革職

○ 前河南項城縣知縣李懋喬經涂宗瀛以狡詐

執拗利心甚重奏參革職

○ 前江蘇江陰縣知縣陳康祺經曾國荃以操守

平常奏參革職

○ 前湖北公安縣知縣孫汝言因審理盜案致斃

二命經裕祿奏參革職

○ 前河南新野縣知縣于振聲經李鶴年以辦案

粗率奏參革職

○ 前署直隸昌黎縣知縣王恩霖經李鴻章以朦

混取巧貪鄙近利奏參革職

○ 前補用知縣署直隸交河縣知縣徐城因縱用

家丁剋扣賑款經李鴻章奏參革職

○ 前陝西委用知縣達吉經馮譽以謫詐傾邪

利心甚重奏參革職

○ 前山東候補知縣茅方廉經陳士杰以性喜鑽

營奏參革職

前雲南補用知縣署楚雄縣知縣吳榮經譚鈞

培以委靡徇延難期振作奏參革職

前知縣用廣東香山縣縣丞倪文寶經張之洞

以操守不謹嗜利擾民奏參革職

前知縣用山東候補縣丞徐堯因委解協餉遺

失銀兩被參革職

前知縣用直隸試用府經歷程先樹經給事中

劉恩溥奏參副經李鴻章查覆以該員聲名平

常奏參革職

前甘肅補用知縣安化縣縣丞高光斗經福建

臺灣巡撫奏留差遣於代理鳳山縣知縣任內

因疏防劫案奏參革職

前分發山東縣丞許恩普於工賑案內被參經

劉坤一訊無阻撓工賑情事另以誣告縣役奏

參革職

前江西靖安縣教諭曾堯克因大計列入不謹

部議革職

前試用訓導署江蘇海門廳學正周維亨經劉

坤一以交卸遲延奏參革職

前安徽補用府經歷借補廣德州吏目胡錫恩

於盜犯越獄案內經裕祿奏參革職

前福建龍巖州吏目儲梁材因大計列入不謹

部議革職

前江西廬陵縣因江鎮巡檢王起朝因辦事謬

妄不洽與情奏參革職

前陝西佛坪廳巡檢衛琛經陝西巡撫以盜犯在

監服毒失察奏參革職

前署安徽舒城縣典史候補巡檢徐樹坤經裕

祿以擅受民詞貪鄙糊塗咨部革職

前湖北潛江縣典史趙德秀經徐宗瀛以性情

輕躁奏參革職

611 禮部咨送參革武職祝

蝦人員名單

前金州副都統毓福因勦辦巨匪未能擒獲經

崇實奏參革職光緒十年祝

蝦奉

旨照原官降二等賞給職銜

前馬蘭鎮總兵慶錫因奏參屬員變費木植報  
價不實經屬員稟揭奉

旨發往黑龍江効力嗣經釋回同治十三年祝

嘏奉

旨照原官降二等賞給職銜

○前廣東高州鎮總兵莫雲成經曾國荃以營務

廢弛奏參革職

○前山西太原鎮總兵何鳴高經剛毅以辦事任

性信用私人奏參革職

○前吉林儘先協領佐領明順因管理街道於聚

賭案內經銘安奏參革職

前吉林雙城堡副都統銜總管清瑞因泉商贈

送萬民衣繳經銘安奏參革職光緒十年祝

嘏奉

旨照原官降二等賞給職銜

○前廣西賓州營參將馬遇春因挾嫌誣揭經張

之洞奏參革職

○前福建水師提標遊擊呂文經因馬江之戰輸

船中嘏輒即先退革職發往軍臺効力贖罪嗣  
經繳清臺費期滿釋回

○前留閩補用遊擊蔣超英因管帶輪船在浙江

石浦洋面遇敵失事奏參革職

前藍翎侍衛阿克達春因討債不避嫌疑經刑

部審明奏參革職光緒十年祝

嘏奉

旨賞還原銜

○前護軍校春厚因恟子情切誣控坐虛部議革職

前委前鋒副前鋒校文通因在

東陵守護於逃兵成福案內被參革職

○前守禦所千總安壽因借貸不遂口角分爭經

刑部訊擬革職

○前空花翎鳥槍護軍校常志因在

東陵守護於逃兵成福案內被參革職

○前察哈爾牛羊羣圍山達達未林扎魯因呈控

總管圖普新巴雅爾一案不候訊辦潛行來京

經托倫布奏參革職

612 據總理各國事務衙門送到薛福成電信一件  
照錄呈

覽謹

奏

613 遵擬電知薛福成一道繕稿呈

覽恭候

欽定俟

發下後交該衙門辦理謹

奏

七月初三日

614 軍機大臣 字寄

察哈爾都統奎 光緒十六年七月初四日奉

上諭有人奏烏里雅蘇臺將軍托克湍於今春赴任  
時沿途勒索臺站騷擾地方並有由張家口包攬  
商貨令蒙兵按站運送烏城及向喀拉喀站逼索  
銀兩馬匹情事請飭查辦等語著奎斌於到任後  
按照所參各節秉公嚴密確查據實覆奏毋稍徇

隱原摺著摘鈔給與閱看將此諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

615 光緒十六年七月初四日內閣奉

上諭本年朕二旬萬壽闈澤覃敷所有從前參革文武  
武各員隨班祝嘏者特令軍機大臣查案開單呈  
覽茲據將各員名列單進呈朕詳覈案情量予恩施  
前兵部主事董泗前都察院候補經歷劉景澤前  
西城兵馬司正指揮張吉貞前揀發南城兵馬司  
副指揮朱承紱前東城兵馬司副指揮宋侍曾前  
吏部筆帖式龍世清前南城兵馬司吏目隋殿甲  
前江蘇候補道丁兆基前河南開歸陳許道潘仕  
釗前四川東道丁士彬前捐納道員龍方升前  
福建試用道傅廣前河南候補知府劉光煜前江  
西候補知府榮綬前補用知府浙江杭州府西防  
同知孫晉梓前知府用四川察木多糧廳同知熊  
錫恩前雲南雲龍州知州張禮堂前順天府管糧  
通判周之辰前直隸州知州用山西候補通判黃  
學濂前廣西候補通判陶用中前兩淮試用運判

方克猷前道員用候補知府山東壽光縣知縣蔣慶旄前候選知府江西臨川縣知縣汪以誠前升用同知浙江歸安縣知縣李昱前同知直隸州用山東候補知縣張廷榮前補用同知署浙江安吉縣知縣鄧化龍前同知用山東候補知縣張熙鴻前江蘇補用直隸州知州候補知縣方濬益前浙江慈谿縣知縣趙煦前安徽太和縣知縣景瑞前山東黃縣知縣吳業豐前山西神池縣知縣汪澍前山西陽城縣知縣賀松蔭前山東范縣知縣白桂森前甘肅秦安縣知縣敖思猷前直隸臨城縣知縣曹作舟前直隸高陽縣知縣楊文濤前雲南祿豐縣知縣伍懋邨前湖北穀城縣知縣方敏前河南汝陽縣知縣蔣式鈺前廣西富川縣知縣吳紀雲前河南項城縣知縣李慰喬前江蘇江陰縣知縣陳康祺前河南新野縣知縣于振聲前署直隸昌黎縣知縣王恩霖前補用知縣署直隸交河縣知縣徐城前陝西委用知縣逢吉前山東候補知縣茅方廉前雲南補用知縣署楚雄縣知縣吳榮前知縣用廣東香山縣縣丞倪文寶前知縣用

山東候補縣丞徐堉前知縣用直隸試用府經歷翟先樹前甘肅補用知縣安化縣縣丞高光斗前分發山東縣丞許恩晉前江西靖安縣教諭曾燮堯前試用訓導署江蘇海門廳學正周維亨前安徽補用府經歷借補廣德州吏目胡錫恩前福建龍巖州吏目儲梁材前陝西佛坪廳巡檢衛琛前署安徽舒城縣典史候補巡檢徐樹坤前湖北潛江縣典史趙德秀前廣東高州鎮總兵莫雲成前山西太原鎮總兵何鳴高前吉林儘先協領佐領明順前廣西賓州營參將馬選春前福建水師提標遊擊呂文經前留閩補用遊擊蔣超英前護軍校春厚前守禦所千總安壽前空花翎烏槍護軍校常志前察哈爾牛羊羣固山達達米林札普以上革職各員五品以上者均著照原官降二等賞給職銜六品以下者均著賞還原銜隨同叩祝之者民等應如何賞賚之處著該衙門查照成案辦理欽此

黃面紅裏

616 光緒十六年七月初四日內閣奉

上諭奉天東邊道員缺著爽良補授欽此

617 光緒十六年七月初四日內閣奉

上諭魏光燾奏開缺總兵積勞病故懇恩賜卹並將  
事蹟宣付史館立傳一摺已故前任甘肅新疆巴  
里坤鎮總兵徐占彪於咸豐同治年間在陝甘軍  
營勦辦髮捻回逆嗣復隨同左宗棠出師關外勇  
略過人戰功卓著徐占彪著照提督軍營立功後  
積勞病故例從優議卹生平戰蹟准其宣付國史  
館立傳並附祀陝西甘肅新疆等處左宗棠專祠  
以彰勞勩該衙門知道欽此

618 光緒十六年七月初四日內閣奉

上諭御史余聯沅奏近畿災重辦賑銀米不敷請飭  
再撥庫款並發給種籽米石變通賑捐章程購辦  
南米運京一摺著戶部速議具奏欽此

619 光緒十六年七月初五日內閣奉

上諭江西吉南贛甯道員缺著恆壽補授欽此

620 查江西吉南贛甯道係衝繁難要缺謹

奏

621 光緒十六年七月初五日內閣奉

上諭御史崇齡奏災區甚廣請停燒鍋以蘇民困一  
摺本年大雨成災糧價昂貴各處燒鍋耗糧甚多  
誠恐有妨民食著直隸總督順天府府尹嚴飭各  
屬停止燒鍋一年以平糧價而濟貧民欽此

622 光緒十六年七月初五日內閣奉

上諭載振奏病難速痊懇請開去差使並請停俸一  
摺載振著開去差使並准其停俸欽此

623 交順天府本日軍機大臣面奉

諭旨御史崇齡奏請飭於鎮國寺各處添設粥廠數  
處等語著潘祖蔭陳彝酌覈情形辦理欽此相應

傳知

貴衙門欽遵可也此交

計給鈔片一件

七月初五日

624 光緒十六年七月初六日內閣奉

上諭倉場衙門順天府奏請加撥通州粥廠賑米一摺本年通州一帶地方被水成災貧民衆多所有王恕園等處粥廠著加恩賞給粟米八百石並加賞賑米二千二百石即由現在驗收兩湖採買之私米內支給分撥各廠煮粥散放以惠窮黎餘著照所議辦理該部知道欽此

625 光緒十六年七月初六日內閣奉

上諭御史劉綸襄奏殿廷考試請嚴除積弊一摺廷試為掄才大典閱卷大臣宜如何秉公校閱期於無滋無遺若如所奏近來殿廷考試流弊漸多頗滋物議亟應嚴行整頓嗣後派出之閱卷大臣等務當悉心詳閱遇有詩賦失音出韻及引用舛錯點畫遺落者一律籤出不准擬取前列其分閱未

入己手之卷並不准檢尋移置致滋弊端如有校閱草率應籤不籤者經朕看出定當予以懲處至呈遞詩片與科場暗通關節者無異儻有此等情弊一經發覺定行分別嚴懲讀卷閱卷大臣均係朝廷特簡諒不敢有心欺罔該御史所請欽派王公監試之處著毋庸議其所稱本科殿試一甲二名進士文廷式策內閣面二字讀卷大臣並未籤出著派崑岡調取原卷查明據實覆奏另片奏近來崇尚說文試卷中往往攙寫篆書易啟揣摩迎合之習等語考試文字不准書寫卦畫篆字例有明條嗣後鄉會試卷如有違式書寫各項變體難字者即著按照科場條例認真辦理其殿廷考試儻有似此違式者亦著一律懲辦以肅功令該部知道欽此

626 光緒十六年七月初六日內閣奉

上諭御史劉綸襄奏吏部與內閣遇有補選缺出往往移前挪後勾結營私此次侍讀出缺遲至一百四十餘日始行帶領引見懸缺待人情弊顯然請

飭將遲擱之司官嚴參等語著吏部堂官確切查明據實覆奏欽此

627 光緒十六年七月初七日內閣奉

上諭王文韶等奏土族戕官踞域立時撲滅請將出力員紳獎勵一摺雲南鎮康州土族刀老五本年四月間勾結外匪將土知州刀開錦圍殺斃盤踞土城經永昌府知府鄒馨蘭督同官紳調集團勇馳往勦辦擒獲賊首刀老五正法梟示並陣斬匪黨多名當將土城克復地方安謐辦理尚為妥速在事出力官紳著准其擇尤保獎毋許冒濫該部知道欽此

628 光緒十六年七月初七日內閣奉

上諭湖北安襄鄖荆道員缺著朱其燠補授欽此

629 查湖北安襄鄖荆道係衝繁中缺謹

奏

630 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六年七月初八日奉

上諭前因永定河北上汎漫口疊經諭令李鴻章迅籌堵築嗣據該督奏稱遞派按察使周馥道員吳廷斌馳往督辦該員等諒已馳抵工次數日以來水勢若何集料興工各事宜作何舉辦尚未據該督續報口門一日不堵則來源不絕民田涸復無期蠲賑終歸何濟言念及此寢饋難安李鴻章身任地方責無旁貸著督飭周馥等迅速設法剋期興工務期及早蒞事毋得藉詞延緩致干重咎並將現辦情形即行馳奏將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

631 光緒十六年七月初八日內閣奉

上諭四川成都府知府員缺緊要著該督於通省知府內揀員調補所遺員缺著誠瑞補授欽此



632 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史徐樹鈞奏順天賑捐請飭減成上免以裨

賑務一摺著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計給鈔摺一件

七月初八日

滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院即補郎中志樸

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎即補郎中魁麟

內閣候補侍讀崇林

理藩院題署主事豐陞額

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼轉都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王微

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

戶部即補主事陳熾

四品銜工部候補員外郎繼昌

滿二班

四品銜通政使司參議整岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部員外郎即補郎中延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎派桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部即補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部員外郎徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳芾棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李蔭鑾

634 光緒十六年七月初十日內閣奉

上諭崑岡奏遵查文廷式試卷據實覆奏一摺據稱

檢閱原卷策內問面二字係屬筆誤請卷大臣未

經籤出等語所有此次讀卷大臣福錕徐桐麟書

翁同龢嵩申徐郅摩壽恆汪鳴鑾均著交該衙門

照例議處欽此

635 軍機大臣 字寄

湖南巡撫張 光緒十六年七月十一日奉

上諭前因新疆地方緊要疊經諭令劉錦棠迅即回

任並因該撫祖母年邁令道員劉鼎回湘侍奉俾

得安心就道嗣經倪文蔚奏稱劉鼎已於五月三

十日起程回湘等語現在當已到籍著張煦傳諭

劉錦棠即行回任毋稍遲延並著將起程日期由

驛馳奏將此由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

636 軍機大臣 字寄

伊犁將軍長 光緒十六年七月十一日奉

上諭前據額爾慶額奏伊犁將軍色楞額病故情節

可疑當諭令該參贊大臣確查覆奏茲據奏稱色

楞額因署伊犁府知府潘效蘇等承辦官錢局經

理不善借銀周轉餉局委員定啟等挪移虧空以

致借撥遲延幾釀事端色楞額自恨委用非人遂

與其妻莫爾登氏同服洋藥身故富勒銘額以傷

病陡發含糊具奏請飭查辦懲處等語案關局員

營私舞弊以致大員服毒自盡亟應澈底嚴究著

長庚於抵任後即將以上各節確切查明據實具

奏該將軍尚未奏報由藏起程著即迅速赴任毋

稍遲延額爾慶額原摺著鈔給閱看將此由五百

里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

637 軍機大臣 字寄

河東河道總督許 傳諭暫護河南巡撫布政

使廖壽豐 光緒十六年七月十一日奉

上諭許振禕奏伏汛險工搶修平穩現在節逾處署

黃河兩岸工險事繁用款不足請撥案添撥南岸

銀八萬兩北岸銀五萬五千兩等語著廖壽豐即

飭藩司於歷年節省防險項下如數提撥務於秋

汛期內全數撥清許振禕當督飭在工員弁嚴實

支放妥籌修守務臻穩固將此由四百里各諭令

知之欽此遵

旨寄信前來

638 遵擬電知劉東璋一道繕稿呈

覽恭候

欽定俟

發下後交該衙門辦理謹

奏

七月十一日

639 軍機大臣 字寄

福州將軍 直隸兩江湖廣兩廣閩浙四川浙

江福建江蘇江西山西湖南湖北河南安徽廣

東各督撫 傳諭粵海關監督 光緒十六年

七月十三日奉

上諭戶部總理各國事務衙門奏各省關欠解東北

邊防經費請旨嚴催一摺據稱本年各省關應解

東北邊防經費除解到及報解起程並劃撥等項

外尚欠解銀一百十七萬五千兩請飭速解並補

解歷年積欠銀兩等語此項經費關繫邊防要需

何得任意延欠著該將軍督撫監督按照單開本

年未解及歷年欠解銀數趕緊籌解儘再遲延即

著戶部照貽誤京餉例指名嚴參原單均著鈔給

閱看將此由四百里諭知福州將軍及各該督撫

並傳諭粵海關監督知之欽此遵

旨寄信前來

鈔交戶部

640 軍機大臣 字寄

兩廣總督兼署廣東巡撫李 光緒十六年七月十三日奉

上諭有人奏廣東賭風太熾盜拐日多亟應嚴禁以靖地方一摺據稱廣東賭博名目不一以白鴿票花會為尤甚種種流弊皆由劣紳及營兵蠹役隱為包庇請飭嚴辦庇賭之人等語著李瀚章確查飭禁另片奏請將該省新設加抽釐金各名目的裁等語並著該督斟酌情形妥籌辦理原摺片均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

641 光緒十六年七月十三日內閣奉

上諭戶部奏遵旨議覆御史余聯沅條陳賑務一摺此次近畿被水災區甚廣疊經發帑賑濟並開設各處粥廠尚恐貧民衆多銀米不敷散放著照所請由部庫發銀五萬兩大錢五十萬串並撥給種私米十萬石交順天府會同五城御史及各紳士覈實散給務使實惠及民不准稍有弊混餘著照所議辦理欽此

642 光緒十六年七月十三日內閣奉

上諭巡視北城御史恩燾等奏遵保獲盜出力之司坊紳董一摺著吏部議奏欽此

643 軍機大臣 字寄

戶部 大學士直隸總督一等肅毅伯李 工部尚書兼管順天府府尹潘 順天府府尹陳 光緒十六年七月十四日奉

上諭御史何福整奏災重事繁酌擬條款請飭會議一摺所稱義賑撥給官款煖廠就地籌設棉衣及早購辦各條著李鴻章潘祖蔭陳彝體察情形其業經辦理者著督同官紳認真經理其未經舉行者即參酌該御史所陳悉心籌辦至永定河疏濬河身另築長堤一條是否可行著李鴻章詳察形勢妥籌具奏其請將海防捐輸暫時撥歸賑務並覈計用數專款指撥存儲以備春賑二條著戶部議奏本日復據給事中殷李允奏請飭速定採買米糧通行水陸稽察戶口各章程並風聞有發銀七百到賑二百等語著李鴻章潘祖蔭陳彝酌定章程

奏明辦理並嚴查侵冒剋扣等弊隨時懲辦以期  
實惠及民原摺片均著摘鈔給與閱看將此各諭  
令知之欽此遵

旨寄信前來

644 軍機大臣 字寄

內閣 光緒十六年七月十四日奉

上諭有人奏內閣侍讀王鵬運狎邪已久嗜好素深  
看本單聲名平常並有與部書關說情事請飭  
查辦等語著大學士確切查明據實具奏原摺著  
鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

645 光緒十六年七月十四日內閣奉

上諭前據張之洞奏游智開奏參革職之知府王秉  
恩等並無劣蹟請旨飭查當經諭令繼格李瀚章  
查奏茲據奏稱王秉恩王存善魏恆等三員平日  
辦事認真致遭忌諱皆係可用之才陳寶昉循分  
從公亦堪造就該員等均無貪劣款蹟請開復原

官等語廣東候補知府王秉恩候補通判王存善  
魏恆候補鹽經廳陳寶昉均著准其開復原官仍  
留廣東按班補用該部知道欽此

646 光緒十六年七月十四日內閣奉

上諭巡視西城御史富亮等奏遵保拏獲隣境盜犯  
出力之司坊紳董請旨獎勵並副指揮孫德成等  
分別聲明改獎各摺片著該部議奏單片併發欽此

647 光緒十六年七月十四日內閣奉

上諭御史何福堃奏進士即用及庶吉士散館知縣  
選補實缺後服闋回省請變通序補等語著吏部  
議奏欽此

648 光緒十六年七月十四日奉

旨吏部知道欽此

巡城御史富亮等奏副指揮全德麟史名片

649 據總理各國事務衙門送到敬信汪鳴鑾電信

一件照錄呈

覽謹

奏

650 光緒十六年七月十八日內閣奉

上諭光祿寺奏請簡員暫署卿缺一摺光祿寺卿著

溥良暫行署理少卿著桂勛暫行署理欽此

651 應署滿洲光祿寺卿名單

通政使司副使良培

大理寺少卿廷禧

硃 ○詹事府少詹事溥良

太僕寺少卿奎煥

652 應署滿洲光祿寺少卿名單

通政使司參議瑩岫

硃 ○鴻臚寺少卿桂勛

653 光緒十六年七月十八日內閣奉

上諭依克唐阿等奏請調員差委等語吉林駝騎校

富保防禦德英阿藍翎長烏勒興額雲騎尉連科

候補主事晉昌著長順飭令該員等即赴黑龍江

聽候差委該衙門知道欽此

654 光緒十六年七月十九日奉

旨知道了欽此

內閣奏遵委侍讀三職遵奉欽此

655 光緒十六年七月二十日內閣奉

上諭王文韶等奏官軍勦辦游勇連獲勝仗邊境肅

清一摺雲南猛喇地方屢經游匪滋擾本年五月

閒官軍進勦獲勝該匪竄至金子河那窩寨據險抗

拒經總兵何秀林督飭總兵馬維騏等奮勇進攻

立將那窩寨攻克復乘勝擊破金子河賊巢斬敵

多名地方一律肅清辦理尚為得手所有在事出

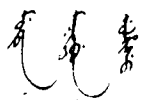
力員弁自應量予獎勵臨元鎮總兵何秀林調度

有方著交部從優議敘總兵馬維騏著賞加提督

街都司梁禹福著賞換 烏勒西蘇 巴圖魯名號遊擊包于蓮著免補參將以副將儘先補用何天佑著免補遊擊以參將儘先補用並賞給捷勇巴圖魯名號都司莫矜智著免補都司以遊擊儘先補用並賞給勁勇巴圖魯名號土司刀佩瑜著賞給五品翎頂另片奏請將營伍廢弛各員革職等語守備謝廷璋著革職留營効力黃名聲陸金德著一併革職永不敘用餘著照所議辦理該部知道欽此

656 擬

賞換都司梁禹福清字勇號



藝 揚 敏

硃

657 擬

賞遊擊何天佑都司莫矜智等二員勇號

硃 ○ 捷

精 勁 敢 健 傑

658 光緒十六年七月二十日內閣奉

上諭王文韶奏已故總兵戰功卓著願懇優卹一摺已故湖北鄖陽鎮總兵龔繼昌賦性勇敢於咸豐同治年間轉戰江西廣西安徽貴州等省疊克名城嗣復代統席寶田援黔各軍勦辦苗匪戰功卓著龔繼昌著照軍營立功後積勞病故例從優議卹生平戰蹟宣付國史館立傳並准附祀江西貴州等處席寶田專祠其城步縣本籍准由該家屬自行建立專祠以彰勞勩該衙門知道欽此

659 光緒十六年七月二十日內閣奉

上諭巡視中城御史崇齡等奏援案懇准五城飯廠提前開放並請賞外城粥廠粟米開單呈覽一摺

本年京師雨水過多糧價昂貴貧民生計維艱所  
有五城原設飯廠十五處著照所請提前兩箇月  
於八月初一日一律開放應需米石柴薪銀兩著  
查照成案辦理其中城之朝陽關東城之卧佛寺  
育嬰堂南城之打磨廠西城之長椿寺觀音塔胡同  
北城之圓通觀梁家園各粥廠每月共需粟米三  
百三十石照例賞給外著再加賞兩箇月由各該  
城咨明戶部劉倉給發該御史等務當督同紳士  
妥為散放以濟窮黎該部知道單併發欽此

660 光緒十六年七月二十日內閣奉

上諭巡視中城御史崇齡等奏遵保五城水會出力  
紳董暨聲覆前保紳士履歷各摺片著該部議奏  
單併發欽此

661 交總理各國事務衙門雲貴總督王文韶等奏

越南游匪魏名高父子現經法國收留請

飭按約交出一摺本日軍機大臣面奉

諭旨該衙門知道欽此相應知照

貴衙門欽遵可也此交

計鈔摺一件並六月間雲貴總督奏  
勦辦越南游匪摺一件

七月二十日

662 軍機大臣 字寄

戶部 大學士直隸總督一等肅毅伯李 兩

江總督一等威毅伯曾 江蘇巡撫剛 光緒

十六年七月二十二日奉

上諭李鴻章奏堵築永定河漫口籌議辦法請分別  
撥款各摺片據稱查勘北上汛等工情形派員分  
投購料添築挑壩並開挖引河已於七月十五日  
開工約計兩月可以合龍請撥經費銀三十萬兩  
等語覽奏均悉著戶部迅即撥銀十萬兩解交該  
督應用並准由直隸藩運兩庫各撥銀五萬兩至  
江海關本有協濟直隸河防之款積欠甚多即著  
曾國荃剛毅飭令江海關道無論何款先行挪解  
銀十萬兩以應要需現在畿輔一帶積水未消飢  
民徧野急盼該工早日合龍方足以澹沈灾而資  
拯救朝廷不惜鉅帑為民捍患該督當嚴飭在工  
各員將挑挖堵築等事竭力籌辦務於兩月之內



妥速嚴工毋得稍有遲逾是為至要原片着鈔給  
曾國荃剛毅閱看將此諭知戶部並由五百里諭  
令李鴻章曾國荃剛毅知之欽此遵  
旨寄信前來

663 光緒十六年七月二十二日奉  
旨知道了欽此

順天府奏各屬晴報災情並散放急糶辦法摺

664 光緒十六年七月二十二日奉  
旨知道了欽此

順天府奏議覆御史何福楚等條陳片

665 光緒十六年七月二十二日奉  
旨依議欽此

順天府奏鎮國寺等處添設粥廠片

666 光緒十六年七月二十二日奉  
旨依議欽此

順天府奏請滄州牧表送等摺附順賑片

667 光緒十六年七月二十三日奉  
旨著准其加倍捐復欽此

吏部奏已革典史培善可否准其捐復原官請 旨摺

668 直隸候補道俸滿熱河承德府知府廷杰  
硃。旨著以道員用

669 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件  
照錄呈

覽謹  
奏

670 光緒十六年七月二十四日內閣奉  
上諭王文錦現在請假園子監祭酒著張英麟署理  
欽此

硃。應署園子監漢祭酒名單  
翰林院侍讀學士張英麟

惲彥彬

侍讀學士朱琛

瞿鴻機

詹事府右庶子丁立幹

翰林院侍讀黃卓元

吳謙

陸潤庠

侍講唐景崇

672 光緒十六年七月二十四日奉

旨杭州織造著明勳去欽此

673 光緒十六年七月二十四日奉

旨淮安關監督著世綱去欽此

674 光緒十六年七月二十四日內閣奉

上諭御史劉綸奏補選章程不必輕議更張等語  
京外選補章程偶有立法未善原可因時變通近  
來條陳改革者均經吏部嚴議分別准駁惟章程  
愈多徒滋紛擾吏胥且得因緣為奸嗣後各項選

補班次儻非實在窒礙難行不得率行條奏輕議  
更張以歸畫一而杜流弊吏部知道欽此

675 光緒十六年七月二十四日奉

旨依議欽此

步軍統領衙門奏會議御史周文霖條陳請開溝渠摺

676 光緒十六年七月二十四日奉

旨依議欽此

步軍統領衙門奏請先放通樂庫棚樑漆進片

677 光緒十六年七月二十五日奉

旨崇文門正監督著晉祺去副監督著嵩申去欽此

678 大學士恩承

吏部尚書麟書 現在請假

禮部尚書崑岡

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書嵩申

工部尚書熙敬  
理藩院尚書松森  
都察院左都御史貴恆

吏部左侍郎松淮

右侍郎敬信 現在出差

戶部左侍郎續昌 現兼署吏部左侍郎

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎  
現任左翼監督

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

工部右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

內閣學士祥麟

鳳鳴

文治

霍穆歡  
愛廉

都統

慶郡王奕劻

容貴

載澄

奕綱

載漪

伯彥訥謨祜

定安 現充督辦東三省練兵大臣果勒敏署

符珍

惠銘

奕謨

克勤郡王晉祺

扎拉豐阿

榮祿

肅親王隆懃

殊。

前鋒統領

桂祥

護軍統領

謙光

德隆

長春

豐陞阿

現充東三省練兵處尚書總辦

芬車

現任右翼監督

倭恆額

現充東三省練兵處參議

恩晉

副都統

祥晉

嵩山

克勤

鈕祜額

現充東三省練兵處參議

恩全

現在請假

奕功

英信

明安

恩光 現在請假

明秀

佛佑

安興阿

尚昌懋

希隆阿

溥儀

現充東三省練兵處參議

色普徵額

秀吉

希朗阿

耆齡

托倫布

福森布

容山

恩佑

愛隆

花尚阿

吉恆

散秩大臣

毓楠

果勒敏

椿壽

委散秩大臣

載遷 現在請做

榮毓 現在請做

榮頤

載卓

溥豐 現在請做

光裕

溥博

海年

恩慶

定昌

繼勳

恩燾

成瑞

鍾秀

恩輝

銘勳 現在請做

豫隨 現在請做

慶麟

克文

德壽

啟泰

誠端

立瑞

錫光

英俊

承蔭

信恪

施恩榮

廷秀 現在請做

北珏

長有

黃永安

良沐

載瀛  
載津  
文熙  
阿克東阿

683 光緒十六年七月二十五日內閣奉  
上諭本日道旁叩關之候補把總陳士清著交刑部  
嚴行審訊欽此

684 光緒十六年七月二十六日奉  
旨依議單二件併發欽此

海軍衙門奏東三省練兵已屆三年出力員  
弁請獎摺

685 光緒十六年七月二十六日奉  
旨訥欽德源增祺穆隆阿承順雙勝均著交軍機處  
存記德喜著賞給二等侍衛欽此

海軍衙門奏請領調欽著練軍出力員請獎摺中

686 光緒十六年七月二十六日奉  
旨貴達布仍著賞給三等侍衛在大門上當差欽此

海軍衙門奏前三等侍衛貴達布著梅春魁恩  
恩錄用摺

687 光緒十六年七月二十六日奉  
旨依議欽此

理藩院奏三音諾彥部副盟長吹蘇倫札布擬案請  
開副將軍缺摺

688 光緒十六年七月二十七日奉  
旨均著准其抵銷欽此

吏部奏六東巡撫張曜等處分司看准擬摺

689 軍機大臣 字寄  
盛京將軍裕 奉天府府尹興 光緒十六年七  
月二十八日奉

上諭有人奏奉天發審局委員知府高同善擅作威  
福証良為盜於城守尉尉興麟捏指旗人黃萬錫為  
墳丁一案嚴刑斃命致黃萬錫之父亦投井自盡

又海龍城旗兵誣控民人李姓為盜一案高同善並不詳察一味刑求致李姓與保人均斃於獄正盜張海令旋經拏獲正法請飭確查究辦等語著裕祿興陞按照所參各節確切查明據實具奏原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

690 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六年七月二十八日奉

上諭有人奏直隸豐潤縣知縣於人命案件辦理草率濼州民人張老虎即張文奎開設賭局在豐潤縣境內緝獲後夥犯拒捕致斃該縣不察虛實將武舉呂成勳詳革散役于四何洛五舍混定罪又滄州土棍王鴻賓勾串吏役訛詐鄉民該州任其朦蔽毫無覺察均請飭查究辦等語著李鴻章按照原參各節確切查明據實具奏原片二件著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

691 軍機大臣 字寄

倉場侍郎興 游 光緒十六年七月二十八日奉

上諭御史德本奏興平倉偷拉米石請旨飭查一摺據稱興平倉開放鑲紅旗甲米放竣後該倉書吏花戶人等勾串倉匪李二於七月十五日偷拉米數百石之多請將該倉監督等懲辦等語著興廉游百川按照原參各節確切查明據實具奏原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

692 軍機大臣 字寄

兩江總督一等威毅伯曾 江蘇巡撫剛 光緒十六年七月二十九日奉

上諭剛毅奏徐州府屬州縣土藥稅釐難以徵辦情形一摺覽奏殊不可解各省土藥釐稅徵多報少以江蘇徐州為尤甚該處官吏通同隱匿作弊人言藉藉前經特降諭旨令剛毅遴派廉幹司道大員前往密查徵收實數力除積弊該撫宜如何激

發天良認真整頓乃據奏稱司道中無可派委仍令徐州道府詳查開報以作弊之人為查弊之事是該撫先存預縫之心已可概見所派同知一員意存迎合更不待言所查各節祇稱礪山豐縣收有雇勇等項經費數目一似地方官向皆公正廉潔從未私收土藥稅釐半文將誰欺乎又稱該府八屬每年共約出土藥一千萬兩以蘇省稅釐章程計之可得稅釐二十五萬兩何以一樣辦法而獨於該府一處謂為設卡抽捐糜費轉多種種掩飾自相矛盾後又謂鹽粟雖未厲禁亦不宜弛禁以游移之詞為搪塞之計所謂和盤託出者竟若是乎國課民生理宜兼顧此事覈實查辦專在杜中飽之弊絕不苛刻小民况朝廷政崇寬大不咎既往前降諭旨甚明該撫更何所顧忌而甘受屬負欺朦純以空言塞責殊負朝廷平日期許該撫認真辦事之意此事於各省稅釐大有關係斷不准含糊了事著曾國荃剛毅於司道中選派幹練明決之員迅即前往破除情面確切查明出產及私徵數目各若干應如何在該府屬設法覈實抽收

力除中飽之處由該督撫妥籌詳細章程奏明請旨定奪剛毅務當與曾國荃虛衷商辦毋護前非曾國荃亦不得以剛毅具奏在先稍涉遷就徐州道段詰本日已降旨開缺送部引見並著該督撫迅即遴員請補將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

693 光緒十六年七月二十九日內閣奉

上諭江蘇徐州道段詰著開缺送部引見欽此

694 光緒十六年七月二十九日內閣奉

上諭曾國荃等奏已故道員政績卓著懇恩宣付史館立傳一摺已故江蘇候補道錢德承於道光年間服官江蘇嗣署常州等府知府所至有聲其在署松江府知府任內均漕減賦尤為循良卓著遺愛在民著將該故員生平政績宣付國史館立傳以彰勞勩該衙門知道欽此



695 據總理各國事務衙門送到張曜電信一件照

錄呈

覽謹

奏

七月二十九日

696 光緒十六年八月初二日奉

旨著停辦欽此

刑部奏奉 恩旨停勾情重人犯 應否停辦請 旨摺

697 文章勞啟揚

硃○旨著以主事用

698 文章勞啟揚

旨著以光祿寺署正用

699 光緒十六年八月初三日內閣奉

上諭都察院奏江西京官順天府府丞何桂芳等呈稱已故知縣熊存瀚殉節慘烈本籍專祠請由官致祭並將事蹟宣付史館一摺原任直隸獻縣知縣熊存瀚於同治年間擒匪竄擾時櫻城固守力竭捐軀業經從優賜卹於獻縣地方建立專祠列入祀典並准於本籍建祠茲據該府丞等臚陳該故員戰功政績著宣付國史館立傳其原籍及寄

籍專祠均由地方官春秋致祭以彰忠蓋該衙門

知道欽此

700 交<sup>明</sup>步軍統領衙門本日本軍機大臣面奉

諭旨御史慶祥奏棍徒小霸王魏七南霸天張二在各處誘買婦女並招聚匪徒設立賭局請飭拏辦一摺著步軍統領衙門順天府五城御史嚴密查拏懲辦欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交<sup>計</sup>黏抄摺一件

八月初三日

701 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六年八月初四日奉

上諭有人奏畿東一帶飢民到處搶奪三河縣屬尤甚燕郊夏店等處回民蠢起聚眾劫掠擾害商旅請飭撥勇巡邏等語本年畿輔災區甚廣難保無宵小乘間搶奪情事著李鴻章查明各處地方情形飭屬認真巡防彈壓毋任匪徒擾害滋事應否

派撥勇營之處並着酌量辦理將此諭令知之欽

此遵

旨寄信前來

702 光緒十六年八月初四日内閣奉

上諭察哈爾都統奎斌著加恩在紫禁城內騎馬欽此

703 光緒十六年八月初四日内閣奉

上諭齊齊哈爾副都統祿彭由文生從戎轉戰河南安徽山東四川陝西湖北甘肅等省疊著戰功洵升副都統克稱厥職前因患病賞假調理茲聞法逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹賞銀一千兩由依克唐阿撥款給發任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

704 光緒十五年三月二十七日內閣奉

上諭甯夏副都統常星阿於咸豐年間帶兵勦賊轉戰直隸河南陝西湖北江西安徽等省在營二十餘年疊受重傷戰功卓著洵升京旗副都統調補

甯夏副都統均能勤慎供職前因患病賞假調理茲聞法逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹賞銀一千兩由甘肅藩庫給發任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

705 光緒十三年八月初六日内閣奉

上諭荊州右翼副都統英秀由護軍出征直隸連鎮等處打仗奮勇曾著勞績洵升副都統後亦能稱職茲聞法逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

706 軍機大臣 字寄

工部尚書兼管順天府府尹潘 順天府府尹 陳 光緒十六年八月初五日奉

上諭順天府奏現辦賑撫情形懇加賞米石一摺本日已明降諭旨賞米十萬石俾資賑撫惟辦賑總以清查戶口覈實散放為主原奏僅稱災民衆多銀米不敷甚鉅並未將被災村莊若干應賑戶口

若干詳細聲敘所稱紳士好行其德協同辦賑亦未將官紳如何分投辦理彼此不致重複遺漏之處縷晰具陳深恐漫無定章遠近災民未能均霑實惠朝廷不惜倉儲庫款加惠窮黎惟恐一夫失所現在災區甚廣為日方長必須統籌豫計認真覈辦方得實際現距開辦急賑已將兩月實在被災戶口究竟若干亦應查報清晰以後官賑義賑如何分別散放實力稽查俾免牽混虛糜之處著潘祖蔭等悉心籌畫詳晰覆奏將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

707 光緒十六年八月初五日內閣奉

上諭潘祖蔭等奏滙陳順屬災賑情形一摺近畿一帶本年水災甚重疊經賞給銀米俾資賑濟茲據奏稱災區太廣飢民衆多轉瞬嚴寒生路更窘覽奏情形殊深憫惻加恩著再賞給粳私米十萬石由京倉撥給作為順天各屬冬春賑需交潘祖蔭等分撥各廠煮粥散放朝廷拯恤災黎有加無已

潘祖蔭等當督飭官紳認真經理務期實惠及民毋任稍有弊混所賞米石著倉場侍郎督飭各倉監督認真查察務須乾潔可食之米僅有攙和短少情弊即著潘祖蔭等據實奏參另片奏普濟堂資善堂兩廠請加賞米石等語著於年賞之外加賞粟米三百石以惠窮黎該衙門知道欽此

708 光緒十六年八月初五日奉

旨知道了欽此

順天府奏西紅門地方應另設粥廠片

709 光緒十六年八月初六日奉

旨禮親王世鐸等奏崇文門徵收稅課盈餘未能足額一摺著戶部議奏餘依議單三件併發欽此

崇文門監督禮親王世鐸等摺

710 光緒十六年八月初六日奉

旨知道了欽此

崇文門監督禮親王世鐸等奏文內殿銀兩片

711 光緒十六年八月初七日奉

旨即著該營承修欽此

外火營營奉勳格居間輪理軍河各工銀數應由何處承修請旨摺

712 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨給事中全壽松奏順直被災太廣請飭寬為籌

備一摺著戶部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計黏抄摺一件

八月初八日

713 交<sup>順天府</sup>步軍統領衙門<sup>五城御史</sup>本日軍機大臣面奉

諭旨給事中全壽松奏匪徒狼狽李二等勾串吞賑

請飭拏辦等語著步軍統領衙門順天府五城御

史嚴拏究辦欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計黏抄片一件

八月初八日

714 滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院即補郎中志樸

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎即補郎中魁麟

內閣候補侍讀崇林

理藩院題署主事豐陞額

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王倣

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

戶部即補主事陳熾

四品銜工部候補員外郎繼昌

滿二班

四品銜通政使司參議整岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部員外郎即補郎中延祉

京察一等記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事持圖慎

四品銜兵部即補主事穆克登額

漢二班

宗人府府丞錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部員外郎徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳希棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李蔭璧

715 軍機大臣 字寄

熱河都統德 光緒十六年八月初九日奉

上諭有人奏熱河土默特旗已革護衛巴拉楚克招

聚礦匪擾害地方並欺該員子年幼盜用印信移

會朝陽縣派役協助該縣不允乃徑率礦匪恣意

抄掠無辜請飭拏交該盟長究辦等語著德福按

照所奏各節確切查明嚴拏究辦據實覆奏原片

著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

716 光緒十六年八月初九日內閣奉

上諭魏光燾奏已故提督戰功卓著臚陳事實願懇

優卹一摺已故甘肅新疆喀什噶爾提督譚上連

於咸豐年間投效湘軍轉戰湖北安徽江南等省

驍勇善戰疊克各城嗣復隨同劉松山及劉錦棠

各軍勦辦陝拾甘回並蕩平新疆各城回逆掃穴

擒渠厥功尤偉譚上連著照軍營立功後積勞病

故例從優議卹生平戰蹟宣付國史館立傳並准

附祀陝西甘肅新疆左宗棠專祠以彰勞勩該衙

門知道欽此

717 光緒十六年八月初九日內閣奉

上諭溥齡等奏應行急修工程請派大臣查驗一摺  
東陵殿宇庫房河道橋梁泊岸應修各工著派徐樹銘  
敬謹查勘奏明辦理欽此

718 光緒十六年八月初九日內閣奉

上諭張曜奏堵合高家套民埝工竣請將出力員弁  
獎勵一摺本年五月間山東齊河縣境高家套民  
埝被水刷塌成口經張曜督率在工員弁竭力搶  
築於七月二十四日將漫口堵合辦理尚為妥速  
張曜前得降三級留任處分著即行查銷其在事  
出力之副將鍾仕杰著俟補缺後以總兵用同知  
葉潤含著免補本班以知府補用直隸州知州李  
恩祥著俟得缺後以知府用同知尚其姪著免選  
本班以知府不論雙單月選用已革知縣傅善寶  
劉師向均著開復原參處分府經歷吳承恩著免  
補本班以知縣分發省分補用並加同知銜縣丞  
鍾撲著免補本班以知縣補用並加同知銜都司  
彭全福著免補都司以遊擊儘先補用守備王步

清著免補守備以都司儘先補用千總葉雲升李廷

椿李慶雲均著免補千總以守備儘先補用其餘  
出力員弁著准其彙案請獎另片奏員外郎多培  
等辦工異常出力請分別獎勵各等語吏部員外  
郎多培著俟霜清後送部引見道員張上達前得  
降四級調用處分著准其查銷知府李正榮著免  
選本班以道員不論雙單月儘先選用潘延祖著  
免補本班以道員補用知縣周厚仁著賞還項戴  
以示鼓勵該部知道片三件併發欽此

719 光緒十六年八月初九日內閣奉

上諭裴蔭森奏假期屆滿病勢日增懇請開缺一摺  
光祿寺卿裴蔭森著准其開缺欽此

720 光緒十六年八月十一日內閣奉

上諭劉瑞祺奏故員虧短交代延不完繳請革職查  
抄等語山西已故知縣丁嘉琳於前署偏關縣知  
縣任內虧短正雜銀兩及豆穀等項業經奏參勒  
限嚴追迄未完繳實屬玩延暫革已故知縣丁嘉

琳著即革職由該撫提集書差人等嚴訊懲辦該故員任所寓所資財即著查封備抵其原籍家產並著順天府府尹一體嚴密查封以重庫款該部知道欽此

721 光緒十六年八月十一日內閣奉

上諭劉瑞祺奏甄別庸劣不職州縣等語山西代州直隸州知州余振芳辦公竭蹶難資表率著以通判降補靈邱縣知縣張建功聽斷粗率擅用非刑岳陽縣知縣舒清阿闖茸無能縱容丁役均著即行革職平陸縣知縣江際清才具庸鈍文理尚優著以教職選用餘著照所議辦理該部知道欽此

722 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒十六年八月十二日奉

上諭有人奏稌米倉虧短米石係花戶郭姓勾結宗室全才開設米鋪存放黑檔米石又有回民馬春山等結成黨與包攬倉米並勾通各衙門吏役給

與規費一經查拏先通消息等語著步軍統領衙門順天府五城御史按照原奏所指各犯逐名嚴密查拏務獲送部究辦毋任漏網原片均著鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

723 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨御史端良奏稌米倉虧短甚鉅請派大員盤查一摺著戶部速議具奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交計粘抄摺一件

八月十二日

724 軍機大臣 字寄

倉場侍郎興 游 光緒十六年八月十二日奉  
上諭有人奏各倉所放賑米微變不堪各廠紛紛解回呈請戶部改割並有議辦折價情事普濟堂功德林所領稌米倉粟米攪和糠粃沙土甚多不堪煮食各廠情形大致相同等語此項賑米關係貧民生計至重前經降旨儻有攪和短少情弊即由



潘祖蔭等據實奏參興廉游百川總理倉儲查察是其專責務當懍遵前次諭旨嚴飭各倉監督慎選乾潔好米開放以期實惠及民如有微變撓和情弊即著該侍郎等據實奏明從嚴懲辦毋得稍涉徇縱致干咎戾將此諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

725 光緒十六年八月十二日內閣奉

上諭張煦奏在籍大員顯懇開缺終養據情代奏一摺劉錦棠於上年回籍省視祖母嗣據屢次陳請開缺均經加恩展假並諭令伊弟河南候補道劉鼎回籍侍養俾該撫得以安心回任朝廷加意體恤不為不周茲復據奏該撫祖母病益增劇未能遠離仍懇開缺在劉錦棠孝思肫摯原屬出於至誠惟念新疆地方緊要該撫威望素孚整頓一切事宜諸臻妥協實未便准其開缺劉錦棠著再賞假四箇月俟伊祖母病體稍痊即行馳回本任用副朝廷廬念邊陲優加倚任至意欽此

726 已革提督羅大春  
殊○旨著開復原官

727 已革提督羅大春  
旨著以總兵用

728 光緒十六年八月十三日內閣奉

上諭江蘇布政使著鄧華熙調補黃彭年著調補湖北布政使均即赴新任毋庸來京請訓欽此

729 光緒十六年八月十三日內閣奉

上諭甘肅平慶涇固化道員缺著何維楷補授欽此

730 查甘肅平慶涇固化道係衝難中缺謹  
奏

731 光緒十六年八月十三日內閣奉

上諭甘肅新疆喀什噶爾道員缺著周崇傳補授欽此

732 查甘肅新疆喀什噶爾道係衝繁疲難最要缺謹  
奏

733 軍機大臣 密寄

戶部 光緒十六年八月十四日奉

上諭戶部奏遵旨速議御史端良奏祥米倉虧短甚  
鉅請旨辦理一摺據稱祥米倉積疲已久疊經加  
劄米石以放代盤惟戶部綜覈倉儲止能據該倉  
冊報為憑是否實儲無從知其確數等語該倉所  
存米石疊次經人參奏虧短甚鉅是否屬實亟應  
澈底嚴究以重倉儲著派戶部堂官認真盤查毋  
稍含混該倉花戶並著先行看押毋令遠颺將此  
密諭知之欽此遵

旨寄信前來

734 光緒十六年八月十四日奉

旨繆祐孫程紹祖均著照原保給獎餘依議欽此

吏部奏游恩員保獎分別准收摺

735 光緒十六年八月十四日奉  
旨知道了欽此

順天府奏履陳官紳等辦賑籌捐情形摺

736 軍機大臣 字寄

福建臺灣巡撫劉 光緒十六年八月十五日奉

上諭戶部總理各國事務衙門會奏臺灣煤礦招商  
承辦章程種種糾繆請飭停辦一摺前以基隆煤  
礦劉銘傳與英商訂擬合同辦理粗率當經降旨  
申飭並諭令慎選賢員另籌辦法該撫宜如何認  
真覈實妥為經理乃此次所奏僅稱訪招富商同  
官合辦迨章程送部後經該衙門會同查覈其辦  
法種種糾繆所稱可疑者三必不可行者五實屬  
挾摛隱微確中情弊此事既經官商合辦自應官  
為主持何以一切事宜悉授權於商人官竟不能  
過問且章程內既稱各股皆係華人何以總管礦  
務轉用洋人顯有冒充影射情事其開挖河道自  
撤藩籬一節更於海防大有關繫況以持旨飭令

另議之件該撫並不奏明請旨輒即議立章程擅  
行開辦尤非尋常輕率可比劉銘傳著交部議處  
該撫接奉此旨即將現辦之局趕緊停止不准遽  
延迴護從來創辦重大事件必應慮及久遠慎之  
於始不可膠執已見亦不可輕信人言基隆煤礦  
久無成效該撫務當熟思審慮籌一妥善辦法明  
晰具奏候旨定奪勿再率意徑行致干重咎戶部  
會奏摺着鈔給閱看將此由四百里諭令知之欽  
此遵

旨寄信前來

摘鈔交吏部

737 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江閩浙湖廣四川江蘇安徽江  
西湖北湖南河南山西陝西各督撫 光緒十  
六年八月十五日奉

上諭戶部奏籌撥甘肅新餉並酌定分給各軍餉數  
開單呈覽一摺甘肅關內外各軍餉銀關繫緊要  
現經該部將光緒十七年新餉指撥山西省銀八  
十四萬兩河東道銀五十二萬兩河南省銀六十

一萬兩陝西省銀二十萬兩湖北省銀三十三萬  
兩湖南省銀十六萬兩江蘇省銀二十萬兩安徽  
省銀二十萬兩兩淮銀二十萬兩江西省銀三十  
六萬兩四川省銀九十八萬兩閩海關銀二十萬  
兩共銀四百八十萬兩請飭依限報解著該將軍  
督撫等嚴飭各該司道按照部撥數目於本年十  
二月底止趕解三成至來年四月底止再解三成  
其餘四成統限九月底止掃數解清各該省如能  
依限完解即由陝甘總督奏請獎敘儘仍前延欠  
即由戶部照例奏參其關內外各軍應分新餉即  
著戶部按照單開數目行知陝甘總督等遵照辦  
理將此由五百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

抄交戶部

738 光緒十六年八月十六日內閣奉

上諭著派貴恆沈源深馳驛前往福建查辦事件隨  
帶司員著一併馳驛欽此

739 光緒十六年八月十六日奉  
旨知道了欽此

倉場衙門奏查明興平倉並無偷拉米石揭

740 光緒十六年八月十八日內閣奉

上諭御前大臣伯彥訥模祜現丁母憂著加恩賞銀  
一千兩經理喪事由廣儲司給發欽此

741 光緒十六年八月十八日奉

旨著照所請該衙門知道單併發欽此

出使大臣李經方奏揀調隨員摺

742 光緒十六年八月十八日奉  
旨知道了欽此

出使大臣李經方奏領用木質關防片

743 交都察院本日

貴衙門代奏四川教職陳麟圖呈進籌邊略一  
摺軍機大臣面奉

諭旨書留覽欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此交

八月十八日

744 查軍機章京刑部郎中陳邦瑞前蒙

恩記名御史現在編輯勦平回匪方略該員充纂修

官兼司校對頗為勤慎擬請

旨傳知吏部遇有御史缺出暫緩帶領引

見俟方略纂辦完竣由臣等知照吏部照例辦理謹

奏

光緒十六年八月十八日奉

旨依議欽此

745 光緒十六年八月十九日內閣奉

上諭署廣東瓊州鎮總兵李先義呈遞安摺繕寫錯  
誤著交部議處欽此

746 光緒十六年八月十九日內閣奉

上諭昨日道旁叩閣之民人唐廣應著交刑部嚴行審訊欽此

747 光緒十六年八月十九日內閣奉

上諭巡視中城御史崇齡等奏坊官防範疏虞請旨交部議處一摺中城副指揮鄺炳奎於已獲案犯未能認真看守竟被兇徒糾眾劫逃迨經該城勒緝迄未拏獲實屬玩泄鄺炳奎著交部議處並著步軍統領衙門順天府五城御史將搶犯兇徒一體嚴拏務獲究辦毋任漏網欽此

748 光緒十六年八月十九日奉

旨依議欽此

中正殿奏列辦法可否改辦請

749 光緒十六年八月二十日奉

旨江南織造仍著文珮接管欽此

750 光緒十六年八月二十日內閣奉

上諭長庚升奏奏揀員請補戴珠一摺後戴珠員缺著擬正之四郎多布結補授該衙門知道單併發欽此

751 光緒十六年八月二十日內閣奉

上諭張曜奏被水地方請撥銀米賑濟一摺本年山東黃河南北兩岸及濱臨運河各州縣黃流漫溢兼值山水湖水同時泛濫濮州等處三十七州縣低窪村莊被淹甚廣災民困苦情形深堪憫念自應寬籌賑撫著照所請將該省本年新漕截留五萬石並撥糧道庫銀十萬兩以備賑需該撫即飭所屬分別被災輕重覈實妥為散放務使實惠及民毋任吏胥稍有弊混用副朝廷軫念災區至意餘著照所議辦理該部知道欽此

752 光緒十六年八月二十日內閣奉

上諭御史胡俊章奏京城地面捕務不力請飭整頓一摺京師為輦轂重地豈容不逞之徒肆意橫行

若如所奏近來搶案層見疊出地面官廳互相推諉並不即時嚴拏捕務實屬廢弛著步軍統領衙門五城御史督飭所屬遇有搶劫重案隨時嚴拏懲辦毋任匪徒漏網並著妥議章程認真整頓不得仍前懈弛以靖閭閻欽此

753 交步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨御史胡俊章奏總理各國事務衙門向有津貼兩翼緝捕經費近年兩翼將此項津貼為修理官廳之用捕費轉形支絀等語著步軍統領衙門查明具奏欽此相應傳知  
貴衙門欽遵辦理可也此交計黏鈔片一件

八月二十日

754 光緒十六年八月二十日奉

旨著照所請該衙門知道單併發欽此

出使大臣許景澄奏林調隨員摺

755 光緒十六年八月二十一日奉  
旨知道了欽此

太僕寺少卿胡聘之奏采育鎮防旗營兵丁

756 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨太僕寺少卿胡聘之奏采育鎮駐防旗營兵丁被災困苦懇恩撫恤並分隸順直所屬被災地方之左右兩翼駐防各營兵丁請飭查明加恩等語著戶部議奏欽此相應傳知  
貴部欽遵辦理可也此交計黏鈔摺一件

八月二十一日

757 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六年八月二十二日奉

上諭給事中洪良品奏直隸頻歲水災請籌疏濬以興水利一摺據稱疏濬不可緩者有六似難而實易者有三行之大利者十有一所當豫計者有五

請飭集議興辦等語所陳各條是否可行著李鴻章體察情形妥籌具奏原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

758 軍機大臣 字寄

山東巡撫張 光緒十六年八月二十二日奉  
上諭有人奏山東茌平縣錢糧自光緒五年因修補

書院加收錢文皆由劣監張休義戶書馬當何滕混舞弊署知縣倉爾爽接任後輒復信任該劣監等違例浮徵並因奉辦河工稽料向民間勒取辦差銀錢縣民赴省呈訴東昌府知府查辦不實請飭嚴究等著張曜按照所參各節確切查明據實具奏毋稍徇隱原摺著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

759 光緒十六年八月二十二日內閣奉

上諭吏部奏遵議處分一摺福建臺灣巡撫劉銘傳應得革職處分著加恩改為革職留任欽此

760 光緒十六年八月二十三日內閣奉

上諭許振禕奏已故撫臣勤勞卓著懇恩宣付史館立傳一摺已故河南巡撫倪文蔚始以主事從戎旋由知府洊擢封疆歷任廣西廣東等省除患安民政聲卓著其在河南巡撫任內鄭州一役督辦工賑事宜尤能實力實心不辭勞瘁著將生平事實宣付國史館立傳以彰蓋績該衙門知道欽此

761 據總理各國事務衙門送到張曜電信一件照錄呈

覽謹

奏

八月二十三日

762 軍機大臣 字寄

禮部 北洋大臣 光緒十六年八月二十五日奉

上諭禮部奏朝鮮告訃使臣具呈懇恩請免遣使賜奠一摺據稱該國王太妃薨逝因連年喪亂饑饉國用艱難喪祭之需俱從儉約恐欽使資臨禮節

設有不到負罪滋甚懇將頒勅由該使敬謹會回等語所陳困苦情形自無虛飾惟該國世守東藩備叨恩禮弔祭專使載在典常率循勿替此天朝撫卹屬藩之異數體制攸關豈容輕改持念該國近年國用異常窘乏亦屬實情不得不於率循舊章之中曲加矜恤向來遣使該國皆由東邊陸路行走計入境後尚有十餘站沿途供億實繁此次派往大員著改由天津乘坐北洋輪船前往徑至該國仁川登岸禮成仍由此路回京如此暫為變通則道途甚近支應無多所有該國向來陸路煩費悉從節省至欽使到國以後應行一切禮儀凡無關冗費者均應恪遵舊章不得稍事簡略此朕德禮綏藩有加無已之意該國王奉此綸音當倍深欽感也將此諭知禮部北洋大臣並由禮部傳諭該國王知之欽此遵

旨寄信前來

三十日抄交總理衙門

763 光緒十六年八月二十五日内閣奉

上諭李鴻章奏順直各屬被災請將京旗各府莊田照案減收租項一摺本年順天直隸各屬水災甚重民情困苦異常朝廷憫念災黎疊經賞發銀兩撥給米石以資賑撫所有王公貝勒各府並各京旗莊田著即自行體察災歉情形將如何減收租數之處行知坐落州縣出示曉諭不准莊頭攬頭等將已減之租蒙混舞弊其內務府各項地租步軍統領衙門地租並著查照成案一體減收以紓民困餘著照所議辦理該部知道欽此

764 光緒十六年八月二十七日內閣奉

上諭廣西慶遠府知府員缺著孫欽冕補授欽此

765 查廣西慶遠府知府係繁難要缺謹奏

766 光緒十六年八月二十八日内閣奉

上諭陝西督糧道員缺著松壽補授欽此



767 查陝西督糧道銜繁疲要缺謹

奏

768 光緒十六年八月二十八日內閣奉

上諭前任陝甘總督楊岳斌忠勇性成勤勞卓著咸豐初年隨同前大學士曾國藩勦髮逆創立師船由湖南湖北安徽江西直達江甯肅清江面數千里厥功甚偉同治三年克復江甯省城蒙

穆宗毅皇帝眷念勤勤賞給一等輕車都尉世職並賞加太子少保銜旋由福建提督簡授陝甘總督嗣因親老准其回籍終養朕御極後復命巡閱長江水師整頓營規均臻妥協上年服闋後奏准在籍養病方冀調理就痊長資倚畀茲聞溘逝軫惜殊深楊岳斌著追贈太子太保銜照總督例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏加恩予謚並於立功省分建立專祠其生平戰功事蹟宣付國史館立傳伊子附生楊潛儀著賞給舉人准其一體會試伊孫候選縣丞楊鎮榮著以知縣用楊道濂著俟及歲時由吏部帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

769 光緒五年十一月十四日內閣奉

上諭兩江總督沈葆楨秉性沈毅練達老成歷受

先朝恩遇由翰林外任知府洊擢封圻前在江西巡撫

任內籌辦軍務悉協機宜嗣因殲除粵匪餘孽

賞給一等輕車都尉世職朕御極後擢任兩江總督於

地方利弊認真整頓任事實心不避勞怨前因舊

疾增劇願請開缺當經賞假兩月方冀調理就痊

長資倚任茲聞溘逝悼惜殊深加恩追贈太子太

保銜入祀賢良祠照總督例賜卹任內一切處分

悉予開復應得卹典該衙門察例具奏靈柩回籍

時沿途地方官妥為照料伊子附貢生沈瑋慶著

賞給舉人准其一體會試附生沈瑩慶沈瑜慶均著

著以主事用沈璘慶沈璿慶沈瑤慶沈琬慶均著

俟服闋後由吏部帶領引見用示眷念蓋臣至意

欽此

770 光緒十六年四月初三日內閣奉

上諭前兵部尚書彭玉麟忠清亮直卓著勤勤以諸生從戎轉戰東南各省所向有功會同原任大學

士曾國藩創立長江水師籌畫精詳規模悉備歷受先朝知遇由知府洊擢封圻內陟卿貳迨粵匪蕩平蒙穆宗毅皇帝眷念勳勞賞給一等輕車都尉世職並加太子少保銜朕御極後擢任兵部尚書嗣因病疊次陳請開缺降旨允准仍派巡閱長江水師十餘年來力疾從公不辭勞怨復因病勢增劇請開差使當經寬予假期並准其回籍養病頒賞人優方冀調理就痊長資倚畀茲聞溘逝悼惜殊深彭玉麟著追贈太子太保銜照尚書例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏加恩予諡並於立功省分建立專祠其生平戰功事蹟宣付國史館立傳伊孫候選員外郎彭見紳著以郎中選用彭見綬彭見綽均著由吏部帶領引見用示篤念蓋臣至意欽此

771 光緒十六年八月二十八日內閣奉

上諭順天府奏請援案賞給廣仁堂米石一摺京師廣仁堂收養無依童幼並分給守節婦女經費歷有年所著照案賞給小米三百石以濟貧困欽此

772 光緒十六年八月二十八日奉  
旨第一單乾清宮等處第二單  
慈寧宮等處應修各工著覈實估計錢糧數目請旨辦理其餘三單著再確實查勘有無應緩之工分晰具奏欽此

內務府奏查明內廷等處工程請分別緩急與併摺

773 光緒十六年八月二十八日奉  
旨依議欽此

內務府奏查明壽皇殿工程擬俟明春請旨興修片

774 光緒十六年八月二十九日內閣奉  
上諭貴恆現在出差都察院左都御史著松淮署理  
欽此

775 應兼署滿洲左都御史名單

協辦大學士戶部尚書福錕 現兼署吏部尚書  
吏部尚書麟書 現在請假  
禮部尚書崑岡 現在請假

兵部尚書烏拉喜崇阿

刑部尚書崇申

工部尚書熙敬

理藩院尚書松森

應署滿洲左都御史名單

吏部左侍郎松滋

戶部左侍郎續昌

右侍郎崇禮

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

工部右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

現兼署吏部右侍郎

現兼署工部左侍郎

現在請假

現在請假

777 光緒十六年八月二十九日內閣奉

上諭沈源深現在出差都察院左副都御史著錢應溥署理欽此

溥署理欽此

應署漢左副都御史名單

宗人府府丞錢應溥

通政使司通政使黃體芳

大理寺卿馮爾昌

太常寺卿壽昌

順天府府尹陳彝

太僕寺卿張蔭桓

現兼署九條寺卿

據總理各國事務衙門送到李鴻章電信三件

照錄呈

覽謹

奏

八月三十日

780 光緒十六年九月初一日奉

旨依議欽此

內務府奏 實錄宮殿工程繁  
委請 飭分別如估與外指

781 光緒十六年九月初一日奉

旨著與存承襲欽此

兵部奏 據青旗蒙古王等呈請領出缺無利如  
何承襲請 旨摺

782 交太僕寺本日引

見補放察哈爾左翼正藍旗驛馬羣協領一缺擬陪

之左翼委署協領達拉木吉爾迪奉

旨著記名欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

九月初一日

783 據總理各國事務衙門送到發給李鴻章電信

一件李鴻章電信一件照錄呈

覽謹

奏

784 光緒十六年九月初二日內閣奉

上諭興廉奏接閱御史恩霖信函請飭查究並將原  
信呈覽一摺據稱本月初一日有邢姓持送恩霖  
信函內稱本年漕糧興廉之子勾串確房得受賄  
銀攬水舞弊並向該侍郎借用銀兩等語覽奏殊  
堪詫異該御史所指興廉之子係何名字所稱行  
賄通付究係何人著恩霖明白回奏送信之邢姓  
著交刑部嚴訊確供先行覆奏欽此

785 安徽廬州府知府黃雲

硃。旨著以道員用

786 江蘇試用知縣劉本棣

硃。旨著以知縣儘先即補

787 已革四川興文縣知縣饒榆齡

硃。旨著以知縣用

788 已革四川興文縣知縣饒榆齡

旨著以縣丞用

789 光緒十六年九月初四日內閣奉

上諭前據興廉奏御史恩霖私致信函請飭查究當經降旨將送信之邢姓交刑部嚴訊並令恩霖明白回奏茲據刑部奏嚴訊送信之邢鎮勳據供恩霖函內各節均不知情恩霖奏風聞興廉之子內閣侍讀靈椿有在外招搖情事以並無確據未敢冒昧糾參因知興廉為人素尚謹慎靈椿亦無為非劣跡勸其自行訪查至借用銀兩一節因素有往來有無可以相通實無他意等語恩霖職司風憲如興廉之子靈椿果有招搖舞弊情事即應據實奏參何得私致信函輒稱該侍郎之子受賄舞弊難免彈章並借銀三千兩顯係意存恫喝藉端訛索此次回奏各節又與原信種種不符希圖掩飾實屬貪鄙無恥有玷臺班恩霖著即革職永不敘用以示懲儆其送信之邢鎮勳既據訊明並不知情著即行釋放該部知道欽此

790 交戶部本日引

見

盛京戶部內倉正副監督各一缺擬陪之員外郎

紹智主事錫齡阿奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

九月初四日

791 交都察院本日軍機大臣面奉

諭旨都察院奏山東紳士高熙喆等請將已故道員

專祠由地方官致祭一摺已故湖北鹽法道王東

槐原籍專祠著准由地方官春秋致祭禮部知道

欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

九月初四日

792 光緒十六年九月初五日内閣奉

上諭長庚升奏奏揀員請補戴琿一摺前藏戴琿汪青洛布年老辭退一缺著丹巴明足爾調補所遺

之缺著擬正之四朗汪青補授該衙門知道單併發欽此

793 光緒十六年九月初五日內閣奉

上諭升泰奏請調員差委等語四川儘先參將喻立成順慶營遊擊何長榮著四川總督即飭該二員前赴西藏交升泰差遣委用餘著照所議辦理該部知道欽此

794 據吏部知照本月初八日考試漢廕生應請

欽命論題一道策題一道於初八日清晨發下交

派出之閩卷大臣祇領謹將上三屆考試漢廕生題

目錄單恭呈

御覽謹

奏

795 光緒十五年九月初四日考試漢廕生

欽命論題策題

天爵人爵論

財成天地之道輔相天地之宜策

光緒十五年十二月初七日考試漢廕生

欽命論題策題

進德修業論

咸則三壤策

光緒十六年四月十一日考試漢廕生

欽命論題策題

冠準論

九澤既陂策

796 光緒十六年九月初八日內閣奉

上諭前據御史端良奏祿米倉虧短甚鉅當派戶部堂官認真盤查茲據奏稱盤查完竣開單呈覽並請將花戶人等分別飭拏訊究興廉等奏倉米虧短將監督參處並自請議處各摺片倉庾正供豈容稍有短少祿米倉米石光緒十三年經倉場衙門查明虧短粳米九千餘石現經戶部盤查竟虧至十五萬五千餘石之多總由花戶倉匪因緣為

奸監督各員漫不加察以致積成巨虧深堪痛恨  
亟應從嚴究辦以昭警戒所有拏獲之花戶郭啟  
泰及全才張六即張世和等著刑部嚴行審訊究  
出虧短確情按律懲辦應如何著落賠補之處俟  
定案後由戶部酌覈成數奏明辦理在逃之花戶  
張增祿王得海馬德山倉書陶斌何桂林著步軍  
統領衙門順天府五城御史按名嚴拏務獲送交  
刑部歸案訊辦該倉監督戶部主事容恩都察院  
都事孟守箴職司典守於倉儲虧缺毫無知覺實  
屬形同輩贖且恐有徇隱侵蝕等弊均著先行交  
部議處撤去監督之任聽候傳質倉場侍郎興廉  
游百川未能先事覺察亦有應得之咎並著交部  
議處餘著照所議辦理該部知道單片併發欽此

797

據總理各國事務衙門送到李鴻章致續昌崇  
禮電信三件並續昌崇禮致李鴻章電信一件  
又李鴻章電信一件照錄呈

覽謹

奏

九月初八日

798 遵

旨擬給李鴻章電信一件繕稿呈

覽恭候

欽定俟

發下後交該衙門辦理謹

奏

九月初八日

799 滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院即補郎中志樸

兵部候補員外郎惠兆

四品銜禮部員外郎即補郎中魁麟

理藩院題署主事豐陞額

漢頭班

在任候補應升四品宗堂吏部郎中兼騎都尉世職全保奏

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王倣

刑部郎中 記名御史陳翰瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

戶部即補主事陳熾

四品銜工部候補員外郎繼昌

滿二班

四品銜通政使司參議堃岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部員外郎即補郎中延祉

京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊普森

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

四品銜戴理藩院主事持圖慎

四品銜兵部即補主事穆克登額

內閣候補侍讀崇林

漢二班

宗人府府丞署都察院左副都御史錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部員外郎徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳芾棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李蔭鑾

800 光緒十六年九月初十日奉

旨著用清漢夷三體篆文餘依議欽此

旨捐 禮部奏添鑄布魯克巴都長印信式請

801 光緒十六年九月十一日內閣奉

上諭續昌現在出差戶部左侍郎兼管三庫事務著

景善兼署其所署之吏部右侍郎著文興暫行兼

署欽此



802 光緒十六年九月十一日內閣奉

上諭崇禮現在出差戶部右侍郎兼管錢法堂事務  
著巴克坦布兼署其所署之工部左侍郎著祥麟  
暫行署理欽此

803

應兼署滿洲吏部右侍郎左侍郎侍郎名單

吏部左侍郎松桂現署都察院左都御史

硃

○ 禮部左侍郎文興

○ 右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

○ 右侍郎巴克坦布現在請假

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安現在請假

工部右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩榮

右侍郎慶福

804

應署滿洲吏部右侍郎左侍郎侍郎名單

硃 ○ 內閣學士祥麟

鳳鳴

文治

霍穆歡

愛廉

都察院左副都御史奕年

奕杖

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂

詹事府詹事志銳

805 光緒十六年九月十一日內閣奉

上諭崇禮現在出差所署左翼總兵著巴克坦布暫  
行署理欽此

806

應署左翼總兵名單

吏部左侍郎松桂現署都察院左都御史

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

硃○

右侍郎巴克坦布 現在請假

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安 現在請假

工部右侍郎豐烈

理藩院左侍郎恩崇

右侍郎慶福

副都統祥普

嵩山

克勤

奕功

明安

恩光

明秀

芬車

長春

安興阿

尚昌懋

希隆阿

謙光

恩普

德隆

色普徵額

希朗阿

耆齡

托倫布

福森布

容山

恩佑

愛隆

花尚阿

吉恆

807 光緒十六年九月十一日內閣奉

上諭湖南岳常澧道員缺著廷杰補授欽此

808 查湖南岳常澧道係衝繁難要缺謹

奏

809 光緒十六年九月十一日內閣奉

上諭剛毅奏持參庸劣不職各員一摺江蘇金匱縣知縣羅肅心地糊塗辦事荒謬七浦司巡檢楊儒慶聲名狼籍不知檢束候補典史畢蘭鑽營招搖不安本分均著即行革職金山縣知縣夏槐才具平庸辦事遲鈍惟文理尚優著以教職歸部銓選餘著照所議辦理該部知道欽此

810 光緒十六年九月十一日奉

旨准其照案豁免欽此

奉天苑奉官園柏因被火被焚請免租銀摺

811 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

九月十一日

812 據總理各國事務衙門送到發給李鴻章電信

一件並李鴻章回電一件又李鴻章致續昌崇禮電信二件照錄呈

覽謹

奏

九月十二日

813 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

九月十三日

814 光緒十六年九月十四日內閣奉

上諭錫麟著留京當差熱河正總管著祥煜補授欽此

815 光緒十六年九月十五日內閣奉

上諭御史吳兆泰奏請節省頤和園工程一摺頤和園殿座即係從前大報恩延壽寺為

高宗純皇帝侍奉

孝聖憲皇后三次祝嘏之所殿宇一切均係舊有工程

朕仰維

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后垂簾聽政

二十餘年宵旰憂勤不遑暇逸朕親裁大政自應

倍隆頤養以冀稍盡孝思是以將原有工程量加

修葺恭備

慈輿臨幸藉資養性怡神並擬於

大慶之年敬踵乾隆年間

成憲躬率羣臣同伸祝悃此朕區區尊養微忱庶幾仰

報萬一並非創興土木自侈遊觀光緒十四年二

月所降諭旨甚明天下臣民當已共喻該御史備

員臺諫豈獨未知乃輒以工作未停有累聖德並

以畿輔被災決河未塞等詞撫拾遺陳是於朕孝

養之心全未體會實屬冒昧已極吳兆泰著交部

嚴加議處欽此

816 光緒十六年九月十五日內閣奉

上諭許振禕奏黃河兩岸工程修守平穩霜降安瀾

一摺本年黃河兩岸險工疊出經許振禕督飭在

工人員設法搶護現在各工悉臻平穩普慶安瀾

覽奏實深寅感著發去大藏香十枝交許振禕祇

領虔詣

河神廟恭代祀謝用答

神庥仍著分飭該道廳等認真防護毋稍疏懈餘

著照所議辦理另片奏請將修防出力之道員獎

勵等語前著河北道衛桂森著以道員歸候補班

儘先補用開歸陳許道蔭保河北道明保均著交

部從優議敘以示鼓勵該部知道片併發欽此

817 光緒十六年九月十五日內閣奉

上諭李鴻章奏永定河漫口大工合龍一摺本年六

月間永定河北上汛二號大堤漫溢成口經李鴻

章派委臬司周馥道員吳廷斌督同員弁挑挖引

河築壩進占晝夜搶辦於本月初十日合龍全河

復歸故道辦理尚為妥速在事出力各員自應量

予獎敘直隸按察使周馥著賞給頭品頂戴北岸

同知張起鵬著賞戴花翎署三角波通判候補同

知孫鍾祥著俟補同知後以知府在任候補通判潘義貞著以同知補用知縣姚為霖張鐵珊均著俟補直隸州知州後以知府用夏人傑著以北河同知先儘補用署武清縣縣丞候補州判潘煜著以知縣在任候補永定河道萬培固石景山同知寶廷馨均著開復革職留任處分武清縣縣丞張映宸著開復革職留工處分另片奏請將道員吳廷斌破格優獎等語吳廷斌著交軍機處存記遇有道員缺出請旨簡放至所請此次大工用款歸於賑撫項下開單彙報免其造冊報銷之處著該部議奏餘著照所議辦理該部知道片併發欽此

818 光緒十六年九月十五日內閣奉

上諭許振禕奏查明河工劣員據實劾等語候補直隸州州判朱銘庚候補主簿蔣恩培前充上南工總遇事把持結黨蒙蔽迨開辦鄭工復充工總益漁厚利實屬貪劣營私亟應嚴行懲處朱銘庚蔣恩培均著即行革職永不敘用並驅逐回籍交地方官嚴加管束不准稍有逗留餘著照所議辦理該部知道欽此

819 軍機大臣 字寄

工部尚書兼管順天府府尹潘 順天府府尹陳 大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六年九月十六日奉

上諭御史余聯沅奏畿輔災廣民衆節近冬令請豫籌防範一摺本年順天直隸各屬災民甚衆聯屆冬令恐匪徒乘機竊發為害閭閻著潘祖蔭陳彝李鴻章各飭所屬州縣認真防範遇有搶劫案件立即拏辦倘該州縣延擱諱匿即著從嚴參處原摺均著抄給閱看將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

820 軍機大臣 字寄

湖廣總督張 湖北巡撫譚 光緒十六年九月十六日奉

上諭有人奏湖北安陸府屬獅子口地方抽收船釐近年逐漸加增繳足後並不給票往往留難數日不肯放行該處船釐無補正款徒累商民懇恩撤免等語各省徵釐向有定章豈容任意苛索所參

各節著張之洞譚繼洵確切查明據實具奏此項船釐應否准予豁免之處並著體察情形奏明辦理原片均著抄給閱看將此各諭令知之欽此遵旨寄信前來

821 光緒十六年九月十六日內閣奉

上諭巡視中城御史本貴等奏請賞給粥廠煖廠米石等語崇善堂等處各廠收養貧民人數衆多米石不敷支放加恩著照所請所有清化寺街之崇善堂梁家園之百善堂太清觀之公善堂三處煖廠各賞給粟米三百石教子胡同禮拜寺賞給粟米三百石朝陽門外南海會寺崇文門外玉清觀各粥廠並岡子上興善煖廠各賞給粟米一百五十石東便門外三忠祠粥廠賞給粟米一百五十石以濟窮黎該部知道欽此

822 交兵部本日巡視中城御史本貴等奏義善水局出力紳董請照五城水會章程保獎片軍機大臣面奉

諭旨著該部議奏欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

九月十六日

823 光緒十六年九月十六日內閣奉

上諭張曜奏黃河上下游防守平穩霜降安瀾一摺本年山東黃河兩岸疊出險工經張曜督飭在工員弁竭力搶護現在節逾霜降各處要工一律穩固仰賴

神靈默佑獲慶安瀾實深寅感著發去大藏香十枝交張曜祇領虔詣

大王廟敬謹祀謝以答

神庥餘著照所議辦理欽此

824 光緒十六年九月十六日內閣奉

上諭張曜奏建造

河神廟宇請頒扁額等語山東省城地方建造

大王河神廟於本年五月竣工現屆霜清安瀾著

發去御書扁額一方交張曜祇領敬謹懸挂以答

神庥欽此

825 光緒十六年九月十六日內閣奉

上諭吏部奏遵議處分一摺米倉監督戶部主事  
容恩都察院都事孟守箴均著照部議即行革職  
倉場侍郎興廉游百川均著降一級留任不准抵  
銷欽此

826 交吏部本日引

見

盛京廣甯倉官蓋州倉官各一缺擬陪之筆帖式

恩給豐潤奉

旨均著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

九月十六日

827 光緒十六年九月十六日奉

旨知道了欽此

巡視中城御史本責等奏上年五  
城陳勇局收支銀數報銷摺

828 道員用安徽廬州府知府黃雲

硃。旨著仍交軍機處存記

829 補用知府安徽候補同知董毓琦

硃。旨著以知府發往福建補用

830 補用知府安徽候補同知董毓珂

旨著以知府仍留安徽補用

831 已革道員用貴州候補知府曾彥銓

硃。旨著發往貴州以知府補用

832 已革道員用貴州候補知府曾彥銓

旨著發往貴州以同知補用

833 貴州丹江通判李成英

硃。旨著以同知直隸州知州補用

834 貴州候補班前先用知縣方峻  
硃。旨著俟補缺後以同知直隸州知州補用

835 光緒十六年九月十八日奉  
旨仍照舊章辦理毋庸更改欽此

內務府奏執河正副總管報滿年限摺

836 光緒十六年九月十九日內閣奉

上諭巡視東城給事中文保等奏遵保復盜出力之  
司坊紳董一摺著吏部議奏單併發欽此

837 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信二件

照錄呈

覽謹

奏

九月二十日

838 光緒十六年九月二十二日奉

旨依議片併發欽此

內務府奏復勘要工分別修葺摺

839 光緒十六年九月二十三日內閣奉

上諭本年朕二旬慶辰業經覃敷闡澤將在京大員  
老親年逾八十者優加賞賚茲據京外各衙門續  
查尚書銜甘肅新疆巡撫劉錦棠等老親均年逾  
八秩祿養承歡允宜一體施恩以昭盛典尚書銜  
甘肅新疆巡撫劉錦棠之祖母陳氏著賞給御書  
扁額一面紫檀三鑲玉如意一柄大卷江網袍袷  
料二疋大卷八絲緞袍袷料二疋西甯辦事大臣  
薩凌阿之母王氏山東布政使福潤之母烏蘇氏  
廣東水師提督方耀之母林氏直隸馬蘭鎮總兵  
英廉之母郭氏河南歸德鎮總兵牛師韓之父牛  
斐然著各賞給御書扁額一面紫檀三鑲玉如意  
一柄小卷江網袍袷料二件小卷八絲緞袍袷料  
二件用示錫類推恩至意欽此

840 甘肅新疆巡撫劉錦棠之祖母陳氏 現年八十六歲

西甯辦事大臣薩凌阿之母王氏 現年八十七歲

山東布政使福潤之母烏蘇氏 現年八十三歲

廣東水師提督方耀之母林氏 現年八十三歲



直隸馬蘭鎮總兵英廉之母郭氏現年八十歲

河南歸德鎮總兵牛師韓之父牛斐然現年八十七歲

841 光緒十六年九月二十四日內閣奉

上諭李鴻章奏東明黃河伏秋大汛復慶安瀾一摺本年直隸東明縣屬黃河南隄秋汛內盛漲異常險工疊出經李鴻章督飭文武員弁設法搶護現在節逾霜降仰賴

神靈默佑獲慶安瀾實深寅感發去大藏香十枝著李鴻章祇領交道員羅錦文虔詣李連莊高莊黃莊

大王廟敬謹祀謝用答  
神庥餘著照所議辦理欽此

842 光緒十六年九月二十四日內閣奉

上諭沈秉成奏拏獲滋事會匪請將出力各員獎勵一摺匪首周子意本係哥老會頭目膽敢在江皖交界地方造言煽惑糾眾倡亂約期起事實屬警不畏法經沈秉成督飭營縣拏獲匪黨唐玉苟等

七名起復軍械旗幟多件復派練軍弁勇跟踪追捕續獲余登長等六名旋在江西境內擒獲首犯周子意當即訊明將首犯周子意及匪黨錢萬有等八名正法梟示餘犯分別懲治辦理尚為妥速在事出力員弁著有微勞自應量予獎敘江西鄱陽縣知縣賀宏勳著俟補同知後以知府仍留原省儘先補用安徽建德縣知縣黃國城著俟補直隸州知州後以知府仍留原省儘先補用總兵張祖恩著仍以總兵遇缺請旨簡放並賞加提督銜安徽補用都司陳兆堂著俟補都司後以游擊儘先補用石埭縣知縣顧懷壬著以直隸州知州在任候補餘著照所議辦理在逃之匪黨黃亮風等著即按名嚴拏務獲究辦毋任漏網該部知道欽此

843 光緒十六年九月二十四日內閣奉

上諭康壽豐奏故員虧短銀兩請旨查抄一摺已故前河南新安縣知縣屠楚虧短正雜各款銀兩疊經嚴追該故員家屬迄未完繳輒敢潛回原籍實屬玩延著河南巡撫查明該故員歷過任所寓所

有無資財寄頓嚴密查抄並著順天府府尹將該故員原籍家產一併查封備抵以重庫款餘著照所議辦理該部知道欽此

844 光緒十六年九月二十四日奉旨依議欽此

光緒十六年九月二十四日奉旨依議欽此

845 光緒十六年九月二十五日內閣奉

上諭戶部奏豫省河工歲修額款較前加增請飭覈實辦理一摺豫省河工款項名目繁多前據許振禕奏請改定章程每年以六十萬兩定為歲修額款尋常搶險不再添撥各種名目概行不用當經降旨允准茲據戶部奏稱向來河工歲修經費至多不過六十萬兩該督所定額款一切布置當已裕如其公費銀七萬五千兩即由六十萬兩內支給等語著依議行河工關繫重要許振禕到任後於一切修守事宜尚能殫除積習認真經理故於前奏額撥鉅款當即允行該督務當仰體朝廷委

任之意振刷精神切實整頓悉除向來一切浮糜折扣陋習使工程益臻鞏固用副朕軫念河防慎重帑項至意欽此

846 光緒十六年九月二十五日內閣奉

上諭戶部奏工多費繁請分別次第以節錢糧一摺本年京師雨水過多各項應修緊要工程自應次第修理惟國家經費有常豈容藉端開報稍滋糜費所有各衙門報修之案除業經奏准估有確數各工准其修理外其並非因雨坍塌滲漏者一概不准呈報請修以杜含混至已報未估各工並著查估大臣詳加履勘分別緩急將並非因雨及情形較輕之處一律奏明停緩以重款項而昭覈實該部知道欽此

847 六品廕生徐士豪

硃。旨著以通判用

848 光緒十六年九月二十五日奉

旨照例賞給欽此

戶部奏併衛等年例賞給賑濟等項應照例賞給請旨

849 光緒十六年九月二十五日奉

旨准其開缺另行承襲欽此

鎮黃銀滿洲奏三等承恩公崇瞻世襲副都統應予另行承襲請旨

850 光緒十六年九月二十六日內閣奉

上諭順天府奏請賞給普濟堂等處米石一摺京城普濟堂資善堂兩廠前因近畿水災饑民衆多業經各加賞小米三百石提前開放茲據順天府奏稱隣屆冬令居民困苦請照歷年成例撥給米石等語加恩著照所請賞給普濟堂粟米八百石資善堂粟米三百石以惠窮黎欽此

851 光緒十六年九月二十六日內閣奉

上諭順天府奏添設粥廠請撥銀米等語前因京畿被水成災添設粥廠多處均經賞給銀米俾資賑

濟茲據奏稱大興縣境內灾民較多又添設青雲店岳家務兩處粥廠計共分廠七處冬春賑務為日方長銀米恐不敷用加恩著照所請由戶部再撥經費銀二千兩並撥京倉米八千石即著潘祖蔭等飭屬妥為散放以恤灾黎欽此

852 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信二件

照錄呈

覽謹

奏

九月二十七日

853 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 順天府 五城御史 光緒

十六年九月二十八日奉

上諭刑部奏倉匪勾串舞弊現訊供詞請飭拏要犯一摺據稱審訊已革祿米倉花戶張六即張莖禾等供認串通該倉書吏陶斌何桂林並在倉棧斛之馬椿山及郭起汰王得海馬得山等偷放黑檔

米石十餘次賣錢分用並勾結宗室全才及王六等將賣賸之米拉至全才所開之復興米舖寄存等語倉庫重地該犯等竟敢勾結偷放不法已極亟應嚴拏懲辦著步軍統領衙門順天府五城御史將陶斌等九犯按名嚴緝務獲送部歸案究辦毋任漏網原摺均著抄給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

854 交刑部軍機大臣面奉

諭旨本日刑部奏倉匪勾串私放黑檔米石請飭拏要犯一摺已諭令步軍統領等衙門按名嚴拏矣所有已獲之宗室全才著刑部嚴行審訊宗人府毋庸會審欽此

相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

九月二十八日

855 軍機大臣 字寄

步軍統領衙門 光緒十六年九月二十八日奉  
上諭本年六月開戶部三庫衙門奏稱失去兩淮餉鞘請旨飭拏賊犯當依議行現在數月之久尚未據奏將賊犯拏獲實屬玩泄著勒限一箇月交福銀等將此案賊賊嚴拏務獲究辦儘限滿無獲定即懲處不貸將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

856 光緒十六年九月二十八日內閣奉

上諭劉銘傳奏假期屆滿病勢增劇請開缺調理復稱如不得請懇賞假內渡就醫各摺片率意瀆陳殊屬非是劉銘傳著傳旨申飭仍著賞假三箇月在任調理毋庸開缺欽此

857 光緒十六年九月二十八日內閣奉

上諭秀吉奏弘義閣地南庫門錢糧脫落請旨飭查一摺禁城庫門理宜小心典守該處鎖鑰何以脫落著總管內務府大臣迅即查明據實具奏欽此

858 光緒十六年九月二十九日內閣奉

上諭昨據秀吉奏弘義閣迤南庫門錢糧脫落當經  
諭令內務府大臣確查具奏茲據奏稱本月二十  
七日衣庫司員呈報庫門封條鐵鎖有折動扭落  
情形查點物件失去裕襖三件等語禁城重地竟  
有賊匪偷竊情事殊屬不成事體著護軍統領認  
真緝訪並著步軍統領衙門五城御史一體嚴拏  
務獲送部究辦欽此

859 光緒十六年九月二十九日奉

旨著工部遵照本月二十五日諭旨詳加覆勘分別  
緩急奏明請旨辦理單十五件併發欽此

步軍統領衙門奏請照例八領嚴拏等語

860 光緒十六年十月初一日內閣奉

上諭福建甯鎮總兵員缺著羅大春補授欽此

861 查福建甯鎮總兵係陸路缺謹  
奏

862 光緒十六年十月初一日內閣奉

上諭劉銘傳奏總兵在營積勞病故懇恩優卹一摺  
福建甯鎮總兵蘇得勝於咸豐年間投効軍營  
轉戰江蘇浙江山東湖北等省迭著戰功洊保記  
名提督旋經劉銘傳調赴臺灣勦辦生番深資得  
力遂以感受瘴氣在營病故蘇得勝著加恩照提  
督軍營積勞病故例從優議卹准其於臺北府城  
建立專祠入祀原籍及立功地方昭忠祠生平戰  
績宣付國史館立傳以彰勞動伊妻徐氏絕食殉  
節著准其旌表該衙門知道欽此

863 軍機大臣 字寄

吉林將軍長 光緒十六年十月初二日奉

上諭敬信汪鳴鑾奏覆陳查辦事件一摺本日已明

降諭旨將擬結各節照所請行矣該侍郎等摺內  
陳明訊出賄囑吞摺據該犯湯連魁堅不承認  
請飭刑部提集人證訊究等語所有應訊之湯連  
魁將儒沈學會于芳懷龐姓即龐維翰等五名著  
長順迅速派委委員解交刑部歸案審辦應查案  
卷一併解送在逃之連寶忠党儒林朱占鼈並著  
嚴拏務獲送部該侍郎等另片所陳各節尚屬持  
平之論吉林地方公事積弊已深自應認真整頓  
惟辦事貴有條理聽言用人均宜詳察方能寬嚴  
得宜所有從前抽釐墾荒侵漁隱匿等項情弊既  
往之咎姑免深究嗣後務當覈實經理倘再查出  
弊端即行從嚴懲辦地方事件有須官紳協同辦  
理者仍當延訪公正紳耆隨時商榷不得因一二  
劣紳概從屏棄庶收集思廣益之效該將軍身膺  
邊寄責任綦重懍之勉之原片著鈔給閱看將此  
由四百里諭令知之欽此遵

旨寄信前來

光緒十六年十月初二日內閣奉

上諭敬信汪鳴鑾奏查辦事件遵旨覆奏一摺前據都察院奏福建臺灣布政使于蔭霖以辦糶啟衅奸商朋謀構陷大吏覆奏不實等詞赴該衙門呈訴當經諭令敬信汪鳴鑾馳驛前往吉林查辦茲據查明覆奏此案伯都訥廳於光緒十四年秋秋歉薄該廳鄉民呈報災狀已在十月將軍長順借撥公款俾作賑需且吉林因災蠲緩賑濟各節曾經先後陳奏六次伯都訥廳即在其內並非諱詞不奏該廳貨捐一項向係奏定儘徵儘解自光緒九年以後由紳士代收代解帳目出入弊竇甚多于蔭霖所呈本屬包蘆以餘款津貼書院各費並無其事學田一項歸入于蔭霖家所設天德裕號經管顯有侵占欺隱情弊于蔭霖所呈天德裕與書院另有交涉等語均係虛飾之詞抹兌憑帖一項貧民受累甚多于蔭霖家各舖所出憑帖積弊尤甚上年四月該將軍諭禁後並不遵辦于鍾霖復有素服出入衙署條陳錢法假公濟私情事其運貨車輛輒用官銜旗號雖無漏稅確據殊屬不

知遠嫌以上各節均經敬信等提集卷宗人證確切查明已革編修于鍾霖既查有干預公事與民爭利情事業經革職應毋庸議已革貢生蕭德馨中書銜谷蘭芳貢生張朝翰舉人王文珊增生楊光黼附生于芳懷陳文俊附貢生楊振聲候選同知衣佩璋查與長順原參相符業經斥革亦毋庸議蕭德馨等挪用公款衣佩璋私借款項均著勒限完交照例辦理前福建臺灣布政使于蔭霖兄弟親族干預公事罔利營私平日不能戒阻釐捐學田抹兌等事情弊顯然輒於奉旨懲辦之後捏解申辯希圖朦混竇屬咎無可辭于蔭霖著交部議處吉林將軍長順於飭查事件雖尚認真辦理惟於于蔭霖倡辦平糶結怨商民未能據實查奏意在聯絡官紳公事每多違戾亦有應得之咎著交部議處前署伯都訥廳同知孫逢源雖無匿災情事惟於屬境歉收並不覆查詳報亦屬不合並著交部議處委員府經歷黃熾查無勾串朋謀各情幕友秋桐豫朱望亦無擅權納賄恣惠串通證據均著毋庸置議餘均照所議辦理該部知道欽此

軍機大臣 字寄

盛京將軍 直隸兩江閩浙湖廣四川兩廣陝甘  
雲貴各總督 江蘇安徽江西浙江福建臺灣  
湖北湖南河南山東山西陝西甘肅新疆廣東  
廣西雲南貴州各巡撫 光緒十六年十月初  
三日奉

上諭本年順天直隸各屬被水成災欽奉

懿旨發給內帑銀五萬兩以拯災黎並降旨撥給京倉  
米二十萬石部庫銀五萬兩大錢五十萬串近京  
各鄉鎮添設粥廠復准李鴻章所請提撥直隸藩  
庫等銀六萬兩截撥奉天粟米一萬二千七百餘  
石江北漕米三萬六千石廣為散放並因山東濮  
州等處被水諭令張曜截留新漕五萬石提撥糧  
道庫銀十萬兩藉資賑濟吉林琿春甯古塔被水  
省城被火安徽安慶等處被水盱眙縣被火江西  
星子等縣被水福建省城及延平等處被水霞浦  
等縣被風臺灣臺北等府屬被風被水湖北施南  
等府被水湖南巴陵等縣被水河南洛陽縣被電  
淮南等縣被風陝西商南等縣被電商州等處被

水甘肅階州等處被水廣西靈川等縣被火鬱林  
州等屬被水雲南安平蒙化等處被水均經該將  
軍督撫等查勘撫恤小民諒可不至失所惟念未  
春青黃不接之時民力未免拮据著傳諭該將軍  
督撫等體察情形如有應行接濟之處即查明據  
實覆奏務於封印以前奏到候朕於新正降旨加  
恩再安徽安慶等處被旱江西瑞昌等處被水被  
旱浙江杭州等府屬被風被電被水被旱河南彰  
德等府屬被水甘肅西甯縣地震金縣等處被電  
河州等處被電被水廣東南海等縣被水廣西蒼  
梧等處被水均經該督撫等委員查勘即著迅速  
辦理並將來春應否接濟之處一併查明於封印  
前奏到此外各省有無被災地方應行調劑撫恤  
之處著該將軍督撫等一併查奏候旨施恩將此  
各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

866 查本年順天直隸各屬被水成災業經欽奉  
懿旨特發內帑以拯災黎並奉



旨撥給京倉米石部庫銀兩大錢近京各鄉鎮添設

粥廠復准李鴻章所請提撥藩庫等銀截撥奉

天粟米江北漕米廣為散放山東被水截留新

漕提撥糧道庫銀賑濟吉林安徽江西福建臺

灣湖北湖南河南陝西甘肅廣西雲南被水被

風被火被電地方均經各該將軍督撫查勘撫

恤其明春應否量為接濟之處臣等謹照向例

繕寫詢問該將軍督撫等

諭旨俟履奏到日再行擬寫新正

加恩諭旨呈進再安徽江西浙江河南甘肅廣東廣

西被水被旱被風被電之處該督撫等均已奏

明查勘應否接濟現俱未經奏到此外各省有

無被災地方應行調劑撫恤之處一併詢問令

該將軍督撫等迅速查奏彙辦謹

奏

光緒十六年十月初三日奉

旨依議欽此

867 光緒十六年十月初三日奉

旨依議欽此

刑部奏宗室全才可否革去頂戴交部核審摺

868 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十月初三日

869 光緒十六年十月初四日內閣奉

上諭湖北漢黃德道員缺著孔慶輔補授欽此

870 光緒十六年十月初四日內閣奉

上諭甘肅蘭州道員缺著黃雲補授欽此

871 查湖北漢黃德道係繁疲難要缺甘肅蘭州道

係衝繁難要缺謹

奏

872 光緒十六年十月初四日奉

旨朕本日殿試中式武舉弓刀石內擬石錯誤之浙  
江賈應庚著罰停殿試一科所有原圍監射較射  
之大臣及覆試之王大臣均著免其置議欽此

873 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 山東巡撫

張 江蘇巡撫剛 光緒十六年十月初六日奉

上諭前據兵部奏裴蔭森楊昌濬由福建拜發摺件

中途屢被拆毀當經諭令卞寶第等查辦茲據卞

寶第奏稱節經派委委員逐站挨查閩浙兩省驛

站均無拆換情事請令沿途各督撫飭屬嚴查等

語奏摺夾板屢有遺失斷無各驛站全無拆換之

理自應一體嚴查以期水落石出著李鴻章張曜

剛毅各飭所屬挨站確查究係何處私拆即行據

實覆奏從嚴懲辦毋稍遲延原摺均著鈔給閱看

將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

874 軍機大臣 字寄

盛京將軍裕 奉天府府尹興 光緒十六年十

月初六日奉

上諭有人奏奉天蓋平縣知縣陳忠偉玩視民命累  
民索賄縱盜婪贓違例浮收請飭查辦等語是否  
屬實著裕祿興陞按款確查據實覆奏原片均著  
抄給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

875 光緒十六年十月初六日內閣奉

上諭本日御史文郁呈遞封奏摺內將知縣書寫縣

主字樣殊屬非是著交部議處欽此

876 光緒十六年十月初六日內閣奉

上諭徵麟奏熱河庫內遺失銀兩請飭訊究一摺庫

存銀兩該官兵等宜如何小心看守乃竟失銀一

千兩之多是否外賊行竊抑係監守自盜亟應認

真究辦著德福一面飭屬一體嚴拿竊賊一面飭

令承德府知府將看庫官兵嚴行審訊務期水落

石出毋稍含混苑丞毓純吉祥未能先事預防均著交內務府議處徵麟失於覺察亦難辭咎著一併察議餘著照所議辦理該衙門知道欽此

877 交刑部  
五城御史 本日軍機大臣面奉

諭旨御史文郁奏中城地面煤市街襟貨鋪於九月二十九日十月初一日被賊搶劫銀物刃傷事主當經拏獲趙姓等審明送部並聞在逃之李姓刻尚糾集多人仍在南大街一帶潛匿等語此案已獲各犯著刑部嚴行審訊按律懲治其在逃賊犯並著五城御史一體嚴拏務獲送部究辦毋任漏網欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計恭抄摺一併

十月初六日

878 據總理各國事務衙門送到發給劉秉璋電信

一件又李鴻章來電一件照錄呈

覽謹

奏

十月初七日

879 遵擬電知沈秉成一道繕稿呈

覽恭候

欽定俟

發下後交該衙門欽遵辦理謹

奏

十月初七日

880 滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎桂春

戶部員外郎和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院即補郎中志樸

兵部候補員外郎惠北

四品銜禮部員外郎即補郎中魁麟

理藩院題署王事豐陞額

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜  
 吏部員外郎即補郎中 記名御史王倣  
 刑部郎中 記名御史陳邦瑞  
 四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸  
 吏部候補主事徐士佳  
 戶部即補主事陳熾  
 四品銜工部候補員外郎繼昌  
 滿二班  
 四品銜通政使司參議堃岫  
 戶部員中郎即補郎中孚琦  
 四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華  
 四品銜戶部員外郎即補郎中延祉  
 京察一等 記名道府四品銜理藩院員外郎齊善森  
 四品銜刑部即補員外郎瀛桂  
 四品頂戴理藩院主事特圖慎  
 四品銜兵部即補主事穆克登額  
 內閣候補侍讀崇林  
 漢二班  
 宗人府府丞署都察院左副都御史錢應溥

戶部員外郎 記名御史王汝濟  
 四品銜工部員外郎徐迪新  
 刑部員外郎 記名御史陳希棠  
 刑部員外郎 記名御史易俊  
 刑部員外郎 記名御史馮錫仁  
 員外郎銜吏部主事孫朝華  
 戶部主事王頌蔚  
 刑部候補主事李蔭鑾

881 光緒十六年十月初九日內閣奉

上諭禮部尚書崑岡刑部尚書嵩申刑部左侍郎祥  
 允升均著加恩在紫禁城內騎馬欽此

882 一品大員未經

賞馬名單

硃 ○ 禮部尚書崑岡

○ 刑部尚書嵩申

工部尚書熙敬

理藩院尚書松森

都察院左都御史貴恆 現在出差

鑲黃旗蒙古都統容貴

鑲白旗滿洲都統符珍

鑲紅旗蒙古都統惠銘

883 二品大員年屆六十以上未經

賞賜名單

吏部左侍郎許應駁 年六十五歲

禮部右侍郎景善 年六十五歲

兵部右侍郎白桓 年六十八歲

刑部左侍郎薛允升 年六十七歲

工部右侍郎豐烈 年六十六歲

徐樹銘 年六十七歲

理藩院左侍郎恩棠 年六十三歲

內閣學士霍穆歡 年六十三歲

愛廉 年六十七歲

鑲黃旗漢軍副都統嵩山 年六十九歲

正黃旗漢軍副都統恩全 年六十五歲

正白旗漢軍副都統恩光 年六十七歲

正紅旗滿洲副都統明秀 年七十三歲

漢軍副都統安興阿 年七十三歲

尚昌懋 年六十三歲

鑲紅旗蒙古副都統恩善 年六十二歲

正藍旗蒙古副都統耆齡 年六十二歲

托倫布 年六十九歲

鑲藍旗漢軍副都統花尚阿 年六十五歲

吉恆 年六十三歲

884 光緒十六年十月初九日內閣奉

上諭直隸正定鎮總兵徐邦道呈遞到任謝恩摺於

摺尾年月上蓋用總兵關防殊屬不合著交部議

處欽此

885 軍機大臣 字寄

成都將軍岐 四川總督劉 駐藏大臣升

光緒十六年十月十一日奉

上諭長庚奏酌議贍對善後事宜請飭妥籌辦理一

摺贍對番族從前屢撫屢叛總由藏官辦理不善

之故此該番滋事一案業經查辦完竣亟應妥籌善後以期永遠相安長庚所陳嚴禁番官不准受理土司事務土司亦毋得赴贖具控番官土司不准擅自動兵駐贖番官由駐藏大臣揀選奏補隨員定以額數分防地方奏明分設贖對番官歸打箭鑪裏塘文武兼轄並將應禁苛政酌擬八條請飭妥議各節著岐元劉秉璋升泰酌量情形悉心妥籌奏明辦理另片奏嚴禁番官勒索玉樹番族並開導商上銷除兵費等語並著升泰等一併酌覈奏辦原摺片單各一件均著抄給閱看將此由四百里各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

886 光緒十六年十月十一日內閣奉

上諭兩江總督著劉坤一補授未到任以前仍著沈秉成署理欽此

887 光緒十六年十月十四日內閣奉

上諭兩江總督劉坤一著兼充辦理通商事務大臣未到任以前著沈秉成署理欽此

888 光緒十六年十月十四日內閣奉

上諭雲南臨安府知府員缺著馮鏡仁補授欽此

889 查雲南臨安府知府係繁疲難要缺謹

奏

890 光緒十六年十月十四日內閣奉

上諭兩江總督曾國荃秉性沈毅洵事公忠韜略閱深經猷遠大成豐年間由優貢生從戎在江西湖北等省疊殲巨寇克復安慶之役出奇制勝懋建殊勳蒙

文宗顯皇帝特達之知不次超擢同治初年

簡任浙江巡撫仍帶兵勦賊激勵將士埽蕩無前直達江甯雨花臺苦戰兩年之久卒能攻拔堅城擒渠埽穴粵匪之平厥功最偉

穆宗毅皇帝特沛殊施賞加太子少保銜錫封一等伯爵賞戴雙眼花翎朕御極後優加倚任疊昇封圻均能盡職其在山西巡撫任內救災恤民政績尤著光緒九年來京召對命署禮部尚書旋即簡授

兩江總督到任後整頓地方營伍撫綏鎮攝卓著  
聲威上年

歸政慶典我

皇太后追念前勞賞加太子太保銜該督感激圖奮雖  
傷病時發猶復力疾辦公並未請假忠誠篤實  
為國家柱石之臣方冀克享遐齡長承恩眷遽聞  
溘逝震悼良深曾國荃著追贈太傅照總督例賜  
卹賞銀三千兩治喪由江甯藩庫給發賜祭一壇  
派護理江甯將軍副都統承綬前往致祭加恩予  
謚忠襄入祀京師昭忠祠賢良祠並於湖南原籍  
江甯省城建立專祠此外立功省分准其一併建  
祠其生平政蹟事實宣付史館任內一切處分悉  
予開復應得卹典該衙門察例具奏靈柩回籍時  
著沿途地方官妥為照料伊孫特用主事曾廣漢  
即著承襲一等伯爵毋庸帶領引見附生曾廣江  
著賞給舉人准其一體會試監生曾廣河著賞給  
員外郎分部學習行走伊曾孫曾兆龍曾兆祥曾  
蔭椿均著俟及歲時由吏部帶領引見候旨施恩  
用示朕眷念勳臣至意欽此

391 同治十一年二月十二日內閣奉

上諭大學士兩江總督曾國藩學問純粹器識宏深

秉性忠誠持躬清正由翰林蒙

宣宗成皇帝特達之知游升卿貳咸豐年間創立楚軍

勦辦粵匪轉戰數省疊著勳勞

文宗顯皇帝優加擢用補授兩江總督命為欽差大臣

督辦軍務朕御極後簡任綸扉深資倚任東南底

定厥功最多江甯之捷特加恩賞給一等毅勇侯

世襲罔替並賞戴雙眼花翎歷任兼圻於地方利

病盡心籌畫老成碩望實為股肱心膂之臣方冀

克享遐齡長承恩眷茲聞溘逝震悼良深曾國藩

著追贈太傅照大學士例賜卹賞銀三千兩治喪

由江甯藩庫給發賜祭一壇派穆騰阿前往致祭

加恩予諡文正入祀京師昭忠祠賢良祠並於湖

南原籍江甯省城建立專祠其生平政蹟事實宣

付史館任內一切處分悉予開復應得卹典該衙

門察例具奏靈柩回籍時著沿途地方官妥為照

料其一等侯爵即著伊子曾紀澤承襲毋庸帶領

引見其餘子孫幾人著何璟查明具奏候旨施恩

用示篤念忠良至意欽此

892 同治十一年四月二十六日內閣奉

上諭大學士兩江總督曾國藩於本年二月間因病出缺當降旨優予卹典並於湖南原籍江甯省城建立專祠生平政蹟事實宣付史館一等侯爵即令伊子曾紀澤承襲其餘子孫幾人令何璟查明具奏候旨施恩旋據何璟英翰李瀚章先後臚陳曾國藩歷年動績英翰李瀚章並請於安徽湖北省城建立專祠又據何璟遵查該故督子孫詳晰覆奏披覽之餘彌增悼惜曾國藩器識過人盡瘁報國當湘鄂江皖軍務棘手之際倡練水師矢志滅賊雖屢經困阨堅忍卓絕曾不少渝卒能萬眾一心削平逋寇功成之後寅畏小心始終罔懈其薦拔賢才如恐不及尤得以人事君之義忠誠克效功德在民允宜疊沛恩施以彰忠蓋曾國藩著於安徽湖北省城建立專祠此外立功省分並著准其一併建祠伊次子附貢生曾紀鴻伊孫曾廣鈞均著賞給舉人准其一體會試曾廣鎔著賞給

員外郎曾廣銓著賞給主事均俟及歲時分部學習行走何璟英翰李瀚章摺三件均著宣付史館用示臚念勳臣有加無已至意欽此

893 光緒十一年八月十九日內閣奉

上諭大學士左宗棠學問優長經濟宏遠秉性廉正澁事忠誠由舉人兵部郎中帶兵勦賊迭著戰功蒙文宗顯皇帝特達之知擢升卿寺同治年間勦平髮逆及回捻各匪懋建勳勞

穆宗毅皇帝深資倚任畀以疆寄洊陟兼圻授為欽差大臣督辦陝甘軍務運籌決勝克奏膚公

簡任綸扉優加異數朕御極後特命督師出關肅清邊圉底定回疆厥功尤偉加恩由一等伯晉為二等侯宣召來京管理兵部事務命在軍機大臣上行走並在總理各國事務衙門行走竭誠贊畫悉協機宜旋任兩江總督盡心民事裨益地方敬歷中外恪矢公忠洵能始終如一上年命往福建督辦軍務勞瘁不辭前因患病籲懇開缺迭經賞假並准其交卸差使回籍安心調理方冀醫治就痊長



承恩眷詎意未及就道遽爾溘逝披覽遺疏震悼良深在宗棠著追贈太傅照大學士例賜卹賞銀三千兩治喪由福建藩庫給發賜祭一壇派古尼音布前往致祭加恩予諡文襄入祀京師昭忠祠賢良祠並於湖南原籍及立功省分建立專祠其生平政績事實宣付史館任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門查例具奏靈柩回籍時著沿途地方官妥為照料伊子主事孝寬著賞給郎中附貢生孝勳著賞給主事均俟服闋後分部學習行走廩貢生孝同著賞給舉人准其一體會試其二等侯爵應以何人承襲著楊昌濬迅速查明具奏用示篤念蓋臣至意欽此

894

忠襄 危身奉上曰忠  
闕地有德曰襄  
襄勤 宣勞中外曰勤  
忠肅 身正人服曰肅  
忠定 安民大慮曰定

895

軍機大臣 字寄

盛京將軍裕 大學士直隸總督一等肅毅伯李

山東巡撫張 河南巡撫裕 光緒十六年十

月十五日奉

上諭順天府奏請暫免運京雜糧稅捐等語本年順屬被水小民餬口維艱現在將屆封河糧價昂貴所有奉天直隸山東河南各處雜糧販運至京沿途經過關卡應納稅捐准其一律暫免以廣招徠著裕祿李鴻章張曜裕寬飭屬遵照辦理將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

896 光緒十六年十月十五日內閣奉

上諭本年近畿一帶水災甚重疊經賞撥銀米廣為賑撫惟念順天所屬十九州縣饑民衆多現屆嚴寒待哺嗷嗷情殊可憫加恩著再賞給京倉漕米五萬石以備冬撫之用即著潘祖蔭等分撥各廠煮粥覈實散放以惠窮黎欽此

897 光緒十六年十月十五日內閣奉

上諭吏部兵部奏遵議處分各一摺前福建臺灣布政使于蔭霖著照部議即行革職吉林將軍長順前署伯都訥廳同知孫逢源均著降一級留任不准抵銷欽此

898 交吏部本日引

見

盛京熊岳倉官一缺擬陪之筆帖式石長齡奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十月十五日

899 據總理各國事務衙門送到洪鈞電信一件照錄

呈

覽謹

奏

十月十五日

900 光緒十六年十月十六日內閣奉

上諭李鴻章奏查明秋禾被水災重州縣懇恩蠲豁糧租一摺本年順天直隸各屬大雨連旬永定等河同時漫溢近畿一帶被災州縣小民蕩析離居情形困苦若將本年糧租照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有通州張辛莊一村成災十分海子窪等一百六十五村成災九分倉頭等七十八村成災八分王家場等九十五村成災七分燕郊等五十七村成災六分減場等四十五村成災五分小張各莊等五十一村歉收四分三河縣達子屯等十五村成災八分大朱莊等十一村成災七分南孫各莊等十二村成災六分高各莊等五十六村成災五分神靈莊等三百三村歉收四分武清縣四高莊等一百二十四村成災九分小趙莊等一百四十一村成災八分白屯等一百八十一村成災六分西柏等一百三十七村成災五分韓指揮營等一百四十村歉收四分寶坻縣黃莊鎮等一百十九村成災十分小白莊等一百八十二村成災九分黑狼口等一百十八村成災八

分李家排等六十村成災七分苑家莊等一百二十三村成災六分太平莊等三百九村成災五分薊州東馬營等九十村成災九分下倉等八十八村成災八分花兒窩等六十九村成災七分賧水窩等七十一村成災六分消流莊等六十三村成災五分黃辛莊等四十七村歉收四分赤安莊等三十三村歉收三分香河縣牛濟河等四村成災十分焦莊等八十五村成災九分馬家窩等八十九村成災八分宣教寺等七十六村成災七分花園等五十六村成災六分梨元等二十一村成災五分金莊等二十村歉收四分甯河縣于三莊等一百六十一村成災九分大北澗沽等九十八村成災八分霸州大台山等一百十四村成災八分劉家莊等四十五村成災七分東關廂維民房等三十六村成災六分大各莊等七十九村成災五分保定縣崔家莊等三村成災八分張青口等三十二村成災七分王家莊一村成災六分文安縣寺各莊等一百二十七村成災九分麻各莊等一百二十六村成災八分三王村等五十五村成災七

分大城縣馬郎等十村成災九分荆河等十四村成災八分魏王文等四十三村成災七分南道莊等八十七村成災六分鳳凰莊等一百十三村成災五分楊家隈等四十四村歉收四分固安縣北村一村成災八分門村等十六村成災七分沙宅等二十七村成災六分南北辛等一百五村成災五分北趙等一百七十六村歉收四分東湖等七十七村歉收三分永清縣信安鎮等四村成災九分劉王喬新各莊等八村成災八分南大王莊等十二村成災七分桃馬房等五十六村成災六分北戈亦等六十六村成災五分劉寇家莊等七十五村歉收四分大麻子莊等四十八村歉收三分東安縣陳家務等一百五十三村成災八分北關廂東儲等一百五十九村成災七分前羅官屯等五十九村成災六分大興縣黃村鎮等六十一村成災八分西黃村等五十七村成災七分南北頓堡等六十村成災六分大張本莊等六十九村成災五分宛平縣看丹村等四十二村成災八分河南村等十八村成災七分北崗窪等九十五村成

災六分皮各莊等三十五村成災五分安甯村等  
十三村歉收四分西北旺等六十三村歉收三分  
良鄉縣南拜村等二十七村成災八分琉璃河等  
二十二村成災七分興禮村等十六村成災六分  
南上崗等八村歉收四分張謝村等五村歉收三  
分房山縣馬各莊等十村成災八分河南村等十  
八村成災七分雙孝村等十三村成災六分雙磨  
村等三十四村成災五分饒洛甫等二十五村歉  
收四分顧冊等五十六村歉收三分涿州刁窩  
等七十七村成災八分蓮池等七十五村成災七  
分永樂等七十九村成災六分馬坊等一百十六  
村成災五分南關等三十四村歉收四分順義縣  
李遂店等九十七村成災九分英各莊等三十九  
村成災七分頭營等三十九村成災六分楊各莊  
等一百一十一村成災五分懷柔縣高兩河等十八  
村成災八分葛各莊等十七村成災七分大屯莊  
等九村成災六分史中務等四村歉收四分密雲  
縣大河漕等六村成災八分小周各莊等四村成  
災七分仙台等五村成災六分王各莊等六村成

災五分荆栗園莊等四村歉收四分西栗園莊等  
二村歉收三分灤州王家法寶等二十八村成災  
八分史家莊等四十八村成災七分劉家坨等五  
十五村成災六分在城東關等一百二十一村成  
災五分小南關等九十九村歉收四分北花園等  
二十三村歉收三分盧龍縣南關等二十九村成  
災七分南菜園等四十村成災六分祁家莊等二  
十三村歉收四分王家莊等四村歉收三分遷安  
縣西夾河等九村成災七分孟莊等十五村成災  
六分石新莊等四十村成災五分芹菜溝等二十  
村歉收四分東上屋等五村歉收三分昌黎縣釣  
魚臺等七村成災八分東蔡各莊等十一村成災  
七分龍山上下等八村成災六分馬家窩等二十  
三村成災五分新南莊等十五村歉收四分唐莊  
子等二十一村歉收三分樂亭縣張沙子等四村  
成災九分馬莊子等九村成災八分東西崔各莊  
等十四村成災七分汀流河鎮等三十村成災六  
分徐家房子等五十三村成災五分小聖廟等四  
十四村歉收四分新開口等二百十村歉收三分

清苑縣東西石橋等三十七村成災七分東于家莊等十三村成災六分南營營等六村成災五分五窩村等五十七村歉收四分南辛莊等四十二村歉收三分安肅縣大辛莊等九村成災七分北樓村等三十四村成災六分仁里村等二十四村成災五分半壁店等六十四村歉收四分大營等四十七村歉收三分新城縣祁各莊等十一村成災八分下徐家莊等十村成災七分岐山莊等八十五村成災六分駙馬莊等一百一村成災五分賈家莊等一百八十六村歉收四分衣錦店等一百一村歉收三分唐縣石門等十三村成災七分北當等十三村成災五分古道口等十九村歉收四分陀塔等二十八村歉收三分博野縣董家莊等二村成災七分南小王等十五村歉收四分劉陀店等二十二村歉收三分容城縣涼馬臺四村成災七分辛夏莊等八村成災六分大河村等十六村成災五分白溝河等十七村歉收四分李家莊等四十三村歉收三分蠡縣大北河等七村成災八分大楊家莊等二十三村成災七分郭家莊

等三十五村成災六分劉村等十一村成災五分北黃家莊等四十二村歉收四分南許等三十八村歉收三分雄縣孫家莊等二十二村成災七分大王東村等四十五村成災六分葛各莊等五十五村成災五分東河各莊等四十二村歉收四分安州三關村等五村成災九分同口村等七村成災八分小寨村等二十村成災七分韓堡等十六村成災六分南馮等四十七村成災五分辛莊等七十八村歉收四分高陽縣雜城等十一村成災九分南龍化等二十八村成災八分梅果莊等十一村成災七分李果莊等十五村成災六分楊家屯等十三村成災五分南園頭等十九村歉收四分姜寨莊等九村歉收三分河間縣繳臺頭等二十三村成災六分曹家莊等七村成災五分前集等六十九村歉收四分大故仙等六十三村歉收三分獻縣萬家寨等四十三村成災八分石家壩等十九村成災七分元昌樓等十六村成災六分南老生等三村歉收四分董爾莊等十八村歉收三分任邱縣軍莊等四十四村成災七分凌城村等

十三村成災六分醬莊等二十九村成災五分劉家鋪等三十五村歉收四分南馬家莊等六十五村歉收三分交河縣劉家馬頭等四村成災六分崔家莊等三村歉收四分澤海寺王莊二村歉收三分吳橋縣羅家屯等五村成災七分簸箕劉莊等八村成災六分羅辛莊等七村成災五分城西梁莊等三十村歉收四分井莊等十七村歉收三分東光縣許鐵匠莊等七十三村成災七分司家莊等十七村成災六分郭家橋等三十四村成災五分郭家等六十二村歉收四分小生莊等三十三村歉收三分天津縣王頂隄等八十九村成災八分大稍直口等九十二村成災六分小園等七十一村成災五分吳家臺等五十二村歉收四分青縣黃窪本鎮等四十三村成災八分南中孫莊等十八村成災七分大許等二十五村成災六分流河本鎮等五十村成災五分曲王莊等七十三村歉收四分餘慶屯等三十一村歉收三分靜海縣洋芬港等一百六十一村成災八分邢家莊等十三村成災七分小黃莊等三十六村成災六分

高家莊等三十五村成災五分順民屯等一百一村歉收四分滄州王大本莊等十四村成災九分前滕家莊等五十四村成災八分東道安莊等四十八村成災七分八里科莊等二十二村成災六分姜家福莊等十九村成災五分同居莊等七十四村歉收四分大閭鎮台莊等一百二十七村歉收三分南皮縣白家辛莊一村成災七分安家窪等六村成災六分烏馬營等十七村成災五分蓮花池等二十二村歉收四分塔馬寺等二十四村歉收三分鹽山縣瓦古疇等六村成災六分西和樂等十五村成災五分樂家等三十一村歉收四分韓家橋等七十五村歉收三分慶雲縣姚千家莊等一百一村成災九分尚家堂等四十三村成災八分陳瑞芝等四十七村成災七分沙郭莊等五十七村歉收四分石官堂等八村歉收三分清河縣張家莊等五十六村成災七分魯家莊等四十二村成災六分壩營集等十九村歉收四分趙家莊等四十五村歉收三分豐潤縣黑沿子等一百三十九村成災八分鄭家莊等四十六村成災

七分孫永莊等三村成災六分越支莊等七村成災五分孫唐莊等三十村歉收四分大佟家莊等十三村歉收三分玉田縣觀風堆等五十村成災八分郭家橋等五十四村成災七分錢家溝等一百四村成災六分李莊子等二十五村成災五分林西莊等五十九村歉收四分內官莊等六十村歉收三分武強縣張北召什等五村成災六分張沙窪等二十一村成災五分西劉家隈等九村歉收四分王南召什等十二村歉收三分定州支曹等七村成災六分西柴離等二十一村成災五分安家營等八十五村歉收四分西雙屯等三十一村歉收三分以上五十五州縣內成災六七八九十分村莊應徵本年下忙地丁錢糧各項旗租均著一律豁免其應徵屯米穀豆草束竈課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租並著一併豁免如有未被災以前花戶長完銀兩准其抵作下年正賦其本年上半年忙尾欠及節年未完糧租並向不蠲緩之本節年兵部馬館租鑾儀衛租永濟庫租代徵租暨出借

倉穀籽種口糧牛具等項均著緩至光緒十七年秋後啟徵至成災五分村莊應徵本年地丁錢糧仍著蠲免十分之一蠲膳之項自光緒十七年秋後起分作二年帶徵其未完節年地丁錢糧各項旗租暨例無蠲免之本年各項旗租並歉收四分村莊應徵本節年地丁錢糧各項旗租歉收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租均著緩至光緒十七年秋後啟徵其應徵屯米穀豆草束竈課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租均著照民地之例分別蠲緩帶徵其有出借倉穀籽種口糧牛具等項及兵部馬館租鑾儀衛租永濟庫租代徵租著一體緩至光緒十七年秋後帶徵並分別減免差徭以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻騰黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區至意該部知道欽此

901 光緒十六年十月十六日內閣奉

上諭李鴻章奏查明秋禾被水災歉較輕州縣懇恩

蠲緩糧租一摺本年順天直隸各屬被水成災本日業經降旨將災重各地方糧租分別蠲豁其被災較輕各州縣收成歉薄若將應徵地丁錢糧等項照常徵收民力尚有未逮加恩著照所請所有平谷縣下紙寨等五村成災五分張各莊等六村歉收三分定興縣內章村等二十村成災五分西近村等四十三村歉收四分葛家莊等一百六村歉收三分望都縣恩賜莊等十四村成災五分孫家莊二十九村歉收四分小辛莊等三十村歉收三分景州徐埝等一百六十二村成災五分六股路等一百五十村歉收四分草廠等七十村歉收三分政城縣東高莊等四十一村成災五分東原隰等三十四村歉收四分崔莊等四村歉收三分無極縣戶村等十五村成災五分王家莊等二十六村歉收四分北家莊等十五村歉收三分南樂縣大屯村等十一村成災五分西小婁等六十七村歉收四分霍家屯等八十三村歉收三分甯晉縣南孟莊等十村成災五分崔官莊等四村歉收四分深州趙八莊等十三村成災五分馮家營

等十一村歉收四分周龍化等十一村歉收三分饒陽縣空城等四十三村成災五分固城等三十七村歉收四分蕭店等三十九村歉收三分安平縣馬江村等十六村成災五分辛莊店等二十三村歉收四分寶家莊等四十八村歉收三分曲陽縣七里莊等八村成災五分郎家莊等二十村歉收四分占里村等四十三村歉收三分深澤縣河家莊等二村成災五分西內堡等五村歉收四分東北劉村等十四村歉收三分以上十三州縣成災五分及歉收三四分不等著將成災五分村莊應徵本年地丁錢糧蠲免十分之一如有未被災以前花戶長完之項准抵下年正賦蠲贖之項自光緒十七年秋後起分作二年帶徵其未完節年地丁錢糧各項旗租及例無蠲免之本年各項旗租同歉收四分村莊應徵本節年地丁錢糧各項旗租歉收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租均著緩至光緒十七年秋後起徵凡有應徵屯米穀豆草束竈課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租均照



民地之例分別蠲緩帶徵其有出借倉穀籽種口糧牛具暨兵部馬館租學儀衛租代徵租一體緩至光緒十七年秋後起徵並分別減免差徭畝收三分村莊本年糧租仍照常徵收又滿城縣郎郭許孔及東尹莊等十三村畝收四分賈家莊等二十五村畝收三分完縣富有等二村畝收四分神北等五村畝收三分祁州北流羅等十二村畝收四分鄭村等十八村畝收三分肅甯縣袁家左等三十二村畝收四分焦家莊等十村畝收三分藁城縣馬房等十村畝收四分屯頭村等十六村畝收三分新樂縣蘇仙莊等二村畝收四分木村等十村畝收三分邢臺縣辛興鋪等八村畝收四分祝村等二村畝收三分沙河縣正招等十三村畝收四分善下等十三村畝收三分南和縣回家莊等六十九村畝收四分西里等十四村畝收三分唐山縣南牛村等十一村畝收四分齊村一村畝收三分平鄉縣曾新寨等五十九村畝收四分荆謝莊等三十六村畝收三分鉅鹿縣午時村等二十六村畝收四分薄家莊等十七村畝收三分任

縣環水村等五十八村畝收四分臺南村等四村畝收三分永年縣翟家莊等五村畝收四分前司莊等三村畝收三分邯鄲縣西上宋等十七村畝收四分吳唐營等二十五村畝收三分廣平縣西里村等十六村畝收四分周固寨等十村畝收三分雞澤縣東劉莊等二十村畝收四分東于口等三十一村畝收三分威縣邵固堡等七村畝收四分元城縣東塚等六十村畝收四分萬辛莊等四十六村畝收三分大名縣閣莊等三十二村畝收四分大馬村等四十四村畝收三分清豐縣廉廠村等七十六村畝收四分前姚村等一百九十五村畝收三分易州南橋頭等二十八村畝收四分東亢等二十二村畝收三分涑水縣孔村等五十八村畝收四分南海河等五村畝收三分東強縣大王均等六十六村畝收四分門家莊等九十村畝收三分武邑縣靳紫塔等二十四村畝收四分孫家村等二十八村畝收三分衡水縣周通等十三村畝收四分南蘇札等十二村畝收三分隆平縣范莊等三十一村畝收四分後邱底等十八村

歉收三分以上二十七州縣著將歉收四分村莊應徵本節年地丁錢糧各項旗租歉收三分村莊應徵節年地丁錢糧各項旗租並屯米穀豆草束電課學租旗產錢糧及海防經費河道錢糧儲備軍餉廣恩庫租通津二幫屯租兵部馬館租鑿儀衛租代徵租並出借倉穀籽種口糧牛具等項均著緩至光緒十七年麥後啟徵並減免差徭以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

902 光緒十六年十月十六日內閣奉

上諭李鴻章奏查明開州等州縣災歉情形請分別蠲緩糧賦一摺直隸開州東明長垣三州縣濱臨黃河村莊本年秋禾被水災歉若將應徵糧賦照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有開州屯莊等十五村成災八分小辛莊等七十五村成災七分水牛李寨等一百七十五村歉收四分長垣縣喬寨等三十五村成災九分菜園等三十七

村成災八分趙寨等七十八村成災七分魏寨等三十二村成災五分東金寨等一百二十三村歉收四分蔣油房等五百七村歉收三分著將成災五分村莊等本年錢糧蠲免十分之一成災七分村莊本年錢糧蠲免十分之二成災八分村莊本年錢糧蠲免十分之四成災九分村莊本年錢糧蠲免十分之六成災五七分村莊蠲贖錢糧緩至光緒十七年秋後起分作二年帶徵成災八九分村莊蠲贖錢糧緩至光緒十七年秋後起分作三年帶徵如有未被災以前花戶長完銀兩准抵下年正賦又各災村應完節年錢糧並歉收四分村莊應完本節年錢糧歉收三分村莊應完節年錢糧均著緩至光緒十七年秋後啟徵其有出借倉穀等項一體緩徵並分別減免差徭又東明縣遠寨等一百四十五村歉收四分杜勝集等八十九村歉收三分著將歉收四分村莊應徵本節年糧銀歉收三分村莊應徵節年糧銀及出借倉穀等項均緩至光緒十七年麥後啟徵仍分別酌減差徭以紓民力餘著照所議辦理該督即刊刻謄黃徧

行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念  
民艱至意該部知道欽此

903 光緒十六年十月十六日內閣奉

上諭李瀚章奏藩司因病呈請開缺一摺蒯德標著  
准其開缺廣東布政使著成允補授欽此

直隸布政使裕長 滿洲正白旗蒙古  
光緒十五年七月補

江蘇布政使鄧華熙 廣東樂安人  
光緒十五年六月補

江甯布政使瑞璋 滿洲正紅旗人  
光緒十五年七月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗蒙古  
光緒十二年八月補

山東布政使福潤 蒙古正紅旗附生  
光緒十六年二月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人  
光緒十五年十月補

河南布政使廖壽豐 江蘇進士  
光緒十六年正月補

陝西布政使陶模 浙江進士  
光緒十四年三月補

甘肅布政使張岳年 浙江舉人  
光緒十五年十二月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人  
光緒九年三月補

浙江布政使許應鑾 廣東進士  
光緒十年十月補

福建布政使劉樹堂 雲南舉人  
光緒十六年閏二月補

福建臺灣布政使沈應奎 浙江人  
光緒十六年六月補

江西布政使方汝翼 直隸舉人  
光緒十四年十月補

湖北布政使黃彭年 貴州進士  
光緒十五年十一月補

湖南布政使何樞 河南進士  
光緒十五年十二月補

廣東布政使蒯德標 安徽舉人  
光緒九年正月補

廣西布政使張聯桂 江蘇附生  
光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲鑲藍旗舉人  
光緒十二年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇進士  
光緒十二年十月補

貴州布政使王德榜 湖南監生  
光緒十五年十月補

直隸按察使周馥 安徽監生  
光緒十四年三月補

江蘇按察使張國正 漢軍鑲藍旗監生  
光緒十六年閏二月補

安徽按察使嵩崑 滿洲鑲紅旗監生  
光緒十年二月補

山東按察使曹秉哲 廣東進士  
光緒十六年三月補

山西按察使潘駿文 安徽廣德生  
光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東候補生  
光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人  
光緒十四年十月補

甘肅按察使裕祥 滿洲鑲白旗進士  
光緒十四年九月補

浙江按察使龔照璦 安徽監生  
光緒十六年正月補

硃

福建按察使許鈐身 浙江府人 光緒十六年四月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗人 光緒十六年二月補

湖北按察使成允 正紅旗監生 光緒十二年六月補山東兗州府湖湖北

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補浙江嘉興府湖廣東

廣西按察使湯聘珍 湖南監生 光緒十六年四月補

四川按察使德壽 漢軍鑲黃旗人 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森 廣東進士 光緒十六年四月補

906 光緒十六年十月十六日內閣奉

上諭松椿奏節逾霜降各廳汛一律安瀾一招本年

伏秋大汎湖河增漲險工疊出經松椿督飭在事

人員設法疏消竭力防護仰賴

神靈庇佑工程一律平穩裏下河秋成豐稔實深

寅感著發去大藏香十五枝交該漕督祇領前詣

河神廟敬謹祀謝以答

神庥餘著照所議辦理該部知道欽此

907

交禮 總理各國事務衙門 本日軍機大臣面奉

諭旨續昌等奏此次奉使朝鮮禮部派出通官當差

謹慎請量加獎賞等語六品通官豫和七品通官

恆需著每人賞銀四百兩由總理衙門出使經費

項下給發欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計黏鈔片一件

十月十六日

908

交禮 總理各國事務衙門 本日軍機大臣面奉

諭旨續昌等奏嗣後出使朝鮮請禁止該國王餽送

銀兩藉端苛派並請由出使經費項下酌撥使臣

治裝銀兩等語著該衙門議奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交 計黏鈔片一件

十月十六日

909 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 光緒十六

年十月十七日奉

上諭都察院奏直隸監生桑冲漢等以疊遭河患額懇籌款興工等詞赴該衙門呈遞據稱直隸水患以安州九州縣受害為最酷請於十二連橋迤南之七里莊開挖七里由古河使水從三灘里出口入東淀自大清河以遠海並隔斷小北河以禦渾洩清庶各邑永無水患等語著李鴻章體察情形所陳開河洩水各節是否可行據實覆奏原摺呈均着鈔給閱看圖併發將此諭令知之欽此遵旨寄信前來

910 光緒十六年十月十七日內閣奉上諭湖北按察使者陳寶箴補授欽此

- 911 直隸按察使周馥 安徽監生 光緒十四年三月補
- 江蘇按察使張國正 漢軍鑲黃旗監生 光緒十六年閏二月補
- 安徽按察使萬崑 滿洲鑲紅旗監生 光緒十一年二月補 山東臬司調補安徽 廣東進士
- 山東按察使曹秉哲 光緒十六年三月補 廣東進士
- 山西按察使潘駿文 安徽廬貢生 光緒十五年十二月補
- 河南按察使賈致恩 山東廬生 光緒十三年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十月補 甘肅臬司調陝西

甘肅按察使裕祥 滿洲鑲白旗進士 光緒十五年九月補 陝西臬司調陝西

浙江按察使龔照瑗 安徽監生 光緒十六年正月補

福建按察使許鈐身 浙江廬生 光緒十六年四月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗廬生 光緒十六年二月補

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補 浙江臬司調廣東

廣西按察使湯聘珍 湖南監生 光緒十六年四月補

四川按察使德壽 漢軍鑲黃旗鑄輝生員 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓寶 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森 廣東進士 光緒十六年四月補

912 光緒十六年十月十八日內閣奉上諭現在天氣漸寒所有食餉之間散宗室覺羅人等生計維艱殊深軫念著加恩賞給一月錢糧其宗室覺羅孤寡除有恩賞錢糧外著再加賞半月錢糧以示體恤欽此

913 光緒十六年十月十八日內閣奉

上諭現在天氣漸寒京師兵丁當差勤苦殊深軫念  
所有八旗及綠步各營官兵均著加恩賞給半月  
錢糧以示體恤欽此

硃。旨著以知府用  
914 前四川東道丁士彬

915 前四川東道丁士彬  
旨著以道員用

硃。旨著以知府儘先即補  
916 浙江候補知府吳京培

硃。旨著仍以知縣儘先即補  
917 江蘇儘先補用知縣王之全

硃。旨著以知縣儘先即補  
918 江蘇試用知縣方道濟

硃。旨著該部照例給獎  
919 貴州候補知縣白建鑒

920 貴州候補知縣白建鑒  
旨著交部議敘

921 軍機大臣 字寄  
陝甘總督楊 護理伊犁將軍副都統富 接  
辦塔爾巴哈台參贊大臣副都統額 傳諭護  
理甘肅新疆巡撫布政使魏光燾 光緒十六  
年十月十九日奉

上諭楊昌濬富勒銘額魏光燾奏塔城分隸事宜請  
飭遵照奏案定期交接並請頒發印信一摺已照  
所請行矣本日復據額爾慶額奏塔城僻處偏隅  
巡撫萬難專轄請仿照科布多之例仍歸參贊大  
臣鎮守專轄等語塔爾巴哈台地方營伍前經楊  
昌濬等會奏分隸甘肅新疆巡撫管轄定期交接  
業經該部議准覆奏降旨先行該副都統自應遵  
照辦理何得輒生異議致涉紛更所有塔城勇隊

及地方善後各事仍着額爾慶額於本年年底移交巡撫接管不准再行藉詞延展致干咎戾塔城規制初更辦理一切必須籌畫萬全以為久遠之計該撫接辦後務將吏治營制餉章及安撫蒙哈各事宜實力整頓以安邊圉其應修城垣等工着遵照部議酌量經費贏絀工程緩急次第辦理該大臣等身膺重寄務當和衷共濟期於地方有裨毋得各持意見致誤公事是為至要楊昌濬等摺着鈔給額爾慶額閱看該副都統呈進圖一件留中將此由四百里諭知楊昌濬富勒銘額爾慶額並傳諭魏光燾知之欽此遵

旨寄信前來

922 光緒十六年十月十九日内閣奉

上諭理藩院左侍郎着鳳鳴補授欽此

923

應調滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松桂

現著都察院左都御史

右侍郎敬信

現在出差

戶部左侍郎續昌

現兼著吏部右侍郎  
現在請假

右侍郎崇禮

現兼著工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎桂全

右侍郎清安

現在請假

工部左侍郎烏拉布

現在出差

右侍郎豐烈

理藩院右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

盛京戶部侍郎綿宜

禮部侍郎懷塔布

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

924

應升滿洲侍郎名單

內閣學士祥麟 現在身奉

鳳鳴

裕德 現出學差

文治

霍穆歡

愛廉

都察院左副都御史奕年

奕杖

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂

詹事府詹事志銳

925

候補滿洲侍郎名單

桂祥

926 光緒十六年十月十九日奉

旨奎華准其承襲欽此

正黃旗滿洲原系子爵承怡和病故可否特恩繼子奎華承襲

927

據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十月十九日

928

軍機大臣 字寄

兩廣總督兼署廣東巡撫李 廣東巡撫劉

光緒十六年十月二十日奉

上諭有人奏署廣東藩司王之春於闈姓一事任用

劣員劉光廉等婪贓蒙蔽舊商年限未滿勒令停

辦以著名無賴陳永昌等接充新商半年有餘僅

繳餉銀三十萬兩又廣東洋油等項釐稅歸商承

辦王之春紛紛更換以致稅數虧短委署各員皆

須納賄前後婪贓至數十萬等語著李瀚章劉瑞

芬按照所參各節確切查明據實具奏毋稍徇隱

原片着鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來



929 軍機大臣 字寄

察哈爾都統奎 光緒十六年十月二十日奉  
上諭前有人奏烏里雅蘇臺將軍托克滿於赴任時

有勒索臺站騷擾地方等情當經諭令奎斌確查  
覆奏茲據托克滿奏失察家人勒索自行檢舉請  
交部議罪一摺所稱於家人陳有衣箱內搜出銀  
兩訊係沿途勒索該家人旋即脫逃是被索勒索  
臺站已有確據摺內並有飭傳駝隻馱運煙茶又  
因購選貢馬囑令各臺代買馬匹等語種種情節  
均與原奏各款大致相同亟應澈底根究著奎斌  
懍遵前旨秉公嚴密確查並飭拏該家人陳有到  
案研訊務得實情詳細覆奏不准稍涉徇隱托克  
滿原摺着鈔給閱看將此諭令知之欽此遵  
旨寄信前來

930 光緒十六年十月二十日奉

旨着交武英殿刊刻刷印欽此

內閣書房奏加蓋光緒十六年十月二十日奉  
旨着交武英殿刊刻刷印欽此

931 光緒十六年十月二十日奉

旨戶部議奏欽此

理藩院奏八音佛前相續搜獲應如何辦理請  
旨

932 光緒十六年十月二十一日奉

旨粵海關監督仍著廣英接管欽此

933 光緒十六年十月二十一日奉

旨仍遵前旨議卹毋庸更正欽此

光緒十六年十月二十一日奉  
旨

934 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十月二十一日

935 軍機大臣 字寄

盛京福州各將軍 直隸兩江湖廣閩浙四川兩  
廣漕運各總督 江蘇安徽江西福建浙江湖  
北湖南河南山東山西廣東廣西各巡撫 傳  
諭粵海關淮安關各監督 光緒十六年十月  
二十二日奉

上諭戶部奏請催解本年各項京餉一摺各省關應  
解本年京餉籌邊軍餉邊防經費西征洋款改為  
加放俸餉旗兵加餉抵閩京餉改為加放俸餉京  
官津貼改為加復俸餉備荒經費固本京餉及積  
欠固本京餉共銀一千五百八十萬餘兩截至九  
月二十日止除劃撥截留解到及報解起程外尚  
欠解銀五百六十六萬一千七百餘兩現在部庫  
存項無多放款甚鉅加以本年畿輔被水支撥賑  
款及一切工程經費需用更繁所有各省關欠解  
各項京餉亟應依限報解以應要需著各該將軍  
督撫監督等各將欠解銀兩迅即照數解部統於  
年內埽數解齊儻敢諉卸拖欠即由戶部指名嚴  
參原單著鈔給閱看將此由五百里諭知盛京福

州各將軍直隸兩江湖廣閩浙四川兩廣漕運各  
總督江蘇安徽江西福建浙江湖北湖南河南山  
東山西廣東廣西各巡撫並傳諭粵海關淮安關  
各監督知之欽此遵  
旨寄信前來  
鈔交戶部

936 光緒十六年十月二十二日奉  
旨准其借給欽此

戶部奏為酌量借給軍餉以資邊防事

937 光緒十六年十月二十二日奉  
旨著交內務府繳進欽此

戶部奏為酌量借給軍餉以資邊防事

938 光緒十六年十月二十三日內閣奉

上諭廣東瓊州府知府員缺著齊普森補授欽此

939 查廣東瓊州府知府係繁疲難要缺謹  
奏

940 光緒十六年十月二十四日內閣奉

上諭京察記名人員將次簡放完竣著內閣部院各衙門於京察一等未經記名各員內遴選才具優長者出具切實考語保送由吏部帶領引見欽此

941 光緒十六年十月二十四日內閣奉

上諭福建按察使著張國正調補陳湜著補授江蘇按察使均即赴新任毋庸來京請訓欽此

942 直隸按察使周馥 安徽望江人 光緒十五年補

○ 江蘇按察使張國正 漢軍後旗人 光緒十六年閏二月補

安徽按察使高崑 滿洲旗人 光緒十五年二月補

山東按察使曹秉哲 廣東人 光緒十六年三月補

山西按察使潘駿文 安徽人 光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東人 光緒十五年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南人 光緒十四年十月補

甘肅按察使裕祥 滿洲旗人 光緒十四年九月補

浙江按察使龔照璠 安徽人 光緒十六年五月補

福建按察使許鈐身 浙江人 光緒十六年四月補

江西按察使福裕 廣東人 光緒十六年二月補

湖北按察使陳寶箴 江西人 光緒十六年十月補

湖南按察使沈晉祥 浙江人 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補

廣西按察使湯聘珍 湖南人 光緒十六年四月補

四川按察使德壽 漢軍後旗人 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓英 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森 廣東人 光緒十六年四月補

943 光緒十六年十月二十四日內閣奉

上諭浙江海門鎮總兵員缺著楊岐珍調補陳永春著補授浙江定海鎮總兵欽此

944 查浙江海門鎮總兵係水兼陸缺謹

奏

945 光緒十六年十月二十四日內閣奉

上諭興廉游百川奏全漕告竣請將出力員弁獎勵及改獎人員各摺片本年江蘇等省海運河運漕

白糧米豆石先後抵通經興廉等督率坐糧廳等  
驗收完竣辦理均無貽誤興廉游百川均著交部  
議敘所保出力及改獎各員著該部議奏單三件  
片一件併發欽此

946

據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

十月二十七日

947 光緒十六年十月二十八日內閣奉

上諭馬丕瑤奏崇善等州縣民力竭蹶請將地丁兵  
米分別蠲緩帶徵一摺廣西太平等府屬或耕種  
失時或元氣未復地方情形仍屬拮据若將應徵  
地丁兵米照常徵收民力實有未逮加恩著照所  
請所有太平府屬之崇善養利思恩府屬之遷江  
三州縣應徵光緒十六年錢糧著各蠲免十分之  
三其餘七分歸入本年啟徵南甯府屬之永瀉一

縣應徵光緒十六年錢糧著以七分歸入本年啟  
徵其餘三分分限三年帶徵桂林府屬之臨桂靈  
川潯州府屬之桂平等三縣應徵光緒十六年錢  
糧著各以八分歸入本年啟徵其餘二分分限三  
年帶徵鬱林州屬之北流陸川二縣應徵光緒十  
六年錢糧著各以九分歸入本年啟徵其餘一分  
分限三年帶徵永瀉臨桂靈川等三縣均有緩徵  
光緒十五年錢糧著俟帶徵光緒十五年錢糧限  
滿後接續帶徵桂平北流陸川等三縣並無緩徵  
光緒十五年錢糧著自光緒十七年起分限三年  
帶徵崇善縣應徵光緒十六年兵米著蠲免十分  
之三其餘七分歸入本年啟徵永瀉縣應徵光緒  
十六年兵米著以七分歸入本年啟徵其餘三分  
分限三年帶徵臨桂靈川桂平等三縣應徵光緒  
十六年兵米著各以八分歸入本年啟徵其餘二  
分分限三年帶徵永瀉臨桂靈川等三縣均有緩  
徵光緒十五年兵米著俟帶徵光緒十五年兵米  
限滿後接續帶徵桂平縣並無緩徵光緒十五年  
兵米著自光緒十七年起分限三年帶徵以上各

州縣光緒十五年錢糧銀米應歸光緒十六年帶  
徵者著展至光緒十七年啟徵遞行推緩一年以  
紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃徧行  
曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民  
艱至意該部知道欽此

948 光緒十六年十月二十八日奉  
旨戶部議奏欽此

理藩院奏烏蘭哈達稅員世隆虧蝕銀如何賠補請 旨摺

949 光緒十六年十月二十九日奉  
旨依議欽此

步軍統領衙門奏請等職限滿未獲請 旨懲處摺

950 光緒十六年十一月初二日內閣奉

上諭工部尚書潘祖蔭學問淵通才猷練達於成豐年間由翰林入直南書房垂四十年勤勞最著恩愛先朝如遇疊掌文衡薦升卿貳朕御極後優加倚畀擢任正卿加太子少保銜在軍機大臣上行走丁憂服闋補授工部尚書並兼管順天府府尹加太子太保銜本年近畿水災盡心籌畫勞瘁不辭前以偶染微疴賞假調理遽聞溘逝軫惜殊深著賞給陀羅經被派貝勒載澄帶領侍衛十員即日前往奠醊賞銀二千兩治喪由廣儲司給發加恩晉贈太子太傅照尚書例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊弟潘祖年著賞給郎中分部學習行走伊子潘樹華著賞給舉准其一體會試其靈柩回籍時著沿途地方官妥為照料用示朕篤念蓋臣至意欽此

951 同治四年十一月十一日內閣奉

上諭禮部尚書李棠階植品端方持躬清正由道光年間翰林屢掌文衡歷升卿寺朕御極以來復加

簡任洵擢正卿令在軍機大臣上行走夙夜宣勞克盡厥職昨因微疾賞假調理方冀速痊長資倚畀遽聞溘逝悼惜殊深著賞給陀羅經被派郎王衍貝勒載治帶領侍衛十員即日前往奠醊賞銀二千兩治喪由廣儲司給發加恩晉贈太子太保照尚書例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏伊子李洵著賞給郎中俟服闋後分部學習行走伊孫李續午著俟及歲時帶領引見其靈柩回籍時仍著沿途地方官妥為照料用示朕篤念耆臣至意欽此

952 同治六年十月十四日內閣奉

上諭都察院左都御史汪元方品端學粹辦事勤能由道光年間翰林屢掌文衡薦升卿寺朕御極以來迭加簡任擢至都察院左都御史復令在軍機大臣上行走夙夜宣勞克盡厥職前因患病兩次賞假調理方冀速痊長資倚畀遽聞溘逝軫惜殊深著賞給陀羅經被派郎王衍貝勒載治帶領侍衛十員即日前往奠醊賞銀二千兩治喪由廣儲

司給發加恩晉贈太子少保照尚書例賜卹任內一切處分尋開復應得卹典該衙門察例具奏伊子恩鹽生汪樹屏著賞給舉人准其一體會試監生汪樹堂著賞給員外郎俟服闋後分部學習行走監生汪樹廷著俟及歲時帶領引見其靈柩回籍時著沿途地方官妥為照料用示朕篤念耆臣至意欽此

953 光緒七年正月初三日內閣奉

上諭協辦大學士兵部尚書沈桂芬清慎忠勤老成端恪由翰林薦升卿貳外任封疆同治年間入參樞務擢任正卿朕御極後重加倚任晉協給廩辦理一切事宜均能殫心竭力勞瘁不辭前因偶患微疴賞假調理遽聞溘逝震悼實深著賞給陀羅經被派貝勒載漪帶領侍衛十員即日前往奠醊加恩晉贈太子太傅照大學士例賜卹入祀賢良祠任內一切處分悉予開復賞銀二千兩治喪由廣儲司給發應得卹典該衙門察例具奏靈柩回原籍時沿途地方官妥為照料伊子沈文燾著賞

給舉人准其一體會試伊孫一品廕生沈錫珪著賞給郎中用示篤念耆臣至意欽此

954 光緒十六年十一月初一日內閣奉

上諭廣東瓊州鎮總兵員缺著陶定昇補授欽此

955 查廣東瓊州鎮總兵係水師缺謹奏

956 吏部候補員外郎多培

硃○旨著以知府發往山東補用

957 吏部候補員外郎多培旨著以郎中升用

958 光緒十六年十一月初二日奉

旨金昌著交兵部帶領引見欽此

兵部奏據覆江甯將軍奏已革協領金昌恭達

恩招應作何辦理請

旨摺

959 光緒十六年十一月初二日奉

旨蔭漢文蔚均著准其開復原官欽此

兵部奏伍領蔭漢等可否開復原官請旨

960 軍機大臣 字寄

奉天府府尹興 光緒十六年十一月初三日奉

上諭崇善奏奉天府府尹興陞由京回任定准十月

二十四日辰刻於過境時跪請聖安是日興陞抵

境後經該副都統兩次派員往催許久始出有違

體制等語著興陞明白回奏原摺着鈔給閱看將

此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

961 光緒十六年十一月初三日內閣奉

上諭工部尚書著祁世長補授都察院左都御史著

孫家鼐補授欽此

962 應調漢尚書名單

協辦大學士吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書李鴻藻

兵部尚書許庚身

刑部尚書孫毓汶

963 應升漢尚書名單

○ 都察院左都御史祁世長

○ 吏部左侍郎許應駁

○ 右侍郎孫家鼐

○ 戶部左侍郎~~許~~經 現在請假

○ 右侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

○ 禮部左侍郎徐郁

○ 右侍郎廖壽恆 現兼署兵部左侍郎現在請假

○ 兵部左侍郎洪鈞 現在出差

○ 右侍郎白桓

○ 刑部左侍郎薛允升

○ 右侍郎周德潤 現出學差

○ 工部左侍郎汪鳴鑾

○ 右侍郎徐樹銘

○ 倉場侍郎游百川



964 光緒十六年十一月初四日内閣奉  
上諭李鴻藻著充會典館副總裁欽此

965 應

派會典館副總裁名單

協辦大學士戶部尚書福錕

禮部尚書崑岡

硃

李鴻藻

刑部尚書孫毓汶

工部尚書熙敬

祁世長

理藩院尚書松森

都察院左都御史賈恆 現在出差

孫家鼎

吏部左侍郎松淮 現署都察院左都御史

許應駁

右侍郎敬信

戶部左侍郎續昌 現在請假

孫詒經 現在請假

右侍郎崇禮 現在請假

徐用儀 現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎文興

徐鄰

右侍郎景善

廖壽恆 現兼署兵部左侍郎

兵部左侍郎師曾

右侍郎巴克坦布

白桓

刑部左侍郎桂全

薛允升

右侍郎清安

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎豐熈

徐樹銘

理藩院左侍郎鳳鳴

右侍郎慶福

內閣學士祥麟 現在請假

文治

霍穆歡

愛康

李端茶

陳學茶

李文田

都察院左副都御史奕年

奕秋

沈源深 現在出差

徐致祥

宗人府府丞錢應溥 現署都察院左副都御史

詹事府詹事志銳

966 光緒十六年十一月初四日內閣奉

上諭祁世長著兼管順天府府尹事務欽此

967 應

派兼管順天府府尹名單

戶部尚書翁同龢

兵部尚書許庚身

硃。

刑部尚書孫毓汶

工部尚書祁世長

都察院左都御史孫家鼎

吏部左侍郎許應駁

戶部左侍郎孫貽經 現在請假

右侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎徐郁

右侍郎廖壽恆 現兼署兵部左侍郎

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎徐樹銘

968 光緒十六年十一月初四日內閣奉

上諭浙江杭嘉湖道員缺著王祖光補授欽此

969 查浙江杭嘉湖道係衝疲難要缺謹

奏

970 光緒十六年十一月初五日內閣奉

上諭徐郁著調補吏部右侍郎禮部左侍郎著廖壽  
恆轉補錢應溥著授禮部右侍郎欽此

971 應調漢侍郎名單

吏部左侍郎許應駁

戶部左侍郎孫詒經 現在請假

右侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎徐郁

右侍郎廖壽恆 現兼署兵部左侍郎

兵部左侍郎洪鈞 現在出差

右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

右侍郎周德潤 現出學差

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎徐樹銘

倉場侍郎游百川

972 應升漢侍郎名單

內閣學士錢桂森 現出學差

李端棻

陳學棻

李文田

都察院左副都御史沈源深 現在出差

徐致祥

硃。宗人府府丞錢應溥 現署都察院左副都御史

通政使司通政使黃體芳

詹事府詹事龍湛霖 現出學差

973 軍機大臣 字寄

戶部 大學士直隸總督一等肅毅伯李 署

兩江總督安徽巡撫沈 閩浙總督兼管福建

巡撫卞 江蘇巡撫剛 江西巡撫德 河南

巡撫裕 湖北巡撫譚 山東巡撫張 傳諭

護理安徽巡撫布政使阿 淮安關監督世綱

光緒十六年十一月初七日奉

上諭裕祿等奏請飭撥東三省來年的餉並請催欠

餉一摺東三省辛卯年的餉應撥奉天銀二十六萬兩吉林銀十一萬八千兩打牲烏拉銀三萬七千四十九兩零著戶部照數指撥令各該省督撫等如數籌解毋許延延並於報解之時分晰奉天吉林打牲烏拉各款目以免牽混至所奏黑龍江的餉請俟該省咨報到日徑行彙撥等語著戶部速議具奏其直隸等省欠解東三省本年的餉暨恩平欠餉著李鴻章沈秉成卡寶第剛毅德馨裕寬譚繼洵張曜阿克達春世綱按照單開數目趕緊籌措務於年內場數解清以濟要需原單均著鈔給閱者將此諭知戶部並由四百里諭知李鴻章沈秉成卡寶第剛毅德馨裕寬譚繼洵張曜並傳諭阿克達春世綱知之欽此遵

旨寄信前來

974 光緒十六年十一月初七日內閣奉

上諭錢應溥現已補授禮部右侍郎其所署都察院左副都御史著黃體芳署理欽此

975 應署漢左副都御史名單  
通政使司通政使黃體芳  
太常寺卿壽昌

順天府府尹陳彝  
太僕寺卿張蔭桓

976 光緒十六年十一月初七日內閣奉

上諭戶部左侍郎孫詒經由翰林薦升卿貳曾在南書房行走疊掌文衡克勤厥職前因患病賞假調理茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

977 光緒十六年八月初七日內閣奉

上諭吳元炳奏學政因病出缺代遞遺摺一摺吏部右侍郎夏同善學問優長持躬恪謹由翰林薦躋卿貳疊司文柄曾在毓慶宮行走光緒四年簡任江蘇學政克盡厥職茲聞溘逝軫惜殊深夏同善著加恩照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復

應得卹典該衙門察例具奏伊子刑部候補主事夏敦復著賞給舉人准其一體會試夏偕復著俟及歲時由吏部帶領引見欽此

978 光緒九年十月二十日內閣奉

上諭前任禮部左侍郎殷兆鏞由翰林薦陞御貳在上書房行走有年疊掌文衡克勤厥職前因患病准其開缺回籍茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

979 光緒十六年十一月初七日內閣奉

上諭潘蔚奏特參貪鄙不職各員一摺貴州青谿縣知縣張偉堂行同市儈罔上營私試用通判鄧良成假公濟私辦事顛預施秉縣知縣吳鏡澄居心苛刻民怨沸騰都江通判翟益章性情輕浮操守不謹候補知州鄒國相操守平常輿情不洽均著即行革職鎮甯州知州彭啟商庸懦無能難膺民社惟文理尚優著以教職歸部銓選思南府經歷

凌蓉輕浮嗜利有玷官箴候補州同袁文芳性情浮躁惟利是圖四十八溪主簿劉鳳麟居心貪鄙聲名平常洪州司吏目楊開昌擅受民詞藉案漁利均著一併革職以肅官方餘著照所議辦理該部知道欽此

980 光緒十六年十一月初七日奉

旨著添派徐桐敬謹承修欽此

解書奏請 派員承修 祈年殿工程摺

981 大學士張之萬

協辦大學士吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書李鴻藻

兵部尚書許庚身

刑部尚書孫毓汶

工部尚書祁世長

都察院左都御史孫家鼐

吏部左侍郎許應駁

右侍郎徐郵

戶部右侍郎徐用儀

禮部左侍郎廖壽恆

右侍郎錢應溥

兵部右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎徐樹銘

應調漢侍郎名單

吏部左侍郎許應駿

右侍郎徐郿

戶部右侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎廖壽恆 現兼署兵部左侍郎

右侍郎錢應溥

兵部左侍郎洪鈞 現在出差

右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

右侍郎周德潤 現出學差

工部左侍郎汪鳴鑾 現在請假

硃。

右侍郎徐樹銘

倉場侍郎游百川

983 應升漢侍郎名單

內閣學士錢桂森 現出學差

李端棻

陳學棻

李文田

都察院左副都御史沈源深 現在出差

徐致祥

通政使司通政使黃體芳

詹事府詹事龍湛霖 現出學差

984 光緒十六年十一月初八日內閣奉

上諭李鴻章奏特參庸劣不職各員一摺直隸晉州知州胡振書居心巧滑捕務廢弛肥鄉縣知縣方俊南才識庸闇聽斷草率前署廣宗縣事候補知縣蒯鶴齡操守平常行同市儈均著即行革職阜城縣知縣胡進異丁役朦蔽聽訟無能惟文理尚

優著以教職歸部選用任邱縣知縣林穗性偏才拙難膺繁劇著以簡缺酌量另補永平府同知希拉本年力就衰心地糊塗安平縣知縣阮恩光辦事竭蹶衰罷不振均著以原品休致餘著照所議辦理該部知道欽此

985 光緒十六年十一月初八日內閣奉

上諭張煦奏特參庸劣不職各員一摺湖南鳳凰廳同知鄧子駿因循關葺操守平常前署龍山縣事候補知縣吳紹先性情狡猾科罰營私湘潭縣縣丞張凌雲擅受滋擾不恤輿情長沙縣橋頭巡檢周化南性情乖謬擅受擾民慈利縣九谿巡檢徐治擅受科斂物議沸騰辰谿縣黃溪巡檢陳兆鵬擅理民詞縱丁索擾湘潭縣訓導周步衢遇事招搖不知自愛善化縣典史黃國忠沾染嗜好捕務懈弛均著即行革職清泉縣知縣顧汝熊識淺才疏難膺民社著以府經歷歸部銓選瀘谿縣知縣梁華齡才具庸闇馭下不嚴惟文理尚優著以教職歸部銓選試用縣丞王炳辦事羸率不知遠嫌

著以吏目歸部銓選餘著照所議辦理該部知道欽此

986 交順天府本日軍機大臣面奉

諭旨御史文杰奏大興縣門丁陳斌等串同書吏金巨川等皂役邵福等朦官舞弊狼狽為奸請飭驅逐逃籍等語著祁世長陳彝確切查明如果屬實即行懲辦原摺著抄給閱看欽此相應傳知貴衙門欽遵辦理可也此交

十一月初八日

987 滿頭班

- 三品銜即選道戶部郎中如松
- 四品銜刑部員外郎桂春
- 戶部員外郎和爾慶額
- 四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽
- 四品銜理藩院即補郎中志樸
- 兵部候補員外郎惠兆
- 四品銜禮部員外郎即補郎中魁麟

理藩院題署主事豐陞阿

理藩院員外郎承佑

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼騎都尉世職金保泰

兵部郎中即遷知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王儼

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部員外郎即補郎中胡寶鐸

吏部候補主事徐士佳

戶部即補主事陳熾

四品銜工部候補員外郎繼昌

滿二班

四品銜通政使司參議望岫

戶部員外郎即補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎即補郎中奎華

四品銜戶部員外郎即補郎中廷祉

四品銜刑部即補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事特圖慎

四品銜兵部郎補主事穆克登額

內閣候補侍讀崇林

戶部筆帖式即補主事兼雲騎尉世職慶達

侍讀銜內閣中書即補侍讀崇需

漢二班

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部員外郎徐迪新

刑部員外郎 記名御史陳芾棠

刑部員外郎 記名御史易俊

刑部員外郎 記名御史馮錫仁

員外郎銜吏部主事孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部候補主事李蔭鑾

988 光緒十六年十一月初九日奉

旨黃窩翰著以道員用欽此

戶部奏遵諭知府黃窩翰捐銀兩請獎摺



989 光緒十六年十一月初九日奉

旨依議欽此

戶部奏已革書吏恩濟折銀請發還片

990 查軍機章京宗人府府丞錢應溥現在蒙

恩補授禮部左侍郎所遺章京一缺應以額外行走

之刑部候補主事李蔭鑾充補並添傳

記名在前之吏部候補主事王嘉禾在額外行走謹

奏

光緒十六年十一月初九日奉

旨知道了欽此

991 光緒十六年十一月十二日內閣奉

上諭廖壽恆著調補戶部左侍郎兼管三庫事務錢

應溥著轉補禮部左侍郎禮部右侍郎著李文田

補授欽此

992 光緒十六年十一月十三日內閣奉

上諭怡親王載敦前於同治年間由奉恩鎮國公承

襲親王蒙

恩賞戴三眼花翎歷任內大臣都統閱兵大臣領侍衛

內大臣均能勤慎持躬恪恭盡職前因患病疊經

賞假調理並准其開去差使賞食半俸方冀調治

就痊長承恩眷茲聞溘逝悼惜殊深著賞給陀羅

經被派輔國公載澤即日帶領侍衛十員前往奠

醴加恩於例賞外賞銀一千兩經理喪事由廣儲

司給發任內一切處分悉予開復其餘飾終典禮

著該衙門察例具奏欽此

993 光緒二年四月二十日內閣奉

上諭睿親王德長前於同治年間承襲親王蒙

恩賞戴三眼花翎在御前行走歷任內大臣都統領侍

衛內大臣均能勤慎持躬恪恭盡職本月偶感風

寒賞假調理方冀調治就痊長承恩眷茲聞溘逝

悼惜殊深著賞給陀羅經被派惠郡王奕詳即日

帶領侍衛十員前往奠醴加恩於例賞外賞銀一

千兩經理喪事由廣儲司給發任內一切處分悉

予開復其餘飾終典禮著該衙門察例具奏欽此

994 光緒四年二月十八日內閣奉

上諭鄭親王慶至前於同治年間承襲親王蒙

恩賞戴三眼花翎恩任都統閱兵大臣總理行營事務

大臣均能勤慎持躬恪恭盡職前因患病賞假方

冀調治就痊長承恩眷茲聞溢逝悼惜殊深著賞

給陀羅經被派貝勒載溎即日帶領侍衛十員前

往奠醊加恩於例賞外賞銀一千兩經理喪事由

廣儲司給發所有任內一切處分悉予開復其餘

飾終典禮著該衙門察例具奏欽此

995 光緒十六年十一月十三日奉

旨著添派許應駁敬謹承修欽此

照敬奏請添派大員承修

東陵專案工程摺

996 大學士張之萬

協辦大學士吏部尚書徐桐

戶部尚書翁同龢

禮部尚書李鴻藻

兵部尚書孫庚身

刑部尚書孫毓汶

工部尚書祁世長

都察院左都御史孫家鼐

吏部左侍郎許應駁

右侍郎徐郁

戶部左侍郎廖壽恆現兼署兵部左侍郎

右侍郎徐用儀現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎錢應溥

右侍郎李文田

兵部右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎汪鳴鑾現在請假

右侍郎徐樹銘

997 光緒十六年十一月十四日內閣奉

上諭江蘇鎮江府知府員缺著王仁堪補授欽此

998 查江蘇鎮江府知府係衝繁疲難最要缺謹  
奏

999 光緒十六年十一月十四日奉

旨朱榮清著交吏部帶領引見欽此

國子監奏降調助教朱榮清恭送 恩詔可否

部引 見請 旨摺

1000 光緒十六年十一月十五日內閣奉

上諭光祿寺奏請簡員署理卿缺一摺光祿寺卿著

徐會灃署理欽此

1001 應署漢光祿寺卿名單

通政使司副使林維源 現辦臺灣墾撫事務

大理寺少卿楊頤 現出學差

太常寺少卿左念謙

鴻臚寺卿李端 現在監放粥廠

太僕寺少卿胡聘之 現在監放粥廠

內閣侍讀學士李鴻遠 現在監放粥廠

陳希齡

硃

1002 應署漢光祿寺卿名單

○ 詹事府少詹事徐會灃

翰林院侍讀學士朱琛

張英麟

惲彥彬

堂諭以後如應署有人此單不繕遞

1003 光緒十六年十一月十六日奉

旨本月十五日

麗皇貴太妃薨逝十八日朕親詣奠酒行禮大內

以下宗室以上並王公文武官員著於是日素服

一日欽此

1004 光緒十六年十一月十六日奉

旨著加賞五次欽此

內務府奏 麗皇貴太妃薨逝

金棺在吉安所暫安時是否擇某 賞經片

1005 光緒十六年十一月十六日奉

旨依議欽此

內務府奏 麗皇貴太妃薨逝初祭二祭各日期事宜摺

1006 光緒十六年十一月十六日奉

旨依議欽此

內務府奏 麗皇貴太妃薨逝可否令

僧眾施食片

1007 臣等遵查同治五年十一月初七日明善奏

琳皇貴太妃薨逝應行事宜摺單一件奉

旨依議又奏可否令僧眾施食片奉

旨著於吉安所宮門外放施食一壇又奏奉移田村後

可否續行念經片奉

旨著於奉移田村後續行念經五次又查初八日早事

禮部奏請輟朝三日奉

旨輟朝五日並查初十日奉

旨王公文武百官本月十二日素服又查乾隆年間

皇貴太妃喪儀事宜三條一併恭錄呈

覽再查咸豐十年

如皇貴太妃薨逝軍機處冊檔內並無明發

諭旨謹

奏

1008 同治五年十一月初十日奉

旨前因

琳皇貴太妃薨逝當經降旨輟朝五日大內以下

宗室以上並王公文武官員著於本月十二日素

服一日是日不祭神欽此

1009 乾隆八年四月初一日

壽祺皇貴太妃薨禮部以輟朝五日具奏奉

旨輟朝十日

高宗純皇帝冠摘纓緯祭酒行禮

1010 乾隆三十三年三月十四日

溫惠皇貴太妃薨

高宗純皇帝輟朝五日親詣祭酒行禮

1011 乾隆四十九年十二月十七日

裕皇貴太妃薨禮部奏請輟朝三日奉  
旨不必輟朝

高宗純皇帝親詣祭酒行禮

1012 光緒十六年十一月十七日奉

旨輟朝五日欽此

禮部奏麗皇貴太妃薨應否輟朝請

旨摺

1013 光緒十六年十一月十七日奉

旨毋庸齋集欽此

禮部奏怡親王載敦薨應否齋集請

旨摺

1014 光緒十六年十一月十七日奉

旨依議欽此

戶部奏遵撥東三省米年的餉摺

1015 軍機大臣 字寄

福州將軍直隸兩江湖廣閩浙兩廣四川江蘇  
安徽江西福建浙江湖北湖南河南山東山西  
廣東各督撫 傳諭粵海關淮安關各監督

光緒十六年十一月十八日奉

上諭戶部奏豫撥來年京餉一摺歷屆京餉均係年  
前豫撥光緒十七年京餉該部擬在地丁鹽課等  
款內指撥銀七百萬兩請飭各該省關於來年分  
批起解等語京餉關係緊要現經該部就各省關  
情形酌量指撥自應遵照奏定數目源源報解以  
應需著該將軍督撫監督等務於接到部文後  
分批趕解限於來年五月前解到一半十二月初  
間全數解清不准截留改撥藉詞延誤儘屆限不  
到即著該部照奏定章程指名嚴參原單均著鈔  
給閱看另片奏光緒十七年內務府經費擬撥鹽  
課茶稅等款共銀六十萬兩請飭依限完解等語  
除閩海關常稅銀十萬兩應徑解北洋並各省關  
應還部庫墊放銀二十萬九千二百餘兩應由指  
撥各款內勻解部庫外下餘銀二十九萬七百餘

兩著該將軍督撫監督等務於來年開印後陸續  
徑解內務府交納仍限六月前解到一半十二月  
初間端數解清不准稍有蒂欠原片單並著鈔給  
閱看將此由五百里諭知福州將軍直隸兩江湖  
廣閩浙兩廣四川江蘇安徽江西福建浙江湖北  
湖南河南山東山西廣東各督撫並傳諭粵海關  
淮安關監督知之欽此遵  
旨寄信前來

鈔交戶部

1016 軍機大臣 字寄

福州將軍 兩江湖廣閩浙兩廣各總督 江  
蘇安徽江西浙江湖北福建廣東各巡撫 傳  
諭粵海關監督 光緒十六年十一月十八日奉  
上諭戶部奏豫撥籌邊軍餉一摺據稱辛卯年籌邊  
軍餉共指撥銀二百萬兩請飭依限報解等語此  
項餉銀關繫緊要著該將軍督撫監督等按照指  
撥銀數於來年四月前解到一半十月內全數解  
清毋稍遲逾餘依議原摺單均著鈔給閱看將此

由四百里諭知福州將軍兩江湖廣閩浙兩廣江  
蘇安徽江西浙江湖北福建廣東各督撫並傳諭  
粵海關監督知之欽此遵  
旨寄信前來

鈔交戶部

1017 光緒十六年十一月十八日內閣奉

上諭阿克達春奏查明各屬秋禾歉收酌擬徵緩錢  
糧一摺安徽泗州等屬本年春夏間晴雨未勻復  
因水衝沙壓秋收歉薄並有被旱被風被蟲之處  
若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮加恩著  
照所請所有情形較重泗州之舊虹鄉通境新漕  
並災緩舊欠漕米概行緩徵及輕重不等之靈璧  
鳳臺盱眙五河望江南陵鳳陽並臨淮鄉定遠東  
流懷遠渦陽青陽合肥宿州天長全椒廬江壽州  
阜陽霍邱銅陵建德蕪湖來安懷甯宿松當塗無  
為巢縣亳州潛山貴池繁昌和州含山等三十五  
州縣並建陽安慶廬州鳳陽長淮泗州等六衛嵌  
坐該州縣屯田及桐城縣蘆洲均勘不成災內除

懷甯潛山宿松三縣光緒八年沙壓田畝無徵外其餘同各屬應徵本年民衛丁漕蘆課等款銀米別熟徵收內五河縣商稅望江縣漁課學因藉等租宿州商稅場租天長縣秋糧宿松縣漁課商稅學因藉等租均著照常徵收又望江縣蘆課上忙別徵下忙全緩宿松縣蘆課除上忙已徵造報外餘均著緩徵其勘不成災各屬各保內本年無收民田五萬四千三百九十三項九十七畝零應徵地獄存俸驛站米麥豆折漕倉項等銀二十一萬六千六百三十九兩零漕南兵孤米麥四萬六千六百二十二石零又牧馬廠租雜辦等銀三千八百五十兩零又外衛屯田一千二百七十一項二十六畝零應徵屯折漕項津貼等銀八十四十四兩零又省衛屯田二千二百三十項二十一畝零應徵屯畝貢舫漕項米豆折津貼等銀八千六百四十六兩零兵匠屯撫等米八千二百一十一石零又屯運等田一千四十項七十畝零應徵漕項津貼等銀一千四百七十一兩零又蘆洲一萬一千八百項二十六畝零應徵蘆課銀二萬六千四百

六十六兩零又建陽安慶廬州鳳陽長淮泗州等六衛內泗州衛屯田坐落江蘇省高郵寶應二州縣境內本年緩徵田畝著分別歸入本年下半年及來年奏銷以前查辦造報所有本年無收屯田一千七百十六項八十六畝零應徵銀九千三百一十五兩零又蘆洲九百七十九項三十七畝零應徵銀一千五百二十一兩零均著緩至光緒十七年察看情形分別啟徵至被災較重之泗州並舊虹鄉暨情形亦重及輕重不等之靈璧等三十五州縣及建陽安慶廬州鳳陽泗州長淮等六衛嵌坐各該州縣屯田勘不成災保內未經被災之成熟田地應徵十四十五年舊欠銀米著分別啟徵並別熟啟徵新賦其各州縣衛光緒十四十五年兩年災緩民衛各款銀米及桐城縣原緩光緒十五年蘆課著隨同本年勘不成災及被災輕重不等之各保內荒歉田畝一律緩徵以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻勝黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念歉區至意該部知道欽此

1018 光緒十六年十一月十八日內閣奉

上諭阿克達春奏查明各屬秋禾歉收請分別徵緩  
漕糧開單呈覽一摺本年安徽泗州等屬自春徂  
夏晴雨未勻復因山水下注江湖並漲田禾被淹  
並有被旱被風被蟲之處收成歉薄若將應徵漕  
糧照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有  
被水受旱被風情形較重泗州之舊虹鄉通境新  
舊漕糧同靈璧鳳臺盱眙五河望江南陵定遠東  
流懷遠渦陽青陽合肥宿州天長廬江壽州阜陽  
霍邱銅陵建德蕪湖懷甯宿松當塗無為巢縣毫  
州潛山貴池繁昌等三十州縣內除懷甯潛山宿  
松三縣光緒八年沙壓田畝無徵外其餘同靈璧  
等州縣勘不成災保內歉收田畝應徵新漕及  
光緒十四十五年災緩舊欠漕米均著分別緩  
徵其未被災之桐城太湖宣城涇縣甯國旌德太  
平舒城潁上蒙城太和六安英山霍山廣德建平  
等十六州縣內除太湖英山二縣光緒八年沙壓  
田畝無徵外其餘同桐城等州縣熟田新漕並靈  
璧等三十州縣有收保內應徵本年新漕仍著照

常徵收內太和廣德二州縣帶徵光緒十五年熟  
田舊欠漕米餘悉查照地丁一律辦理以紓民力  
該撫即刊刻謄黃並將單內所開區圖村莊分晰  
徵緩詳細刊明徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏  
胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該  
部知道單併發欽此

1019 光緒十六年十一月十八日內閣奉

上諭裕祿等奏查明廣甯開原兩屬濱河旗界地畝  
被水歉收請分別蠲緩錢糧一摺奉天廣甯縣開  
原縣旗地本年夏間雨水過多沿河地畝被淹秋  
成均形歉薄若將應完錢糧照常徵收民力實有  
未逮加恩著照所請所有廣甯縣正黃旗界雙坨  
子等十三村屯紅冊地三萬二千五百九十六畝  
零著蠲免正賦錢糧十分之九其餘一分緩至  
光緒十七年秋季帶徵大五台子等十村屯餘租  
地一萬零二百七十六畝著蠲免原租十分之四  
其餘六分分作三年帶徵又被災次重之廣甯正  
黃旗界吳巴什仗等十四村屯紅冊地一萬八千



一百四十畝零廣甯白旗堡界遠都牛菜堡等八十村屯紅冊地二十四萬一千零六十九畝零均著蠲免正賦錢糧十分之七其餘三分緩至光緒十七年秋季帶徵大紅旗堡等二十二村屯餉租地三萬四千四百十畝零鯽魚泡等二十九村屯升科地一萬九千九百三十二畝零蓮花泡屯伍田二千九百九十二畝均著蠲免原租十分之二其餘八分分作三年帶徵又被災稍輕之廣甯白旗堡界莊家窩棚等四十四村屯紅冊地八萬三千五百十四畝零著蠲免正賦錢糧十分之五其餘五分緩至光緒十七年秋季帶徵開原鎮藍旗界六家子等六屯伍田一萬七千四百九十二畝零著蠲免原租十分之一其餘九分分作二年帶徵又被災較輕之廣甯白旗堡界馮家窩棚等二十九村屯紅冊地三萬一千五百五十四畝零著蠲免正賦錢糧十分之三其餘七分緩至光緒十七年秋季帶徵以上應緩之正賦原租如有經徵在官者准抵作次年正賦以紓民力餘著照所議辦理該將軍等即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠

均霑毋任吏胥舞弊用副軫念災區至意該部知道欽此

1020 光緒十六年十一月十八日內閣奉

上諭張曜奏查明各屬被災懇恩蠲緩新舊錢漕一摺山東濟南各州縣早晚秋禾或因黃流漫溢或被水早為災沿河一帶並有坍塌沙壓隄險佔空地畝收成均形歉薄若將應徵錢漕照常徵收民力實有未逮如恩著照所請所有被水成災最重之齊東縣方四等里在城等五十九村莊齊河縣張村地方高家套等八十二村莊禹城縣東辛莊等一百五十七村莊長清縣趙保等里董家橋即土山頭等七十六村莊惠民縣網字等約田家莊等四百六十一村莊青城縣馬札子家等七十七村莊陽信縣美化等鄉西揚莊等二百七村莊樂陵縣鐵家營等五十村莊商河縣隆二等鄉侯莊等二十村莊濱州小街等六十七村莊利津縣東鄉小集等境新小街等七十七村莊蒲臺縣仁字等鄉馬家廟等一百四村莊又隄外被水仁字等

鄉朱家莊等六村莊及光緒十四年查辦取土溝塘水冲沙歷各地故濮州北舊城等里馮家莊等一百四十六村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀學租地租民佃鹽課等項及例不徵漕被水之海豐縣棗園等堆棗園莊等一百五十三村莊齊河縣併衛黃標地方黃莊等二十九屯莊長清縣併衛擔屯等里龍王廟等二十二村莊本年錢糧漕倉民佃鹽課等項並齊東齊河禹城惠民青城陽信海豐商河濱州利津蒲臺濮州等州縣及齊河縣併衛今春青黃不接案内原緩上忙新賦均著一律全行蠲免各州縣衛如有未奉蠲免之先溢完蠲額銀兩查明流抵次年正賦又被水成灾十分之齊河縣三官廟地方西周莊等一百三十九村莊臨邑縣馮家井等十六村莊平陰縣城西等里前阮二莊等七十七村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀學租等項及例不徵漕被水之霑化縣皮店等里東店等十三村莊內原報沙歷地故復被水灾齊河縣併衛黃標地方赫莊等三十九屯莊本年錢糧漕倉民佃鹽課等項並永利場電戶

李莊等十四村莊本年電課及齊河臨邑平陰霑化齊河縣併衛永利場等處今春青黃不接案内原緩上忙新賦著照例蠲免十分之七又被水成灾九分之壽張縣子房墓等一百八十六村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀及今春青黃不接案内原緩上忙新賦著照例蠲免十分之六又被水被沙成灾八分之歷城縣東紙坊等三十五村莊被水之章邱縣正二里穆張莊等二十一村莊齊河縣張村地方李官屯等一百八十六村莊濟陽縣淑約前周家樓等一百七十八村莊禹城縣大劉莊等十五村莊長清縣盧保等里褚家集等九村莊東平州智遠等保北王家莊等一百三十九村莊東阿縣白洋等村楊家莊等二百三十八村莊平陰縣城西等金南土樓等二十一村並應徵本年錢糧漕米漕倉河銀學租等項及例不徵漕被水之東平所北張屯等四屯豆腐營等二十一屯莊齊河縣併衛苗屯等里西廐莊等五村莊及歷城縣併衛本年錢糧倉項又歷城章邱齊河禹城

東平東河平陰齊河併衛東平所等處今春青黃不接案內原緩上忙新賦著照例蠲免十分之四又被水成災七分之臨清州會三里張家窩等十三村莊濟陽縣溫約王家莊等一百八十六村莊臨邑縣史家莊等一百一村莊肥城縣孝山等杜安道口等三十九村莊壽張縣蔡家樓等一百三十八村莊范縣大渚潭里香佃王莊等五十六村莊被水被沙之朝城縣在二等里羅家樓等三十村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀等項及例不徵漕被水之霑化縣陸舖等里白衣廟等三十五村莊內原報沙壓地畝復被水災並臨清州籽粒地畝應徵本年錢糧倉項民佃鹽課及臨清衛生落臨清州境內陳五等五屯莊本年錢糧漕倉永利場陳家莊等十一村莊本年竈課濟陽縣併衛錢糧及臨邑肥城壽張范縣朝城霑化永利場等處今春青黃不接案內原緩上忙新賦著照例蠲免十分之二又被水成災六分之章邱縣正一里大寨等二十五村莊臨邑縣孟家莊等三百二十一村莊東平縣智遠等保解家樓等及義方等保

米家橋等一百十三村莊商河縣順六等鄉胡樓等一百七十七村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀等項及例不徵漕之博興縣東姑等鄉長套等五十二村莊高苑縣南三約開莊等三十村莊壽光縣仁義等鄉寒橋等五十八村莊本年錢糧漕倉民佃竈課鹽課等項東平所北張屯等二屯安山鎮安山街等九村莊本年錢糧王家岡場坐落博興縣境內之王文等三村莊本年竈課及章邱臨邑東平商河博興高苑壽光東平所王家岡場等處今春青黃不接案內原緩上忙新賦又被水成災五分之濱州西路正石莊等九十六村莊蒲臺縣隄外信字等鄉後岳家等五村莊朝城縣在一等里渠店等四十六村莊應徵本年錢糧漕米漕倉等項及例不徵漕被水之樂安縣崇一等保周家樓等一百三十村莊濰縣馬頭等社南新莊等三十三村莊本年錢糧倉項民佃王家岡場侯辛莊等二十七村莊本年竈課及濱州朝城樂安濰縣王家岡場今春青黃不接案內原緩上忙新賦均著照例蠲免十分之一各州縣衛所鹽場蠲

騰錢糧漕米均著緩至光緒十七年秋後如原報成災十分九分八分者分作三年帶徵七分六分五分者分作二年帶徵以上共蠲緩正銀十六萬八千六百四十三兩零米三萬三千七十六石零其有未奉蠲免之先溢完蠲額銀兩查明流抵次年正賦至各該州縣衛所場窰凡有光緒十五年未完民欠及因災蠲騰原緩錢糧漕米漕倉河銀地租學租民佃鹽課窰課等項均著緩至光緒十七年秋後放徵又被水勘不成災較重之臨清州會三里李家莊等五十六村莊濟甯州黑土店地方本店等九十村莊被水並沙壓坍塌隄佔之歷城縣丁家莊等八十一村莊又按戶摘緩之馬家橋等一百六十二村莊內沙壓隄佔坍塌各地畝被水之章邱縣正三等里賈莊等十三村莊並光緒十四年報明之正一等里陳家莊等五十五村莊又本年續報之正八里胡家岸等四村莊沙隄佔坍塌土坑各地畝鄒平縣長三等里上口莊等四十村莊並新挑小清河佔壓地畝長山縣循牆等約馬營莊等七十一村莊及東西唐口允和

莊等三村莊內小清河佔壓地畝新城縣姚郭莊等二十二村莊齊東縣齊一等里寄駕塚等三百三十六村莊並埕佔河佔隄壓沙壓坍塌各地畝齊河縣孟店地方老李莊等八十七村莊並沿河坍塌隄佔沙壓地畝濟陽縣平約前後喬家巷等二百七村莊並原續報坍塌埕佔沙壓各地畝禹城縣二都三里秦家店莊等二十七村莊並徒駭河隄壓地畝臨邑縣邢家辛莊等二十二村莊並沙壓隄佔地畝長清縣趙保等里孟家寨子等一百五十村莊及隄埕佔壓沙壓坍塌之趙保等里李家墮等一百八十村莊陵縣養二里孫家莊等三村莊德州正東七等保小劉莊等七十三村莊德平縣禹貢等鄉劉家西莊等一百一十一村莊內被水較重地畝肥城縣近鎮等社近鎮莊等七十村莊及坍塌隄佔沙壓各地畝東平州南辦智等保田家莊等二十三村莊並挑它阻水引河游灘沙壓各地畝東阿縣白洋等村錢家莊等一百二村莊及增埕隄河佔沙壓坍塌土塘各地畝平陰縣八里莊等里鄧家莊等三十村莊內沙壓地

畝又大義屯等里大義屯等七十二村莊內坍塌  
佔壓各地畝惠民縣網字等約陳家集等一百五  
十七村莊並隄佔沙壓坍塌水坑及續報加培隄  
稔佔壓坍塌各地畝青城縣胥家莊等二十村莊  
並隄佔取土各地畝陽信縣美化等鄉朱莊等四  
百七十四村莊樂陵縣辛莊等六十六村莊商河  
縣順一等鄉李美生莊等五百六十四村莊並徒  
駭河隄稔佔壓地畝濱州東路二十六七保籍莊  
等七十村莊並東路十保北鎮街等一百四村莊  
內新報兩岸掘毀稔佔坍塌各地畝又東路四保  
王蘭莊等二百五十村莊內原報增培兩岸隄稔  
幫寬佔壓地畝東路三保鄭莊等一百十五村莊  
內原報沿河佔壓坍塌地畝東路十一保時平莊  
等七村莊內原報北岸掘毀地畝西路七保侯至  
壘莊等一百一十村莊內原報沙壓沖刷坍塌地畝  
利津縣東南等鄉窩頭等境李家橋等一百三十  
五村莊並隄佔沙壓各地畝蒲臺縣仁字等鄉韓  
家等一百十七村莊並光緒十四年查辦增培隄  
稔佔壓水沖沙壓取土溝塘各地畝滋陽縣西辛

等社一甲孟家廟等三十四村莊曲阜縣東忠社  
錢家村等十五村莊鄒縣石里等社淵源等十八村  
莊滕縣仁五等保王家莊等六十九村莊汶上縣  
次邱等社鮑家樓等四十村莊陽穀縣東西更名  
等里雷家莊等五百五村莊並辛五都張垆堆等  
十七村莊挑河壓佔地畝壽張縣西影唐等二百  
五十五村莊聊城縣北七下里老柳頭等一百七  
十四村莊又被沙之一鄉里陳家海等二十六村  
莊堂邑縣普四里西街等六十一村莊博平縣鄭  
家營等五十一村莊荏平縣東五鄉姚莊等五十  
五村莊清平縣安一等里杜窪莊等三十二村莊  
莘縣剛字里念家樓等三十三村莊館陶縣東關  
等地方胡家屯等一百四十一村莊高唐州清路  
等路劉僧堂等四十三村莊恩縣吳小屯等一百  
三十五村莊被水被沙之荷澤縣許家都等八都  
前後五河圍等七十村莊被水之曹縣咸木等里  
曹莊等八十村莊鉅野縣北隅等保垆堆廟等七  
十村莊並黃水衝刷成溝之太平集地畝鄆城縣  
漢東里韓家莊等一百一十村莊濮州西崇興等里

田家莊等八百三十五村莊范縣大渚潭里陳家集等二百三十三村莊觀城縣召辛等里召張屯等二十三村莊朝城縣在一等里翟家莊等七十七村莊夏津縣南次等里三韓橋等二十四村莊武城縣南朱等里南關等一百五十五村莊金鄉縣北鄉古城方楊家集等二百三十四村莊魚臺縣弟等方彭家莊等二百九村莊應徵本年錢糧漕米漕倉河銀荒田馬場民佃鹽課蓋課房租學租竈地雜徵隄工捻工河工河灘地租湖租賃基籽粒等項及例不徵漕被水之霑化縣六鋪等里張家莊等九十七村莊內原報沙壓地畝復被水災又原報沙壓地畝之火把張莊等八村莊徒駭河南北兩岸坍塌地畝之流鐘鎮等四十八村莊被水被雹之沂水縣武家窪等四十村莊被水之博興縣東姑等鄉東關莊等九十九村莊樂安縣崇四等保袁家等一百三十九村莊壽光縣仁義等鄉新太平等六百九村莊昌邑縣永安等社永安莊等八十五村莊濰縣馬頭等社馬頭莊等十四村莊臨清州清平縣籽粒地畝聊城縣北民里

周店等五十九村莊本年錢糧漕倉民佃鹽課等項及東昌衛坐落濮范境內楊宣屯等二十八屯莊又坐落聊堂博境內河西北等三十三屯莊臨清衛坐落濟甯州境內劉官屯等四屯莊坐落滋陽縣境內高林屯一屯齊河縣併衛蠻子營等三十一屯莊長清縣併衛担屯等里取積店等四十九村莊及坍塌隄捻佔壓沙壓之担屯等里睦里莊等三十三村莊肥城縣併衛雷屯一屯及歷城濟陽併衛本年錢糧漕倉等項又官臺場西岔河等四十八村莊王家岡場李家宅等十村莊又民竈雜處之王道口等十村莊坐落博興縣之竈戶張等五村莊永利場呂王莊等八村莊永阜場坐落蒲臺縣之劉善人莊等三十六村莊又坐落榆樹圪塔岔魚嶺境內趙積善徐天全等灘池十四副本年竈課及以上濟甯等州縣衛所鹽場今春責黃不接案內原緩上忙新賦並光緒十五年未完民欠因災蠲贖原緩錢糧漕米漕倉河銀荒田馬場民佃鹽課學租地租湖租竈課等項均著緩至光緒十七年秋後啟徵又被水勘不成災較輕之

臨清州會二里護國寺等六十二村莊濟甯州登  
豐里等地方姜家莊等一百二十二村莊恩城縣  
張公墳等九十三村莊章邱縣正三里沙羅莊等  
十四村莊鄒平縣伏十一等里韓家店等七十三  
村莊長山縣循牆等約小縣莊等五十一村莊新  
城縣邢家莊等十九村莊齊東縣正七等里雙堂  
鎮等三村莊同其餘闔境村莊齊河縣孟店地方  
陳莊等九十八村莊濟陽縣受約谷家莊等三十  
八村莊禹城縣一都四里楊家集等十八村莊臨  
邑縣康家莊等十四村莊長清縣呂保等里黃家  
樓等五十三村莊陵縣養二三等里郝家莊等三  
村莊德州正東五等保時莊等六十七村莊平原  
縣一都二等圖曲陸店等三十村莊肥城縣感化  
等社東張莊等四村莊東平州東友智等保董家  
莊等及西義和等保孫家場等一百十二村莊東  
阿縣白洋等村西楊莊等八十村莊平陰縣朱家  
園里傅家寨等六十四村莊惠民縣和字等約郭  
廊王等一百十四村莊青城縣郭家莊等十一村  
莊陽信縣美化等鄉後光莊等一百十五村莊樂

陵縣三里莊等一百八十五村莊商河縣順一等  
鄉園莊等一百三十二村莊濱州東路十五保灘  
宋莊等九十二村莊利津縣西南等鄉北馮等境  
勉家灣等四十五村莊滋陽縣進賢等社五甲禹  
家等一百九十六村莊曲阜縣四濱社白石橋等二  
家村等三十九村莊曲阜縣四濱社白石橋等二  
十三村莊鄒縣石里等社國莊等十三村莊泗水  
縣坊廓等社東南關等十村莊滕縣第十一等保  
南王家莊等二十三村莊汶上縣坦西等社馬家  
莊等一百三十村莊陽穀縣東二都攝家莊等一  
百七十村莊壽張縣馬家廟等六十村莊同其餘  
闔境村莊聊城縣北六上等里李家海等二百四  
十六村莊堂邑縣南仁一里蔣家莊等一百十九  
村莊博平縣東衛等十八村莊在平縣西五鄉王  
家樓等四十三村莊清平縣安三等里大萬莊等  
三十三村莊莘縣剛字等里林家莊等三百村莊  
冠縣文四八甲南滿菜等一百四村莊館陶縣草  
廠等地方楊草廠等三十八村莊高唐州臨路等  
路東馬莊等二十九村莊恩縣後王莊等三十五

村莊被水被沙之荷澤縣大郭都等十都丁拐等六十六村莊被水之單縣高鄉等保單家橋等一百三十四村莊城武縣神農等村于樓等七十四村莊曹縣盤庚里王大樓莊等五十三村莊鉅野縣洙水等保馮家莊等四十二村莊鄆城縣何家堂等二十四村莊濮州沈家口等里范家莊等六百九十六村莊范縣閻境英東里鄭家樓等二百九十三村莊觀城縣閻境取垵里張思樓等一百四十九村莊朝城縣閻境在一等里馬莊等四百十六村莊夏津縣智一上首等里前霍莊等二十八村莊武城縣南朱等里在城等六十五村莊邱縣德一等里韓固村等三村莊金鄉縣北鄉北五里堠方何家樓等二百五村莊魚臺縣劉心田莊等四十村莊除本年錢糧漕倉河銀地租學租等項並歷城章邱鄆平齊東濟河長清德州東平陽信商河陽殺壽張荷澤鉅野濮州范縣魚臺等州縣今春青黃不接業內原緩上忙折賦及歷城縣併衛錢糧等項均照常徵收外所有本年漕米同例不做漕被水之海豐縣丁家等堆特里莊等一

百三十五村莊鄆城縣園站等保柏花園等十三村莊被水被風被蟲之益都縣務本等鄉東北等約南石大等八百十二村莊被水之高苑縣東六約道送莊等十村莊並挑挖小清河佔壓地畝之南池涯莊等十二村莊昌邑縣辛邱等社西姚家莊等六村莊濰縣馬頭等社泊子莊等七十八村莊高密縣車輞鄉特家莊等十村莊臨清州清平縣籽粒地畝魚臺縣湖團安平鄉常屯村七村莊安賢鄉東城集八村莊安仁鄉許家樓三村莊本年錢糧漕倉民佃竈課學租湖租等項及被水之濟甯衛坐落鉅野縣境內孫世臣等二屯金鄉縣境內邱維翰等二屯汶上縣境內李應武等十二屯壽張縣境內王德政一屯德州衛坐落恩縣境內左衛南中所張官屯等十九屯莊德州境內正衛左所二屯等十三屯莊武城縣境內左衛大右所傅官屯等四屯莊清平縣境內左衛後所張官營等三屯莊禹城縣境內左衛前所十羊屯等二屯莊樂陵縣境內左衛後所聊官廠一屯莊高唐州境內左衛後所劉聰屯之邱莊一屯莊夏津縣



境內正衛大前所二屯等十屯莊平原縣境內左  
衛前所甘官屯等三屯莊長清縣併衛律屯等里  
徐家莊等十四村莊濟河縣併衛黃標地方郭莊  
等二十八屯莊本年錢糧及海豐高苑濰縣三縣  
濟甯衛德州衛齊河長清併衛今春青黃不接寒  
內原緩上忙新賦及以上臨清州等州縣衛所鹽  
場未完光緒十五年民欠因灾蠲廢原緩錢糧漕  
米漕倉河銀荒田馬場民佃鹽課竈課學租地租  
湖租等項均著緩至光緒十七年秋後起徵以上  
被灾較重較輕各處共應緩徵正銀二十七萬四  
千八百六十兩零正米一十萬二千八百七十九  
石零又被水勘不成灾最輕之臨清州會二里柴  
莊等五十四村莊同其餘闔境村莊濟甯州下吳  
家灣等地方舒家莊等二百九十五村莊同其餘  
闔境村莊歷城縣水屯等九十村莊同其餘闔境  
村莊章邱縣正三里張家莊等四十七村莊同其  
餘闔境村莊鄒平縣長一等里滕家莊等一百七  
十七村莊同其餘闔境村莊長山縣愷悌等約東  
石莊等一百七十七村莊同其餘闔境村莊新城

縣倉興莊等五十三村莊同其餘闔境村莊齊河  
縣孟店地方十甲王莊等一百五十七村莊同其  
餘闔境村莊濟陽縣心約大于家莊等一百四十  
四村莊同其餘闔境村莊禹城縣二都一里十甲  
屯等二十八村莊同其餘闔境村莊臨邑縣姜家  
莊等一百二十九村莊同其餘闔境村莊長清縣  
褚保等里漫子莊等一百七十九村莊同其餘闔  
境村莊德州正東五等保陳莊等五十四村莊同  
其餘闔境村莊德平縣闔境村莊平原縣一都一  
等圍鄭家店等七十四村莊同其餘闔境村莊肥  
城縣居仁等社王家廳等二十五村莊同其餘闔  
境村莊東平州東友智等保周家樓等一百十三  
村莊同其餘闔境村莊東阿縣南青苔等村東周  
井等二百三十八村莊同其餘闔境村莊平陰縣  
曹東里張武舉莊等六村莊同其餘闔境村莊惠  
民縣便字等約陳洪口等七十三村莊同其餘闔  
境村莊青城縣杜家莊等三十一村莊同其餘闔  
境村莊陽信縣美化等鄉東范莊等一百五十村  
莊同其餘闔境村莊樂陵縣八里莊等一百五十

村莊同其餘闔境村莊商河縣順三等鄉東店等八十六村莊同其餘闔境村莊濱州谷莊等四十九村莊同其餘闔境村莊利津縣西南等鄉五街等境南街等十八村莊同其餘闔境村莊滋陽縣進賢等社一甲舊關村等一百八十二村莊同其餘闔境村莊曲阜縣泗濱社瓦窰頭等一百十村莊同其餘闔境村莊甯陽縣闔境村莊鄒縣東屯等社雷家廠等十六村莊同其餘闔境村莊泗水縣坊廓等社南關等六十五村莊同其餘闔境村莊滕縣仁五等保奎子村等一百四十四村莊同其餘闔境村莊嶧縣闔境村莊汶上縣坦西等社全家村等二百七十三村莊同其餘闔境村莊陽穀縣東一都寄甲馬家莊等二百七十四村莊同其餘闔境村莊聊城縣西六等里大張莊等一百三十村莊同其餘闔境村莊堂邑縣南仁一里郭家小莊等一百六十九村莊同其餘闔境村莊博平縣賈莊等二十六村莊同其餘闔境村莊茌平縣徐官屯西莊等一百九十村莊同其餘闔境村莊清平縣安一等里宜風陣莊等四十八村莊同

其餘闔境村莊莘縣剛字等里徐家莊等二百二十村莊同其餘闔境村莊冠縣文二四甲史村等三十四村莊同其餘闔境村莊館陶縣邵村等地方前邵村等一百二十七村莊同其餘闔境村莊高唐州平路等路谷村等十八村莊同其餘闔境村莊恩縣報効屯等一百三十六村莊同其餘闔境村莊荷澤縣潘滿都等二十都丁莊等二百七十村莊同其餘闔境村莊單縣高鄉等保當典莊等九十一村莊同其餘闔境村莊武縣東刑等村潘莊等二百二十七村莊同其餘闔境村莊曹縣榆林里郭莊等四十二村莊同其餘闔境村莊定陶縣闔境村莊鉅野縣鳴鳳等保大碾王莊等五十三村莊同其餘闔境村莊鄆城縣漢東等里瀆家屯等三百七十三村莊同其餘闔境村莊夏津縣智一上首等里劉宅莊等四十八村莊同其餘闔境村莊武城縣居下等里楊莊等七十六村莊同其餘闔境村莊邱縣楊云莊等十六村莊同其餘闔境村莊金鄉縣北鄉北五里墩方高家莊等七十八村莊同其餘闔境村莊嘉祥縣闔境村

莊魚臺縣杜家莊等三百八十五村莊同其餘閩境村莊除本年錢糧漕米漕倉河銀河租及例不徵漕被水之海豐縣白楊等堆白楊莊等二百七十八村莊同其餘閩境村莊霑化縣六鋪等里李彥生莊等一百四十四村莊同其餘閩境村莊蘭山縣朱夏各保蔣家寨等二十七村莊同其餘閩境村莊鄒城縣石河等保王家橋等一百一村莊同其餘閩境村莊費縣閩境村莊莒州閩境村莊沂水縣閩境村莊日照縣閩境村莊益都縣務本東南等鄉張孟口等四百五十三村莊同其餘閩境村莊臨淄縣東四等社劉家等一百五十村莊同其餘閩境村莊博興縣東姑等鄉椒園莊等一百五十三村莊同其餘閩境村莊高苑縣東四約西呂莊等四十二村莊同其餘閩境村莊樂安縣崇三保張家店等二百四十村莊同其餘閩境村莊壽光縣閩境村莊昌樂縣閩境村莊昌邑縣五塔等社南達莊等八村莊同其餘閩境村莊濰縣馬頭等社許家莊等三十八村莊同其餘閩境村莊魚臺縣湖園安賢鄉西城集二村莊又安仁鄉

前後六營屯四村莊同其餘三鄉各村莊本年錢糧漕倉民佃鹽課學租湖租等項及被水之濟甯衛坐落各州縣境內屯莊德州衛坐落恩縣境內左衛南中所王虎莊等二屯莊暨閩境屯莊坐落德州境內正衛左所十屯等五屯莊暨閩境屯莊坐落高唐州境內左衛後所單李莊等二屯莊暨閩境屯莊坐落陵縣境內左衛前所高山屯一屯莊暨閩境屯村又坐落武城清平禹城樂陵平原德平等縣境內之閩境屯莊東昌衛坐落濮州范縣聊城堂邑博平等州縣境內閩境屯莊臨清衛坐落濟甯州境內喻官屯四屯莊同其餘閩境屯莊又坐落魚臺縣境內崔家屯一屯莊坐落嘉祥清平鄒縣鄆城鉅野各縣境內屯莊並坐落臨清州境內其餘閩境屯莊東平所閩境村莊齊河縣併衛錢官屯地方本屯等二十七屯莊及歷城長清二縣併衛本年錢糧官臺場閩境村莊永利場泊頭等村同其餘閩境村莊永阜場分隸各州縣閩場灘地灘池本年電課並章邱鄒平長山長清東平陽信海豐商河霑化陽穀沂水荷澤鉅野博

興高苑壽光濰縣等州縣及永利場今春青黃不  
接案內原緩上忙新賦均照常徵收所有臨清等  
州縣衛所鹽場未完光緒十五年民欠及因灾蠲  
贖原緩錢糧漕米漕項河銀荒田馬場臨德等倉  
半麥銀折民佃鹽課蘆課價房租學租竈地攤  
徵墾工捻工河工地租湖租賃基籽粒海穀等項  
均著緩至光緒十七年秋後徵以上秋未被灾  
及沿河隄捻估塵沙壓坍塌各地畝無論成灾與  
勘不成灾較重較輕各村莊並闡境村莊未  
完光緒十四年民欠及因灾蠲贖原緩錢糧種  
漕米漕項河銀荒田馬場臨德等倉米麥銀折民  
佃鹽課蘆課價房租學租竈地攤徵墾工捻工  
河工地租湖租賃基籽粒海穀出借倉穀牛具籽  
種銀兩等項均著緩至光緒十七年秋後分別帶  
徵其德州東昌臨清濟甯四衛及東平所永利永  
阜官臺王家岡四場坐落各州縣境內屯莊竈地  
寄莊錢糧均著隨同民田一律辦理以紓民力該  
撫卽刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏  
胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該  
部知道欽此

1021 軍機大臣 字寄

察哈爾都統奎 光緒十六年十一月十九日奉  
上諭奎斌奏遵查烏里雅蘇臺將軍托克湍叅款據  
實覆奏一摺據稱托克湍赴任時騷擾臺站勒索  
銀兩均有實據惟各臺呈送銀兩皆係委員吉通  
收受請送部嚴究等語此案前據托克湍自行檢  
舉失察家人陳有勒索情弊當諭令該都統飭琴  
陳有到案研訊現既查出騷擾枝吉通有收受臺  
站銀兩各節是否與該家人沿途通同舞弊自應  
就近審辦何得率請送部致涉接卸烏里雅蘇臺  
驍騎校吉通著卽行革職由該都統提訊確供所  
收銀兩究係交付何人並遵前旨將陳有嚴拏到  
案澈底根究定擬具奏毋稍徇縱將此諭令知之  
欽此遵

旨寄信前來

1022 光緒十六年十一月二十日奉

旨依議欽此

刑部奏交審倉匪一案先將在各犯訊供定擬

1023 光緒十六年十一月二十日奉  
旨依議欽此

刑部奏宋世級犯全才應否在部監禁就近勸導請

旨片

1024 光緒十六年十一月二十日奉  
旨依議欽此

刑部奏保米倉積弊甚深請飭部嚴定章程

令倉場認真辦理片

1025 交宗人府本日軍機大臣面奉  
諭旨嗣後致祭

陵寢改遣著將貝子溥倫名牌一併呈進請派恭遇  
奉先殿致祭溥倫並著輪流行禮欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此文

十一月二十日

1026 光緒十六年十一月二十一日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨皇帝  
本生父醇親王奕譞秉性忠純宅心仁厚才猷遠大  
勲業崇闋自幼仰蒙

宣宗成皇帝鍾愛恩眷優加

文宗顯皇帝誼篤友誼封為郡王同治年間晉封親王  
歷充御前大臣等差恪恭盡職迨皇帝入承大統特  
降懿旨令以親王世襲罔替慰諭再三涕泣受命恩  
年以來平章軍國重事主持正議利國利民其綜理  
神機營及創立北洋海軍宏謀碩畫成效昭然前年  
親赴海口巡閱操防尤能綜攬大綱不辭勞瘁論國  
家酬庸之典雖疊頒異數猶覺功浮於賞而王謀謹  
為懷益加寅畏於特旨賞坐杏黃轎始終不敢乘坐  
並以現居

賜邸為皇帝發祥之所敬援

雍和宮成憲請旨恭繳其忠敬篤恭之忱數十年如一

日自古賢王罕有倫比王氣體素強前歲感犯肝疾  
特率同皇帝屢往問視旋即調治就痊本年夏間感  
受暑溼觸發舊疾復同皇帝疊次詣邸看視近日以  
來聞王病篤深宮默念日夕焦愁不料病勢已深醫

藥罔效遂於二十一日且刻薨逝深宮震悼實深著賞給陀羅經被即日親臨賜奠皇帝詣邸成服行禮派總管內務府大臣福錕禮部尚書崑岡工部尚書熙敬禮部左侍郎錢應溥辦理喪事所有一切事宜俱由官為經理鎮國公載灃即日承襲王爵用示篤念親賢至意欽此

1027 光緒十六年十一月二十一日內閣奉  
上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨自古帝王以孝治天下必推本於所生而禮有經權尤必折衷至當方足以昭示來茲恭讀

高宗純皇帝御製漢議辨援引禮經垂為定論稱所生曰皇帝本生父歿則稱本生考立廟於其邸第為不祧之廟祀以天子之禮合乎父為士子為大夫葬以士祭以大夫之義則尊親之誼交盡而於公義私恩兩無遺憾

聖訓煌煌昭垂萬世洵協於天理人情之至皇帝入嗣文宗顯皇帝誕承大統光緒元年正月醇親王奕譞密

陳豫杜妄論一疏內稱歷代繼統之君推崇本生父母者以宋孝宗不改子偁秀王之封為至當將來如有以治平嘉靖之說進者務目之為奸邪小人立加屏斥等語持論正大光明敬徵

高宗純皇帝御諭正相體合其志慮之忠誠防維之深切方之古純臣何以加茲上年二月初二日因吳大澂之奏特降懿旨將王之密疏宣示中外俾天下臣民咸知我朝隆軌超軼前代而醇親王寅畏之本心從此昭然若揭詎意天不假年溘然長逝痛惜之極悲感彌深醇親王著定稱號曰皇帝本生考所有一切飾終葬祭典禮自宜恪遵

祖訓詳定彝章用遂皇帝恩義交盡之忱兼表賢王終始不渝之志著派御前大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部妥議以聞欽此

1028

奏臣等遵

旨公同商酌

一擬請本日

皇太后聖訓親親和親之義於其身孫家鼐同謹奏

皇上至邸第時換青長袍褂冠摘纓

一擬請明日

皇上至邸第時更編素

一本日隨侍執差人等應換青褂

一擬請明日

皇上先至通園更換編素詣邸俟還

宮時仍在通園更衣謹

奏

硃

1029

總管內務府大臣福錕

嵩申 現在請假

巴克坦布

師曾

崇光

禮部尚書崑岡

李鴻藻

左侍郎文興 現在出差

錢應溥

右侍郎景善

李文田

工部尚書熙敬

祁世長

署左侍郎崇禮 現在請假

左侍郎汪鳴鑾

右侍郎豐烈 現在出差

徐樹銘 現在出差

1030

交待衛處本日軍機大臣面奉

諭旨所有此次挑選侍衛閱看箭枝著派御前大臣

恭代閱看擬定名次開單呈請圈出毋庸帶領引

見欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十一月二十二日

1031

光緒十六年十一月二十三日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨皇帝

本生考醇親王薨逝業經降旨加恩用昭隆禮因念

飾終之典首重易名醇親王親賢重望中外交孚茂績宏猷增光史冊允宜特加謚號昭示來茲醇親王著賜謚曰賢以彰勲德而垂久遠欽此

1032 光緒十六年十一月二十三日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨本日

御前大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部奏遵

議醇親王飾終典禮分列條款請旨遵行一摺皇帝

服制即著定為持服期年御縞素十一日報朝十一

日期年內除請安暨聽政召見外御便殿時仍用素服

壇

廟大祀皇帝親詣行禮中祀均遣官恭代元旦詣

堂子行禮仍御禮服指慈寧宮行禮御禮服作樂其太

和殿朝賀御禮服升殿不宣表樂設而不作蒙古朝

正末京王公例賜筵宴照舊舉行宗親廷臣筵宴均

著停止其祭文碑文均書皇帝名嗣後臣工奏疏凡

遇醇親王樣均用雙槓書寫餘著照所議行該衙門

知道單併發欽此

1033 軍機大臣面奉

諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇親

王薨逝除縞素期內皇帝詣邸親行奠酒外其餘每

次奠酒著派載澐載澐載澐載澐載澐載澐載澐載澐

楠分班恭代行禮欽此

1034 交宗人府本日軍機大臣面奉

諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇親

王薨逝除縞素期內皇帝詣邸親行奠酒外其餘每

次奠酒著派載澐載澐載澐載澐載澐載澐載澐載澐

楠分班恭代行禮欽此相應傳知

貴衙門欽遵可也此文

十一月二十三日

1035 御前大臣親王銜多羅克勤郡王臣晉祺等謹

奏為欽遵

懿旨會議具奏事光緒十六年十一月二十一日內閣奉



上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨自古帝王以孝治天下必推本於所生而禮有經權尤必折衷至當方足以昭示來茲恭讀

高宗純皇帝御製濮議辨援引禮經垂為定論稱所生曰皇帝本生父歿則稱本生考立廟於其邸第為不祧之廟祀以天子之禮合乎父為士子為大夫葬以士祭以大夫之義則尊親之誼交盡而於公義私恩兩無遺憾

聖訓煌煌昭垂萬世洵協於天理人情之至皇帝入嗣文宗顯皇帝誕承大統光緒元年正月醇親王奕譞密陳豫杜妄論一疏內稱歷代繼統之君推崇本生父母者以宋孝宗不改子儀秀王之封為至當將來如有以治平嘉靖之說進者務目之為奸邪小人立加屏斥等語摺摺大光明敬擬

高宗純皇帝御諭正相脗合其志慮之忠誠防維之深切方之古純臣何以加茲上年二月初二日因吳大澂之奏降懿旨將王之密疏宣示中外俾天下臣民咸知我朝隆軌超軼前代而醇親王寅畏之本心

從此昭然若揭詎意天不假年溘然長逝痛惜之極

悲感彌深醇親王著定稱號曰皇帝本生考所有一切飾終葬祭典禮自宜恪遵

祖訓詳定葬章用遂皇帝恩義交盡之忱兼表賢王終始不渝之志著派御前大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部妥議以聞欽此欽遵鈔出前來臣等伏查禮經齊衰杖期章為人後者為其父母報又通禮內載齊衰不杖期為人後者為本生父母是為本生父母應服齊衰期也今

醇親王薨逝恭奉

懿旨命臣等將一切飾終葬祭典禮會同妥議臣等公同商榷謹遵

懿旨醇親王著定稱號曰皇帝本生考之義擬請

皇上持服期年服制既定一切典禮擬即準此次第詳定臣等悉心參酌謹將飾終各典禮分列條款開單進呈伏候

皇上恭請

懿旨遵行此外未盡事宜仍由臣等隨時酌擬奏明請旨所有臣等遵議緣由是否有當伏乞

聖鑒謹

奏

光緒十六年十一月二十三日

御前大臣 內閣學士 禮部尚書 伯彥納謨祜保

御前大臣 親王 多羅克勤郡王 晉 祺

御前大臣 多羅 慶郡王 奕 勛

軍機大臣 和碩 禮親王 世 鐸

軍機大臣 大學 管理 兵部 事務 臣 額勒和布

軍機大臣 大學 管理 戶部 事務 臣 張之萬

軍機大臣 兵部 尚書 臣 許庚身

軍機大臣 刑部 尚書 臣 孫毓汶

戶部 尚書 臣 翁同龢

都察院 左都御史 臣 孫家鼐

經筵講官 禮部 尚書 臣 宗室崑岡

尚書 臣 李鴻藻

左侍 郎 臣 文 興 差

左侍 郎 臣 錢應溥

右侍 郎 臣 景 善

右侍 郎 臣 李文田

1036

一臣等謹案期年之服十二月而除今準十二月之例擬請

皇上御縞素或十三日或十一日恭候

懿旨

一擬請

皇上於釋縞素後請髮

一親王薨逝照例奏請

報朝三日今

醇親王薨逝應否酌加日期之處恭候

懿旨

一期年內擬請

皇上除詣

皇太后前請

安暨

聽政

召見外

御便殿時仍用素服

一向例親王薨逝禮部題請交宗人府請諡其

諡號由內閣撰擬一字進呈

欽定今

醇親王薨逝擬請

皇太后特賜諡號以昭隆重

一編素期內每日奠酒擬請

皇上詣郊第

親行奠酒外其餘每次奠酒擬請

欽派王貝勒貝子公每日一人前往恭代其齊集禮

節應由禮部照例辦理

一期年內

壇

廟大祀擬請

皇上親詣行禮其

中祀期年內均

遣官行禮

一期年內遇元旦

堂子行禮擬請

皇上仍御禮服

一期年內遇元旦

皇上詣

慈寧宮行禮御禮服作樂其

太和殿朝賀仍御禮服升殿應否宣表作樂之處

恭候

懿旨

一期年內蒙古朝正來京王公例賜筵宴擬請

照舊舉行其宗親廷臣筵宴可否停止之處

恭候

懿旨

一初祭大祭及奉移奉安一應祭奠需用羊酒

饌筵楮錢金銀錠等項應由禮部查照親王例

辦理

一祭文內擬請用

皇帝敢昭告於

本生考

醇親王碑文稱謂同應否恭書

御名臣等未敢擅擬恭候

懿旨其一切章奏內恭遇

醇親王字樣均用雙槓書寫

1037 光緒十六年十一月二十四日奉

旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨十二月初七初九二十八等日中正殿拈香著派禮親王世鐸恭代行禮其坤宜宮祭神照常舉行明年六月皇帝萬壽壽照常行禮樂設而不作停止聽戲欽此

1038 光緒十六年十一月二十五日奉

旨准予開銷欽此

戶部奏遵議臺灣清文經費摺

1039 光緒十六年十一月二十五日奉  
旨知道了欽此

順天府奏遵查大興縣門丁陳斌等並無控案實據摺

1040 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹

奏

1041 光緒十六年十一月二十六日奉

旨准其改廢欽此

宗人府奏實錄局請三卷生可否改廢摺 旨摺

1042 光緒十六年十一月二十六日奉

旨准其將有分之人揀選承襲欽此

宗人府奏請開公議承襲與否可否准其將有分之人承襲摺 旨摺

1043 光緒十六年十一月二十七日内閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨本日御前大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部奏酌擬醇賢親王初祭大祭奉移各典禮開單進呈請旨遵行一摺所有十二月初十日行初祭禮十六日行

大祭禮二十日奉移園寓皇帝均親詣行禮御青長袍袿冠摘纓奉移前期一日皇帝親詣行禮照大祭禮讀文致祭奉移日皇帝詣邸第恭送至適園候過還宮二十一日仍詣園寓奠酒行禮餘均照所請行該衙門知道單併發欽此

1044 軍機大臣面奉  
諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇賢親王初祭大祭日燎鑪前著派載澧奠酒奉移園寓暫安畢著派載澧恭代奠酒行禮欽此

1045 交宗人府本日軍機大臣面奉  
諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇賢親王初祭大祭日燎鑪前著派載澧奠酒奉移園寓暫安畢著派載澧恭代奠酒行禮欽此相應傳知  
貴衙門欽遵可也此交

十一月二十七日

1046

御前大臣親王銜多羅克勤郡王臣晉祺等謹奏為會議具

奏事竊臣等於光緒十六年十一月二十三日具奏醇賢親王飾終典禮摺內聲明未盡事宜由臣等隨時酌擬具奏在案恭查飾終典禮內曰初祭曰大祭曰奉移均應次第舉行現准內務府文稱據欽天監選擇得十二月初十月初祭十六日大祭二十日奉移

園寓暫安吉臣等公同商籌列條款開單進呈伏候皇上恭請  
懿旨遵行謹  
奏

光緒十六年十一月二十七日

御前大臣 多羅克勤郡王 伯彥訥謨祜

御前大臣 親王 晉

御前大臣 多羅慶郡王 奕

軍機大臣 和碩禮親王 臣 世 鐸

軍機大臣 大學士 管理都察院 額勒和布 臣 八 蘭

軍機大臣 大學士 管理都察院 張 之 萬

軍機大臣兵部尚書臣許庚身  
軍機大臣刑部尚書臣孫毓汶  
戶部尚書臣翁同龢  
都察院左都御史臣孫家鼐  
經筵講官禮部尚書臣宗室崑岡

尚書臣李鴻藻  
左侍郎臣文興  
左侍郎臣錢應溥  
右侍郎臣景善  
右侍郎臣李文田

1047 一初祭大祭日均擬請

皇上親詣行禮御青長袍褂冠摘纓  
一祭文內恭書

御名擬請  
飭文內閣敬謹書寫

一初祭大祭日燎鑪前奠酒擬請由原  
派每日奠酒之貝勒貝子公內  
欽派一員奠酒

一初祭大祭

皇上親詣行禮禮節應由禮部前酌擬恭進

一奉移前期一日應否

親詣行禮照大祭禮讀文致祭恭請

懿旨

一奉移日擬請

皇儲邸第步送至大門外

乘輿由間道先行應恭送至何處恭請

懿旨

一奉移

園寓暫安後

皇上於何日

親詣奠酒恭請

懿旨

一奉移日應用儀衛及大槓撞夫均請由內務

府奏明辦理

一奉移

園寓以後一應祭奠均請由內務府奏明辦理

光緒十六年十一月二十七日內閣奉

上諭沈秉成剛毅奏查明江淮等屬被旱被水並拋荒地懇請蠲緩新舊錢糧開單呈覽一摺江蘇江甯淮安等屬本年夏間高田被旱被風低區被水其徐州海州等屬又因山水下注田禾被淹收成均刑歉薄若將應徵錢糧照常徵收民力實有未逮如思著照所請所有上元江甯句容江浦六合等五縣已經墾熟被歉民屯田地並山陽阜甯清河桃源安東鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州宿遷睢甯海州沐陽贛榆通州如皋海門等二十八州縣廳同淮安大河揚州徐州四衛勘不成災民屯田地應徵光緒十六年地丁等項錢糧著緩至光緒十七年秋成後分作二年帶徵又上元江甯句容溧水高淳江浦六合等七縣未墾荒田同江都縣及揚州衛營壘廢民屯田地應徵光緒十六年上下忙錢糧仍著蠲免其坐落各州廳縣併衛屯漕蘆課學租湖河灘租雜辦雜稅津貼增租並江甯府屬公費關租油麻地租南屯恤孤米豆新

增地畝蘆葦牧馬草場復賦召變善餉等款及鈔票入官地畝並鎮江衛坐落江都泰州甘泉泰興四處屯田均錯雜民田之內俱照坐落地方一律查辦淮安揚州等屬減則蘆葦田地並海州屬一水一麥減則田地應徵本年錢糧著照歷屆成案一體緩徵其江甯淮安各屬勘不成災並江甯府屬未墾荒田同江都縣及揚州衛營壘廢田地應徵辛卯年上忙新賦均著緩至該年秋成後察看情形再行啟徵其上元江甯句容溧水高淳江浦六合山陽阜甯清河桃源安東鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州宿遷睢甯海州沐陽贛榆通州如皋海門等三十五州縣廳並淮安大河揚州徐州四衛未完光緒十四十五兩年款田原緩各款銀米及不在豁免案內之各年未完津貼增租銀兩均著緩至十七年秋成後再行分別帶徵阜甯清河桃源宿遷海州沐陽贛榆七州縣本年被歉田地折徵銀兩著隨同各屬漕糧項銀米一體分別緩徵鎮江衛坐落泰州江都甘泉泰興四州縣屯

田並著隨同民田一律辦理以紓民力餘著照所  
議辦理該督撫卽刊刻膠黃並按照單開區圍村  
莊項畝分數應緩銀兩米豆詳細刊刻徧行曉諭  
務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至  
意該部知道單併發欽此

1049 光緒十六年十一月二十七日內閣奉

上諭沈秉成剛毅奏查明江淮等屬被旱被水及拋  
荒地懇請蠲緩漕糧開單呈覽一摺本年江蘇  
江淮等屬夏秋之間高田被風被旱低窪之區又  
因江湖泛溢山水下注田禾被淹其歷年坍荒田  
地亦尚未盡墾熟若將應徵漕糧照常徵收民力  
實有未逮如恩著照所請所有上元江甯句容江  
浦六合等五縣已墾成熟復被歉收田地並山陽  
阜甯清河桃源鹽城高郵泰州東臺江都甘泉儀  
徵興化寶應銅山豐縣沛縣蕭縣碭山邳州宿遷  
睢甯海州沐陽贛榆如皋等二十五州縣勘不成  
災田地應徵光緒十六年漕糧及改徵折色銀兩  
均著緩至十七年秋成後分作二年帶徵其上元

江甯句容江浦六合五縣未墾荒田同江都縣營  
壘廢墾坍荒民田除墾熟放徵外其餘坍荒田地  
應徵漕糧米石仍著蠲免以紓民力餘著照所議  
辦理該督撫卽刊刻膠黃並按照單開區圍村莊  
項畝詳細刊刻徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏  
胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1050 光緒十六年十一月二十七日奉

旨雲南學政著高釗中去欽此

1051 光緒十六年十一月二十七日內閣奉

上諭湖南永州鎮總兵員缺著賈起勝補授欽此

1052 查湖南永州鎮總兵係陸路缺謹

奏

1053 光緒十六年十一月二十七日內閣奉

上諭尚宗瑞奏因病懇請開缺一摺西安將軍尚宗  
瑞著賞假兩箇月毋庸開缺欽此



1054 軍機大臣 字寄

刑部 光緒十六年十一月二十八日奉

上諭前據敬信等覆奏查辦御史德蔭奏泰吉林紳董一案訊出湯連魁等賄屬參摺賊據請飭刑部提犯訊究並將全案供招送部查覈當經諭令長順將湯連魁蔣儒沈學曾于芳懷龐姪即龐維翰等五名迅解刑部歸案審辦茲據長順奏遵將湯連魁等五犯派員解部等語著刑部即將解到各犯嚴行審訊務得確情以期水落石出德蔭原片並于蔭霖原呈暨敬信等摺長順片各一件均著鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1055 交吏部  
順天府 本日軍機大臣面奉

諭旨御史本貴等奏繕譯各項小考請飭吏部嚴定章程並奏派御史請照繕譯鄉會試之例於摺內註明各項差使暨請飭順天府修理貢院各門等摺片著該衙門議奏欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計結鈔摺片二件

十一月二十八日

1056 光緒十六年十一月二十九日奉

旨劉永康著戶部覈給獎敘餘依議欽此

工部來道員劉永康預力捐修城壕請給獎摺

1057 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽  
奏

十一月二十九日

1058 光緒十六年十二月初二日內閣奉

上諭京師入冬以來尚未握霽雪澤現在節逾小寒

農田待澤甚殷朕心實為寅盼允宜虔申祈禱本

月初四日朕親詣

大高殿拈香

時應宮著派慶郡王奕劻

昭顯廟著派貝勒載漪

宣仁廟著派鎮國將軍載瀛

凝和廟著派鎮國將軍載津同於是日分詣拈香

欽此

1059 辦理軍機處為劄行事本日該總兵呈遞謝

恩摺內書寫

皇太后

皇上聖鑒查與

歸政以後章程不符嗣後呈遞摺件祇書

皇上聖鑒以符定章須至劄者

右劄雲南騰越鎮總兵張松林准此

十二月初二日

1060 查軍機章京刑部員外郎馮錫仁現在丁憂所

遺章京一缺應以額外行走之工部候補員外

郎繼昌充補並添傳

記石在前之內閣中書連文沖在額外行走謹

奏

光緒十六年十二月初三日奉

旨知道了欽此

1061 光緒十六年十二月初五日內閣奉

上諭李鴻章奏安州等州縣積澇地畝請豁減糧租

一摺直隸安州等州縣積澇已久本年復被淹浸

或顆粒無收或收成減色若將應徵糧租照常徵

收民力實有未逮加恩著照所請所有安州南北

兩淀地三百二十八頃七十九畝零應徵光緒十

六年租銀一千二百九十一兩零著全行豁免河

間縣蒲塔窪等十七村糧地四百六十一頃二十

六畝零應徵光緒十六年糧銀八百五十兩零屯

米九石零著減免十分之六銀五百十兩零屯米

五石零東王村等十一村糧地二百七頃四十一

畝零應徵光緒十六年糧銀四百十四兩零屯米  
七斗零著減免十分之四銀一百六十五兩零屯  
米三斗零雀張吉等十二村糧地二百三十一  
頃六十一畝零應徵光緒十六年糧銀四百三十  
六兩零屯米八石零著減免十分之三銀一百三  
十兩零米二石零以上減贖銀米照常徵收其存  
退莊頭廣恩庫等項租銀均著緩至來年秋後啟  
徵任縣環水村等十五村新涸泊地四百五十九  
頃七十八畝零應徵光緒十六年糧銀六百三十  
五兩零著蠲免十分之四銀二百五十四兩零蠲  
贖銀兩照常徵收南宮縣崔管莊糧地十三頃四  
十八畝零籽粒地九頃八十三畝零應徵光緒十  
六年糧銀四十八兩零籽粒地糧銀三十六兩零  
著將下忙糧銀全行蠲免其上忙長完下忙銀兩  
准抵次年正賦欠完上忙及節年錢糧著緩至  
光緒十七年秋後啟徵隆平縣張郝焦等三十二村  
糧地一千三百二頃四十畝零應徵光緒十六年  
糧銀三千一百八十二兩零著全行蠲免邢家營  
等十村糧地四百五十四頃八十四畝零應徵

光緒十六年糧銀一千五百八兩零著蠲免一半銀  
七百五十四兩零蠲贖銀兩照常徵收甯晉縣北  
魚村等十二村糧地一百八十六頃九十六畝零  
應徵光緒十六年糧銀六百八十八兩零著蠲免  
一半銀三百四十四兩零來家莊等五村升料泊  
地三十一頃五十九畝零著將本年未完糧銀六  
十七兩零緩至來年秋後啟徵至各該花戶如有  
從前長完銀兩准其分別抵作本年並下年正賦  
其應徵節年糧租並本年旗租等項均著緩至  
光緒十七年秋後啟徵以紓民力該督即刊刻勝黃  
徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫  
念民艱至意該部知道欽此

1062 光緒十六年十二月初五日內閣奉

上諭李鴻章奏文安等縣大窪積潑地畝請蠲緩糧  
銀等語本年直隸文安等縣窪地被水情形較重  
若將應徵糧賦照常徵收民力實有未逮加恩著  
照所請所有文安縣蘇橋等五十一村大窪民糧  
地一千一百八十八頃十二畝零額徵光緒十六

年糧銀五千七百九十五兩零除永蠲十分之三  
外實應徵七成銀四千五十七兩零著全行蠲免  
東安縣馬子莊等二十九村民糧地六百十頃八  
十四畝零應徵光緒十六年糧銀三千二百七十  
三兩零著全行蠲免其未被災以前花戶長完銀  
一千四百八十八兩零著抵作下年正賦天津縣  
趙沽里等十村民糧地三百頃九畝零額徵光緒  
十六年糧銀七百四十七兩零著全行蠲免其未  
被災以前花戶長完銀三百四十兩零著抵作下  
年正賦應徵節年糧銀著緩至光緒十七年秋後  
啟徵以紓民力該督即刊刻謄黃徧行曉諭務使  
實惠均霑毋任吏胥舞弊用副體恤民艱至意該  
部知道欽此

1063 光緒十六年十二月初五日內閣奉

上諭托倫布奏病難連痊懇請開缺一摺正藍旗蒙  
古副都統托倫布著賞假兩個月毋庸開缺欽此

1064 光緒十六年十二月初六日內閣奉  
上諭御史吳光奎奏領天鄉試中四試卷請仍補封  
省號合額取中一摺著禮部議奏欽此

1065 光緒十六年十二月初六日奉

旨此次軍機處繕修漢字檔冊總司校勘之刑部候  
補主事李蔭鑿著以本部主事無論題選咨留遇  
缺即補工部即補員外郎繼昌著以本部員外郎  
無論題選咨留遇缺即補翰林院修撰前軍機章  
京吳魯著賞加四品銜其尤為出力之供事朱景  
榮著以縣丞分發省分歸候補班前先用並加  
隨帶一級該欽從九品張鴻著以縣丞分發省分  
歸候補班補用並加隨帶一級鹿福謙高聯翰均  
著以縣丞分發省分歸候補班補用並加隨帶一  
級以示鼓勵該部知道欽此

1066 奏為恭摺奏

聞事竊查軍機處歷年所有漢字

臣世鐸等跪

諭旨寄信及議覆等項冊檔前於咸豐四年奏明每屆

三年繕辦一次自光緒十三年辦理以後本年

復屆繕辦之期前於三月內奏請繕錄並聲明

將出力之供事隨案擬保奉

旨依議欽此 臣等遵即查照成例傳內閣中書十六

員分冊繕寫並揀派軍機章京總司校勘計自

光緒十三年正月起至光緒十五年十二月止

共三十七冊又逐日登記號簿十二冊又洋務

檔四冊又電寄檔三冊又引

見檔六冊軍事檔十三冊並將積年舊檔一律補綴

齊全查歷屆辦理清漢檔冊告竣均經奏明

賞給該等在案此次略寫三年檔案並將積年各舊

檔督飭供事人等修補完善所有承辦各員及

在館供事等可否比較歷屆告竣之例酌量

賞給議欽出自

天恩如蒙

俞允 臣等查明各該員功課及供事分別等第咨部

辦理所有軍機處漢檔告竣緣由恭摺具陳伏祈

皇上聖鑒謹

奏

光緒十六年十二月初六日奉

旨依議欽此

臣世鐸

臣額勒和布

臣張之萬

臣許庚身

臣孫毓汶

臣世鐸等跪

奏為循例保奏請

旨獎勵仰祈

聖鑒事查向例軍機處行走滿漢章京每閱三四年

選擇當差勤奮者請

旨量予鼓勵歷經遵辦在案茲查光緒十三年保奏

之後至今已逾三年 臣等留心察看於各章京

內擇其資格較深及辦事勤奮者數員公同酌

擬刑部員外郎桂春請俟服闋後以本部郎中

無論題選咨留遇缺即補理藩院主事特圖慎

請以本衙門員外郎無論滿蒙題選咨留選缺  
即補戶部員外郎和爾慶額請以本部郎中無  
論題選咨留選缺即補兵部郎中主事穆克登  
額請候補主事後以本部員外郎無論題選咨  
留選缺即補吏部候補主事徐士佳請以本部  
主事無論題選咨留選缺即補戶部主事陳域  
請以本部員外郎無論題選咨留選缺即補吏  
部主事孫朝華請以本部員外郎無論題選咨  
留選缺即補戶部主事王頌蔚請候補員外郎  
後以郎中無論題選咨留選缺即補合無仰懇  
天恩俯准照所請獎勵以昭激勸所有循例酌保章  
京緣由理合恭摺具陳伏乞

奏

皇上聖鑒謹

光緒十六年十二月初六日奉

旨依議欽此

臣世鐸

臣額勒和布

臣張之萬

1068

臣許庚身  
臣孫毓汶

再查歷屆繕辦漢字檔案告竣所有派出總司  
校對之軍機章京及尤為出力之供事均經懇  
請鼓勵查光緒十年十二月十三日奉

旨軍機處歷次請獎向有專案可循與別項保舉  
員不同毋庸援照新章覈議等因欽此光緒十三  
年繕修漢檔保奏總校之章京顧墳等及尤為  
出力之供事胡葆慶等均經奉

旨允准在案此次派出總校之刑部候補主事李蔭  
鑾工部郎中補員外郎繼昌總司校對頗為詳慎  
平日行走亦皆奮勉自應參酌成案量予鼓勵  
合無仰懇

天恩准令刑部候補主事李蔭鑾以本部主事無論  
題選咨留選缺即補工部郎中補員外郎繼昌以  
本部員外郎無論題選咨留選缺即補均毋庸  
另給議敘並請將尤為出力之承辦供事朱景  
榮以縣丞分發省分歸候補班前充補用並加

隨帶一級議敘從九品張鴻以縣丞分發省分  
歸候補班補用並加隨帶一級供事庶福謀高  
聯翰均以縣丞分發省分歸候補班補用並加  
隨帶一級以示鼓勵謹附片具

奏

1069

查五品銜翰林院修撰吳魯前由刑部主事充  
軍機章京當差極為勤奮本年繕修漢字檔案  
臣等派令總司校對旋經中式進士蒙

恩授職修撰該員前辦檔冊校對詳慎不無微勞足  
錄可否仰懇

天恩賞加四品銜以示鼓勵之處伏候

聖裁謹

奏

1070

交吏部本目引

見

盛京將軍衙門題缺主事擬陪之筆帖式乾一奉  
旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十二月初七日

1071

光緒十六年十二月初八日內閣奉

上諭沈秉成奏請緩徵寬地折價錢糧一摺兩淮泰  
州海州所屬各場本年入夏後雨澤稀少嗣又疊  
被風潮收成減色若將新舊折價錢糧照常徵收  
實力實有未逮加恩著照所請所有東臺河塔丁  
溪廟灣四場上年二月啟徵並富安安豐梁垛草  
堰劉莊伍佑新興七場上年秋成後啟徵之光緒  
十五年歷徵十四年分折價及本年秋成後各應  
帶徵之光緒十三年分原緩折價著一併緩至來  
年秋成後由遠而近每年帶徵一年海州分司所  
屬板浦中正臨興三場本年秋成後帶徵之光緒  
十五年分蕩地折價著緩至來年春熟後徵收其  
來年二月應徵之光緒十七年歷徵十六年分蕩  
地折價著緩至來年秋成後徵以紓電力餘著  
照所議辦理該督即刊刻勝黃徧行曉諭務使實  
惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部  
知道欽此

1072 光緒十六年十二月初八日奉  
硃○旨著派照敬驗收欽此

工部奏火器等營工竣請 派員驗收摺

硃○ 1073 工部尚書熙敬

祁世長

署左侍郎崇禮 現在請假

左侍郎汪鳴鑾

右侍郎豐烈

徐樹銘

1074 光緒十六年十二月初八日奉  
硃○旨著派許應駁督修欽此

工部奏請 派員接修刑部工程摺

1075 大學士張之萬 現在請假

協辦大學士吏部尚書徐桐 現在請假

戶部尚書翁同龢

禮部尚書李鴻藻

硃○

兵部尚書許庚身

刑部尚書孫毓汶

工部尚書祁世長

都察院左都御史孫家鼐

吏部左侍郎許應駁

右侍郎徐郵

戶部左侍郎廖壽桓 現兼署兵部左侍郎

右侍郎徐用儀 現兼署刑部右侍郎

禮部左侍郎錢應溥

右侍郎李文田 現在請假

兵部右侍郎白桓

刑部左侍郎薛允升

工部左侍郎汪鳴鑾

右侍郎徐樹銘

1076 交吏部本日引

見國子監助教之崇芳文鐸柏山治泰文清奉  
旨均著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十二月初八日



1077 交兵部本日引

見直隸秦甯鎮標右營千總一缺擬陪之把總劉紹

純奉

旨著記名欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十二月初八日

1078

安徽試用知府前貴池縣知縣范葆廉

硃。旨著以知府儘先即補

1079

六品廕生劉朝鑾

劉金榜

龔已恭

硃。旨均著以通判用

1080

六品廕生文治

硃。旨著發回原處以執騎杖用

1081

滿頭班

三品銜即選道戶部郎中如松

四品銜刑部員外郎即補郎中桂春

戶部員外郎即補郎中和爾賡額

四品銜理藩院員外郎即補郎中多壽

四品銜理藩院郎補郎中志樸

兵部候補員外郎惠北

四品銜禮部員外郎即補郎中魁麟

理藩院題署主事豐理額

理藩院員外郎承佑

漢頭班

在任候補應升四品京堂吏部郎中兼將都尉世職金保泰

兵部郎中即選知府沈恩嘉

四品銜戶部郎中以應升之缺升用顧璜

吏部員外郎即補郎中 記名御史王傲

刑部郎中 記名御史陳邦瑞

四品銜兵部郎中胡寶鐸

吏部即補主事徐士佳

戶部主事即補員外郎陳斌

四品銜工部郎補員外郎繼昌

滿二班

四品銜通政使司參議堃岫

戶部員外郎郎補郎中孚琦

四品銜理藩院員外郎郎補郎中奎華

四品銜戶部員外郎郎補郎中延祉

四品銜刑部郎補員外郎瀛桂

四品頂戴理藩院主事郎補員外郎特圖慎

四品銜兵部郎補主事穆克登額

內閣候補侍讀崇林

戶部筆帖式郎補主事兼雲騎尉世職慶連

侍讀銜內閣中書郎補侍讀榮需

漢二班

戶部員外郎 記名御史王汝濟

四品銜工部員外郎徐迺新

刑部員外郎 記名御史陳第棠

刑部員外郎 記名御史易俊

員外郎銜吏部主事郎補員外郎孫朝華

戶部主事王頌蔚

刑部郎補主事李蔭鑾

吏部候補主事王嘉禾

內閣中書郎補侍讀連文沖

1082 軍機大臣 字寄

大學士直隸總督一等肅毅伯李 工部尚書

兼管順天府府尹祁 順天府府尹陳 光緒

十六年十二月初九日奉

上諭給事中劉恩溥奏近畿一帶劫案疊出請飭派

防營嚴密巡緝一摺畿輔重地豈容宵小橫行擾

累商旅况值水災之後饑民重多尤當加意嚴防

著李鴻章祁世長陳韋速派得力將弁統帶防營

認真緝捕並飭各該地方官廣購眼線密緝窩家

以清盜源而安行旅另片奏直隸吳橋縣宣惠河

缺口二處積水未消下游受害甚鉅請飭委員履

勘接築隄堵等語著李鴻章體察情形妥籌辦理原

摺片著分別鈔給閱看將此各諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1083 交禮部本日軍機大臣面奉

諭旨給事中劉恩溥奏請旌表節孝等語民人陶永興民婦李蘇氏均著旌其旌表禮部知道欽此相應傳知

貴部欽遵可也此交計黏鈔片一件

十二月初九日

1084 辦理軍機處為咨行事本日軍機大臣面奉

諭旨署山東肥城縣事濰縣知縣凌紱曾著回任供職欽此除傳知該員欽遵同省外相應咨行

貴撫查照可也須至咨者

右 咨

山東巡撫張

光緒十六年十二月初九日

1085 光緒十六年十二月十一日內閣奉

上諭廣東高廉欽道員缺著清瑞補授欽此

1086 查廣東高廉欽道係簡缺謹

奏

1087 交戶部本日造辦處奏傳辦銅質活計工價

銀兩仍請

飭戶部給發一摺軍機大臣面奉

諭旨仍著戶部照數撥給欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十二月十一日

1088 福建候補道前臺灣府知府周懋琦

殊○旨著以道員用

1089 前國子監助教朱榮清

殊○旨著以助教補用

1090 直隸候補知州前懷柔縣知縣嚴暄

殊○旨著以知州仍留原省儘先即補

硃  
○旨著以府經歷用

1091 前陝西扶風縣知縣孫士詰

1092 前陝西扶風縣知縣孫士詰  
旨著開復原官

1093 前陝西扶風縣知縣孫士詰  
旨著以教職用

1094 光緒十六年十二月十二日內閣奉

上諭張之洞等奏勘明湖北各州縣衝被災地方請  
分別緩徵新舊錢糧等項開單呈覽一摺湖北武  
昌等州縣本年春夏之交雨水過多低田被淹入  
秋後又復被旱收成歉薄如將新舊錢糧南米等  
項照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有  
武昌等州縣神一等十九里咸甯縣一都等九都  
內之艾家墩等四十九處嘉魚縣宣化縣四里內  
之二十九甲並九州內之越塘等處及九屯內之  
斗塘等處蒲圻縣坪下等二十二團內之任家橋

等一百二十四處漢陽縣菱角湖等八區白釜池  
等二十區漢川縣鳴城等四十五垸岷黃陂縣牛  
湖等五十七社孝感縣務本西下等十九社內各  
社甲沔陽州萬廟等二百二官垸黃岡縣下墪等  
三十三區道觀河等十九區並羅霍洲等十七區  
蕪水縣柝湖等三十二區西壘洲一區黃梅縣黃  
連等三鎮並白湖等三鎮內之胡家圩等二十四  
村莊及考田謝灘二鎮內之白馬寺等三村莊廣  
濟縣蔡東鄉內之童司牌等六十五村莊永東鄉  
內之李家園等四十七村莊靈東鄉內之鳳嘴港  
等六十二村莊永西鄉內之武山湖等四十村莊  
靈西鄉內之花園岩等四十一村莊安樂鄉內之  
朱家冲等四十一村莊鍾祥縣河鄉內之楊林等  
十四村莊湖鄉內之劉公巷等二十村莊京山縣  
高集等四十五團潛江縣西耳等二十二垸垸灣  
等十七垸馬昌等十九垸天門縣杜橋等三十四  
垸內之一百九甲半淖潑等四十七垸內之八十  
七甲半應城縣葉嘴等五團區江陵縣葉支等六  
十六垸長樂等一百六垸公官縣毛一等九里並

刀一等十九里內六十甲及枝六一所石首縣民  
壯等十六垸並一都等十四坊垸內三十六甲監  
利縣大蘇湖等一百六十三垸松滋縣下八上八  
二都並下五等十都及一所等八所枝江縣荆沙  
等十三洲垸並羊角嘴洲二洲荆門州青一等十  
九園內之三汊河等八十六區又京山縣晏王等  
八園共應徵光緒十六年新賦錢糧屯餉閑丁陟  
費租餉蘆課等項正耗銀二十一萬一千九百十  
兩零南糧正耗米二萬七千九百二十八石零著  
一併緩至光緒十七年秋後限一年帶徵其各原  
緩光緒十四十五兩年各項銀米一併展至光緒  
十八年秋後遞展一年帶徵江夏縣河街等三十  
六里金沙等六十屯宣明等十七里頂園等三十  
洲天興等七洲武昌縣神四等八里嘉魚縣淨居  
等四里內之二十八甲漢陽縣坪坊等三十四區  
黃陂縣靳家等八社孝感縣昭青下等十社內各  
社甲各應徵光緒十六年南米照常徵收其應徵  
光緒十六年新賦錢糧蘆課籽粒等項正耗銀三  
萬一千三百二十七兩零著緩至光緒十七年秋

後限一年帶徵至各原緩光緒十四十五兩年各  
項銀米一併展至光緒十八年秋後遞年帶徵大  
冶縣貓磯等三十堡黃梅縣太白等十二鎮內之  
項畝等一百三十四村莊共應徵光緒十六年新  
賦錢糧南折正款正耗銀九千九百二兩零著緩  
至光緒十七年秋後限一年帶徵其黃梅縣原緩  
光緒十四十五兩年各項銀米一併展至光緒十  
八年秋後遞年帶徵江夏縣興仁等十里廣阜等  
十二屯幫生等十洲咸甯縣一都等四都內之下  
好橋等四處嘉魚縣宣化等十二里內之六十甲  
及九州九屯內歉收各處漢陽縣陳家河等三十  
一區漢川縣柘樹口等五麻畝南湖下等二十九  
垸畝黃陂縣石頭墩等六社孝感縣啟祥等十六  
社尚義三股等十五社內各社甲黃岡縣王家店  
等二十二區蕪水縣六畝徑等三十區竹瓦店等  
三十四區黃梅縣項橋等十八鎮鍾祥縣河內鄉  
之歐家廟等四十一村莊湖鄉內之龍山觀等八  
十七村莊山鄉內之蕭家店等三十七村莊京山  
縣石文等五團蒲家等八團潛江縣太平等二十

九垓古埠等五垓天門縣丁晏等十八垓內之一  
百二甲閩廟等八十五垓內之二百四十三甲江  
陵縣雷師等十九垓公安縣大一等六里內九甲  
監利縣永有等五十七垓枝江縣永豐一垓荊門  
州平四等五十三團內之團林鋪等一百二十四  
區各應徵光緒十六年新賦錢糧蘆課屯餉開丁  
隄費南米等項照常徵收外其各原緩光緒十四  
十五兩年銀米蘆課屯餉開丁隄費等項著一併  
緩至光緒十七年秋後遞展一年帶徵天門縣上  
週等二十六垓內一百四十甲原緩光緒十六年  
秋後帶徵十五年銀兩暨應徵光緒十六年新賦  
銀米一律照常徵收其原緩十四年銀米暨十五  
年南米著緩至光緒十七年秋後遞展一年帶徵  
江夏縣崇通等屯應徵光緒十六年楚課錢糧正  
耗銀三百九十七兩零著緩至光緒十七年秋後  
限一年帶徵原緩光緒十四十五年銀兩遞展  
一年帶徵漢陽縣崇信坊應徵光緒十六年門攤  
銀兩著徵七分其應緩三分正耗銀六十八兩零  
著緩至光緒十七年秋後限一年帶徵原緩光緒

十四十五年銀兩遞展一年帶徵其漢陽縣  
光緒十五年奏銷案內民欠未緩地丁正耗銀六百  
九十二兩零沔陽州光緒十五年奏銷案內民欠  
未完地丁正耗銀六百十六兩零黃岡縣光緒十  
五年奏銷案內民欠未完地丁等款正耗銀二千  
三百七十八兩零均著緩至光緒十七年秋後限  
一年帶徵武昌等衛軍田被淹受旱垓區均與屯  
坐各州縣民田相同共應徵光緒十六年屯餉軍  
三安家開丁幫津等款正耗銀三萬五千二百四  
兩零著緩至光緒十七年秋後限一年帶徵其各  
原緩光緒十四十五年銀兩並著遞展一年帶  
徵以紓民力該督撫即照單開數目刊刻謄黃編  
行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念  
民艱至念該部知道單併發欽此

1095 光緒十六年十二月十二日內閣奉

上諭張之洞等奏勘明湖北各州縣被災情形請緩  
徵漕糧開單呈覽一摺本年湖北武昌等州縣被  
淹受旱已降旨將新舊錢糧加恩分別緩徵所有

應徵漕糧若令照常徵收民力仍有未逮如恩著照所請所有被淹較重之武昌縣神一等十九里咸甯縣一都等九都內之艾家墩等四十九處嘉魚縣宣化等四里內二十九甲蒲圻縣坪下等二十二團內任家橋等一百二十四處漢陽縣白釜池等二十區黃陂縣牛湖等五十七社孝感縣務本西下等十九社內各社甲沔陽州萬廟等二百二官垸黃岡縣下壩等三十三區道觀河等十九區蘄水縣柝湖等三十二區廣濟縣秦東鄉內之童司牌等六十五村莊永東鄉內之李家園等四十七村莊靈東鄉內之鳳嘴港等六十二村莊永西鄉內之武山湖等四十村莊靈西鄉內之花園宕等四十一村莊安樂鄉內之宋家冲等四十一村莊黃梅縣黃連等三鎮並白湖等三鎮內之胡家圩等二十四村莊及考田謝灘二鎮內之白馬寺等三村莊潛江縣西耳等二十二垸垸灣等十七垸馬昌等十九垸天門縣杜橋等三十四垸內之一百九甲半淖潑等四十七垸內之八十七甲半應城縣葉嘴等五團區江陵縣築支等六十六

垸長樂等一百六垸公安縣毛一等九里並刀一等十九里內六十甲石首縣民旺等十六垸並一都等十四坊垸內三十六甲監利縣大蘇湖等一百六十三垸松滋縣下八上八二都並下五等十都荊門州青一等十九團內之三汊河等八十六區共應徵光緒十六年漕糧正耗米二萬八千二百十九石零著緩至光緒十七年秋後限一年帶徵原緩節年漕糧展至十八年秋後帶徵其漢陽縣民欠未完光緒十五年漕糧正耗米四百七十四石零沔陽州民欠未完光緒十五年漕糧正耗米一百六十二石零黃岡縣民欠未完光緒十五年漕糧正耗米九百七十七石零蘄水縣民欠未完光緒十四年漕糧正耗米一千三百五十五石零均著緩至光緒十七年秋後限一年帶徵以紓民力該督撫即照單開數目刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任胥吏舞弊用副軫念歎區至意該部知道單併發欽此

1096 光緒十六年十二月十二日內閣奉

上諭前因京師入冬以來雪澤稀少朕於本月初四日親詣

大高殿拈香並派慶郡王奕劻等分詣時應宮等處拈香虔申祈禱現經數日尚未溼沛祥雲節逾大寒備深寅盼本月十四日朕仍親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載漪

昭顯廟著派輔國公載瀾

宣仁廟著派鎮國將軍載瀛

凝和廟著派鎮國將軍載津同於是日分詣拈香

欽此

1097 軍機大臣面奉

諭旨著戶部撥交內殿銀十萬兩嗣後每年照數交進欽此

十二月十二日

1098 交戶部本日軍機大臣面奉

諭旨著戶部撥交內殿銀十萬兩嗣後每年照數交進欽此相應傳知

貴部欽遵辦理可也此交

十二月十二日

1099 光緒十六年十二月十三日內閣奉

上諭茲接奏查明杭州等府屬災歉情形請分別蠲緩地漕等項一摺本年浙江杭州等府屬被水被旱被風被蟲致成災歉並沙淤石積各田地山塘若將應徵地漕等項照常徵收民力實有未逮如恩著照所請所有杭州府屬之仁和錢塘海甯富陽嘉興府屬之嘉興秀水嘉善海鹽平湖石門桐鄉並嘉所湖州府屬之歸安烏程長興德清武康安吉孝豐紹興府屬之山陰會稽蕭山諸暨溫州府屬之平陽等州縣所歉收民屯學沙收花各田地共九千六百三頃六畝零又臨安東陽桐廬三縣本年被水冲塌成溪沙淤石積民田地塘共九十五頃八十六畝零又錢塘等二十四縣及杭衢



二所各年被水坍塌暨沙淤石積仍難墾復民屯  
學各田地塘共一千三百七頃二十七畝零統共  
本年被水旱風蟲受傷致成歉收暨沙淤石積及  
各年沙淤石積民屯學沙收花各田地塘一萬一  
千六頃二十畝零著將仁和等二十三州縣並嘉  
所歉收各田地與臨安等三縣本年被水沖塌成  
溪沙淤石積田地塘暨錢塘等二十四縣及杭衢  
二所各年沙淤石積本年仍難墾復民屯學各田  
地塘應徵光緒十六年地丁等項正耗錢糧漕白  
等項米石沙收學等租銀錢數收者緩至來年麥  
熟起限一年徵完沙淤石積者全行蠲免又秋收  
減色之餘抗新城於潛昌化鄞縣慈谿奉化鎮海  
象山餘姚上虞新昌嵊縣臨海黃巖太平甯海天  
台仙居金華蘭谿義烏永康武義浦江湯溪西安  
龍游江山常山開化建德縹安遂安壽昌分水永  
嘉樂清瑞安泰順玉環麗水縉雲青田龍泉慶元  
景甯宣平等廳縣及杭嚴台州二衛所與歉收沙  
淤各州縣所未完各年舊欠暨原緩帶徵地漕各  
銀米概行遞緩一年徵收以紓民力餘著照所議

辦理該撫卽刊刻謄黃偏行晚諭務使實惠均霑毋  
任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1100 光緒十六年十二月十三日內閣奉

上諭戶部奏遵議楊昌濬奏請將解清甘肅新餉各  
員分別獎敘開單呈覽一摺甘肅新餉關緊緊要  
所有埤數批解各員自應量加獎敘調任湖北布  
政使前江蘇布政使黃彭年前湖北布政使蒯德  
標安徽布政使阿克達春前湖北鹽法道葉蔭防  
陝西潼商道前署陝西布政使文光前署江蘇布  
政使田國俊湖北候補道翟廷韶錫璋江蘇候補  
道朱之榛吳炳祥均著交部從優議敘陝西布政  
使陶樸江甯布政使前江西按察使署布政使瑞  
璋江西布政使方汝翼均著賞給頭品頂戴四川  
布政使崧蕃山西河東道邁拉遜前湖南岳常澧  
道署布政使崔穆之江西督糧道鄧蓉鏡湖南糧  
儲道呂世田四川鹽茶道延煜成綿龍茂道承厚  
江西候補道張興留湖南候補道謝廷榮四川候  
補道夏晉湖南沅州府知府趙環慶均著賞加隨

帶二級安徽按察使前山西按察使署布政使萬  
 崑湖南按察使沈晉祥鹽法道紹榮辰沅永靖道  
 翁曾桂署四川按察使建昌道黃毓恩江蘇候補  
 道凌蔭廷吳承潞禹志連四川候補道張華奎均  
 著賞加二品頂戴湖南候補道劉鎮周麟圖均著  
 賞給二品封典江西按察使前兩淮鹽運使福裕  
 著以應升之缺開列在前福州將軍希元威京將  
 軍前湖廣總督裕祿四川總督劉秉璋雲貴總督  
 前湖南巡撫王文韶察哈爾都統前湖北巡撫奎  
 斌順天府府尹前安徽巡撫陳彝調任江蘇巡撫  
 前山西巡撫剛毅江西巡撫德馨調任湖南巡撫  
 前陝西巡撫張煦升任河東河道總督前江甯布  
 政使許振禕升任山西巡撫前河南布政使劉瑞  
 祺均著交部從優議敘以示鼓勵該部知道單併  
 發欽此

1101 光緒十六年十二月十四日內閣奉

上諭裕祿等奏

福陵應修各工請派員勘估一摺

福陵  
 明樓等處工程均關緊要著派懷塔布就近敬謹勘估  
 欽此

1102 光緒十六年十二月十四日內閣奉  
 上諭太常寺奏請簡員署理卿缺一摺太常寺卿著  
 壽蔭署理欽此

1103 應署滿洲太常寺卿名單  
 硃。 太僕寺卿壽蔭

通政使司副使良培  
 大理寺少卿廷禧  
 鴻臚寺卿祥霖  
 太僕寺少卿奎煥  
 內閣侍讀學士三德

溥頤  
 文增  
 奎郁  
 載華  
 印啟

1104 光緒十六年十二月十四日奉

旨依議欽此

兵部奏會後翼尉連祥等處分摺

1105 光緒十六年十二月十四日奉

旨准其接算前俸欽此

內務府奏員外郎奉旨應否接算前俸請

旨摺

1106 光緒十六年十一月二十一日內閣奉

上諭朕親奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨皇帝

本生父醇親王奕譞秉性忠純宅心仁厚才猷遠大

勲業崇闓自幼仰蒙

宣宗成皇帝鍾愛恩眷優加

文宗顯皇帝誼篤友于封為郡王同治年間晉封親王

歷充御前大臣等差恪恭盡職迨皇帝入承大統特

降懿旨令以親王世襲罔替懋諭再三涕泣受命歷

年以來平章軍國重事主持正議利國利民其總理

神機營及創立北洋海軍宏謨碩畫成效昭然前年親赴海口巡閱操防尤能綜攬大綱不辭勞瘁論國家酬庸之典雖疊頒異數猶覺功浮於賞而王謙謹為懷益加寅畏於特旨賞坐杏黃轎始終不敢乘坐並以現居

賜邸為皇帝發祥之所敬獲

雍和宮成憲靖旨恭繳其忠敬篤恭之忱數十年如一

日自古賢王罕有倫比王氣體素強前歲感犯肝疾

特率同皇帝屢往問視旋即調治就痊本年夏間感

受暑溼觸發舊疾復同皇帝疊次詣邸看視近日以

來聞王病篤深宮默念日夕焦愁不料病勢已深醫

藥罔效遂於二十一日丑刻薨逝深宮震悼實深著

賞給陀羅經被即日親臨賜奠皇帝詣邸成服行禮

派總管內務府大臣福錕禮部尚書崑岡工部尚書

熙敬禮部左侍郎錢應溥辦理喪事所有一切事宜

俱由官為經理鎮國公載灃即日承襲王爵用示篤

念親賢至意欽此

1107 光緒十六年十一月二十一日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨自古帝王以孝治天下必推本於所生而禮有經權尤必折衷至當方足以昭示來茲恭讀

高宗純皇帝御製濮議辨授引禮經垂為定論稱所生曰皇帝本生父歿則稱本生考立廟於其邸第為不祧之廟祀以天子之禮合乎父為士子為大夫葬以士祭以大夫之義則尊親之誼交盡而於公義私恩兩無遺憾

聖訓煌煌昭垂萬世洵協於天理人情之至皇帝入嗣文宗顯皇帝誕承大統光緒元年正月醇親王奕譞密陳豫杜妄論一疏內稱歷代繼統之君推崇本生父母者以宋孝宗不改子傳秀王之封為至當將來如有以治平嘉靖之說進者務目之為奸邪小人立加屏斥等語持論正大光明敬徵

高宗純皇帝御諭正相脗合其志慮之忠誠防維之深切方之古純臣何以加茲上年二月初二日因吳大澂之奏特降懿旨將王之密疏宣示中外俾天下臣

民咸知我朝隆軌超軼前代而醇親王寅畏之本心從此昭然若揭詎意天不假年溘然長逝痛惜之極悲感彌深醇親王著定稱號曰皇帝本生考所有一切飾終葬祭典禮自宜恪遵  
祖訓祥定葬章用遂皇帝恩義交盡之忱兼表賢王終始不渝之志著派御前大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部妥議以聞欽此

1108

臣奕訢世鐸額勒和布張之洞李瀚章張之洞奏請恭錄

奏臣等遵

旨公同商酌

一擬請本日

皇上至邸第時換青長袍褂冠摘纓

一擬請明日

皇上至邸第時更縞素

一本日隨侍執差人等應換青褂

一擬請明日

皇上先至適園更換縞素詣邸候選

宮時仍在適園更衣謹

奏

1109 光緒十六年十一月二十三日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨皇帝  
本生考醇親王芫逝業經降旨加恩用昭隆禮因念  
飾終之典首重易名醇親王親賢重望中外交孚茂  
績宏猷增光史冊允宜特加諡號昭示來茲醇親王  
著賜諡曰賢以彰勲德而垂久遠欽此

1110 光緒十六年十一月二十三日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨本日  
御前大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部奏遵  
議醇親王飾終典禮分別條款請旨遵行一摺皇帝  
服制即著定為持服期年御編素十一日輟朝十一日  
期年內除請安暨聽政召見外御便殿時仍用素服

壇

廟大祀皇帝親詣行禮中祀均遣官恭代元旦詣  
堂子行禮仍御禮服詣慈寧宮行禮御禮服作樂其太  
和殿朝賀御禮服升殿不宜表樂設而不作蒙古朝

正來京王公例賜筵宴照舊舉行宗親廷臣筵宴均  
著停止其祭文碑文均書皇帝名嗣後臣工奏疏凡  
遇醇親王字樣均用雙槓書寫餘著照所議行該衙  
門知道單併發欽此

1111 光緒十六年十一月二十三日軍機大臣面奉  
諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇親  
王芫逝除編素期內皇帝詣邸親行奠酒外其餘每  
次奠酒著派載澐載澂載澍載澣載濟載澤溥倫奕謨毓  
懋分班恭代行禮欽此

1112

奏為欽遵

臣晉祺等謹

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨自古  
上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨自古  
帝王以孝治天下必推本於所生而禮有經權尤必  
折衷至當方足以昭示來茲恭讀

高宗純皇帝御製漢議辨後引禮經垂為定論稱所生  
曰皇帝本生父歿則稱本生考立廟於其邸第為不  
祧之廟祀以天子之禮合乎父為士子為大夫葬以  
士祭以大夫之義則尊親之誼交盡而於公義私恩  
兩無遺憾

聖訓煌煌昭垂萬世洵協於天理人情之至皇帝入嗣  
文宗顯皇帝誕承大統光緒元年正月醇親王奕譞密  
陳豫杜妄論一疏內稱歷代繼統之君推崇本生父  
母者以宋孝宗不改子偽考王之封為至當將來如  
有以治平嘉靖之說進者務日之為奸邪小人立加  
屏斥等語持論正大光明敬微

高宗純皇帝御諭正相摺合其志慮之忠誠防維之深  
切方古之純臣何以加茲上年二月初二日因吳大  
澂之奏特降懿旨將王之密疏宣示中外俾天下臣  
民咸知我朝隆軌超軼前代而醇親王寅畏之本心  
從此昭然若揭拒意天不假年溘然長逝痛惜之極  
悲感彌深醇親王著定稱疏曰皇帝本生考所有一  
切飾終葬祭典禮自宜恪遵

祖訓詳定葬章用遂皇帝恩義交盡之忱兼表賢王終

始不渝之志著派御前大臣軍機大臣翁同龢孫家  
鼐會同禮部妥議以開欽此欽遵鈔出前來臣等伏  
查禮經齊衰杖期章為人後者為其父母報又  
通禮內載齊衰不杖期為人後者為本生父母  
是為本生父母應服齊衰期也今

醇親王薨逝恭奉

懿旨命臣等將一切飾終葬祭典禮會同妥議臣等公

同商推謹遵

懿旨醇親王著定稱疏曰皇帝本生考之義擬請

皇上持服期年服制既定一切典禮擬即準此次第

詳定臣等悉心參酌謹將飾終各典禮分列條

款開單進呈伏候

皇上恭請

懿旨遵行此外未盡事宜仍由臣等隨時酌擬奏明請

旨所有臣等遵議緣由是否有當伏乞

聖鑒謹

奏

光緒十六年十一月二十三日

御前大臣 臣 晉 祺

軍機大臣 臣 奕劻

臣 額勒和布

臣 張之萬

臣 許庚身

臣 孫毓汶

戶部尚書 臣 翁同龢

都察院左都御史 臣 孫家鼐

禮部尚書 臣 崑岡

臣 李鴻藻

左侍郎 臣 文興

臣 錢應溥

右侍郎 臣 景善

臣 李文田

1113 一 臣等謹按期年之服十二月而除今準十二

月之例擬請

皇上御縞素或十三日或十一日恭候

懿旨

一 擬請

皇上於釋縞素後請髮

一 親王薨逝照例奏請

輟朝三日今

醇親王薨逝應否酌加日期之處恭候

懿旨

一 期年內擬請

皇上除詣

皇太后前請

安奠

聽政

召見外

御便殿時仍用素服

一向例親王薨逝禮部題請交宗人府請諡其

諡號由內閣撰擬一字進呈

欽定今

醇親王薨逝擬請

皇太后特賜諡號以昭隆重

一 縞素期內每日奠酒擬請

皇上詣郊第

親行奠酒外其餘每次奠酒擬請

欽派王貝勒貝子公每日一人前往恭代其齊集禮

節應由禮部照例辦理

一期年內

壇

廟大祀擬請

皇上親詣行禮其

中祀期年內均

遣官行禮

一期年內遇元旦

堂子行禮擬請

皇上仍御禮服

一期年內遇元旦

皇上詣

慈寧宮行禮御禮服作樂其

太和殿朝賀仍御禮服升殿應否宣表作樂之處

恭候

懿旨

懿旨

一期年內蒙古朝正來京王公例賜筵宴擬請  
照舊舉行其宗親廷臣筵宴可否停止之處恭候

一初祭大祭及奉移奉安一應祭奠需用羊酒

饌運楮錢金銀錠等項應由禮部查照親王例

辦理

一祭文內擬請用

皇帝敢昭告於

本生考

醇親王碑文稱謂同應否恭書

御名臣等未敢擅擬恭候

懿旨其一切章奏內恭遇

醇親王字樣均用雙槓書寫

1114 光緒十六年十一月二十四日奉

旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨十二

月初七初九二十八等日中正殿拈香著派禮親王

世鐸恭代行禮其坤寧宮祭



神照常舉行明年六月皇帝萬壽照常行禮樂設而不作停止聽戲欽此

1115 光緒十六年十一月二十七日内閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨本日御前大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部奏酌擬醇賢親王初祭大祭奉移各典禮開單進呈請旨遵行一摺所有十二月初十日行初祭禮十六日行大祭禮二十日奉移圍寓皇帝均親詣行禮御青長袍袷冠摘纓奉移前朔一日皇帝親詣行禮照大祭禮讀文致祭奉移日皇帝詣邸第恭送至適園候過運宮二十一日仍詣園寓奠酒行禮餘均照所請行該衙門知道單併發欽此

1116 光緒十六年十一月二十七日軍機大臣面奉 諭旨朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇賢親王初祭大祭日燎爐前著派載瀝奠酒奉移圍寓暫安畢著派載澄恭代奠酒行禮欽此

1117 奏為會議具 臣 晉祺等謹

奏事竊臣等於光緒十六年十一月二十三日具奏醇賢親王飾終典禮摺內聲明未盡事宜由臣等隨時酌擬具奏在案恭查飾終典禮內曰初祭曰大祭曰奉移均應次第舉行現在內務府文稱據欽天監選擇得十二月初十月初祭十六日大祭二十日奉移

圍寓暫安吉臣等公同商酌分列條款開單進呈 伏候

皇上恭請

懿旨遵行謹

奏

光緒十六年十一月二十七日

御前大臣 臣 晉祺

臣 奕劻

軍機大臣 臣 世鐸

臣 額勒和布

臣 張之萬

臣許庚身

臣孫毓汶

戶部尚書臣翁同龢

都察院左都御史臣孫家鼐

禮部尚書臣崑岡

臣李鴻藻

左侍郎臣文興

臣錢應溥

右侍郎臣景善

臣李文田

1118 初祭大祭日均擬請

皇上親詣行禮御青長袍冠袖

一祭文內恭書

御名擬請

飭交內閣敬謹書寫

一初祭大祭日燎鑪前奠酒擬請由原

派每日奠酒之貝勒貝子公內

欽派一員奠酒

一初祭大祭

皇上親詣行禮禮節應由禮部前期酌擬恭進

一奉移前期一日應否

親詣行禮照大祭禮讀文致祭恭請

懿旨

一奉移日擬請

皇上詣郊第步送至大門外

乘輿由間道先行應恭送至何處恭請

懿旨

一奉移

圓寓暫安後

皇上於何日

親詣奠酒恭請

懿旨

一奉移日應用儀衛及大槓撞夫均請由內務

府奏明辦理

一奉移

圍寓以後一應祭奠均請由內務府奏明辦理

奏為請

禮部尚書臣宗室崑岡等謹

旨事光緒十六年十一月二十七日臣部會議奏准醇賢親王飾終典禮條款內開初祭大祭

皇上親詣行禮禮節由臣部酌擬恭進又奉移前一

日照大祭禮讀文致祭等因在案除祭文由翰

林院撰擬讀祝官由太常寺出派外一應致祭

禮節臣等悉心參考公同商酌謹繕清單恭請

欽定祇候

命下臣部屆期恭進其應行豫備事宜仍由臣部行

文各該衙門遵照辦理所有臣等恭擬

醇賢親王初祭大祭及奉移前一日

皇上親詣致祭禮節是否有當伏乞

聖鑒訓示遵行謹

奏

光緒十六年十二月十五日

禮部尚書臣宗室崑岡

禮部尚書臣李鴻藻

禮部左侍郎臣文興

1120 謹將酌擬

醇賢親王初祭大祭及奉移前一日致祭禮節恭呈

御覽

祭日內外齊集內務府陳儀衛並設祭文案於

月臺上西首設燎爐於正門外祭品羊饌筵具

陳讀祝官恭捧祭文禮部堂官前引由中門入

設於案屆時

皇上御青長袍袿冠摘纓由東門詣月臺上西向立

派出穿孝貝勒貝子公等及齊集王公官員等以次

集於內務府執事官進奠几於正中

皇上詣奠几前跪禮部堂官跪展祭文讀祝官讀祭

文畢復於案少退捧爵大臣跪進爵

皇上祭酒三爵每祭一拜興衆隨行禮畢

皇上豫至中門外西向立讀祝官恭捧祭文禮部堂

官前引由中門出至燎所讀祝官安設祭文於燎

禮部左侍郎臣錢應溥

禮部右侍郎臣景善

禮部右侍郎臣李文田

燼焚化

派出奠酒員勒奠酒三爵每奠行一叩禮典禮畢

1121

醇賢親王初祭祭文

維光緒十六年歲次庚寅 月 朔越 日  
敢昭告於

皇帝

本生考

醇賢親王神位前曰湖自宗支入承大統永

源本

本難忘

願復之恩夜寐夙興時切瞻依之念前奉

慈輿而視疾祇省

起告驟驚

靈馭之歸真遽違

營款一朝永隔五內交推伏維

本生考

醇賢親王真誠風著

謙德允昭

總軍國以平章邦家攸賴

籌邊防而巡閱中外胥安毛裏興懷方冀

庭階日永

心神告瘁何堪

几杖塵封爰循報

本之文敬盡慎終之禮於戲茲芬肅薦期

靈爽之式憑奠敬虔申痛

音容之已邈伏祈

來格

俯賜告歆

醇賢親王大祭祭文

維光緒十六年歲次庚寅 月 朔越 日  
敢昭告於

皇帝

本生考

醇賢親王神位前曰竊以義重所生本木宜推乎源

本禮表至當凡筵疊致其情文早逾釋編之期

重展升香之祀伏惟

本生考

醇賢親王性資篤棊

勳德崇隆

1122

膺異數而彌謙

蘊宏猷而成損

親領周廬之禁旅七萃塵清

肇規橫海之樓船重瀛波靖方謂

艾齡

錫嘏長資日贊於

深宮茂瑄同春永駐陽和於

峻邱豈意沈疴遽駕至劑無靈緬

經畫之時勞痛

音容之遂渺今者恭承

懿旨疊示優崇上稟

祖謨首正稱名之義下參廷議持循期服之文治事屬

之禮官輟朝逾乎旬日桐圭襲爵

榮封並壽於山河竹帛易名

美謚爭光於日月斯實誼周終始禮重親賢恩義兼

全榮哀備盡表

純心於中外通至理於經權曠前古而無儔範人倫

而立極在

靈爽有昭明之鑒遺憾毫無而藐躬思

顧復之恩銜悲曷既空愴懷於

創復敬薦潔於銅蓮於戲

密疏長存永識

防維之深意多儀非享慶申追慕之恩忱靡罄瞻依

伏期

敬格

醇賢親王奉移前一日告祭祭文

維光緒十六年歲次庚寅 月

皇帝

本生考

醇賢親王神位前日馨香致潔禮有進而益隆饋奠

興哀時以逾而漸遠當朔雪戒塗之候值明星

風駕之長引紳旣陳尊彝式舉敬維

本生考

醇賢親王文武兼資

德勳並懋

謀冲本乎宣長

仁厚積以真誠誦

誠勉二詩已敗周孔傳心之要讀  
防維一疏永杜宋明議禮之爭

嘉謨八告於

宮廷夾輔上安夫

宗

社今者恭承

懿訓備舉隆儀

鑿與躬莅乎

几筵明器

命增夫車服蓋

慈眷彌篤睦親之誼而有司已陳

遺坐之期惟茲

園寓之清嚴實與郊坰為密通春秋卉木罔非

手澤所滋培西北雲山適合

心期之曠遠仰

神明之陟降宜

駉馭之來臨

丹旌難留雕筵增慟於戲鞞黃圖而綏八極敢忘

籌海之確規遡紫陌而隔重門不盡望雲之餘慕肅

將恭茲伏冀

鑿款

1124 光緒十六年十二月十五日內閣奉

上諭四川重慶鎮總兵員缺著錢玉興補授欽此

1125 查四川重慶鎮總兵係陸路缺謹

奏

1126 光緒十六年十二月十五日軍機大臣面奉

諭旨都察院代奏前湖南候補知府永綏廳同知王

恂呈進通鑑綱目引義著交南書房翰林閣看翁

同蘇孫家鼐著一併閱看欽此

1127 軍機大臣 字寄

倉場侍郎興 游 光緒十六年十二月十六

日奉

上諭有人奏前署通州西倉監督福山家丁田姓等  
向該倉甲斗訛詐銀兩並有勾串匪徒盜米情事  
等語著興廉游百川確切查明據實具奏原片著

鈔給閱看將此諭令知之欽此遵

旨寄信前來

1128 交步軍統領衙門本日軍機大臣面奉

諭旨御史周天霖奏京師盜風日熾請飭整頓捕務一摺著步軍統領衙門嚴定章程認真緝捕遇有盜案即行送交刑部懲辦以靖閭閻原摺著鈔給閱看欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計黏鈔摺一併

十二月十六日

1129 辦理軍機處為咨覆事准

貴副都統咨稱前奏伊犁將軍色寶係服毒身故一摺未經奉到

諭旨等因查前項摺件已奉有寄信諭旨交將軍長查辦相應咨覆

貴副都統查照希靜候辦理可也須至咨者

右 咨 行

按辦塔爾巴哈台參贊大臣伊犁副都統額

光緒十六年十二月十六日

1130 光緒十六年十二月十七日內閣奉

上諭續昌奏假期屆滿病仍未痊懇請開缺一摺戶部左侍郎續昌著賞假兩箇月毋庸開缺欽此

1131 光緒十六年十二月十七日內閣奉

上諭長順奏武職大員呈請開缺等語伊犁錫伯營領隊大臣果權著准其開缺欽此

1132 光緒十六年十二月十七日內閣奉

上諭長順奏副都統在籍病故懇恩賜卹一摺前任盛京副都統調補正藍旗蒙古副都統富陞於咸豐年間出征江南安徽山東直隸等省打仗奮勇曾著勞績前因患病准其開缺茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1133 光緒八年五月二十九日內閣奉

上諭正藍旗滿洲副都統雙印由烏槍護軍薦升副都統咸豐同治年間在直隸山東河南安徽奉天

等省軍營打仗出力前因患病賞假調理遽聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1134 光緒十三年八月初六日內閣奉

上諭荊州右翼副都統英秀由護軍出征直隸連鎮等處打仗奮勇著勞績著升副都統後亦能稱職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1135 光緒十六年十二月十七日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇賢親王福音著加恩賞食親王全俸欽此

1136

御筆條 奉

懿旨醇賢親王福音著加恩賞食親王全俸

1137 光緒十六年十二月十七日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇親王載灃著加恩賞食親王全俸八分輔國公載洵著晉封為八分鎮國公鎮國將軍載濤著晉封為不入八分輔國公欽此

1138 光緒十六年十二月十八日內閣奉

上諭續昌現在賞假戶部左侍郎兼管三庫事務著敬信兼署欽此

1139 應兼署滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松桂 現署都察院左都御史

右侍郎敬信

戶部右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾 現在請假

右侍郎巴克坦布



刑部左侍郎桂全 現在請假

右侍郎清安 現在請假

工部右侍郎豐烈 現在請假

理藩院左侍郎鳳鳴

右侍郎慶福

應署滿洲侍郎名單

內閣學士祥麟 現在守考

文治

霍穆歡

愛廉

榮惠

都察院左副都御史奕年

奕秋

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂 現在請假

詹事府詹事志銳

1141 候補侍郎名單

桂祥

1142 光緒十六年十二月十八日內閣奉

上諭湖北布政使著王之春補授欽此

直隸布政使裕長 滿洲正白旗監生 光緒十五年七月補

江蘇布政使鄧華熙 廣東舉人 光緒十五年補授

江甯布政使瑞璋 滿洲正紅旗人 光緒十六年二月補

安徽布政使阿克達春 滿洲正白旗監生 光緒十七年八月補

山東布政使福潤 蒙古正紅旗附生 光緒十六年二月補

山西布政使奎俊 滿洲正白旗人 光緒十五年十月補

河南布政使廖壽豐 江蘇進士 光緒十六年正月補授

陝西布政使陶模 浙江進士 光緒十四年三月補

甘肅布政使張岳年 浙江舉人 光緒十五年十一月補

甘肅新疆布政使魏光燾 湖南人 光緒九年三月補授

浙江布政使許應鏞 廣東進士 光緒十年十月補

福建布政使劉樹堂 雲南監生 光緒十六年閏正月補

福建臺灣布政使沈應奎 浙江人 光緒十六年六月補

江西布政使方汝翼 真隸舉人 光緒十四年十月補

湖南布政使何樞 河南進士原籍浙江 光緒十五年十二月補

廣東布政使成允 正紅旗監生 光緒十六年十月補

廣西布政使張聯桂 江蘇附生 光緒十五年八月補

四川布政使崧蕃 滿洲鎮監舉人 光緒十五年九月補

雲南布政使史念祖 江蘇監生 光緒十五年十月補

貴州布政使王德榜 湖南監生 光緒十五年十月補

直隸按察使周馥 安徽監生 光緒十四年二月補

江蘇按察使陳澧 湖南人 光緒十四年十月補

安徽按察使高崑 滿洲鎮監舉人 光緒十五年三月補

山東按察使曹秉哲 廣東進士 光緒十五年三月補

山西按察使潘駿文 安徽傳貢生 光緒十五年十月補

河南按察使賈致恩 山東廩生 光緒十五年二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人 光緒十四年十月補

甘肅按察使裕祥 滿洲鎮監進士 光緒十四年九月補

浙江按察使龔照瑗 安徽監生 光緒十五年正月補

福建按察使張國正 漢軍鎮監舉人 光緒十五年正月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗監生 光緒十六年一月補

湖北按察使陳寶箴 江西舉人 光緒十六年十月補

湖南按察使沈晉祥 浙江監生 光緒十五年四月補

廣東按察使王之春 湖南人 光緒十四年三月補

廣西按察使湯聘珍 湖南監生 光緒十六年四月補

四川按察使德壽 漢軍鎮監舉人 光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓英 廣西人 光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森 廣東進士 光緒十六年四月補

1145 光緒十六年十二月十八日內閣奉

上諭前任京口副都統鍾澧由鑾儀衛冠軍使隨征山東河南安徽等省疊著勞績為升副都統亦能稱職前因患病准其開缺茲聞澧逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1146 光緒八年五月二十九日內閣奉

上諭正藍旗滿洲副都統雙印由烏槍護軍薦升副都統成豐同治年間在直隸山東河南安徽奉天等省軍營打仗出力前因患病賞假調理遽聞溘

逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1147 光緒十三年八月初六日內閣奉

上諭荊州右翼副都統英秀由護軍出征直隸連鎮等處打仗奮勇曾著勞績洵升副都統後亦能稱職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1148 光緒十六年十二月十八日奉

旨著於每年二月交進欽此

戶部奏遵撥 內撥銀十萬兩片

1149 光緒十六年十二月十八日軍機大臣面奉

諭旨載洵現已晉封入八分鎮國公仍著加恩賞食全俸欽此

1150 交宗人府本日軍機大臣面奉

諭旨載洵現已晉封入八分鎮國公仍著加恩賞食全俸欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交

十二月十八日

1151 光緒十六年十二月十七日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇賢親王福晉著加恩賞食親王全俸欽此

1152 光緒十六年十二月十七日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇親王載灃著加恩賞食親王全俸入八分輔國公載洵著晉封為入八分鎮國公鎮國將軍載濤著晉封為不入八分輔國公欽此

1153

奏為請

臣世等謹

旨事據和碩醇親王門上呈報現因本府

醇賢親王於本年十一月二十一日薨逝當日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨醇親

王之子八八分鎮國公載灃著即日承襲王爵欽此查

醇賢親王前蒙

恩賞食親王雙俸又於本年正月二十六日欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨著加

恩於照例甲數外賞添護軍十五分藍甲二十分白

甲三十分現屆辦理俸檔餉檔之期本府應領之親

王雙俸併

加恩增賞之甲是否仍遵照前

旨按月照數關領抑或另有彙辦呈報宗人府查彙辦

理等因呈報到臣衙門臣等查例載凡和碩親

王歲給俸銀一萬兩米五千石王公章章京承襲

爵之人照八旗通例年未及歲未上

朝者准給半俸十八歲當差行走准食全俸等語今

醇賢親王薨逝欽奉

懿旨八八分鎮國公載灃即日承襲王爵其前奉  
懿旨賞添甲數自應准予照舊支領至應領俸銀俸米

如何支領之處臣等未敢擅便謹恭摺具

奏請

旨

光緒十六年十二月

日

宗令和碩禮親王臣世鐸

左宗正多羅慶郡王臣奕劻

右宗正郡王銜多羅貝勒臣奕劻

左宗人親王銜多羅貝勒臣晉祺

右宗人員勒街圍員子臣奕謨

1154 光緒十六年十二月十九日內閣奉

上諭廣東按察使著額勒精額補授欽此

1155 直隸按察使周馥

江蘇按察使陳澧

安徽按察使高崑

山東按察使曹秉哲

山西按察使潘駿大 安徽壽州人  
光緒十五年十二月補

河南按察使賈致恩 山東濟寧人  
光緒十五年十二月補

陝西按察使唐樹楠 湖南舉人  
光緒十四年十月補  
光緒十五年十月補  
光緒十六年十月補

甘肅按察使裕祥 滿洲懷德人  
光緒十四年九月補  
光緒十五年十月補  
光緒十六年十月補

浙江按察使其照 安徽壽州人  
光緒十五年正月補

福建按察使張國正 漢軍鑲黃旗人  
光緒十五年正月補  
光緒十六年正月補

江西按察使福裕 蒙古正紅旗人  
光緒十五年正月補

湖北按察使陳寶箴 江西舉人  
光緒十五年十月補

湖南按察使沈晉祥 浙江鹽水人  
光緒十五年四月補

廣西按察使湯聘珍 湖南鹽水人  
光緒十五年四月補

四川按察使德壽 漢軍鑲黃旗人  
光緒十五年十二月補

雲南按察使岑毓英 廣西人  
光緒十五年六月補

貴州按察使黃槐森 廣東進士  
光緒十六年四月補

1156 光緒十六年十二月十九日奉

旨這所奏疏防監犯越獄之管獄官江西臨川縣典史劉榮振著即革職等因交德馨提同刑禁人等嚴訊有無鬆刑賄縱情弊按律懲辦有獄官臨川縣知縣劉瑞初著先行交部議處仍勒限將違犯

黃探春嚴緝務獲究辦餘著照所議辦理該部知道欽此

1157 辦理軍機處為副行事查向來呈遞恭賀

皇太后元旦天喜及恭請

皇太后聖安應分繕二摺恭賀

皇上元旦天喜及恭請

皇上聖安亦應分繕二摺共應遞摺四件均毋庸繕

寫年月日此次

貴總兵合繕二摺呈遞並書寫年月日均屬違

式嗣後應查照向式恭繕呈遞須至劄者

右副江南徐州鎮總兵陳鳳樓謹此

十二月十九日

1158 光緒十六年十二月二十日內閣奉

上諭李鴻章奏查明被災地請豁免租銀等語直隸文安等州縣境內淀地本年被水成災收成歉薄若將應徵租銀照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有文安縣淀地五百一頃五十四畝

零額徵租銀一千五百四兩零著減免十成之二  
減剩銀內除本年上忙花戶長完銀二十一兩零  
准抵光緒十七年正賦外其民欠未完銀兩著緩  
至十七年秋後啟徵大城縣浚地十三項額徵租  
銀十九兩零著減免十成之五霸州浚地九項五  
十三畝零額徵租銀二十八兩零著全行豁免內  
有花戶長完銀十四兩零著准抵光緒十七年正  
賦靜海縣浚地三百五十五項五十九畝零額徵  
租銀五百三十三兩零著全行豁免內有光緒十  
五年花戶長完銀十二兩零並本年上忙已完銀  
七十兩零均著准抵光緒十七年正賦靜海縣泊  
地二百七十三項八十四畝零額徵租銀八百二  
十一兩零著全行豁免內有光緒十五年花戶長  
完銀二十二兩零並本年上忙已完銀一百八十  
七兩零均著准抵光緒十七年正賦其文安靜海  
二縣十四十五等年民欠浚泊租銀均著遞緩至  
光緒十七年秋後啟徵其節年民欠均著緩至  
光緒十七年秋後啟徵以紓民力餘著照所議辦理  
該督即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠均霑毋任  
吏胥舞弊用副體恤民艱至意該部知道欽此

1159 光緒十六年十二月二十日內閣奉

上諭崧駿奏查明各屬荒廢未種田地並新種之產  
請將地漕等項分別徵蠲一摺浙江各屬荒廢未  
種各產經該撫督飭屬員認真查勘有現尚荒蕪  
者有沙淤坍塌者若將應徵地丁漕糧等項照常  
徵收民力實有未逮加恩著照所請所有杭州等  
府屬仁和等二十二縣及杭嚴衛杭嚴二所仍荒  
未種暨沙淤築塘挖掘濠壘坍塌並流亡未報荒  
蕪缺額民屯沙牧學措各田地山塘蕩漫共四萬  
八千四百八十五項五十九畝零應徵光緒十六  
年分地丁等項正耗錢糧漕白行月南秋正耗等  
項米石沙牧學措等租銀錢著全行蠲免本年臨  
安新城於潛昌化安吉孝豐等六縣共新墾田十  
六項三十四畝零著於十六年全蠲十七年半蠲  
仁和錢塘富陽餘杭臨安於潛昌化龍游及杭嚴  
衛杭所共新墾民屯田地山塘蕩五十項七十九  
畝零均著的徵五成蠲免五成以紓民力餘著照  
所議辦理該撫即刊刻謄黃編行曉諭務使實惠  
均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知  
道欽此

1160 光緒十六年十二月二十日內閣奉

上諭順天府府尹著胡聘之補授欽此

1161 應升順天府府尹名單

光祿寺卿薛福成 現出學差

通政使司副使林維源 現出學差

大理寺少卿楊頤 現出學差

翰林院侍讀學士朱琛

張英麟

譚秀彬

侍講學士翟鴻機

丁立幹

潘衍桐 現出學差

詹事府左春坊左庶子黃卓元

右春坊右庶子吳擘

1162 辦理軍機處為劄行事查向來呈遞元旦賀摺  
應於

皇太后

皇上前各遞一分其呈遞

皇太后賀摺應恭書跪賀

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后元旦天喜

呈遞

皇上賀摺應恭書跪賀

皇上元旦天喜此次該總兵僅遞賀摺一分並書寫

大慶字樣均為違式嗣後應查照向式恭繕呈

遞須至劄者

右劄湖北鄖陽鎮總兵蔡高會准此

1163 光緒十六年十二月二十二日內閣奉

上諭長蘆鹽運使員缺著李邦楨補授欽此

1164 光緒十六年十二月二十二日內閣奉

上諭刑部左侍郎桂全由筆帖式薦升卿貳宣力有

年克稱厥職前因患病疊經賞假調理茲聞遠逝

軫惜殊深加恩著照侍郎例賜卹任內一切處分

悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1165 光緒七年五月初三日內閣奉

上諭前任戶部右侍郎宜振由翰林游蹟卿貳解事  
慎勤克稱厥職前因患病准其開缺調理茲聞  
逝軫惜殊深著加恩照侍郎例賜卹任內一切處  
分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1166 光緒十三年十二月二十五日內閣奉

上諭兵部左侍郎耀年由司員洊升卿貳管理神機  
營事務補授總管內務府大臣勤慎從公克稱厥  
職茲聞溘逝軫惜殊深加恩著賞給太子少保銜  
照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹  
典該衙門察例具奏伊子祥蔭著加恩以主事用  
欽此

1167 光緒十六年十二月二十二日內閣奉

上諭德馨奏查明各屬被災請將新舊錢漕等款分  
別緩徵遞緩開單呈覽一摺江西南昌等府屬本  
年夏間雨水過多江河漲溢低田被淹高區又因  
缺雨收成均形歉薄若將新舊錢漕等款照常徵

收民力實有未逮加恩著照所請所有南昌縣被  
水各處未完本年地丁銀七十二百四兩零漕米  
八千九百五十三石零新建縣被水各處未完本  
年地丁銀六千三百八十七兩零漕米六千四百  
九十四石零進賢縣被水各處未完本年地丁銀  
一萬五百八兩零漕米一萬三千一百十石零蓮  
花廳被旱各處未完本年地丁銀三千三百七十  
八兩零漕米一千六百五十石零漕運屯糧銀五  
百七十七兩零餘租銀九百九十六兩零廬陵縣被  
水被旱各處未完本年地丁銀六千六百九十九  
兩零漕米五千四百五十八石零存留屯糧銀四  
十二兩零漕運屯糧銀三十兩零餘租銀一百四  
十二兩零萬安縣被旱各處未完本年地丁銀四  
千六百二十三兩零漕米二千九百九十六石零  
安福縣被水被旱各處未完本年地丁銀一萬五  
百七十二兩零漕米六千一百六十四石零漕運  
屯糧銀三百五十九兩零餘租銀六百八十二兩  
零永新縣被旱各處未完本年地丁銀一萬八百  
八十一兩零漕米三千一百五十三石零屯丁銀



十六兩零存留屯糧銀六十五兩零漕運屯糧銀  
五百三十兩零餘租銀一千八百九十八兩零建  
昌縣被水被旱各處未完本年地丁銀一萬二千  
九百五十七兩零漕米六千一百三十九石零安  
義縣寄莊建昌縣各處被水被旱未完本年地丁  
銀三百七十一兩零漕米一百六十石零德化縣被  
水被旱各處未完本年地丁銀三千三十二兩零  
屯丁銀九十九兩零存留屯糧銀七百二十四兩  
零漕運屯糧銀二千九百十九兩零餘租銀五千  
三百九十八兩零壓做十五年蘆課銀八百十九  
兩零德安縣被水各堡未完本年地丁銀二千八  
百五兩零屯丁銀一百二十五兩零存留屯糧銀  
一百四十四兩零漕運屯糧銀九百五十四兩零  
餘租銀一千七百十四兩零瑞昌縣被水各處未  
完本年地丁銀二千五百五十一兩零漕運屯糧  
銀八百二十三兩零餘租銀一千六百十六兩零  
湖口縣被水各處未完本年地丁銀一千三百三  
十三兩零漕運屯糧銀一百三十九兩零餘租銀  
三百四十二兩零彭澤縣被水各洲未完本年壓

徵十五年蘆課銀一千九百二十八兩零九江府  
同知所轄各洲被水較重地方未完本年壓徵十  
五年蘆課銀四百七十一兩零均著緩至光緒十  
七年秋後分作兩年帶徵湖口縣被水各洲未完  
本年壓徵十五年蘆課銀二百三兩零著緩至  
光緒十七年秋後分作三年帶徵南昌新建永新德  
化湖口等縣光緒十四十五年峽江永豐德安  
彭澤等縣光緒十五年餘于瑞昌二縣光緒十四  
年被水被旱各原緩地丁等款銀米均著遞緩至  
光緒十七十八兩年秋後帶徵進賢蓮花安福建  
昌併安義縣寄莊建昌縣光緒十五年德安縣光  
緒十四年被水被旱各原緩地丁等款銀米均著  
遞緩至光緒十八十九兩年秋後帶徵進賢蓮花  
安福建昌併安義縣寄莊建昌縣光緒十四年被  
水被旱各原緩地丁等款銀米均著遞緩至光緒  
十九二十年秋後帶徵湖口縣光緒十四十五  
兩年被水各原緩蘆課著遞緩至光緒十七十八  
十九等三年秋後帶徵九江府同知所轄蘆洲  
光緒十五年被水原緩蘆課除完納外尚欠銀兩著

遞緩至光緒十八年秋後帶徵十四年被水原緩  
蘆課除完納外尚欠銀兩著遞緩至光緒十九年  
秋後帶徵以紓民力該撫即刊刻謄黃並將單內  
所開鄉鄰圍甲年款銀米緩徵遞緩各數目詳晰  
刊明徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用  
副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單  
併發欽此

1168 光緒十六年十二月二十三日內閣奉

上諭清安著轉補刑部左侍郎刑部右侍郎著鳳秀  
調補盛京兵部侍郎著豐烈調補桂祥著補授工  
部右侍郎兼管錢法堂事務欽此

1169 應調滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松桂 現署都察院左都御史

右侍郎敬信 現兼署戶部左侍郎

戶部左侍郎續昌 現在 賞假

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾 現在請假

右侍郎巴克坦布

○ 刑部右侍郎清安

工部左侍郎烏拉布 現出學差

○ 右侍郎豐烈 現在請假

理藩院左侍郎鳳鳴

右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

○ 盛京戶部侍郎綿宜

禮部侍郎懷塔布

兵部侍郎鳳秀

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

1170 應升滿洲侍郎名單

內閣學士祥麟 現在掌筆

文治

霍穆歡

愛廉

榮惠

都察院左副都御史奕年

奕杖

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂現在請假

詹事府詹事志銳

1171 候補侍郎名單

硃。桂祥

1172 俸深道員名單

直隸熱河道恩良 鑲紅旗滿洲廢生

直隸口北道吉順 正藍旗滿洲貢生

山東濟東泰武臨道王作孚 貴州進士

安徽安廬裕和道丁峻 江西人

雲南迤西道陳席珍 四川監生

江西鹽法道長祿 正紅旗滿洲繙譯舉人

陝西潼商道文光 鑲黃旗滿洲進士

貴州糧儲道黃元善 湖北進士

江西廣饒九南道李希蓮 山西進士

甘肅甘涼道奎順 正藍旗滿洲監生

1173 俸深知府名單

江西瑞州府知府達春布 鑲黃旗滿洲官學生

山東沂州府知府錫恩 正白旗滿洲人

雲南普洱府知府周範 貴州進士

陝西西安府知府文啟 鑲白旗滿洲官學生

江蘇江甯府知府李廷簫 湖北進士

江蘇常州府知府桐澤 鑲藍旗滿洲監生

四川雅州府知府崔志道 陝西進士

陝西漢中府知府奇臣 鑲紅旗滿洲官學生

江西九江府知府曹東濟 廣東進士

安徽徽州府知府春岫 正紅旗滿洲監生

1174 光緒十六年十二月二十三日內閣奉

上諭沈秉成剛毅奏查明蘇州等府屬被災田地請

分別蠲緩錢漕開單呈覽一摺江蘇蘇州等府屬  
田地本年秋後被旱被風被水禾稼受傷收成減  
色若將應徵錢漕照常徵收民力實有未逮加恩  
著照所請所有長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭  
文崑山新陽婁縣金山青浦武進陽湖無錫金匱  
江陰宜興荆溪丹徒丹陽金壇溧陽太倉鎮洋等  
二十五州縣拋荒未種婁縣被水無收丹徒丹陽  
二縣被旱無收長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭  
文崑山新陽金山青浦荆溪金壇十三縣歷年復  
荒長洲吳縣吳江震澤新陽丹陽等六縣十三年  
屆徵新墾常熟剔剩各年屆徵新墾昭文新陽  
丹徒三縣十二年新墾太倉州五年分鎮洋縣五  
六兩年新墾復荒太湖華亭二廳縣荒廢古基屋  
基等田銀米長洲元和吳縣吳江震澤常熟昭文  
崑山新陽九縣薄收田吳江縣十二年新墾崑山  
新陽二縣拋荒復荒蘆價各田條銀均著全行蠲  
免常熟縣原復熟及各年剔熟並薄收等田次歉  
各區丹徒縣原復熟漕屯各田漕米昭文縣原復  
熟田高平各區太倉鎮洋二州縣原復熟及屆徵

十三年新墾田銀米各減免二釐吳縣原復熟及  
八年分剔熟田條銀丹陽縣原復熟同展緩十二  
年新墾田漕米各減免三釐長洲縣原復熟暨展  
緩十一十二兩年新墾田常熟縣原復熟及八九  
兩年剔熟次歉各區條銀常熟縣原復熟及各年  
剔熟並薄收田最歉各區昭文縣薄收田漕米昭  
文縣原復熟田低平區銀米各減免四釐元和縣  
原復熟及八年分剔熟並展緩十二年同屆徵十  
三年新墾田條銀減免五釐常熟縣原復熟及八  
九兩年剔熟田最歉各區條銀著減免八釐丹徒  
縣原復熟漕屯各田條銀著減免四成五釐又常  
熟縣被歉蘆田課銀靖江縣被歉漕田應徵銀米  
蘆田課銀同丹陽縣展緩十二年新墾上忙條銀  
溧陽縣上年被淹本年未種田銀米本年被旱田  
下忙條銀及漕米均著緩至光緒十七年秋後察  
看分別帶徵婁縣本年被水無收靖江縣被歉漕  
蘆田畝丹徒丹陽溧陽三縣本年被旱無收各田  
及溧陽縣上年被淹未種各田應徵早卯年上忙  
新賦並著緩至光緒十七年秋後一併徵解其長

洲等各州廳縣減成項下應徵本年地漕鹽課正雜正耗同蓋課學租歸公官租等銀以及漕南行贈局恤等項米豆均著按分蠲減徵收至蘇州太倉鎮海金山等四衛幫屯田錢糧各照坐落地方民田分別蠲減又鎮江衛屯田坐落各州縣錢糧查照民田蠲減秦州酌徵五成二釐奉興酌徵三成江都酌徵三成二釐甘泉酌徵一成丹陽酌徵三成此外徵剩錢糧同原緩吳縣吳江震澤新陽太湖五廳縣十五年災緩銀米並崑山縣十五年熟田除減再緩二成條銀宜興荆溪丹陽三縣十四年被旱復熟田丹陽縣十一年新墾田各應徵十五年以上忙條銀溧陽縣十五年被淹歉田漕米下忙條銀常熟縣被歉蓋田同丹陽縣蓋田除減再緩一成課銀鎮江衛十五年徵剩錢糧仍著遞緩一年至各屬舊欠項下除光緒六年至十三年錢糧業經豁免外所有坐落本年款區已歷奏銷民欠各款均著緩至十七年秋後的量帶徵其蠲減條銀如上忙已經完納者即將應減分數於下忙錢糧內扣除如上下兩忙均已全完其溢完銀

兩准其流抵十七年新賦以紓民力餘著照所議辦理該督撫卽刊刻謄黃並將單內所開區圖頃畝應緩銀兩米豆各數詳細刊刻編行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道單併發欽此

1175 光緒十六年十二月二十三日內閣奉

上諭福建學政著沈源深去俟查辦事件完竣卽行赴任毋庸來京請訓欽此

1176 光緒十六年十二月二十三日內閣奉

上諭劉銘傳奏假期屆滿病仍未痊懇懇開缺一摺劉銘傳著再賞假三箇月毋庸開缺所有臺灣科試事宜著派唐景崧暫行代辦欽此

1177 光緒十六年十二月二十三日內閣奉

上諭工部左侍郎烏拉布由翰林溥躋卿貳曾派赴湖北等省查辦事件旋簡授福建學政辦事認真克盡厥職茲聞溥逝軫惜殊深加恩著照侍郎例

賜卹任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門  
察例具奏欽此

1178 光緒七年五月初三日內閣奉

上諭前任戶部右侍郎宜振由翰林游躋卿貳辦事  
慎勤克稱厥職前因患病准其開缺調理茲聞溢  
逝軫惜殊深著加恩照侍郎例賜卹任內一切處  
分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1179 光緒十三年十二月二十五日內閣奉

上諭兵部左侍郎耀年由司員游升卿貳管理神機  
營事務補授總管內務府大臣勤慎從公克稱厥  
職茲聞溢逝軫惜殊深加恩著賞給太子少保銜  
照侍郎例賜卹任內一切處分悉予開復應得卹  
典該衙門察例具奏伊子祥蔭著加恩以主事用  
欽此

1180 光緒十六年十二月二十三日內閣奉

上諭前任江甯副都統連慶由侍衛出征陝西甘肅

等處打仗奮勇著勞績游升副都統亦能稱職  
茲聞溢逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任  
內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例具  
奏欽此

1181 光緒八年五月二十九日內閣奉

上諭正藍旗滿洲副都統雙印由烏槍護軍游升副  
都統咸豐同治年間在直隸山東河南安徽奉天  
等省軍營打仗出力前因患病賞假調理遽聞溢  
逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹任內一切  
處分悉予開復應得卹典該衙門察例具奏欽此

1182 光緒十三年八月初六日內閣奉

上諭荊州右翼副都統英秀由護軍出征直隸連鎮  
等處打仗奮勇著勞績游升副都統後亦能稱  
職茲聞溢逝軫惜殊深加恩著照副都統例賜卹  
任內一切處分悉予開復應得卹典該衙門察例  
具奏欽此

1183 交理藩院本日軍機大臣面奉

諭旨御史聯陔奏庫倫商卓特巴喇嘛達什多爾濟

欺朦把持擅權科歛請飭查辦一摺著理藩院查

明具奏原摺著鈔給閱看欽此相應傳知

貴衙門欽遵辦理可也此交計結鈔摺一件

十二月二十三日

1184 光緒十六年十二月二十四日內閣奉

上諭前因京師入冬以來雪澤稀少朕疊次親詣

大高殿拈香並派慶邸王奕劻等分詣

時應宮等處拈香虔申祈禱雖經得雪兩次尚未

渥沛祥雲節近立春農田待澤仍殷倍深寅盼本

月二十七日朕仍親詣

大高殿拈香

時應宮著派貝勒載濂

昭顯廟著派貝勒載漪

宣仁廟著派貝勒載滢

凝和廟著派輔國公載澗同於是日分詣拈香欽此

1185 光緒十六年十二月二十四日內閣奉

上諭卞寶第奏知府與藩司姻親例應迴避開單請

旨簡員對調一摺福建臺灣臺北府知府著吉昌

調補雷其達著調補福建漳州府知府欽此

1186 光緒十六年十二月二十四日內閣奉

上諭胡聘之已補授順天府府尹所有監放粥廠差

使著改派祥霖前往欽此

1187 太僕寺卿壽蔭

硃。鴻臚寺卿祥霖

內閣侍讀學士溥頤

鴻臚寺少卿田我霖

1188 光緒十六年十二月二十四日內閣奉

上諭廣東瓊州鎮總兵員缺著滕嗣林補授欽此

1189 查廣東瓊州鎮總兵係水師缺謹

奏

1190 光緒十六年十二月二十五日內閣奉

上諭工部左侍郎著裕德補授未到任以前著巴克坦布兼署欽此

1191 應調滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松桂 現署都察院左都御史

右侍郎敬信 現兼署戶部左侍郎

戶部左侍郎續昌 現在實做

右侍郎崇禮 現兼署工部左侍郎

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾 現在請假

右侍郎巴克坦布

刑部左侍郎清安

右侍郎鳳秀

工部右侍郎桂祥

理藩院左侍郎鳳鳴

右侍郎慶福

倉場侍郎興廉

盛京戶部侍郎綿宜

禮部侍郎懷塔布

兵部侍郎豐烈

刑部侍郎英煦

工部侍郎阿克丹

1192 應升滿洲侍郎名單

內閣學士祥麟 現在實做

文治

裕德

霍穆歡

愛廉

榮惠

都察院左副都御史奕年

奕秋

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂 現在請假

詹事府詹事志銳



1193 光緒十六年十二月二十五日內閣奉

上諭裕寬奏查明各州縣災歉情形請將應徵錢漕分別展緩開單呈覽一摺河南開封等府屬本年夏間雨水過多田禾均被浸淹南路各屬復因秋早受傷收成均形歉薄若將新舊錢漕照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有陳留等五十一州縣民欠未完新舊錢漕均著分別展緩以紓民困該撫即按照單開各府應緩數目分晰刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

1194 光緒十六年十二月二十五日內閣奉

上諭劉瑞祺奏查明各屬被災情形懇恩分別蠲緩錢糧等項一摺本年山西陽曲等廳州縣被水被雹被賺各地方夏麥秋禾收成均形歉薄若將新舊錢糧米豆土鹽各稅照常徵收民力實有未逮加恩著照所請所有陽曲縣被水成災十分之大東流西流彭村拐角村東萊園村四寇莊等六村

應做地丁正耗土鹽稅暨改徵豆石本色米豆均著自光緒十六年起一併永遠豁免又被水成災十分之太原縣屬城北村南阜村北阜村等三村應抵完陽曲縣光緒十六年分屯租地丁正耗土鹽稅改徵豆石著蠲免十分之七蠲餘銀糧著緩至光緒十七年秋後分作三年帶徵又被水成災六分之賈家莊五分之河下村東城角村五府營等四村應抵光陽曲縣光緒十六年分屯租地丁正耗土鹽稅改徵豆石著蠲免十分之一蠲餘銀糧著緩至光緒十七年秋後起分作二年帶徵徐溝縣被水成災十分之西羅村應徵光緒十六年分下忙地丁正耗土鹽稅本色米豆改徵豆石著蠲免十分之七又被水成災九分之城場營桃花營等二村應徵光緒十六年分下忙地丁正耗土鹽稅本色米豆改徵豆石著蠲免十分之六以上三村蠲餘銀糧均著緩至光緒十七年秋後起分作三年帶徵太原縣被水成災十分之南阜村北阜村城北村小營村等四村應徵光緒十六年分民屯地丁正耗土鹽稅本色米豆改徵豆石著蠲

免十分之七蠲餘銀糧著緩至光緒十七年秋後起分作三年帶徵又被水成災六分之賈家莊五分之西北格小北格北河下南河下鵝歸店鹽堡村五府營梁家寨東城角等十村應徵光緒十六年分地丁正耗本色米豆改徵豆石河租著蠲免十分之一蠲餘銀糧均著緩至光緒十七年秋後起分作二年帶徵又南阜北阜城北小藍北格等五村尚有帶徵光緒十五年分因災原緩銀糧著全行豁免文水縣秋禾被水成災七分之二峪口宋家莊樊家莊武午村宜兒村里洪村麻家寨楊家寨武家寨東宜亭明陽河西上河頭等十二村應徵光緒十六年分地丁正耗土鹽稅本色米豆著蠲免十分之二蠲餘銀糧著緩至光緒十七年秋後起分作二年帶徵該十二村尚有帶徵光緒十四年分因災原緩丁耗米豆土鹽稅暨北峪口宋家莊樊家莊武午村宜兒村里洪村麻家寨楊家寨東宜亭等九村帶徵光緒十五年分因災原緩下忙丁耗米豆土鹽稅等項凡應光緒十八年秋後起分二年帶徵者並著展緩至光緒十九

年秋後仍按原限年分分作二年按續帶徵應光緒十六年麥熟後徵收者亦著遞緩至光緒十七年麥後帶徵又夏麥被水成災五分餘之北峪口宋家莊樊家莊武午村宜兒村里洪村麻家寨楊家寨等八村應徵光緒十六年分下忙地丁正耗土鹽稅本色米豆著蠲免十分之一蠲餘銀糧著緩至光緒十七年秋後起分作二年帶徵該八村尚有原緩帶徵光緒十四十五年分地丁耗米豆土鹽稅等項著遞緩至光緒十七年秋後仍按最先年分每年帶徵一年又歷年被水成災十分之南徐北徐中社龍泉營兒並營兒村隨附之桑子屯等五村應徵光緒十六年分地丁正耗土鹽稅本色米豆著全行豁免嵐縣被水成災十分之東村鎮應徵地丁正耗兵米著自光緒十六年下忙起永遠豁免又劉家溝木瓜溝馮周村灣則村陽坡村程家溝楊家寨新村洪沙馮則村勒賊寨村婁宇溝后山村腰窩村顧尾頭村趙寨村于溝村界河口村坊灣村南溝村谷沙溝侯家溝等二十一村應徵地丁正耗兵米著自光緒十六年下忙

起暫行停徵臨汾縣被水成災七分之東王村西  
王村東孔郭西孔郭景家溝上康村康莊堡王府  
圍上樊家河下樊家河下康村西盧曲等十二村  
應徵光緒十六年分地丁正耗米石著蠲免十分  
之二又被水成災六分之千伙村北王村趙下村  
上太明等四村應徵光緒十六年分地丁正耗米  
石著蠲免十分之一以上十六村蠲餘銀糧均著  
緩至光緒十七年秋後起分作二年帶徵其千伙  
趙下東王西王東孔郭西孔郭景家溝上康下康  
王府圍上樊家河下樊家河康莊堡等十三村尚  
有原緩帶徵光緒十五年分正耗錢糧米豆等項  
並著遞緩至光緒十七年麥熟後起徵曲沃縣被  
水成災十分之東周村吉莊村平樂村等三村應  
徵地丁正耗著自光緒十六年起暫行停徵汾陽  
縣被水成災八分之東保障一村應徵光緒十六  
年分地丁正耗上鹽稅著蠲免十分之四又被水  
成災七分之演武鎮招賢村韓家橋師家莊西河  
堡古浮園小羅城羅城鎮官道村等九村應徵  
光緒十六年分地丁正耗上鹽稅著蠲免十分之二

該十村蠲餘銀兩著緩至光緒十七年秋後起分  
作三年或二年帶徵平遙縣被水成災七分之香  
樂村陶屯村安固村東張趙村汾陽縣寄莊之韓  
家橋演武鎮等六村應徵光緒十六年分地丁正  
耗上鹽稅著蠲免十分之二又被水成災六分之  
西張趙村西莊村西羌城大羌城左家堡北三狼  
道備村郝莊村招賢村汾陽縣寄莊之閻家村秋  
家社尹家社北上連等十三村應徵光緒十六年  
分地丁正耗上鹽稅著蠲免十分之一以上十九  
村蠲餘銀兩均著緩至光緒十七年秋後起分作  
二年帶徵寧鄉縣被雹成災九分之劉家坪燕麥  
溝柳峪村神堂塢賈家灣關家灣關泥村宋家溝  
洞兒背暖水灣上橋溝正溝村連家溝等十三村  
應徵光緒十六年分下忙地丁正耗上鹽稅著蠲  
免十分之六又被雹成災八分之上橋鎮閻落溝  
麻則山韓家山武家山山底溝張家溝東山上大  
嶺村簸箕側等十村應徵光緒十六年分地丁正  
耗上鹽稅著蠲免十分之四以上二十三村蠲餘  
銀兩均著緩至光緒十七年秋後起分作三年帶

微陽城縣被水成災九分之西冶村桑林村馮家莊坂底村小王莊寺溝村臺頭村等七村應徵光緒十六年分地丁正耗著蠲免十分之六蠲餘銀兩著緩至光緒十七年秋後起分作三年帶徵絳縣被水成災九分之槐泉村下村洞東村里冊村斜曲村里冊峪東磨裏北晉峪西晉峪卞王村河王村磨裏峪南樊鎮等十三村應徵光緒十六年分地丁正耗著蠲免十分之六蠲餘銀兩著緩至光緒十七年秋後起分作三年帶徵垣曲縣被水成災十分之東石村譚家村圪塔村西敵原破口村塋板村瑤店河西石村店頭村堡頭村胡村同善上堡同善下堡等十三村應徵光緒十六年分下忙地丁正耗著全行豁免解州被水成災十分之席張村順城關南賈村東胡村西胡村斜村底張村郭家村閻家村上下梁圍曲村常平村白家莊董家莊蠶坊村等十五村應徵光緒十六年分下忙地丁正耗著全行豁免霍州被水成災十分之辛置鎮吉家溝李銓莊紅崖堡賈村下樂平楊秦村李曹村上王村源頭村鴨底村靳壁村城

南社澗南社宗家灘陳村等十六村應徵地丁正耗著自光緒十六年下忙起暫行停徵俟該處田地澗復再行徵收又被水成災六分之辛置鎮一村應徵光緒十六年分下忙地丁正耗著蠲免十分之一蠲餘銀兩著緩至光緒十七年秋後起分作二年帶徵蓋拉齊廳被水勘不成災之董家營大水橋村南挽爾村北挽爾村炭車營壽陽營北卜子村高泉營太原縣營七星湖村安樂村喇嘛營路三圪堆村安民村李壘村等十五村並被釀勘不成災之代桂營武鄉縣營太平莊壯丁營郭廷貴營何四營雙泡子村五臺營福壽營張寬營苗四營北壽陽營南壽陽營一間房村朱公營忻太莊永豐村李明月澄口村上村二道河村三道河村小灘子村定襄營木頭湖村西湖堰村朔州營善岱村繁峙營劉家營沙海子村楊祥營丁貴香營豐厚村等三十三村應徵光緒十六年分新賦米石除收穫稍豐各戶仍令照常輸納外其實在歉收民力拮据者著緩至光緒十七年秋後帶徵所有光緒十五年秋災案內原緩至光緒十

六十七兩年秋後帶徵之七星湖等四十八村應  
光緒十四十五兩年舊欠米石並著展緩至  
光緒十八年秋後起仍按最先年分接續分年帶徵  
以紓民力餘著照所議辦理該撫卽刊刻謄黃編  
行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念  
民艱至意該部知道欽此

1195 光緒十六年十二月二十五日內閣奉

上諭祁世長等奏道員報捐賑款銀一萬兩請逾格  
優獎一摺在任候選道廣東南海縣知縣李徵庸  
著在任以道員卽選該部知道欽此

1196 光緒十六年十二月二十五日內閣奉

上諭順天府奏請加賞資善堂米石一摺西城資善  
堂煖廠前因近畿被水饑民衆多於年賞外提前  
加賞粟米三百石現屆歲暮著再加賞粟米四百  
石以資接濟該部知道欽此

1197 光緒十六年十二月二十五日奉

旨祥祺溥善均著以四五品京堂補用欽此

吏部奏宗室祥祺等如何錄用請 旨摺

1198 光緒十六年十二月二十五日奉

旨著照所請禮部知道欽此

順天府奏知府劉萬康捐賑請建坊片

1199 光緒十六年十二月二十五日奉

旨戶部知道欽此

順天府奏編修黎榮翰等集捐賑銀片

1200 據總理各國事務衙門送到李鴻章電信一件

照錄呈

覽謹  
奏

十二月二十五日

1201

奏為會議具奏事臣等遵議

臣 伯彥訥謨祜等謹

醇賢親王飾終至奉移一切典禮業經兩次會奏在案

恭查奉移園寓後所有廟制及葬祭各事宜均

應先期集議次第舉行伏讀本年十一月二十

一日

懿旨恭引

高宗純皇帝御諭立廟於邸第為不祧之廟祀以天子

之禮合乎父為士子為大夫葬以士祭以大夫之

義等因欽此

聖訓昭垂範圍千古臣等欽遵妥議謹分列條款繕具

清單伏候

皇上恭請

懿旨遵行謹

奏

光緒十六年十一月二十五日

御前大臣臣 伯彥訥謨祜

御前大臣臣 晉 祺

御前大臣臣 奕 劻

1202

一

醇賢親王廟擬請於新

賜邸第恭建

欽派大臣查估承修至廟額應請謹書曰

醇賢親王廟

軍機大臣臣 世 鐸

軍機大臣臣 額勒和布

軍機大臣臣 張之萬

軍機大臣臣 許庚身

軍機大臣臣 孫毓汶

戶部尚書臣 翁同龢

都察院左都御史臣 孫家鼐

禮部尚書臣 崑 岡

尚 書臣 李鴻藻

左侍郎臣 文 興

左侍郎臣 錢應溥

右侍郎臣 景 善

右侍郎臣 李文田

一廟制擬建殿七楹殿外中門三間殿前東西配屋各五間殿後寢室五間中門之內建焚帛亭祭器亭中門之外建宰牲亭一座神廚五間神庫五間東西廂及治牲房各三間大門三間至殿宇及正門瓦色應用綠色琉璃或黃色琉璃恭候

懿旨

一每歲時饗擬仿宋秀安僖王祀典請於四仲月朔舉行由承襲王承祭前期太常寺請

旨是否

親行如遇

皇上親詣行禮應以承襲王陪祀

一禮節樂舞祭器祭品應欽遵

高宗純皇帝御論祀以天子之禮由各該衙門詳晰具

奏請

旨祝文樂章均請由翰林院撰擬

一立廟後恭遇

醇賢親王誕辰忌辰是否

親詣行禮恭候

懿旨

一 皇上年除服擬請

親詣行禮照大祭禮讀文致祭

一恭候

御論

醇賢親王葬禮應查照親王例由各該衙門敬謹備辦

一

醇賢親王園寢餐殿業經建造其碑亭瓦色因碑文

內恭書

御名擬請用黃色琉璃

一奉安前期擬請

皇上親詣園寓行禮照大祭禮讀文致祭奉安禮成

後擬請

親詣園寢行禮至奉安日是否

親詣恭送屆時恭候

懿旨

一

醇賢親王餐殿神牌擬請由工部製造先期知照欽

天監擇吉神牌字樣擬謹書

醇賢親王神位

欽派大臣恭題奉入饗殿時擬請

派承襲王恭奉行禮其廟內神牌擬請俟廟成後擇

吉製造題寫至供奉日仍由承襲王恭奉擬請

皇上親詣行禮所有應行禮節事宜屆期由各該衙

門奏明辦理

一

醇賢親王碑文是否

御製抑由翰林院敬謹撰擬恭候

懿旨

一奉安後每歲清明中元冬至歲暮致祭園寢

擬請

派承襲王行禮

一查宋秀安偕王於立廟前班諱

醇賢親王應否諱名一字恭候

懿旨

一

醇賢親王廟及園寢均請設官員兵役看守應由該

衙門酌擬奏明辦理

1203 光緒十六年十二月二十六日內閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨御前

大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部奏遵議醇

賢親王廟制及葬祭各事宜分列條款請旨遵行一

摺醇賢親王廟著於新賜邸第建立其現居邸第並

著另建醇賢親王祠所擬廟制著依議行所有廟中

殿宇及正門瓦色中用黃色琉璃殿脊四圍及正門

四圍均用綠色琉璃其祀典應照天子之禮所有禮

節樂舞祭器祭品由各該衙門詳晰具奏請旨立廟

後每歲時饗著於四仲月朔舉行由承襲王承祭皇

帝是否親行先期由太常寺請旨遇醇賢親王忌辰

誕辰皇帝均親詣行禮葬禮著照親王例辦理皇帝

親製碑文其碑亭瓦色著用黃色琉璃皇帝期年除

服親詣行禮照大祭禮讀文致祭至奉安前期皇帝

親詣園寢行禮照大祭禮讀文致祭奉安日親詣恭

送看視奉安次日仍詣園寢行禮歲時致祭園寢由

該承襲王行禮所請班諱一節嗣後凡遇諱字著一

律避寫餘均照所議辦理該衙門知道單併發欽此



1204 光緒十六年十二月二十六日內閣奉

上諭福建福州府知府員缺緊要著該督於通省知府內揀員調補所遺員缺著胡廷幹補授欽此

1205 光緒十六年十二月二十六日內閣奉

上諭崧駿奏查明杭州嘉興松江各場荒蕪未墾各竈地蕩塗請蠲免竈課錢糧一摺本年杭州嘉興松江所屬荒蕪場竈未能一律墾復若將額課錢糧照常徵收竈力實有未逮如恩著照所請所有仁和海沙鮑郎蘆滙橫浦浦東等場荒蕪未墾各竈地蕩塗應徵光緒十六年分竈課錢糧著全行蠲免以紓竈力該撫即刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1206 光緒十六年十二月二十六日奉

旨著於二月十三日選看欽此

戶部奏查明各數目請 欽此

1207 交都察院本日軍機大臣而奉

諭旨前日都察院呈進之臺規四函著仍交該衙門欽此相應傳知

貴衙門欽遵領回可也此交計臺規四函

十二月二十六日

1208 光緒十六年十二月二十七日內閣奉

上諭鹿傳霖奏查明各屬被災地畝請分別蠲免錢糧鹽課開單呈覽一摺本年陝西渭南等州縣被水被電經該撫委員查勘被災輕重分別賑撫若將應徵錢糧鹽課照常徵收民力實有未逮如恩著照所請所有渭南華陰商州商南葭州等五屬未完錢糧均著分別蠲免緩徵華陰商州商南三屬已完銀兩准其流抵次年正賦米脂縣屬水衝沙壓鹽地荒鍋稅課著自光緒十六年起暫行豁免三年以紓民力該撫即按照單開應蠲免錢糧鹽課數目詳細刊刻謄黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意餘著照所議辦理該部知道單併發欽此

1209 光緒十六年十二月二十七日内閣奉

上諭張曜奏持參不職各員一摺山東齊東縣知縣王福增才具平常辦事竭蹶萊陽縣知縣傅錕才欠開展政績無聞惟該二員文理尚優均著以教職選用昌樂縣知縣李毓珍現患耳疾艱於聽訟惟平日官聲尚好著開缺撤省察看沂水縣知縣孫作霖武城縣知縣黃玉成均人地未宜著即開缺撤省另補蘭山縣訓導榮壩兩耳重聽難資訓迪著以原品休致餘著照所議辦理該部知道欽此

1210 光緒十六年十二月二十七日奉

旨知道了欽此

倉場衙門奏查明前署西倉監督福山家丁尚無批詐銀兩摺

1211 據總理各國事務衙門送到卡寶第電信一件

照錄呈

覽謹

奏

1212 光緒十六年十二月二十六日内閣奉

上諭朕欽奉

慈禧端佑康頤昭豫莊誠壽恭欽獻皇太后懿旨御前大臣軍機大臣翁同龢孫家鼐會同禮部奏遵議醇賢親王廟制及葬祭各事宜分列條款請旨遵行一摺醇賢親王廟著於新賜邸第建立其現居邸第並著另建醇賢親王祠所擬廟制著依議行所有廟中殿宇及正門瓦色中用黃色琉璃殿脊四圍及正門四圍均用綠色琉璃其祀典應照天子之禮所有禮節樂舞祭器祭品由各該衙門詳晰具奏請旨立廟後每歲時饗著於四仲月朔舉行由承襲王承祭皇帝是否親行先期由太常寺請旨遇醇賢親王忌辰誕辰皇帝均親詣行禮葬禮著照親王例辦理皇帝親製碑文其碑亭瓦色著用黃色琉璃皇帝期年除服親詣行禮照大祭禮讀文致祭至奉安前期皇帝親詣園寢行禮照大祭禮讀文致祭奉安日親詣恭送看視奉安次日仍詣園寢行禮歲時致祭園寢由該承襲王行禮所請班禱一節嗣後凡遇讓字著一律避寫餘均照所議辦理該衙門知道單併發欽此

1213

奏為會議具奏事臣等遵議

臣伯彥訥謨祜等謹

醇賢親王飾終至奉移一切典禮業經兩次會奏在

案恭查奉移園寓後所有廟制及葬祭各事宜

均應先期集議次第舉行伏讀本年十一月二

十一日

懿旨恭引

高宗純皇帝御諭立廟於邸第為不祧之廟祀以天

子之禮合乎父為士子為大夫葬以士祭以大夫

之義等因欽此

聖訓昭垂範圍千古臣等欽遵妥議謹分列條款繕具

清單伏候

皇上恭請

懿旨遵行謹

奏

光緒十六年十二月二十五日

御前大臣臣伯彥訥謨祜

御前大臣臣晉祺

御前大臣臣奕劻

軍機大臣臣世鐸

軍機大臣臣顏勒和布

軍機大臣臣張之萬

軍機大臣臣許庚身

軍機大臣臣孫毓汶

戶部尚書臣翁同龢

都察院左都御史臣孫家鼐

禮部尚書臣宗室崑岡

尚書臣李鴻藻

左侍郎臣文興

左侍郎臣錢應溥

右侍郎臣景善

右侍郎臣李文田

1214

醇賢親王廟擬請於新

賜邸第恭建

欽派大臣查估承修至廟額應謹書曰

醇賢親王廟

一廟制擬建殿七楹殿外中門三間殿前東西配屋各五間殿後寢室五間中門之內建焚帛亭祭器亭中門之外建宰牲亭一座神厨五間神庫五間東西廂及治牲房各三間大門三間至殿宇及正門瓦色應用綠色琉璃或黃色琉璃恭候

懿旨

一每歲時饗擬仿宋孝安僖王祀典請於四仲月朔舉行由承襲王承祭前期太常寺請

旨是否

親行如遇

皇上親詣行禮應以承襲王陪祀

一禮節樂舞祭器祭品應欽遵

高宗純皇帝御論祀以天子之禮由各該衙門詳晰具

奏請

旨祝文樂章均請由翰林院撰擬

一立廟後恭遇

醇賢親王誕辰忌辰是否

親詣行禮恭候

懿旨

一 皇上期年除服擬請

親詣行禮照大祭禮讀文致祭

一恭候

御論

醇賢親王葬禮應查照親王例由各該衙門敬謹備辦

一

醇賢親王園寢饗殿業經建造其碑亭瓦色因碑文

內恭書

御名擬請用黃色琉璃

一奉安前期擬請

皇上親詣園寢行禮照大祭禮讀文致祭奉安禮成

後擬請

親詣園寢行禮至奉安日是否

親詣恭送屆時恭候

懿旨

一

醇賢親王饗殿神牌擬請由工部製造先期知照欽

天監擇吉神牌字樣擬請書

醇賢親王神位

欽派大臣恭題奉入饗殿時擬請

派承襲王恭奉行禮其廟內神牌擬請俟廟成後擇

吉製造題寫至供奉日仍由承襲王恭奉擬請

皇上親詣行禮所有應行禮節事宜屆期由各該衙

門奏明辦理

一

醇賢親王碑文是否

御製抑由翰林院敬謹撰擬恭候

懿旨

一奉安後每歲清明中元冬至歲暮致祭園寢

擬請

派承襲王行禮

一查宋秀安倍王於立廟前班諱

醇賢親王應否諱名一字恭候

懿旨

一

醇賢親王廟及園寢均請設官員兵役看守應由該

衙門酌擬奏明辦理

1215 光緒十六年十二月二十八日內閣奉

上諭鳳秀已調補刑部右侍郎未到任以前著崇禮  
兼署欽此

1216 應兼署滿洲侍郎名單

吏部左侍郎松桂 現署都察院左都御史

右侍郎敬信 現兼署戶部左侍郎

戶部左侍郎續昌 現在實做

右侍郎崇禮

禮部左侍郎文興

右侍郎景善

兵部左侍郎師曾 現在請假

右侍郎巴克坦布 現兼署工部左侍郎

刑部左侍郎清安

工部右侍郎桂祥

理藩院左侍郎鳳鳴

右侍郎慶福

硃。

1217

應署滿洲侍郎名單

內閣學士祥麟 現在署孝

文治 現在請假

霍穆歡 現在請假

受廉

榮惠

都察院左副都御史吳年

奕杖

通政使司通政使岳琪

大理寺卿明桂 現在請假

詹事府詹事志銳

1218 光緒十六年十二月二十八日內閣奉

上諭高夔恩著授溥侗讀欽此

1219 光緒十六年十二月二十九日內閣奉

上諭崧駿奏鹽場窰蕩被災請將應徵窰課錢糧分

別蠲緩一摺兩浙鹽場窰蕩本年夏間疊遭風雨

沿江沿海窰地秋間或因旱缺水或被潮淹浸致

成災數若將額課照常徵收窰力實有未逮加恩

著照所請所有蘆蕩杜濟二場成災九分十分田

地並海沙場被潮未墾全荒窰蕩應徵光緒十六

年分窰課著全行蠲免免其分成帶徵其錢清西

興海沙蘆蕩蒲門巡檢長亭杜濟橫浦浦東等場

應徵光緒十六年分窰課著緩至光緒十七年秋

後帶徵至各場未完各年舊課同秋收減色之慈

谿縣應徵上年原緩水鄉及鎮海縣原緩併徵清

泉龍頭穿長三場窰課均著遞緩一年徵收以紓

窰力餘著照所議辦理該撫即刊刻謄黃編行曉

諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱

至意該部知道欽此

1220 光緒十六年十二月二十九日內閣奉

上諭張煦奏查明被水田畝蘆洲請分別蠲緩遞緩

錢漕一摺湖南武陵等州縣衛本年入夏以後湖

河咸漲衝潰圍隄低窪田畝蘆洲均遭淹浸若將

應徵錢漕等項照常徵收民力實有未逮加恩著

照所請所有成災十分之武內之下眉溪等處安

鄉縣圍城等官垸五處南頭等民垸四處蔣家岡  
等湖田七處沅江縣大成等二十六垸各應完  
光緒十六年正耗錢糧著照例蠲免十分之七成災  
九分之武陵縣五村等二十三村障內之圖字下  
半總及太民安三總等處安鄉縣新墻至螺絲墻  
民垸一處朱家溪等湖田八處龍陽縣北益等障  
內附文等號益陽縣西林垸應完光緒十六年正  
耗錢糧著照例蠲免十分之六成災八分之武陵  
縣進溪等十村障內之三口橋等處龍陽大圍陝  
內附署等號臨湘縣塘灣等二十四圍澧州東圍  
等各民垸陝埂湖田二十八處應完光緒十六年  
正耗錢糧著照例蠲免十分之四成災七分之龍  
陽縣仁義總等區沅江縣義和等二十五垸益陽  
縣藤牌月陝二垸已陵縣穆湖村秋地蘆洲及一  
都等六處華容縣嚴蕭等官民三垸澧州陽田等  
官民各垸陝埂湖田三十四處各應完光緒十六  
年正耗錢糧著照例蠲免十分之二成災六分之  
龍陽縣小塘總等區號已陵縣二都等四處華容  
縣洪市嶺等四十六坵各應完光緒十六年正耗

錢糧著照例蠲免十分之一又華容等縣有應徵  
光緒十六年南鹽漕折銀米蘆課等項並著緩至  
次年秋後帶徵所有各州縣蠲贖銀兩成災十分  
九分八分者照例分作三年帶徵七分六分者照  
例分作兩年帶徵本年應行帶徵各項均著逐年  
以次展緩又沅江縣免毀禁修之上下嘉興周家  
坪三垸官田全被淹沒應完光緒十六年田租銀  
兩著全行蠲免又勘不成災而收成歉薄情形較  
重之武陵縣城頭等十村障內之黑魚墻等處龍  
陽縣大圍陝內附騰等號總區沅江縣株木實竹  
巴等十處舊有嶺田陞地湘陰縣聚賢等二十九  
圍及北鄉二十三都湯家河近湖依田已陵縣十  
都等四處臨湘縣望城等十六圍及洪家等十八  
洲華容縣南鄉夏家等圍山脚湖漢湖田並蘆洲  
地畝澧州上夕陽等官民各垸陝埂湖田十二處  
安鄉縣大溶湖蘆地一處應完光緒十六年正耗  
錢糧蘆課等項均著緩至光緒十七年秋後帶徵  
各州縣有應完光緒十六年漕糧南鹽等項銀米  
並著一律緩徵又各州縣有應帶徵光緒十四十

五等年災緩錢糧各項及安鄉龍陽沅江等縣有原借隄工銀兩均著遞緩至光緒十七年秋後各照原限分年次第帶徵其本年蠲贖緩徵銀米著俟各年災緩銀米徵完後再行按限徵收又被淹情形較輕之武陵縣上塢等二十一村障內之雷家坡等處龍陽縣鴨下北等處華容縣護城等官民五十垸並東南二鄉除各應完光緒十六年正耗錢糧南漕蘆課等項銀米照常徵收外所有應行帶徵光緒十四十五等年災緩錢糧並南漕銀米及蘆課銀兩均著遞緩至光緒十七年秋後查照原緩年限分年次第帶徵至岳州衛坐落巴陵臨湘華容湘陰等縣屯田應完光緒十六年屯錢軍安正耗錢糧及應徵運費並未完光緒十四十五等年災緩銀兩均著查照屯坐各縣地方分別蠲緩遞緩以紓民力餘著照所議辦理該撫即刊刻騰黃徧行曉諭務使實惠均霑毋任吏胥舞弊用副軫念民艱至意該部知道欽此

1221 查朝鮮國例

貢使臣到京所有例

賞該國王及使臣物件應由禮部具奏辦理外至該

使臣於新正在

紫光閣筵宴例有

加賞物件現據禮部咨稱該國現有服制使臣例應

停止筵宴其

加賞仍應照常辦理等謹查照向例擬寫

賞單進

呈謹

奏

光緒十六年十二月二十九日奉

硃批是欽此

1222 擬

加賞朝鮮國使臣物件

正使一員

閃緞三疋 上屆抵用蟒緞

漳絨三疋



大卷八絲緞四疋

小卷五絲緞四疋

大荷包一對

小荷包二對

副使書狀官二員

閃緞各二疋 上屆抵用蟒緞

漳絨各二疋

大卷八絲緞各三疋

小卷五絲緞各三疋

大荷包各一對

小荷包各二對

次日

發下閃緞仍抵用蟒緞餘俱照單

1223 朝鮮國正貢使中樞府事李珪永

副貢使禮曹判書曹寅永

書狀官兼掌令鄭雲景

1224 臣等查明新正應行

加恩各省除

盛京江蘇安徽江西浙江福建臺灣湖北湖南河

南山西陝西甘肅廣東廣西雲南貴州經該將

軍督撫具奏無庸接濟外所有直隸山東二省

業經該督撫奏到臣等擬繕

諭旨二道並擬定日期

頒發謹

奏

光緒十六年十二月三十日奉

硃批是欽此

1225 光緒十七年正月初二日直隸

初四日山東

1226 查各處繳到

硃筆暨清漢摺片單例應彙齊繳進茲將兵部繳到

硃筆暨定安等繳到清漢摺片單一併開單繳進謹

奏

1227 恭繳

硃筆書

硃批清漢摺片單共五十三封

兵部一封

定安等一封

定安一封

裕祿等一封

裕祿一封

托克端一封

依克唐阿一封

恭鐘等一封

恭鐘一封

杜嘎爾等一封

杜嘎爾一封

長順等一封

長順一封

色楞額等一封

吉和等一封

吉和一封

楊昌濬等一封

楊昌濬一封

卞寶第等一封

卞寶第二封

張之洞等一封

劉錦棠一封

孫山一封

張曜三封

奎斌等一封

奎斌一封

張煦一封

德馨一封

升泰等一封

升泰一封

濟祿一封

祿彭一封

鈕楞額一封

倭克津泰一封

雙齡一封

沙克都林札布一封

國俊一封

恩澤一封

安德等一封

安德一封

恭壽一封

忠瑞一封

明魁一封

祥麟等一封

祥麟一封

鄭紹忠一封

李占春一封

宜烈一封

雲生一封

劉光裕一封

1228

奏為奏銷紙張事光緒十六年分軍機處領用過

戶部紙張循例報銷理合開列清單繕摺

臣世鐸等跪

奏

開伏祈

皇上聖鑒謹

奏

光緒十六年十二月三十日

臣世鐸

臣額勒和布

臣張之萬

臣許庚身

臣孫毓汶

1229 計開

軍機處光緒十六年分領用紙張

本紙柒千張

題寫奏摺及鈔錄各處奏摺行文等項用無存

白榜紙貳千張

鈔錄檔案包封事件用無存

黃榜紙貳百張

釘解檔案包封案件用無存

高麗紙壹百伍拾張

包封月摺及檔案皮面用無存

台連紙壹萬張

編清輝漢並萬瓜編用無存

1230

臣 世鐸等跪

奏為奏銷領用紙張等項事光緒十六年正月  
起至十二月止方略館領用繕寫檔案書籍及辦  
稿行文釘輯檔案等項用過紙張並光緒十六  
年領用過烤炭暨舊存紙張數目一併詳細開  
列清單繕摺

奏

聞伏祈

皇上聖鑒謹

奏

光緒十六年十二月三十日

臣 世 鐸

臣 額勒和布

臣 張之萬

臣 許庚身

臣 孫毓汶

1230 計開

光緒二年辦理方略

舊存金線榜紙壹千陸百玖拾張 未經用

舊存黃綾貳拾貳匹零半匹 光緒五年用過貳匹尚存  
氣餘五半匹

方略館

舊存五摺黃榜紙陸拾張 釘檔皮用無存

舊存五摺白榜紙伍拾張 裱稿等項用無存

舊存台連紙壹千伍百張 行文裱稿用無存

本年領過

五摺黃榜紙貳百張 釘檔皮用過壹百肆拾張  
尚存陸拾張

五摺白榜紙肆百張 裱稿等項用過叁百伍拾張  
尚存伍拾張

三號高麗紙貳百張 釘檔皮用無存

台連紙陸千張 裱稿等項用過肆千伍百張  
尚存壹千伍百張

烤炭貳千肆百觔 無存